

(公財)北九州市芸術文化振興財団
委託調査

北九州芸術劇場
事業評価調査
[報告書]

13

2017年3月
ニッセイ基礎研究所

◎ はじめに

この報告書は、(公財)北九州市芸術文化振興財団から委託を受けて、ニッセイ基礎研究所が実施した「北九州芸術劇場 事業評価調査(その13)」の成果をとりまとめたものである。

近年、行財政改革や説明責任(アカウンタビリティ)への関心の高まりなどを背景に、政府や公共団体の施策や事業を評価する「政策評価」が広がっており、地方公共団体においても、政策評価から施策評価、事務事業評価という評価体系が定着している。しかし、文化施設や文化事業の評価には、その特性を踏まえた独自の評価体系や指標が必要であるという認識が広がり、各地で行われている評価も徐々に成熟したものとなりつつある。

北九州芸術劇場は、そうした動きに先立ち、2003年度の開館当初から独自の事業評価調査に継続的に取り組み、かつ、その成果を公開しており、公立文化施設の事業評価モデルとして全国から注目されている。

13年目にあたる2015年度調査では、継続調査として①劇場の運営データの分析、②主催事業および提携・協力事業公演の観客アンケート調査、③貸館利用に関するアンケート調査、④経済波及効果とパブリシティ効果の試算を実施した。その結果からは、これまでと同様に、北九州芸術劇場が着実に成果をあげ、北九州市の芸術文化の創造拠点・発信拠点として、鑑賞者や利用者から広く認知、支持されていることがうかがえる。また、今年度は⑤テーマ調査として、「ワークショップ参加者を対象とした調査」と題し、過去3年間(2013～2015年度)に実施した主なワークショップ型事業や創造事業の参加者を対象としたアンケートとグループインタビューを実施した。その結果を、2004年度に実施した事業評価調査その2のテーマ調査「学芸事業の参加者から見た評価」の結果と比較することで、ワークショップ型事業や創造事業の中長期の成果や波及効果を検証している。

末筆ではあるが、2003年度以降、13ヶ年にわたり、この貴重な調査の機会を与えていただいた(公財)北九州市芸術文化振興財団、劇場スタッフの方々、ならびに調査にご協力いただいた観客や利用者の方々に心より感謝申し上げるとともに、本調査の成果が今後の北九州芸術劇場の運営に有効に活用され、より一層、意義のある事業や活動が展開されることを願うものである。

2017年3月
ニッセイ基礎研究所
芸術文化プロジェクト室

◎ 目次

序章 調査研究の目的・内容と本報告書の構成	i
-----------------------------	---

[本編]

第1章 2015年度事業の概要と実績	3
第2章 観客の特性と観客からみた評価	18
第3章 貸館利用者からみた評価	27
第4章 経済波及効果とパブリシティ効果	32
第5章 ワークショップ参加者を対象とした調査	38
第6章 評価フレームに基づいた事業評価結果	47

[資料編]

資料Ⅰ 観客調査結果	資-1
資料Ⅱ 貸館利用者調査結果	資-55
資料Ⅲ 経済波及効果	資-85
資料Ⅳ パブリシティー覧	資-99
資料Ⅴ ワークショップ参加者を対象とした調査	資-109

序章 調査研究の目的・内容と本報告書の構成

1. 調査研究の目的・内容

(1) 調査研究の目的

本調査研究は、2003年8月に開館した北九州芸術劇場について、毎年、事業や運営の評価に関する調査を行うとともに、その調査結果に基づいて、より良い劇場運営のあり方を検討することを目的としている。

13年目にあたる2015年度は、03年度あるいは04年度から継続して実施している、次の4つの調査(「継続調査」)

- ①劇場運営に関する基礎データの収集・分析
- ②公演に来場した観客を対象としたアンケート調査による公演事業に関する評価
- ③貸館利用者を対象としたアンケート調査による施設利用に関する評価
- ④北九州芸術劇場の経済波及効果とパブリシティ効果の算出

を実施した。さらに、15年度の「テーマ調査」として、

- ⑤ワークショップ参加者を対象とした調査
- と題し、アンケートとヒアリングによる調査を実施した。

(2) 調査の内容

①劇場運営基礎データの収集・分析

事業数、公演回数、入場者・参加者数、施設稼働率など、劇場運営に関する基礎データを整理し、03年度から13年間の経年分析を行なった。

②公演に来場した観客に対するアンケート調査

北九州芸術劇場の自主事業と提携・協力事業公演の観客を対象に、以下の2つの視点に基づいたアンケート調査を実施した(詳細は、p.資-1～資-54参照)。

- 事業評価の基礎となる北九州芸術劇場の施設やサービス、公演内容等に関する観客の満足度、ニーズの把握
- 劇場運営の基礎となる観客の属性(年齢、性別、居住地)、北九州芸術劇場における鑑賞行動(情報入手経路、鑑賞の動機、北九州芸術劇場での鑑賞回数)、日頃の鑑賞行動(鑑賞頻度、鑑賞ジャンル等)など、観客特性の把握

③貸館利用者を対象としたアンケート調査の分析

貸館利用者を対象に05年度から実施している「施設利用に関するアンケート調査」の結果について、15年度分をとりまとめた(詳細は、p.資-55～資-83参照)。

④経済波及効果、パブリシティ効果の把握分析

産業連関表を用いて、劇場の事業や運営がもたらす経済波及効果を試算するとともに、雇用効果の把握を行なった(詳細は、p.資-85～資-97参照)。また、パブリシティ効果について、その概要を整理し、金額換算による規模を算出した(詳細は、p.資-99～資-107参照)。

⑤ワークショップ参加者を対象とした調査

「ワークショップ参加者を対象とした調査」と題し、過去3年間(2013～2015年度)に実施し

た主なワークショップ型事業や創造事業の参加者を対象としたアンケートとグループインタビューを実施した。また、2004年度に実施した事業評価調査その2のテーマ調査「学芸事業の参加者から見た評価」の結果と比較することで、ワークショップ型事業や創造事業の中長期の成果や波及効果を検証した(詳細は、p.資-109～資-154参照)。

2. 本報告書の構成

本報告書は、各調査結果の概要、ならびに事業評価の基本フレームと評価結果を整理した「本編」と、調査の詳細データ等を整理した「資料編」の二編から構成されており、それぞれの内容は以下のとおりである。

(1) 本編

本編は、それぞれ次の内容からなる6つの章によって構成されている。

- 「第1章 2015年度事業の概要と実績」
劇場運営の基礎データならびに事業収支を整理した。
- 「第2章 観客の特性と観客からみた評価」
自主事業と提携・協力事業公演に来場した観客に対するアンケート調査の結果から、①観客の属性、②公演や劇場に関する意見(公演やサービスへの満足度など)、③日頃の鑑賞行動について、整理・分析を行った。
- 「第3章 貸館利用者からみた評価」
貸館利用者に対するアンケート調査の結果から、①劇場の施設、運営や対応に関する満足度、②重視項目について、調査結果の整理・分析を行った。
- 「第4章 経済波及効果とパブリシティ効果」
産業連関表を用いた経済波及効果、雇用効果、新聞掲載記事の金額換算によるパブリシティ効果を算出した。
- 「第5章 ワorkshop参加者を対象とした調査」
アンケート調査とヒアリング調査から得られた論点を整理し、調査結果と考察をまとめた。
- 「第6章 評価フレームに基づいた事業評価結果」
第1章から第5章までの調査結果を総合的に分析するため、次の評価フレームに沿って調査や評価の結果、改善のポイントなどを整理した。
 - A 劇場の設置目的:
鑑賞系事業、創造系事業、普及系事業、市民文化活動支援、地域への貢献
 - B 運営・管理: 場の提供・支援、施設のホスピタリティ・サービス、施設の維持管理
 - C 経営: 経営体制、リサーチ&マーケティング、経営努力

(2) 資料編

本編で整理・分析した調査の手法、結果などをとりまとめ、資料編として掲載した。

- 資料Ⅰ「観客調査結果」では、15年度の自主事業と提携・協力事業公演に来場した観客を対象に実施したアンケート調査結果を、設問ごとに整理した。
- 資料Ⅱ「貸館利用者調査結果」では、09年度～15年度の7ヶ年の調査結果を、設問ごとに整理した。
- 資料Ⅲ「経済波及効果」では、15年度の経済波及効果の基本構造、事業ごとの最終需要と消費支出など、経済波及効果、雇用効果算出のための分析資料を掲載した。

- 資料Ⅳ「パブリシティー一覧」では、金額換算の基礎となった15年度の新聞記事データの一覧を掲載した。
- 資料Ⅴ「ワークショップ参加者を対象とした調査」では、アンケート調査、ヒアリング調査の概要と調査結果を掲載した。

◎ 調査研究体制

ニッセイ基礎研究所

吉本光宏(研究理事・芸術文化プロジェクト室長)

大澤寅雄(芸術文化プロジェクト室 准主任研究員)

太田真奈美(社会研究部 研究アシスタント)

北九州芸術劇場
事業評価調査
[本編]

第1章 2015年度事業の概要と実績

本章ではまず、事業評価の基本となる北九州芸術劇場の事業の概要、入場者数や稼働率、収支状況など、2015年度の事業の実績について、過去データとともに整理した。

1. 事業の実績

まず、北九州芸術劇場の事業の基本方針と15年度の事業概要は次のとおりである。

(1) 事業の基本方針

北九州芸術劇場では、開館以来「創る」「育つ」「観る」の3つをキーワードにした事業展開が行われてきた。開館10周年の節目を経過し、新たな一步を踏み出すため、4つめのキーワードとして、14年度から「支える」が加わった。それぞれの目的や考え方、事業の内容は次のとおりである。

- **【創る】**: 北九州発のオリジナリティのある良質の作品づくりを通じて、地域資源の発掘と北九州市のシティブランド発信に取り組む。
- **【育つ】**: 『交流』と『育成』を柱に、舞台芸術の力を活用し、地域の未来を担う人材を育成する。
- **【観る】**: 幅広いラインナップの充実を図り、市民に良質な公演を提供する。また、新たな観客づくりや、にぎわいづくりに寄与する。
- **【支える】**: 市民の文化活動の支援や地元劇団等の創造活動の支援を積極的に行う。

(2) 事業の内容と実績、入場者数

- 15年度もこうした4つのコンセプトに基づき、自主事業全体(学芸事業、支援事業、連携事業は含まず)で、41本の事業・293回の公演・アクティビティが行われた。第1期(03年度～07年度)と第2期(08年度～12年度)の推移を見ると、09年度以降の学芸事業の実施回数が減少したことで、第1期に比べて第2期の公演数が減少しているが、第3期に入って再び増加している。公演事業の公演数に大きな変化はない(図表1-1)。
- 15年度では50,318人が公演鑑賞やアクティビティに参加し(図表1-2)、自主事業で総席数の設定のある公演事業の入場率は、87.0%となった(図表1-3)。
- 03年度からの自主事業における入場者数と入場率の経年の推移を見ると、入場者数は年度によって増減が大きいものの、入場率では8割以上を維持しており、09年度以降は9割前後で推移している(図表1-4)。

図表1-1 事業数・公演数の実績(03年度～15年度)

	創造事業		公演事業		提携・協力事業		オープニング 企画		演劇祭		公演事業 計		学芸事業 実施回数	支援事業		連携事業		総合計
	事業数	公演数	事業数	公演数	事業数	公演数	事業数	公演数	事業数	公演数	事業数	公演数		事業数	公演数	事業数	公演数	
2003年度	3	35	15	35	5	8	2	2	2	9	27	89	219	—	—	—	—	308
2004年度	4	15	23	46	6	15	—	—	2	9	35	85	320	—	—	—	—	405
2005年度	6	45	24	42	6	13	—	—	2	7	38	107	297	—	—	—	—	404
2006年度	7	61	18	45	7	16	—	—	2	8	34	130	291	—	—	—	—	421
2007年度	5	24	22	49	11	28	—	—	3	8	41	109	283	—	—	—	—	392
第1期 平均	5	36	20	43	7	16	—	—	2	8	35	104	282	—	—	—	—	386
2008年度	8	41	15	33	5	12	—	—	1	28	29	114	279	—	—	—	—	393
2009年度	6	40	16	42	5	16	—	—	1	7	28	105	175	—	—	—	—	280
2010年度	5	21	17	39	9	25	—	—	1	17	32	102	178	—	—	—	—	280
2011年度	5	37	19	42	8	12	—	—	1	44	33	135	96	—	—	—	—	231
2012年度	5	22	18	43	9	20	—	—	6	17	38	102	203	—	—	—	—	305
第2期 平均	6	32	17	40	7	17	—	—	2	23	32	112	186	—	—	—	—	298
2013年度	4	21	17	46	9	30	—	—	7	22	37	119	200	—	—	—	—	319
2014年度	5	16	13	34	13	42	—	—	9	82	40	174	240	—	—	1	3	414
2015年度	5	20	20	48	9	24	—	—	7	50	41	142	135	5	75	3	14	278
累計	68	398	237	544	102	261	2	2	44	308	453	1,513	2,916	5	75	4	17	4,430

※2008年度より演劇祭を「北九州演劇フェスティバル」として、2014年度より「北九州舞台芸術フェスティバル『北九州芸術工業地帯』」として開催。

図表1-2 入場者・参加者数の実績(03年度～15年度)

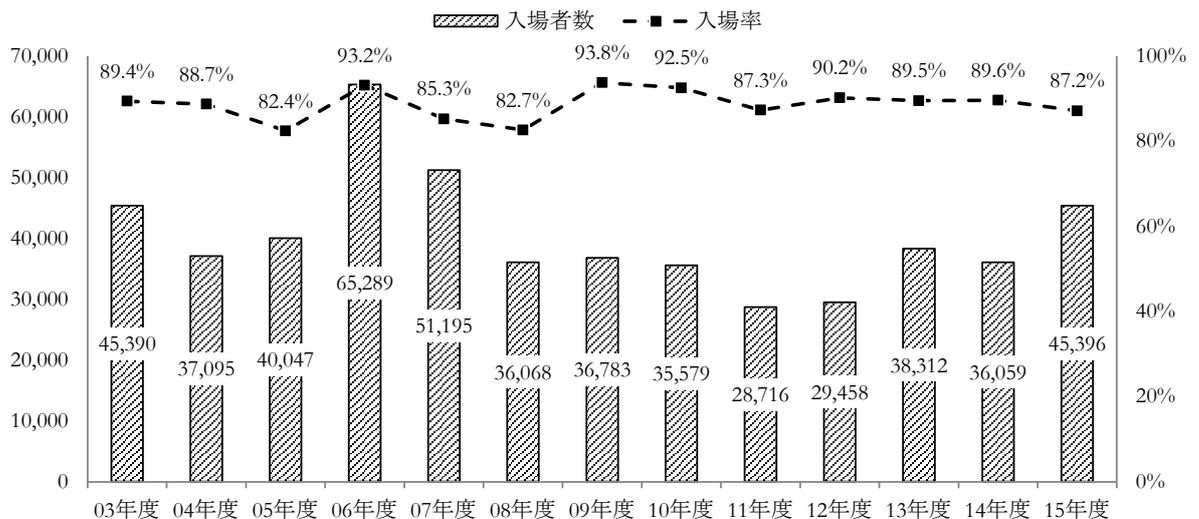
	創造事業	公演事業	提携等事業	オープニング 企画	演劇祭	公演事業 計	学芸事業	支援事業	連携事業	総合計
2003年度	13,350	22,079	7,382	1,592	987	45,390	2,404	—	—	47,794
2004年度	3,292	26,361	6,211	—	1,231	37,095	4,734	—	—	41,829
2005年度	9,332	21,294	6,642	—	2,779	40,047	6,327	—	—	46,374
2006年度	27,107	29,813	7,259	—	1,110	65,289	6,758	—	—	72,047
2007年度	5,224	32,378	11,869	—	1,724	51,195	6,200	—	—	57,395
第1期 平均	11,661	26,385	7,873	—	1,566	47,803	5,285	—	—	53,088
2008年度	12,320	18,164	3,895	—	1,689	36,068	10,577	—	—	46,645
2009年度	12,841	19,439	3,947	—	556	36,783	5,889	—	—	42,672
2010年度	3,124	24,229	6,427	—	1,799	35,579	5,404	—	—	40,983
2011年度	10,846	14,036	2,229	—	1,605	28,716	3,568	—	—	32,284
2012年度	3,847	18,517	2,996	—	4,098	29,458	5,900	—	—	35,358
第2期 平均	8,596	18,877	3,899	—	1,949	33,321	6,268	—	—	39,588
2013年度	3,208	20,319	11,202	—	3,583	38,312	6,554	—	—	44,866
2014年度	3,974	14,482	13,152	—	4,451	36,059	6,332	—	296	42,687
2015年度	2,723	26,296	9,918	—	6,459	45,396	6,377	9,774	1,463	49,162
累計	111,188	287,407	93,129	1,592	32,071	525,387	77,024	9,774	1,759	600,096

図表1-3 総席数・入場率の実績(03年度～15年度)

	公演事業の入場者数の計 (再掲含む)	総席数の設定のある公演事業の入場者数 (実数:再掲除く)	総席数	入場率
2003年度	45,390	45,390	50,756	89.4%
2004年度	37,095	37,095	41,808	88.7%
2005年度	40,047	40,047	48,575	82.4%
2006年度	65,289	65,289	70,065	93.2%
2007年度	51,195	51,195	60,036	85.3%
第1期 平均	47,803	47,803	54,248	88.1%
2008年度	36,068	34,379	41,580	82.7%
2009年度	36,783	36,783	39,225	93.8%
2010年度	35,579	35,579	38,447	92.5%
2011年度	28,716	28,716	32,885	87.3%
2012年度	29,458	25,537	28,316	90.2%
第2期 平均	33,321	32,199	36,091	89.5%
2013年度	38,312	33,657	37,585	89.6%
2014年度	36,059	30,678	34,225	87.2%
2015年度	45,396	38,781	44,494	88.6%
累計	525,387	503,126	567,997	88.6%

※2008年度および2012年度以降は、総座席数の設定をしていない公演を入場率の算出から除いている。

図表1-4 入場者数・入場率の推移(03年度～15年度)



- 以下、「創る」「育つ」「観る」「支える」それぞれの事業ごとに、事業の内容と実績をとりまとめた。(15年度事業の実績一覧を図表1-5に整理した。)

①創る:創造事業

- 「創る」に対応した創造事業では、
 - 北九州芸術劇場プロデュースとして、街と人の物語として2016年2月に上演し、大好評を博した「彼の地」
 - 北九州に住む高齢者の方々に地元の若手作家がインタビューを行い、演劇的に脚色しながら戯曲を作成した「Re:北九州の記憶」
 - 小学3年生から80歳を超える方までが参加しワークショップを重ねた創造事業である、合唱物語「わたしの青い鳥2015」
 - 演劇界の第一線で活躍する演出家を招き、地域の俳優によって国内外の魅力的な戯

曲をリーディングとして上演する「リーディングセッション」

- 小倉で俳句を始め、昭和の女性俳句の草分け的存在として活躍した杉田久女の俳句をモチーフにした演劇作品「女性の眼と句で綴る演劇『花、盛ル。』」といった事業が実施された。
- 「彼の地」は北九州(8回)と東京(3回)で公演が行われた。
- 15年度は5事業で20回の公演が行われ、入場者数は2,723人となっている。14年度と比べると、公演数は増加、入場者数は減少となっている(14年度の実績は5事業、16回、3,974人)。入場率では、14年度の87%から15年度では82%と若干減少している。
- 個別の入場率では「彼の地」の東京公演が92%、リーディングセッションvol.26「会議」で91%、「Re:北九州の記憶」で88%となっている。「彼の地」の北九州公演が75%、「わたしの青い鳥2015」が76%となっているが、それ以外の公演の入場率は80%を超え、市民からの支持の高さがうかがえる(図表1-5)。

②育つ:学芸事業

- 「育つ」に対応した学芸事業では、
 - 北九州市立美術館とのコラボレーション企画第三弾として、「画狂老人@北斎」
 - 「アーティスト往来プログラム」として、演劇・ダンス分野から国内外の一線で活躍するアーティストを招き、地域、学校、劇場などで行う「ワークショップ」、「アウトリーチ」
 - 高校生に[的]を絞った取り組みを通して、演劇・パフォーマンスをより身近に感じていただき、高校生が劇場を[的]にして集うきっかけを提供した「高校生[的]シアター」
 - 地域文化の振興を担う人材(市民、劇場・文化施設等のスタッフ、地域のアーティスト等)の育成や人的ネットワークの形成を目的に、舞台芸術分野の専門家を招いたレクチャーやワークショップなどを開催した「劇場塾2015」
 - 創造・公演(アウトリーチやワークショップ)参加として、「合唱物語『わたしの青い鳥2015』」、「Re:北九州の記憶」、「ダンスダイブウィーク」など、学芸事業全体では、創造参加も含め、19事業で135回のアクティビティが実施され、参加延人数・入場者数は6,377人となっている(図表1-5)。
- 14年度と比べると、アクティビティの回数は減少したが、参加者数は微増している(14年度の実績は240回、6,332人)。

③観る:公演事業

- 「観る」に対応した主催公演事業では、東京、パリ、大阪、北九州と巡り、熱狂と歓喜の渦に巻き込んだNODA・MAP第19回公演「エッグ」をはじめ、KERA・MAP、二兎社、こまつ座、松坂慶子、バットシェバ舞踊団、山海塾などの人気の高い舞台芸術公演、「『サティさん』“Pan Satie”」や「子供のためのシェイクスピア」といった子どもを対象とした公演など、幅広い観客層を対象とした公演が実施された。
- 公演事業では20事業が上演され、公演数は48回、入場者数は26,296人となっている。14年度と比べると、公演数、入場者数はともに増加している(14年度の実績は34回、14,482人)。公演事業の入場率は89%と高い(図表1-5)。
- 提携・協力事業では、小劇場・現代演劇やダンス・現代舞踊など9事業が上演され、公演数は24回、入場者数は9,918人であった。14年度と比べると、公演数、入場者数ともに減少している(14年度の実績は42回、13,152人)。
- 創造事業、公演事業、提携等事業、フェスティバルを含めた公演事業全体の公演作品数

は41本、公演数は142回、入場者数は45,396人である(再掲事業を含めた計)。14年度の年間入場者数と比べて増加し、第2期(08年度～12年度)の平均を上回っている。(図表1-3)。

④支える: 地元劇団等の創造活動支援、多施設との連携、貸館事業

- 「支える」に対応した主催事業では、
 - 全く異なる個性を持つダンサーが集まり、老若男女、どんな人でもダンスにふれることができるプログラムを揃え、小劇場、創造工房などを会場におよそ1カ月かけて開催された「ダンスダイブウィーク」
 - 地域文化の発展・表現活動の支援の一環として、創造工房・稽古場を作品上演の場として使用する「演カツ!!」
 - 九州各地の劇団が短編作品を上演し勝敗を競う「劇トツ×20分」
 - 「モノづくりの都市」として栄えてきた北九州の地域資源や生活文化を活用し、演劇、ダンス、音楽、アートのプログラムをまちなかで開催した「北九州芸術工業地帯」
 - 高校生以上を対象に戯曲講座を開催した「シアターラボ」などを行った。
- 「ダンスダイブウィーク」、「演カツ!!」、「劇トツ×20分」、「北九州芸術工業地帯」、「シアターラボ」の入場者数は9,774人(前掲の「観る:公演事業」と「育つ:学芸事業」の入場者数の計に含まれる)、設定席数のある事業の入場者数は3,655人(前掲の「観る:公演事業」の入場者数の計に含まれる)。
- 上記の事業以外に、連携事業として、
 - 北九州市立美術館とのコラボレーション企画の第三弾として、劇場と美術館との合作ならではの特別企画「画狂老人@北斎」(前掲の「育つ:学芸事業」の再掲)
 - 北九州市立響ホールと連携し、一流の演奏家によるコンサートと楽しいトークを500円で提供する「ワンコインコンサート」
 - 北九州市立響ホールと北九州市漫画ミュージアムと3館連携で開催した「ミュージックギャラクシー999～音楽の銀河へようこそ～」などを行った。
- また、「支える」では市民の文化活動の支援を貸館として行い、「提案する劇場」として、使用申込みから当日までのケア、催し内容へのアドバイス、施設の安全性や非常時対応の説明等、使用者が安心して催しを開催できるように総合的にサポートした。
- 貸館事業では、市主催事業、財団主催事業も含め、公演や講演など、計242事業が開催された。公演・講演数は339回、入場者数は157,432人となっている。

図表1-5 北九州芸術劇場 自主事業実績一覧(15年度)

1 創造事業

	公演名	会場	公演日	公演数	設定席数	入場者数	入場率
1	北九州芸術劇場プロデュース/市民参加企画 合唱物語「わたしの青い鳥2015」	中劇場	6/28	1	583	443	76%
2	女性の眼と句で綴る演劇「花、盛ル。」	小劇場	8/29・30	3	356	284	80%
3	北九州芸術劇場リーディングセッションvol.26「会議」	小劇場	3/5～7	3	306	278	91%
4	北九州芸術劇場プロデュース「彼の地」北九州公演	小劇場	2/2～7	8	1,048	790	75%
	北九州芸術劇場プロデュース「彼の地」東京公演	あうるすぽっと	2/12～14	3	771	706	92%
	計			11	1,819	1,496	82%
5	北九州芸術劇場+市民共同創作リーディング 「Re:北九州の記憶」	小劇場	12/19・20	2	252	222	88%
創造事業 小計				20	3,316	2,723	82%

2 公演事業

	公演名	会場	公演日	公演数	設定席数	入場者数	入場率
1	NODA・MAP 第19回公演「エッグ」	大ホール	4/16～19	5	6,275	6,218	99%
2	「私のエディット」～松坂慶子が語るエディット・ピアフの物語～	中劇場	6/14	1	439	401	91%
3	戦後70年平和祈念「この子たちの夏」 ～1945・ヒロシマナガサキ	中劇場	7/5	1	452	351	78%
4	平成27年度公共ホール現代ダンス活性化事業 東野祥子ダンス公演「世界は不在の中のひとつの小さな星では ないか?」～“A World inside the Absence”～	小劇場	7/12	1	78	72	92%
5	ラッパ屋第41回公演「ポンコツ大学探検部」	中劇場	7/12	1	598	357	60%
6	「サティさん」“Pan Satic”	小劇場	7/18・19	2	200	178	89%
7	3軒茶屋婦人会6「ス・ワ・ン」	中劇場	7/25・26	2	1,192	911	76%
8	子供のためのシェイクスピア「ロミオとジュリエット」	中劇場	7/30	1	438	346	79%
9	「マクベス ～One-Man MACBETH～」	中劇場	8/28～30	4	2,712	2,445	90%
10	ダンスダイブウィーク						
	DANCE 20min	北九州まなびと ESDステーション	9/5・6	2	120	114	95%
	大植真太郎ワークショップ 野外パフォーマンス	小倉駅 リバーウォーク北九州	9/13	1	-	700	-
	北九州芸術劇場×北九州市障害者芸術祭フラッシュモブ 「モブればあなたもドロップシャワー！」	リバーウォーク北九州	9/13	1	-	358	-
	夕暮れダンス 「野外角打ち。ちよいとごめんよ、じゃまするよ。」	勝山橋ひろば 特設会場	9/18～20	3	660	610	92%
	ショーケース	小劇場	9/19・20	2	207	195	94%
	【関連企画】大植真太郎×森山未來×平原慎太郎「談ス」 <後掲:3提携等事業(3)参照>	中劇場	12/12・13	2	1,266	1,005	79%
計			11	2,253	2,982 1,924	85%	
11	KERA・MAP#006「グッドバイ」	中劇場	10/3・4	3	1,908	1,810	95%
12	バットシエバ舞踊団「DECADANCE-デカダンス」	大ホール	10/11	1	765	637	83%
13	こまつ座「十一ぴきのネコ」	中劇場	11/7・8	2	888	817	92%
14	音楽劇「レミング～世界の涯まで連れてって～」	大ホール	12/26・27	2	1,506	1,052	70%
15	「ツインズ」	大ホール	1/16・17	3	3,594	2,909	81%
16	「熱海殺人事件」	中劇場	1/16・17	3	1,881	1,714	91%
17	山海塾「金柑少年」	中劇場	2/7	1	535	443	83%
18	二兎社「書く女」	中劇場	2/20・21	2	1,342	1,263	94%
19	劇トツ×20分 2016	小劇場	3/13	1	162	151	93%
20	NODA・MAP第20回公演「逆鱗」(3/31～4/3 5公演のうち1公演)	大ホール	3/31	1	1,260	1,239	98%
公演事業(北九州舞台芸術フェスティバルを除く) 小計				48	28,478	26,296 25,238	89%

(※入場者数の上段は各事業の入場者数の計、下段は設定席数のある事業のみの計。入場率は、設定席数のない事業を除いて算出)

〈北九州舞台芸術フェスティバル「北九州芸術工業地帯」〉

1	浅田政志とつくる『ドラマチックロケーション！@門司港』								
	撮影ワークショップ	門司港近郊	8/23	1	-	11	-	-	
	写真展示@門司港駅	門司港駅構内	9/19～11/29	常設展示		(15,000)	-	-	
	写真展示@リバーウォーク	リバーウォーク北九州 5階アートライブラリー	2/8～3/20	常設展示		338	-	-	
計				1	-	349	-	-	
2	北九州モノレール公演『燈の正体』		北九州モノレール内	11/13～15	3	342	276	81%	
3	時と風の博物館×鏝プロジェクト ～トキすぎでカゼふくと鏝ウマレ、鏝とともに北九州を遺す～ 企画展「北九州のsabi展」北九州市 時と風の博物館(Webサイト) 「鏝ZINE」(アート本の配布)		北九州 市内各所	1/7～31 2月下旬 ～配布	Webサイト運営とアート本配布 (出展数 37作品)				
4	演劇的工場夜景ツアー「ひかりとけむり」		「がんりう」船上	3/11～13	3	162	137	85%	
5	劇トツ×20分 2016<再掲:2公演事業(19)参照>		小劇場	3/13	1	151	151	100%	
6	リバ！ダンスジャック！								
	「キッズWS」	リバーウォーク北九州 エナジーコート	3/19	1	-	9	-	-	
	「参加者WS」	創造工房	3/19・20	2	-	160	-	-	
	「本番」	リバーウォーク北九州	3/20	1	-	3,152	-	-	
計				4	-	3,321	-	-	
7	【フリンジプログラム】								
	踊って!!京町～世界に一つだけの京町銀天街オリジナルダンス～		京町銀天街アーケード	11/22	1	-	1,300	-	-
	『ぶらり♪まちなか劇さんぽ ～まちなかで気軽に楽しめる演劇月間～』(11劇団による公演)		小倉北区内店舗等	2/6～3/6	35	770	610	79%	
	『ミュージックエクスプレス999』～モルレールスペシャルライブ～ <後掲:6連携事業(3)参照>		北九州モノレール内	2/12	1	62	66	106%	
	『ミュージックギャラクシー』～音楽銀河鉄道999に乗って!!～ <後掲:6連携事業(3)参照>		響ホール	2/14	1	348	249	72%	
計				38	1,180	2,225	189%		
北九州舞台芸術フェスティバル 小計(※入場者数の上段は各事業の入場者数の計、下段は設定席数のある事業のみの計。入場率は、設定席数のない事業を除いて算出)					50	1,835	6,459	81%	
							1,489		

公演事業 小計				97	30,162	26,576	88%
---------	--	--	--	----	--------	--------	-----

※『ドラマチックロケーション！@門司港』門司港駅における写真展示の入場者数は参考値につき、計に含めていない。

※客席数を定めていないプログラムは、入場率の算定には含めていない。

※劇トツ×20分 2016 再掲分は公演事業小計より除く。

3 提携等事業

	公演名	会場	公演日	公演数	設定席数	入場者数	入場率
1	「No.9-不滅の旋律-」	大ホール	11/13～15	4	4,980	4,869	98%
2	【協力公演】パルコ・プロデュース公演「オレアナ」	中劇場	12/5・6	2	1,400	985	70%
3	大植慎太郎×森山未来×平原慎太郎「談ス」	中劇場	12/12・13	2	1,266	1,005	79%
4	南河内万歳一座「似世物小屋」	小劇場	12/12・13	2	200	147	74%
5	小林賢太郎演劇作品「うるう」	中劇場	1/9～11	4	2,444	1,989	81%
6	平成26年度劇トツ優勝劇団公演 不思議少年「いいひと」	小劇場	1/22～24	4	356	265	74%
7	ハイバイ「夫婦」	小劇場	2/13・14	3	408	398	98%
8	【共催事業】地域創造ステージラボ 北九州セッション	中劇場・小劇場・創 造工房	2/16～19	1	-	51	-
9	田上バル「合唱曲第58番」	小劇場	2/27・28	2	228	209	92%
計				24	11,282	9,918	88%

小計(創造・公演・提携等事業)(※入場者数の上段は各事業の入場者数の計、下段は設定席数のある事業のみの計。入場率は、設定席数のない事業を除いて算出)					139	43,494	44,240	88%
							38,212	

※大植慎太郎×森山未来×平原慎太郎「談ス」および劇トツ×20分 2016 再掲分は除く。

4 学芸事業

	事業名	会場	実施月	回数	対象	受講(入場)者数	参加延人数・入場者数
1	北九州芸術劇場×北九州市立美術館分館vol.3「画狂老人@北斎」 シルバー人材センターでくすぶっていた老マンガ家がフランスで火がつき「21世紀の北斎」と呼ばれ世界から賞賛されるようになった理由について。	北九州市立美術館分館	5/14～17	8	一般	461	461
2	夏休み！子どもの劇場体験!!2015 [ワークショップ]	小劇場・創造工房他	7/27～30	4	小学生	29	116
	[ミニ発表会]	小劇場	7/30	1	一般	91	91
	計			5		120	207
3	高校生[的]シアター 高校生のための演劇塾2015	大ホール・中劇場・小劇場・創造工房	8/3～5	3	高校生・顧問	88	264
	戯曲講座	会議室	6/13, 20, 27 7/4	4		4	16
	ワークショップ マイムワークショップ ～身体からのアプローチ～	創造工房	11/28	1		11	11
	ワークショップ 演劇ワークショップ ～戯曲からのアプローチ～	創造工房	12/26・27	2		23	45
	高校生[的]チケット 大ホール・中劇場の公演・・・1,500円 小劇場の公演・・・1,000円	大ホール・中劇場・小劇場	対象公演				
	計			10		126	336
4	劇場塾2015 オープンレクチャーvol.1～3	小劇場・中劇場・創造工房 ほか	9/12, 11/16, 2/23	3	一般・学生・ホール関係者等	132	132
	地域文化の担い手育成クラス/地域文化コーディネーターコース		11/19～21	3		12	36
	地域文化の担い手育成クラス/ワークショッププログラム作成コース		11/19～22	4		6	24
	劇場基礎クラス		12/1・2	2		17	34
	計			12		167	226
5	シアラボ [誰にでも書ける、あなたにしか書けない戯曲講座]	創造工房	9/5・6	2	一般	60	60
	[本格的戯曲講座]	会議室	9月～翌1月	8		4	31
	計			10		64	91
6	北九州芸術劇場 創造工房「演カツ!!」 稽古場公演 Act.base「蝶のごとく」	創造工房	11/14・15	3	一般	91	91
7	アーティスト往来プログラム 講師: セレノグラフィカ 障害者芸術祭 ワークショップ	ウエルとばた	8/8・9, 9/12・13 11/14・15・28・29	8	一般	21	168
	障害者芸術祭 発表	ウエルとばた	11/29	1	一般	2,000	2,000
	子ども・若者応援センターYELL ワークショップ	ユースステーション黒崎	8/12, 19 9/10・11	4	一般	13	45
	あゆみの会ワークショップ	玄海青年の家	8/23	1	一般	45	45
	講師: 田村一行 アウトリーチ	白野江小学校	10/27・28	2	小学生	22	43
	アウトリーチ	南小倉小学校	10/29・30	2	小学生	54	107
	アウトリーチ	埋蔵文化財センター	10/31	1	一般	25	25
	講師: 田上豊、有門正太郎 アウトリーチ	子ども・若者応援センターYELL	11/18, 12/2, 3/3	3	一般	12	37
	講師: 田上豊 アウトリーチ	高見中学校	11/24～26	3	中学生	55	158
	アウトリーチ	萩ヶ丘小学校	11/30・ 12/1	2	小学生	60	119
	講師: 有門正太郎 アウトリーチ	祝町小学校	10/5・6	2	小学4年生	20	40
	アウトリーチ	永犬丸小学校	11/27, 30 12/1	3	小学3年生	74	222
		計			32		2,401
8	東筑紫学園高等学校演劇類型との連携事業 座学講座	東筑紫学園高等学校	11/11, 12/2, 12/16, 1/20	4	東筑紫学園 高校生	72	72
学芸事業(創造・公演(アウトリーチ&ワークショップ等)を除く) 小計				84		3,502	4,493

〈創造・公演(アウトリーチ&ワークショップ等)参加等 その他学芸事業〉

1	合唱物語「わたしの青い鳥2015」コーラスワークショップ	中劇場・小劇場	5/15～6/28	15	小学生	77	1,033
	アウトリーチ	子育てふれあい 交流プラザ元気のもり	5/29	1	～一般	92	92
	計			16		169	1,125
2	劇場ミニ講座「英語で知る北九州芸術劇場」	アートライブラリー	5/29	1	一般	11	11
3	Re:北九州の記憶 戯曲講座	会議室	6/30, 7/1・3, 7/13, 8/11, 9/1, 3, 20	8	地域の若 手作家	5	40
4	公共ホール現代ダンス活性化事業 東野祥子ダンスアウトリーチ	東筑紫学園高等学校 コボラキャンパスネットワーク (北九州市立大学) 戸畑工業高校	7/7・8	3	高校生、親子 大学生等	91	91
	東野祥子ダンスワークショップ	創造工房	7/7, 9～12	5	高校生・ 一般	13	90
	計			8		104	181
ダンスダイブウィーク							
5	開幕特別企画「ダンスの魅力を知ろう」講座	アートライブラリー	9/6	1	一般	11	11
	大植真太郎 ワークショップ	小劇場	9/9～13	5	一般	12	83
	「野角打ち。ちよいとごめんよ、じゃまするよ」事前稽古	創造工房	9/18	1	一般	15	15
	門司港揺らぎの芸術祭「夕暮れダンス『ちよいとごめんよ、じゃまするよ。カモン、門司港!』」事前稽古	旧大連航路上屋	10/7	1	一般	9	9
	門司港揺らぎの芸術祭「夕暮れダンス『ちよいとごめんよ、じゃまするよ。カモン、門司港!』」本番	門司区ろぼた焼き 一番太鼓	10/24	1	一般	189	189
	計			9		236	307
おさんぼわが町							
6	私のまちを楽しもう! 門司港編(市広報室受託事業)	錦町公民館	10/3	1	一般	32	32
	私のまちを楽しもう! 枝光編(〃)	枝光本町商店街 アイアンタワー	10/24	1	一般	25	25
	有門正太郎 学生対象ワークショップ(〃)	中屋興産ビル	11/29	1	学生	40	52
	計			3		97	109
7	座・高円寺 劇場創造アカデミー ワークショップ(協力事業)	創造工房	10/3	1	一般	13	13
8	バットシェバ舞踊団 GAGAワークショップ GAGAピープル	創造工房	10/9	1	一般	22	22
9	バットシェバ舞踊団 GAGAワークショップ GAGAダンサー	創造工房	10/9	1	ダンサー	23	23
10	こまつ座「十一びきのネコ」絵本朗読会&ネコ面を作ろう!	アートライブラリー	10/18	1	子ども・一般	14	14
女性の眼と句で綴る演劇							
11	北九州芸術劇場×アヴァンティ 働く女性のための演劇体験ワークショップ	創造工房	8/1	1	一般	8	8
	公開選句ライブ	北九州市立文学館	12/13	1	一般	31	31
	計			2		39	39
創造・公演(アウトリーチ&ワークショップ等) 小計				51		733	1,884
学芸事業 小計				135		4,235	6,377

5 支援事業

	公演名	会場	公演日	公演数	設定席数	入場者数	入場率
1	シアターラボ<再掲:4学芸事業(5)参照>	創造工房 ・会議室	9/5・6 9月～翌1月	10	-	91	-
2	ダンスダイブウィーク<再掲:2公演事業(10)参照>	市内各所・小劇場 ・中劇場など	9月～12月	11	2,253	2,982	85%
3	北九州芸術劇場 創造工房 「演カツ!!」稽古場公演 Act.base「蝶のごとく」<再掲:4学芸事業(6)参照>	創造工房	11/14・15	3	150	91	61%
4	劇トツ×20分 2016<再掲:2公演事業(19)参照>	小劇場	3/13	1	162	151	93%
5	平成27年度北九州舞台芸術フェスティバル 「北九州芸術工業地帯」<再掲:2公演事業参照>	市内各所・小劇場 響ホールなど	9月～翌3月	50	1,835	6,459	81%
支援事業 小計(※入場者数の上段は各事業の入場者数の計、下段は設定席数のある事業のみの計。入場率は、設定席数のない事業を除いて算出)				75	4,400	9,774 3,655	83%

6 連携事業

	公演名	会場	公演日	公演数	設定席数	入場者数	入場率
1	北九州芸術劇場×北九州市立美術館分館vol.3「画狂老人@北斎」 シルバー人材センターでくすぶっていた老マンガ家がフランスで火が つき「21世紀の北斎」と呼ばれ世界から賞賛されるようになった理由に ついて。	北九州市立 美術館分館	5/14～17	8	480	461	96%
2	ワンコインコンサートvol.1 「白石光隆～ピアノと出会う秋の入り口～」	大ホール	8/26	1	500	309	62%
	ワンコインコンサートvol.2 「デュオ・プリマとすごすお昼のひとつき」	大ホール	12/9	1	500	311	62%
	計			2	1,000	620	62%
3	ミュージックギャラクシー999～音楽の銀河へようこそ～ 響ホール×北九州芸術劇場×北九州市漫画ミュージアム 3館連携事業	市内小学校	2/10	1	-	36	-
		あるあるCity B1スタジオ	2/11	1	-	31	-
		北九州モルルール	2/12	1	62	66	106%
		響ホール	2/14	1	348	249	72%
	計			4	410	382	-
						315	77%
連携事業 小計 (※入場者数の上段は各事業の入場者数の計、下段は設定席数のある事業のみの 計。入場率は、設定席数のない事業を除いて算出)				14	1,890	1,463	74%
						1,396	

総 合 計	※再掲の事業(支援事業は全て)は総計には含まず ※学芸事業は延人数ではなく参加者・入場者実数で計上 ※入場率は設定席数のない事業を除いて算出	278	44,494	49,162	87%
				38,781	

⑤利用者数、利用件数

- 観客だけではなく、主催事業の出演者や関係者、貸館事業の利用者などを含めた北九州芸術劇場の利用者数、利用件数は図表1-6のとおりで、15年度には自主事業、貸館事業合わせて1,824件の利用があり、利用者数は約29万人となっている。そのうち、自主事業での利用件数は640件、利用者数は約5万5,000人。貸館事業での利用件数は1,184件、利用者数は約23万5,000人である。
- 前年度と比べて、自主事業では利用件数が減少した一方で利用者数は増加し、貸館事業では利用件数、利用者数がともに増加している(前年度は改修工事に伴う2カ月間の全館休館があった)。

図表1-6 利用者数、利用件数(03年度～15年度)

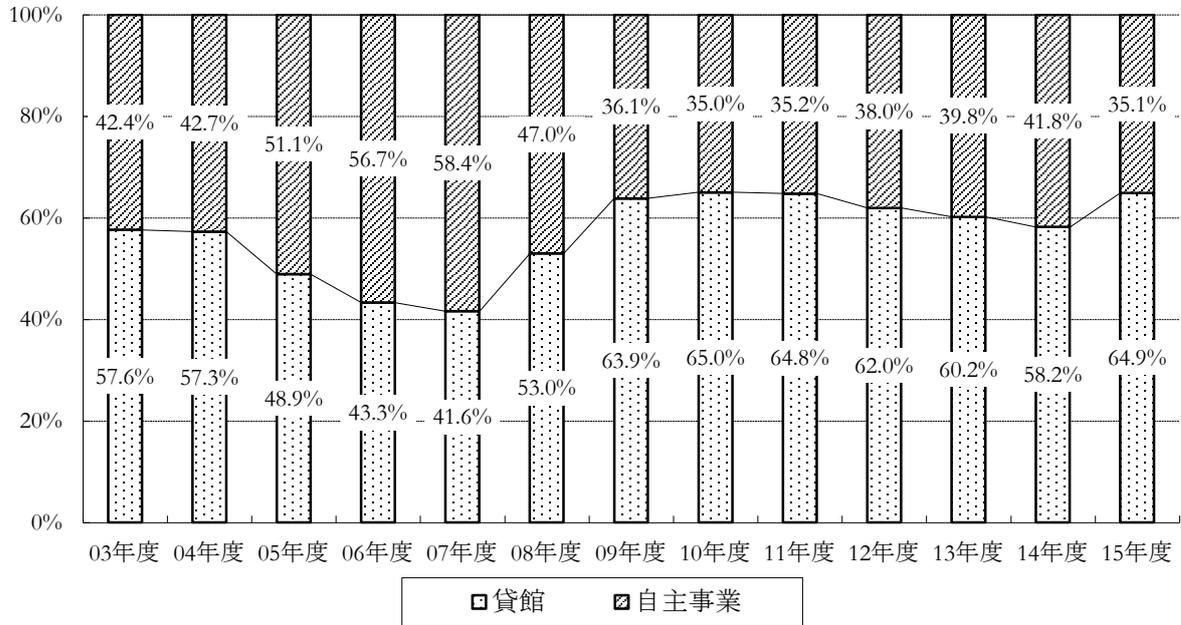
	大ホール						中劇場					
	自主事業		貸館事業		合計		自主事業		貸館事業		合計	
	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数
2003年度	23,937	66	93,100	205	117,037	271	22,890	143	41,524	145	64,414	288
2004年度	22,445	87	175,273	482	197,718	569	29,970	242	71,901	325	101,871	567
2005年度	13,034	102	160,673	467	173,707	569	33,153	289	55,644	229	88,797	518
2006年度	26,027	139	134,966	382	160,993	521	29,814	298	55,050	244	84,864	542
2007年度	34,015	186	132,444	381	166,459	567	29,182	325	58,491	237	87,673	562
第1期 平均	23,892	116	139,291	383	163,183	499	29,002	259	56,522	236	85,524	495
2008年度	17,877	134	133,686	365	151,563	499	17,699	217	77,324	327	95,023	544
2009年度	7,625	64	138,611	415	146,236	479	22,087	213	86,166	369	108,253	582
2010年度	21,429	104	155,767	441	177,196	545	16,140	159	88,614	367	104,754	526
2011年度	2,979	25	163,922	503	166,901	528	20,838	230	70,958	319	91,796	549
2012年度	10,696	80	139,621	470	150,317	550	18,158	197	75,782	340	93,940	537
第2期 平均	12,121	81	146,321	439	158,443	520	18,984	203	79,769	344	98,753	548
2013年度	23,017	131	131,814	452	154,831	583	15,696	158	83,956	379	99,652	537
2014年度	19,526	110	121,017	383	140,543	493	10,645	175	69,397	325	80,042	500
2015年度	25,106	139	133,240	450	158,346	589	19,581	177	81,557	424	101,138	601
累計	247,713	1,367	1,814,134	5,396	2,061,847	6,763	285,853	2,823	916,364	4,030	1,202,217	6,853

	小劇場						利用者数・利用件数の計					
	自主事業		貸館事業		合計		自主事業		貸館事業		合計	
	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数
2003年度	7,402	121	10,769	99	18,171	220	54,229	330	145,393	449	199,622	779
2004年度	16,996	404	13,626	176	30,622	580	69,411	733	260,800	983	330,211	1,716
2005年度	14,592	471	10,478	130	25,070	601	60,779	862	226,795	826	287,574	1,688
2006年度	15,651	573	8,853	146	24,504	719	71,492	1,010	198,869	772	270,361	1,782
2007年度	17,837	564	10,772	148	28,609	712	81,034	1,075	201,707	766	282,741	1,841
第1期 平均	14,496	427	10,900	140	25,395	566	67,389	802	206,713	759	274,102	1,561
2008年度	14,661	462	17,281	226	31,942	688	50,237	813	228,291	918	278,528	1,731
2009年度	12,873	318	18,186	267	31,059	585	42,585	595	242,963	1,051	285,548	1,646
2010年度	12,457	316	16,967	269	29,424	585	50,026	579	261,348	1,077	311,374	1,656
2011年度	11,947	337	19,011	268	30,958	605	35,764	592	253,891	1,090	289,655	1,682
2012年度	12,954	368	18,014	241	30,968	609	41,808	645	233,417	1,051	275,225	1,696
第2期 平均	12,978	360	17,892	254	30,870	614	44,084	645	243,982	1,037	288,066	1,682
2013年度	15,563	399	13,088	210	28,651	609	54,276	688	228,858	1,041	283,134	1,729
2014年度	12,726	359	16,140	189	28,866	548	42,897	644	206,554	897	249,451	1,541
2015年度	10,555	324	19,839	310	30,394	634	55,242	640	234,636	1,184	289,878	1,824
累計	176,214	5,016	193,024	2,679	369,238	7,695	709,780	9,206	2,923,522	12,105	3,633,302	21,311

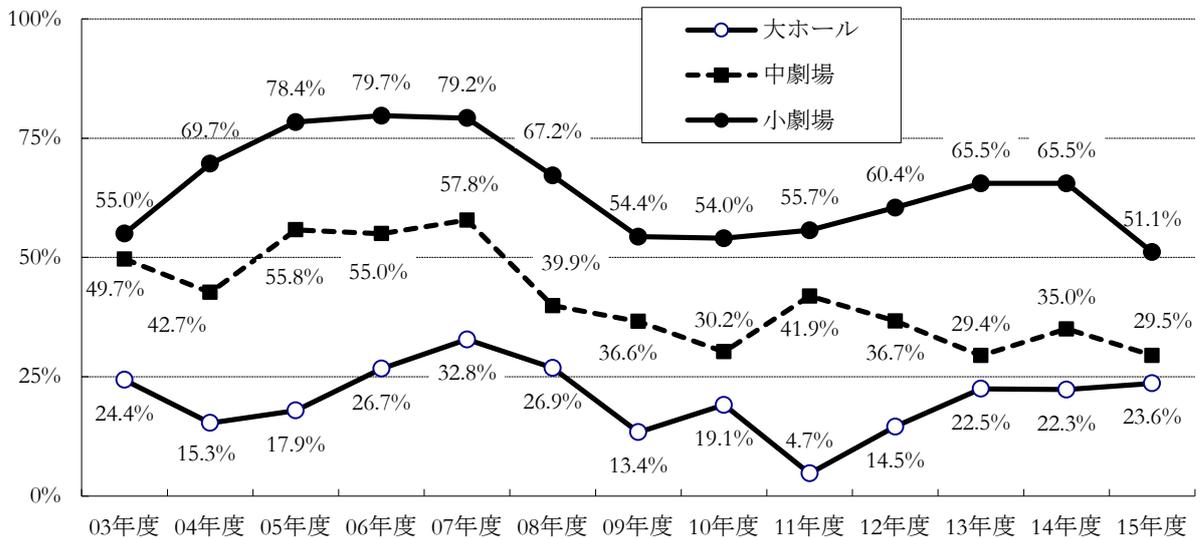
- 自主事業と貸館事業の比率を利用件数ベースで見ると、15年度は、自主事業が35.1%、貸館事業が64.9%と、貸館事業の利用割合が高くなっている(図表1-7)。
- ホールの規模別にみると、例年は大ホールで貸館事業での利用が多く、中劇場と小劇場で自主事業の利用が多くなっているが、15年度は大ホール、中劇場ともに自主事業の利用は3割以下で小劇場が5割となっている。(図表1-8)。
- 小劇場の自主事業比率が高いのは、創造事業・創造参加の場として、中劇場では幅広い

観客層を対象とした人気の高い公演事業に活用しているためと考えられる。また、2013年度以降の第3期からは、自主事業が劇場から地域に出て展開する企画が増加しており、その分、劇場は貸館事業に利用されることが増加していると考えられる。

図表1-7 自主事業・貸館事業比率 [件数ベース] (03年度～15年度)



図表1-8 ホール別の自主事業比率 [件数ベース] (03年度～15年度)



(3) 施設稼働率

- 北九州芸術劇場の15年度の施設稼働率は、大ホールが78.9%、中劇場が78.1%、小劇場が84.7%である(図表1-9)。
- 3つのホールの稼働率は、開館年の03年度を除き、約70～80%で推移しており、2015年度の(一財)地域創造の悉皆調査結果(2014年9月1日時点でのデータ。専用ホールのうち政令市施設の平均稼働率は70.3%)と比較して高い水準にある。
- 施設の稼働率について第1期と第2期を比較すると、中劇場の稼働率は第2期が第1期を上回っているが、大ホールと小劇場では第2期が第1期をやや下回っている。ただし、限られたスタッフ体制のもとでの施設利用の安全性を考慮すると、稼働率が100%に近づくことが望ましいわけではない。

図表1-9 北九州芸術劇場の稼働率(03年度～15年度)

	大ホール			中劇場			小劇場		
	公演日数	利用対象日数	稼働率	公演日数	利用対象日数	稼働率	公演日数	利用対象日数	稼働率
2003年度	99	103	96.1%	100	107	93.5%	83	86	96.5%
2004年度	219	277	79.1%	207	283	73.1%	220	304	72.4%
2005年度	223	281	79.4%	189	276	68.5%	222	297	74.7%
2006年度	202	285	70.9%	199	282	70.6%	254	306	83.0%
2007年度	220	290	75.9%	205	289	70.9%	257	300	85.7%
第1期 平均	193	247	80.3%	180	247	75.3%	207	259	82.5%
2008年度	192	257	74.7%	203	260	78.1%	249	295	84.4%
2009年度	194	262	74.0%	212	260	81.5%	221	282	78.4%
2010年度	215	261	82.4%	197	267	73.8%	225	285	78.9%
2011年度	211	274	77.0%	202	273	74.0%	234	299	78.3%
2012年度	217	264	82.2%	204	276	73.9%	237	298	79.5%
第2期 平均	206	264	78.1%	204	267	76.3%	233	292	79.9%
2013年度	226	252	89.7%	204	244	83.6%	229	278	82.4%
2014年度	192	228	84.2%	188	231	81.4%	208	245	84.9%
2015年度	228	289	78.9%	225	288	78.1%	244	288	84.7%
累計	2,638	3,323	79.4%	2,535	3,336	76.0%	2,883	3,563	80.9%

注) 稼働率は「公演日数/利用対象日数」、利用対象日数は保守点検日を除いたもの

2. 事業費の内訳と収支

次に、北九州芸術劇場の事業費の財源内訳と収支について、過去12ケ年と同様の分析を行った。

(1) 事業費の財源と事業支出の内訳

- 北九州芸術劇場の15年度の事業費は約2億6,000万円となっている。改修工事に伴う2カ月間の全館休館があった前年度に比べて約1.4倍となっている。
- 財源内訳をみると、チケット収入が約1億5,300万円と全体の59.2%、市の補助金が約5,800万円と22.4%、文化庁と(一財)地域創造による外部資金が約4,700万円と18.3%となっている。事業費の財源のうち市補助金の割合は2010年度に次いで少なく、チケット収入と外部資金で事業費の約8割(77.5%)をカバーしている(図表1-10)。
- 全国平均の試算値*と比較すると、15年度のチケット収入の割合は平均を上回っている。全国平均の試算値での「設置者からの補助金・委託費」(52.7%)が、北九州芸術劇場における03～15年度累計のチケット収入の割合(52.1%)とほぼ同じ比率となっている。

※(一財)地域創造の悉皆調査結果(2014年)から、指定管理施設の事業費の財源内訳の平均金額を試算すると、「設置者からの収入」が67.0%、「事業収入」が11.7%、「設置者以外からの助成金・協賛金・寄付金」が2.1%である。

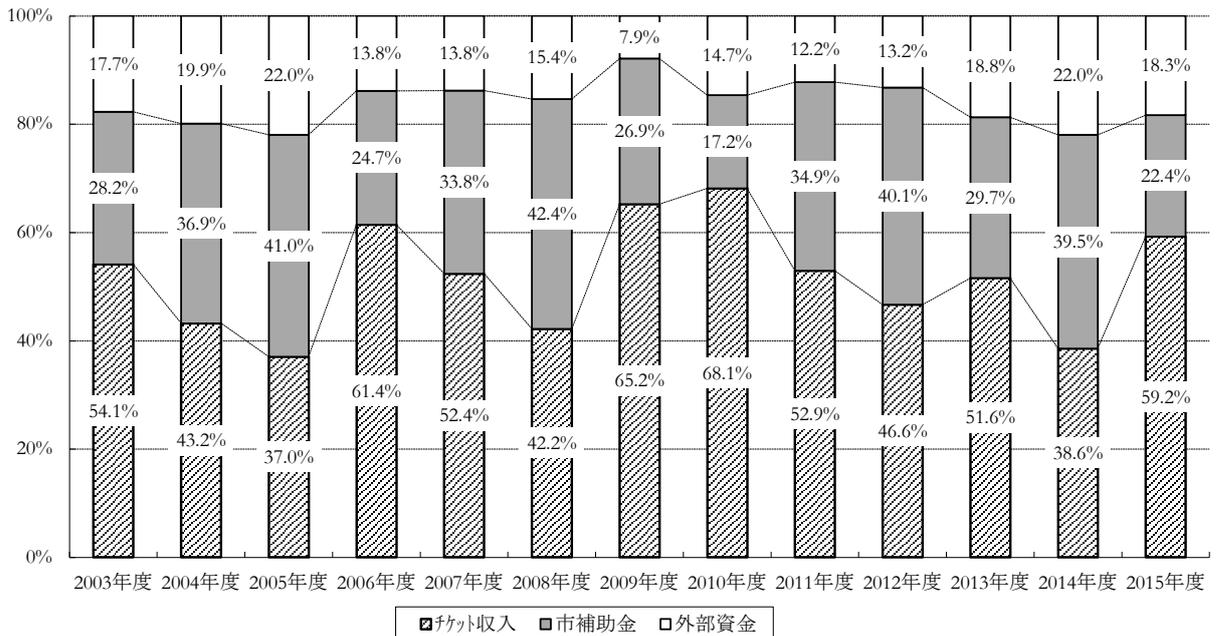
※指定管理施設の平成25年度決算金額平均値の「収入」欄から、それぞれの内訳比率を算出したため、「設置者からの収入」には人件費や運営管理費の財源でもある指定管理料が含まれている。

図表1-10 事業費の財源内訳(03年度～15年度)

上段:金額(千円)／下段:割合(%)

	チケット収入	市補助金	外部資金	(内訳)				計
				文化庁	地域創造	その他助成金	協賛金	
2003年度	215,389 54.1%	112,225 28.2%	70,700 17.7%	49,000 12.3%	10,000 2.5%	11,700 2.9%	0 0.0%	398,314 100.0%
2004年度	145,429 43.2%	124,198 36.9%	67,000 19.9%	49,000 14.6%	18,000 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	336,627 100.0%
2005年度	110,060 37.0%	121,965 41.0%	65,295 22.0%	45,795 15.4%	19,500 6.6%	0 0.0%	0 0.0%	297,320 100.0%
2006年度	263,901 61.4%	106,363 24.7%	59,517 13.8%	45,800 10.7%	13,717 3.2%	0 0.0%	0 0.0%	429,781 100.0%
2007年度	197,355 52.4%	127,456 33.8%	52,051 13.8%	36,600 9.7%	15,451 4.1%	0 0.0%	0 0.0%	376,862 100.0%
第1期 累計	932,134 50.7%	592,207 32.2%	314,563 17.1%	226,195 12.3%	76,668 4.2%	11,700 0.6%	0 0.0%	1,838,904 100.0%
2008年度	135,979 42.2%	136,854 42.4%	49,579 15.4%	27,400 8.5%	22,179 6.9%	0 0.0%	0 0.0%	322,412 100.0%
2009年度	202,004 65.2%	83,331 26.9%	24,432 7.9%	18,000 5.8%	6,432 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	309,767 100.0%
2010年度	149,051 68.1%	37,726 17.2%	32,072 14.7%	11,000 5.0%	10,572 4.8%	0 0.0%	10,500 4.8%	218,849 100.0%
2011年度	123,355 52.9%	81,302 34.9%	28,509 12.2%	26,902 11.5%	1,607 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	233,166 100.0%
2012年度	99,616 46.6%	85,741 40.1%	28,262 13.2%	25,349 11.9%	2,165 1.0%	748 0.4%	0 0.0%	213,619 100.0%
第2期 累計	710,005 54.7%	424,954 32.7%	162,854 12.5%	108,651 8.4%	42,955 3.3%	748 0.1%	10,500 0.8%	1,297,813 100.0%
2013年度	111,886 51.6%	64,354 29.7%	40,693 18.8%	33,965 15.7%	6,728 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	216,933 100.0%
2014年度	68,803 38.6%	70,401 39.5%	39,222 22.0%	30,552 17.1%	8,670 4.9%	0 0.0%	0 0.0%	178,426 100.0%
2015年度	153,107 59.2%	58,001 22.4%	47,376 18.3%	36,236 14.0%	7,707 3.0%	3,433 1.3%	0 0.0%	258,484 100.0%
累計	1,975,935 52.1%	1,209,917 31.9%	604,708 16.0%	435,599 11.5%	142,728 3.8%	15,881 0.4%	10,500 0.3%	3,790,560 100.0%

図表1-11 事業費の比率(03年度～15年度)



(2) 事業収支

- 15年度の事業費について、収入の予算額と決算額の差異は事業収入で約210万円の減収、補助金等収入は約1,500万円の減収となっている。15年度は事業規模が縮小した結果、収入も減少した形になった。
- 劇場の運営、事業の実施にあたって、経費節減の努力を行っていることとともに、積極的な営業努力を行なっていることがうかがえる。

図表1-12 事業収入、補助金等収入の予算額・決算額(03年度～15年度)

上段:金額(千円)／下段:割合(%)

	事業収入			補助金等収入		
	予算額	決算額	差異	予算額	決算額	差異
2003年度	194,300 48.6%	215,389 54.1%	△ 21,089 —	205,700 51.4%	182,925 45.9%	22,775 —
2004年度	146,346 41.1%	145,429 43.2%	917 —	209,300 58.9%	191,198 56.8%	18,102 —
2005年度	130,500 37.3%	110,060 37.0%	20,440 —	219,500 62.7%	187,260 63.0%	32,240 —
2006年度	265,709 53.9%	263,901 61.4%	1,808 —	227,531 46.1%	165,880 38.6%	61,651 —
2007年度	212,173 50.2%	197,355 52.4%	14,818 —	210,800 49.8%	179,507 47.6%	31,293 —
第1期 累計	949,028 46.9%	932,134 50.7%	16,894 —	1,072,831 53.1%	906,770 49.3%	166,061 —
2008年度	269,172 54.1%	135,979 42.2%	133,193 —	228,412 45.9%	186,433 57.8%	41,979 —
2009年度	157,949 44.7%	202,004 65.2%	△ 44,055 —	195,470 55.3%	107,763 34.8%	87,707 —
2010年度	110,503 43.9%	149,051 68.1%	△ 38,548 —	141,200 56.1%	69,798 31.9%	71,402 —
2011年度	140,284 45.8%	123,355 52.9%	16,929 —	166,136 54.2%	109,811 47.1%	56,325 —
2012年度	101,983 38.6%	99,616 46.6%	2,367 —	162,000 61.4%	114,003 53.4%	47,997 —
第2期 累計	779,891 46.6%	710,005 54.7%	69,886 —	893,218 53.4%	587,808 45.3%	305,410 —
2013年度	84,322 36.7%	111,886 51.6%	△ 27,564 —	145,632 63.3%	105,047 48.4%	40,585 —
2014年度	46,545 27.2%	68,803 43.5%	△ 22,258 —	124,423 72.8%	89,336 56.5%	35,087 —
2015年度	155,232 56.2%	153,107 59.2%	2,125 —	120,780 43.8%	105,377 40.8%	15,403 —
累計	2,015,018 46.1%	1,975,935 52.4%	39,083 —	2,356,884 53.9%	1,794,338 47.6%	562,546 —

補助金等収入における市補助金と外部資金の内訳(千円)

	市補助金			外部資金		
	予算額	決算額	差異	予算額	決算額	差異
2003年度	135,000	112,225	22,775	70,700	70,700	0
2004年度	135,000	124,198	10,802	74,300	67,000	7,300
2005年度	151,000	121,965	29,035	68,500	65,295	3,205
2006年度	145,000	106,363	38,637	82,531	59,517	23,014
2007年度	149,000	127,456	21,544	61,800	52,051	9,749
第1期 平均	143,000	118,441	24,559	71,566	62,913	8,654
2008年度	149,000	136,854	12,146	79,412	49,579	29,833
2009年度	135,000	83,331	51,669	60,470	24,432	36,038
2010年度	108,000	37,726	70,274	33,200	32,072	1,128
2011年度	128,000	81,302	46,698	38,136	28,509	9,627
2012年度	128,000	85,741	42,259	34,000	28,262	5,738
第2期 平均	129,600	84,991	44,609	49,044	32,571	16,473
2013年度	111,000	64,354	46,646	34,632	40,693	△ 6,061
2014年度	89,284	50,114	39,170	35,139	39,222	△ 4,083
2015年度	82,588	58,001	24,587	38,192	47,376	△ 9,184
累計	1,645,872	1,189,630	456,242	711,012	604,708	106,304

第2章 観客の特性と観客からみた評価

本章では、開館以来継続的に実施している、主催事業および提携・協力事業の公演に会場した観客に対するアンケート調査の結果から、2015年度の観客の特性や、観客からみた北九州芸術劇場に対する評価を整理、分析した。

1. 観客調査の実施要領

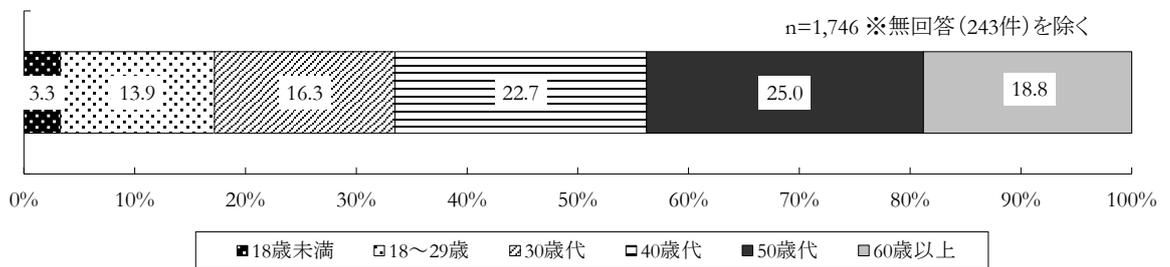
- 調査の対象: 2015年度に実施した主催事業および提携・協力事業公演 34公演
- 配布・回収方法: 各公演初日の開演時に配布、終演時に回収
- 実施時期: 2015年4月16日～2016年3月31日
- 有効回答数(回収率): 1,989件、回収率: 14.1% (配布数: 14,116件)

2. 観客調査の結果概要

(1) 観客(アンケート回答者)の属性(p.資-10～19)

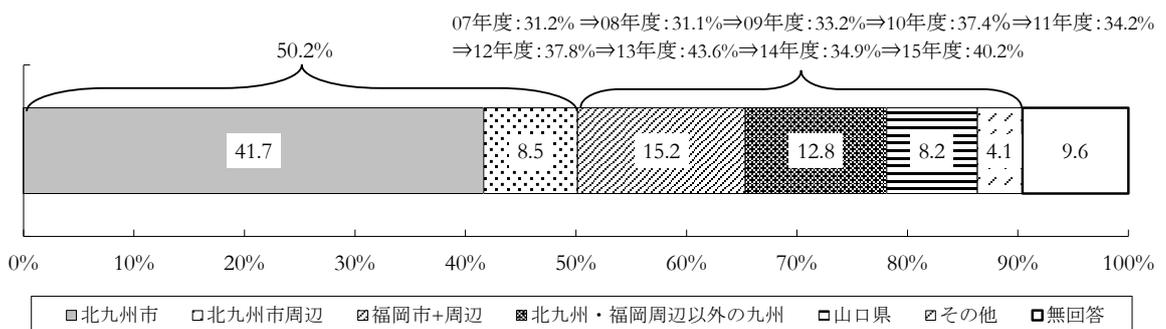
- 観客は、女性が83.5%、男性が16.5%と女性が多い。いずれのジャンルも男性に比べて女性の割合が高い。
- 平均年齢は45.6歳。年齢層に大きな偏りはなく、幅広い年齢層が来場している(図表2-1)。平均年齢に関しては、03年度が45.5歳で、04年から13年度までは40.2歳～43.4歳の範囲で40歳台前半を維持できているが、15年度は03年度を上回り、最も高い平均年齢となった。

図表2-1 年齢層(15年度)



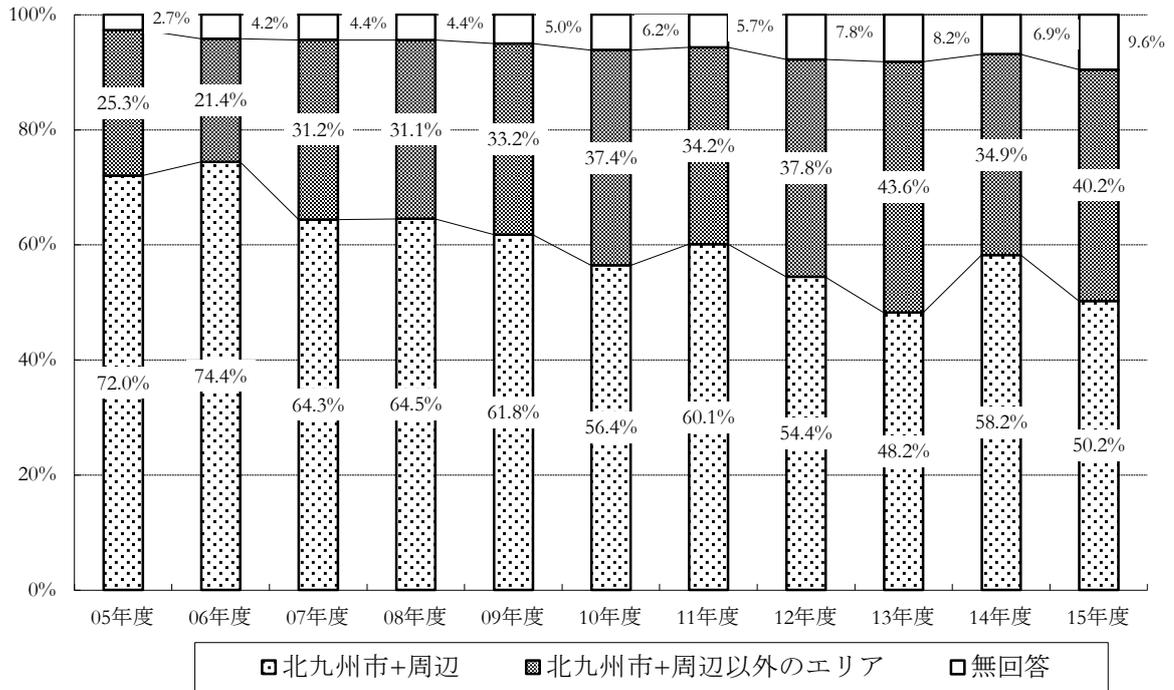
- 居住地域は、北九州市周辺を含めた市域からの来場者が50.2%(うち北九州市内が41.7%)である。福岡市域や福岡県以外の九州各県、山口県、その他からの15年度の来場者は40.3%で、過去最高の割合だった13年度(43.6%)に次いで2番目に「北九州市+周辺以外のエリア」からの来場割合が高い。(図表2-2)。

図表2-2 居住地域(15年度)



- 観客の居住地の経年推移を見ると、07年度以降は増減があるものの、北九州市と周辺以外のエリア（福岡市と周辺、北九州・福岡周辺以外の九州、山口県など）の割合が3割を超え、08年度以来は北九州市+周辺が減少する傾向にあった。
- 福岡県以外の九州について具体的な県名をみると、大分県（43件）、熊本県（36件）、佐賀県（23件）、鹿児島県（14件）等の記載がある。

図表2-3 居住地の経年推移（05年度～15年度）



- チケットクラブには回答者の約4分の1（24.9%）が入会している。入会していない場合、今後入会意向があるのは11.6%である。

（2）北九州芸術劇場での公演鑑賞の状況

① 来場公演のジャンル（p.資-22～23）

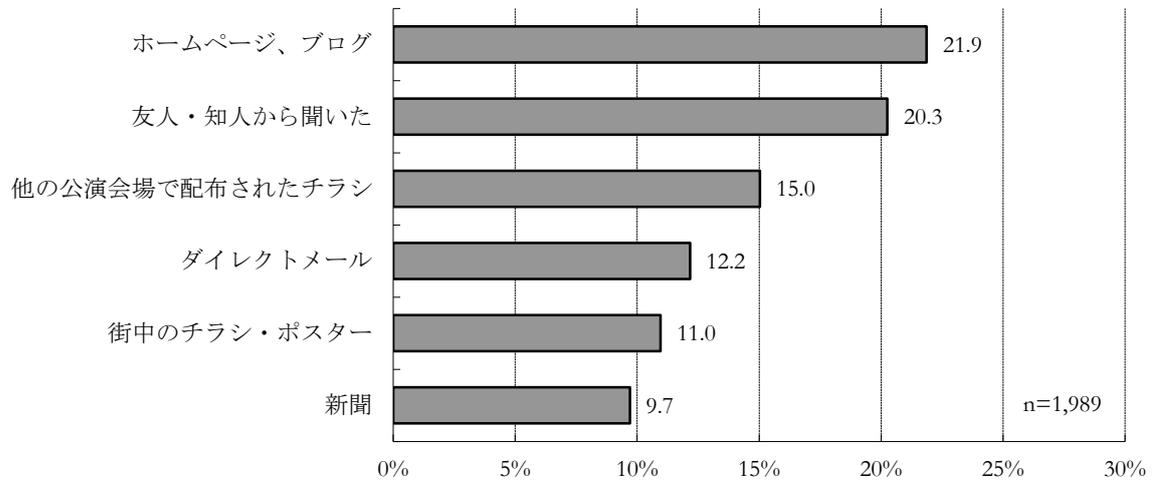
- 回答者が来場した公演のジャンルは、「小劇場・現代演劇」が約7割（71.5%）を占める。
※アンケート配布公演34公演のうち23公演が「小劇場・現代演劇」であることによる。
- 年齢別に来場公演のジャンルをみると、いずれの年代でも「小劇場・現代演劇」の割合が高いが、特に、18歳未満で高い（82.5%）。
- 北九州芸術劇場の来館経験が「今日が初めて」という回答者の場合、「小劇場・現代演劇」の割合が83.4%となっている。

② 公演情報の入手経路（p.資-24～25）

- 公演情報の入手経路は、全体では「ホームページ・ブログ」が21.9%で最も高く、続いて「友人・知人から聞いた」（20.3%）、「他の公演会場で配布されたチラシ」（15.0%）となっている（図表2-4）。

※15年度は、14年度以前の調査で使用していた選択肢「インターネット・ホームページ」を「ホームページ・ブログ」と「Facebook、TwitterなどのSNS」の2つに分け、「びあ・ローソンなどプレイガイドの店頭」を削除した。

図表2-4 公演情報の入手経路(15年度)



- 公演情報の入手経路を、年齢別、北九州芸術劇場での鑑賞経験別に見る(図表2-5)。まず年齢別では、18歳未満は「街中のチラシ・ポスター」、18～29歳、30歳代、40歳代は「ホームページ、ブログ」、50歳代は「友人・知人から聞いた」、60歳以上は「新聞」の割合が最も高い。「新聞」は年齢層が高いほど割合が高くなっている。
- また、北九州芸術劇場での鑑賞経験別にみると、北九州芸術劇場での鑑賞経験が6～10回のグループでは「ホームページ、ブログ」が最も割合が高い。一方、5回以下のグループでは、「友人・知人から聞いた」が最も高く、11回以上のグループでは「他の公演会場で配布されたチラシ」が最も高くなっている。
- 劇場での鑑賞経験によって情報の入手経路に特徴があるが、「ホームページ、ブログ」はいずれの鑑賞頻度でも19～25%の回答がある。鑑賞頻度に関わらず、便利な情報入手ツールとして使われていることがうかがえる。
- 鑑賞経験が多くなるほど、「他の公演会場で配布されたチラシ」、「ダイレクトメール」、「街中のチラシ・ポスター」の割合は多くなり、「友人・知人から聞いた」の割合は減少する傾向にある。

図表2-5 年齢別、北九州芸術劇場での鑑賞経験別 公演情報の入手経路(15年度)

n=1,989(単位: %)

		ホームページ、 ブログ	友人・知人から 聞いた	他の公演会場で 配布されたチラシ	ダイレクトメール	街中のチラシ・ ポスター	新聞
全体		21.9	20.3	15.0	12.2	11.0	9.7
年齢層	18歳未満	12.3	15.8	12.3	5.3	19.3	1.8
	18～29歳	31.3	26.7	10.3	4.5	7.8	1.2
	30歳代	28.8	20.7	13.7	10.9	8.4	1.1
	40歳代	29.5	14.4	17.2	14.4	11.1	5.6
	50歳代	23.3	23.6	16.5	15.6	8.2	9.8
	60歳以上	4.9	19.5	16.8	13.7	14.6	26.5
鑑賞経験	今日が初めて	25.0	27.1	4.6	5.0	5.5	8.6
	1～2回	19.5	27.3	10.5	7.8	10.2	10.5
	3～5回	19.9	22.3	13.7	11.6	10.8	7.3
	6～10回	22.7	13.8	20.6	21.1	11.7	9.7
	11回以上	25.4	5.6	35.5	25.1	17.0	9.8

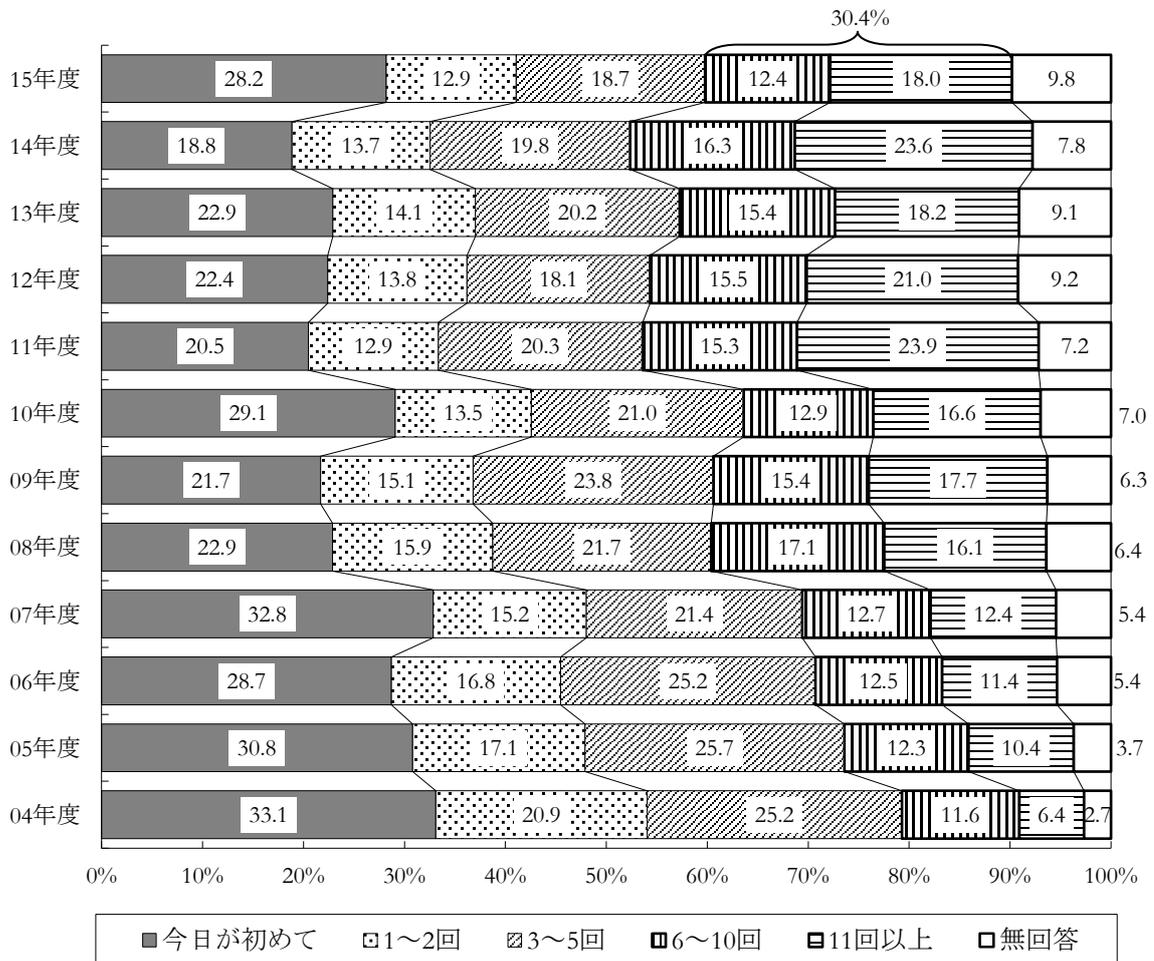
③公演に来た理由(p.資-26~27)

- 公演に来た理由は、「出演者等が好きだから」(62.7%)、「公演内容が面白そうだったから」(45.4%)への回答が多い。18歳から50歳代では「出演者等が好きだから」の割合が最も高く、60歳以上と18歳未満では、「公演内容が面白そうだったから」の割合が最も高い。
- 過去調査と比較して、「公演内容が面白そうだったから」が「出演者等が好きだから」を上回ったのは03年度と15年度の2回となっている。

④北九州芸術劇場での鑑賞経験(p.資-46~47)

- 北九州芸術劇場での鑑賞経験は「今日が初めて」が28.2%と最も高いが、「今日が初めて」から「6~10回」まで大差はなく、来場者の鑑賞経験は幅広い。

図表2-6 北九州芸術劇場での鑑賞経験(04年度~15年度)



- 観客の北九州芸術劇場での鑑賞経験が多様であるのは04年度調査からの特徴であるが、年々劇場での鑑賞経験の多い観客(来場経験が6回以上)が増えており、14年度は4割(39.9%)となっている(図表2-6)。6回以上の鑑賞経験者の割合が高いのは、年齢別では「60歳以上」である。

⑤公演前後の飲食やショッピング(p.資-28~29)

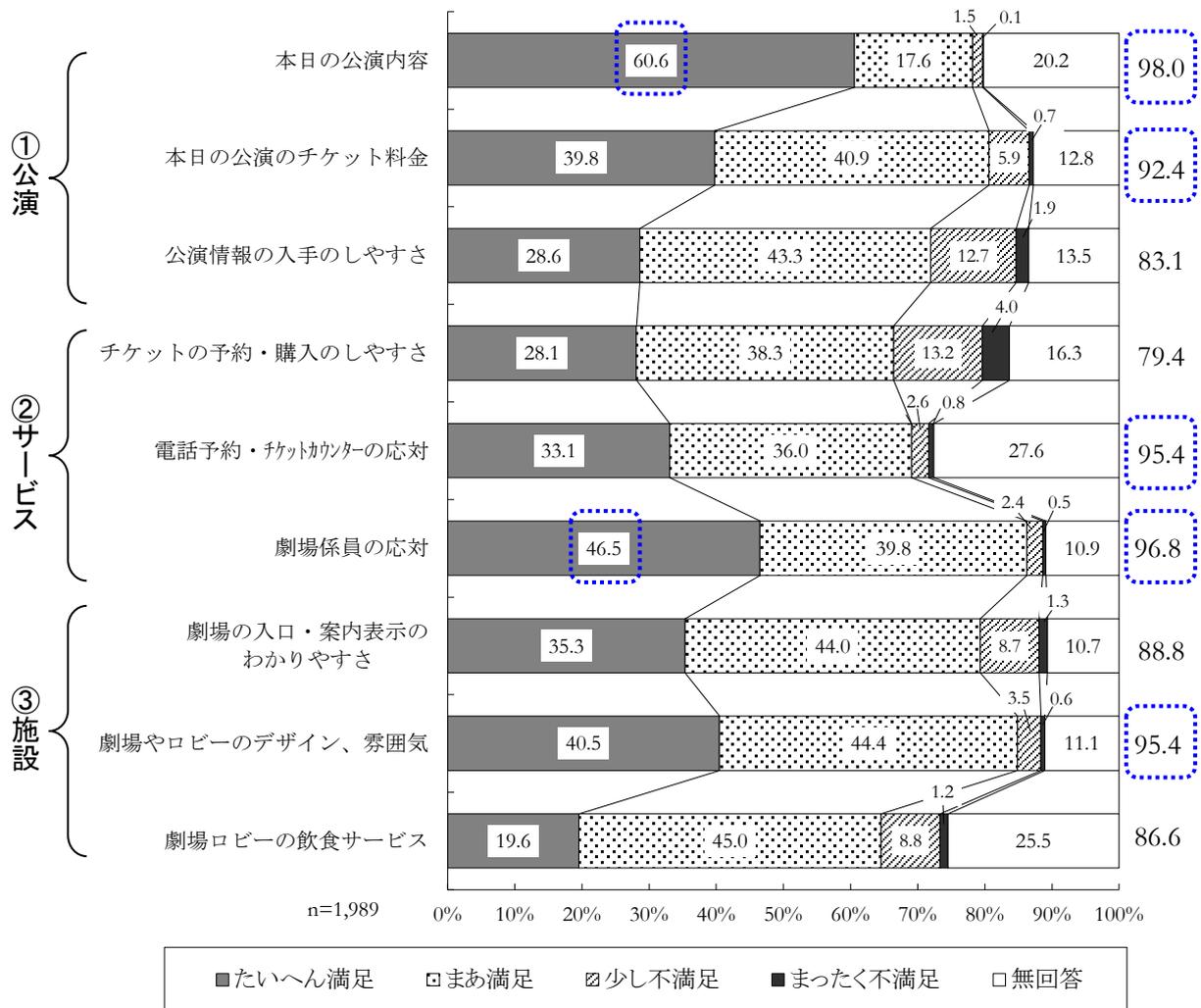
- 来場者の52.0%が公演前後に飲食あるいはショッピングをしており、平均金額は、飲食の場合が約1,679円(飲食をしている回答者の割合:全体の44.3%)、ショッピングの場合が約4,918円(ショッピングをしている回答者の割合:全体の24.1%)である。

(3) 公演や劇場に対する満足度 (p.資-30~38)

- 満足層の割合(「たいへん満足」+「まあ満足」)の割合。無回答を除く)が90%以上を占めるのは、「本日の公演内容」、「本日の公演のチケット料金」、「電話予約・チケットカウンターの応対」、「劇場係員の応対」、「劇場やロビーのデザイン、雰囲気」の5項目である(図表2-7)。

図表2-7 公演や劇場に対する満足度(15年度)

[満足層の割合]



※満足層の割合:「たいへん満足」+「まあ満足」の割合。無回答を除く。

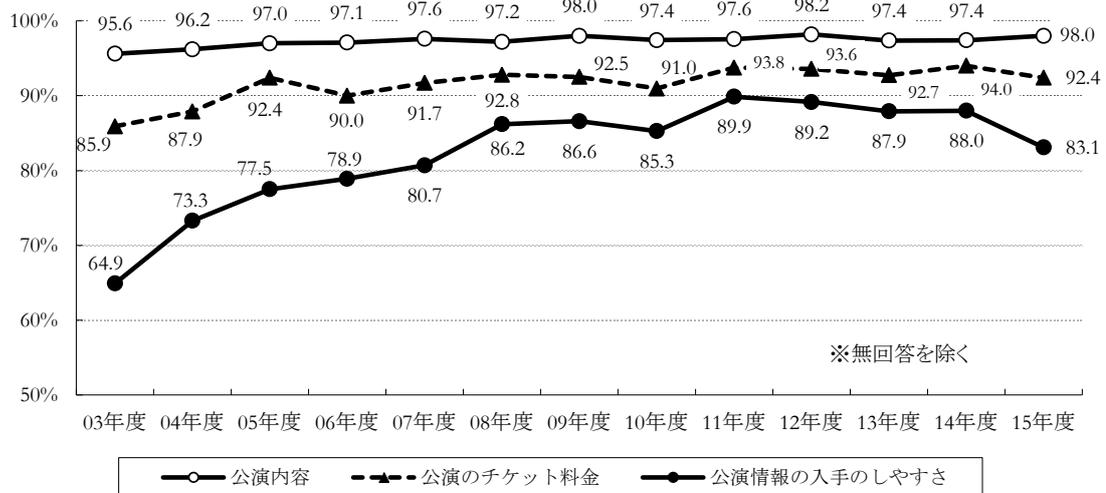
- 特に、「本日の公演内容」、「劇場係員の応対」の2項目については、「たいへん満足」の割合も、それぞれ60.6%、46.5%と高い評価となっている。
- 年齢別にみると、いずれの項目も年齢層が高くなるほど満足度は低くなる傾向がある。60歳以上では、ほぼすべての項目で「たいへん満足」の割合が低い。
- 年齢層が高いほど満足層の割合が低くなる傾向は「劇場の入口・案内表示のわかりやすさ」、「劇場やロビーのデザイン、雰囲気」で顕著である。
- 無回答が多い「電話予約・チケットカウンターの応対」、「劇場ロビーの飲食サービス」については、利用したことがない人が多いと考えられる。
- 次に、満足度に関する9項目を、①公演、②サービス、③施設の3つに分けて、満足層の

割合の経年変化を見る(図表2-8～2-10)。

①公演について(図表2-8)

- 「公演内容」については、03年度から継続して満足層の割合が顕著に高く、観客からの評価は極めて高い。
- 「公演のチケット料金」も05年度以降、90%以上の高い満足度を維持している。「公演内容」への満足度の高さが「公演のチケット料金」の満足度にも大きく関わっていると考えられる。
- 開館当初満足度が低かった「公演情報の入手のしやすさ」は、増減はあるものの満足度は向上していたが、15年度は満足層の割合が前年度に比べて減少し、83.1%となっている。

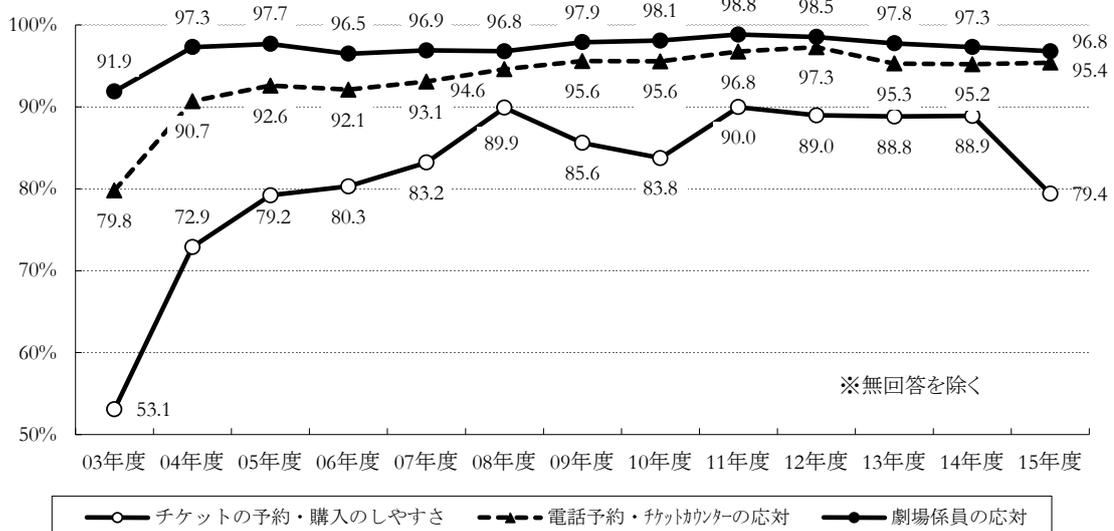
図表2-8 公演関連項目に関する満足層の割合(03年度～15年度)



②サービスについて(図表2-9)

- 「劇場係員の対応」は開館当初から、「電話予約・チケットカウンターの対応」は04年度から満足層の割合が90%を超えており、そのまま高い満足度を維持している。
- 開館当初は満足層の割合が他の項目に比べて低かった「チケットの予約・購入のしやすさ」は、満足度の伸びが大きい。ホームページからのオンラインチケット購入が可能となった11年度は90.0%と過去最高の割合となった。15年度は前年度から減少し79.4%となっている。

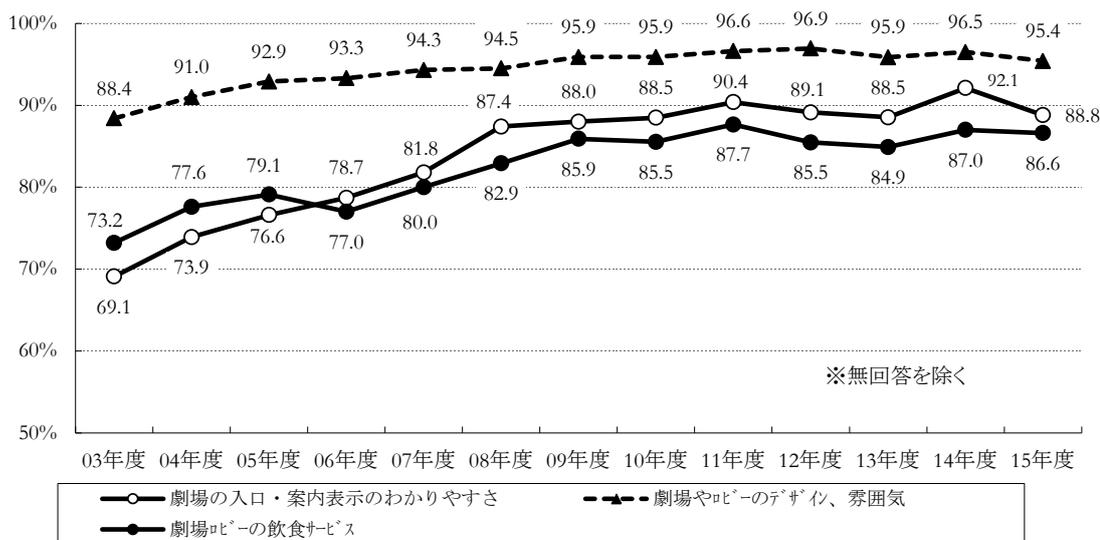
図表2-9 サービス関連項目に関する満足層の割合(03年度～15年度)



③施設について(図表2-10)

- 施設に関わる3項目のうち、「劇場やロビーのデザイン、雰囲気」は、開館当初から満足層の割合が高く、そのまま高い水準を維持している。
- 一方、「劇場の入口・案内表示のわかりやすさ」は、複合施設である故の動線の複雑さもあり、開館当初は満足層の割合が他の項目に比べて低かったが、年々満足度が高まっており、15年度は88.8%となっている。これは、観客が慣れてきたこともあるが、案内表示の増設や既存サイン文字の大型化、駐車場エレベーター入口での音声案内など劇場側の工夫や努力の成果が大きいといえよう。

図表2-10 施設関連項目に関する満足層の割合(03年度～15年度)

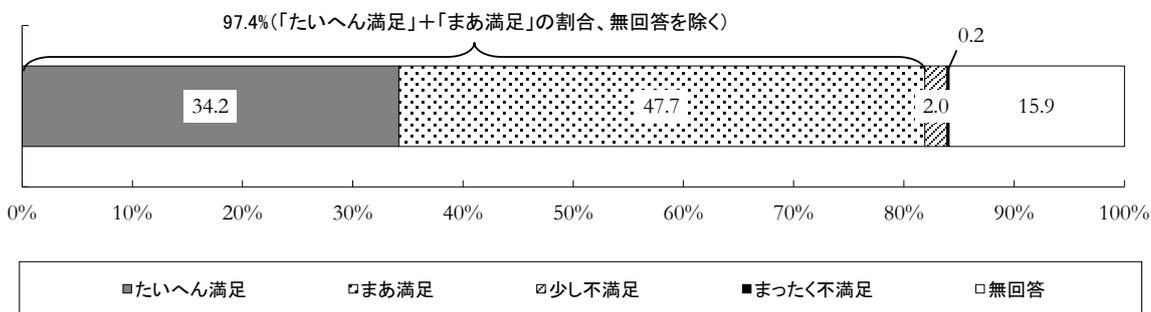


- ①公演、②サービス、③施設、いずれについても、すでに満足度が高い項目は高さを堅持している。

④総合的な満足度について

- 劇場に関する総合的な満足度は、満足層の割合が97.4%(無回答を除く)。全体では、「たいへん満足」の割合が34.2%、「まあ満足」の割合が47.7%となっている(図表2-11)。

図表2-11 総合的な満足度(15年度)



(4) 劇場の運営方針について(p.資-39~41)

- 北九州芸術劇場の基本方針の「観る」、「創る」、「育つ」、「支える」については、いずれも95%以上が賛同している(「ぜひやってほしい」+「まあやってほしい」の割合。無回答を除く)(図表2-12)。

※2014年度から運営方針のキーワードに「支える」が加わり、15年度からアンケート調査に含めている。

- 「観る」については、「ぜひやってほしい」が78.7%と高い割合となっている(本アンケートが鑑賞者を対象としたアンケートであることには留意が必要である)。「創る」、「育つ」、「支える」については、「観る」と比べると低いとはいえ、「ぜひやってほしい」がいずれも約50%と過半数を占めている。
- 「創る」、「育つ」、「支える」は18歳未満で「ぜひやってほしい」への割合が7割以上(無回答を除いた回答)と高い。

図表2-12 運営方針への賛同度(15年度)

n=1,989

運営方針	ぜひやってほしい	まあやってほしい	あまりやる必要はない	まったくやる必要はない	無回答	賛同する人の割合	賛同しない人の割合
観る	78.7%	13.0%	0.9%	0.1%	7.4%	99.0%	1.0%
創る	49.5%	35.8%	3.8%	0.3%	10.6%	95.4%	4.6%
育つ	50.2%	35.5%	3.7%	0.2%	10.4%	95.7%	4.3%
支える	49.9%	36.6%	2.8%	0.2%	10.5%	96.6%	3.4%

※賛同する人の割合:「ぜひやってほしい」+「まあやってほしい」の割合。無回答を除く。

(5) 日頃の鑑賞活動について

①日頃コンサートや演劇に出かける頻度(p.資-44~45)

- 日頃コンサートや演劇に出かける頻度は、「年に1~2回程度」(23.3%)、「年に3~4回程度」(22.0%)、「年に5~9回」(16.2%)となっており、日頃の舞台芸術の鑑賞頻度は多様である。
- 北九州芸術劇場で11回以上の鑑賞経験がある場合、月1回以上コンサートや演劇に出かける割合は54.7%を占める。北九州芸術劇場での鑑賞が初めてのグループでは、年に2回以下の頻度の割合が51.5%を占めている。

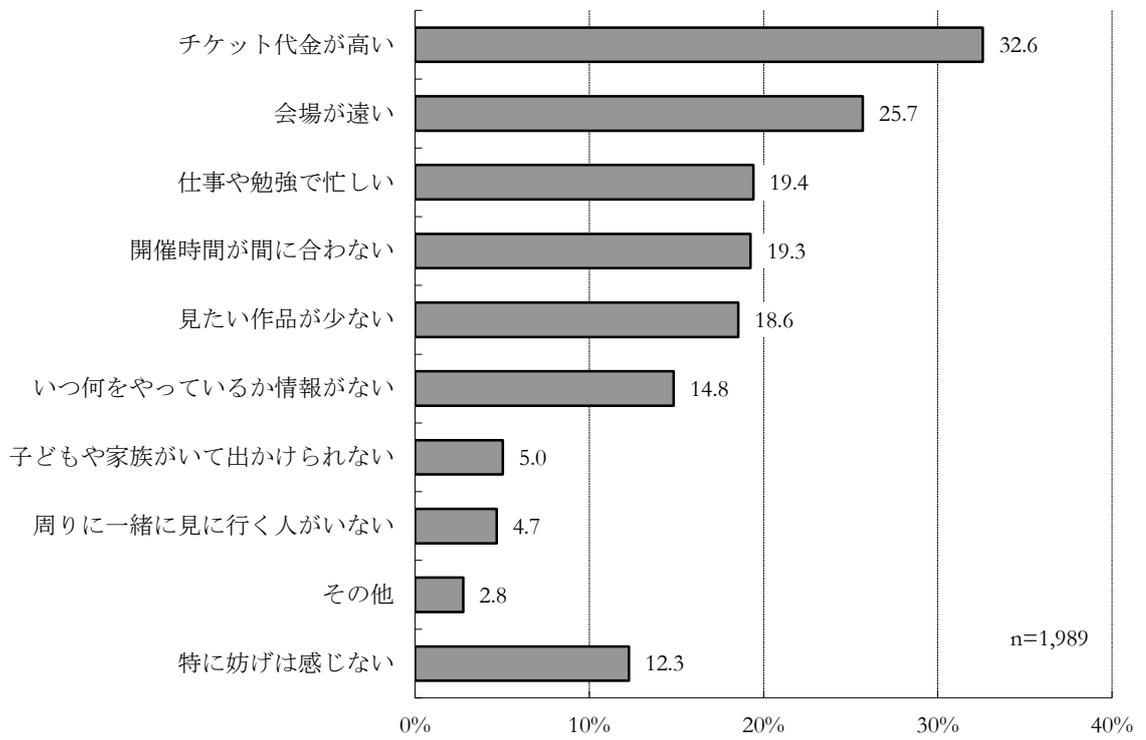
②来場の妨げになっていること(p.資-48~49)

- 来場の妨げになっていることは、「チケット代金が高い」(32.6%)、「会場が遠い」(25.7%)、「仕事や勉強で忙しい」(19.4%)、「開催時間が間に合わない」(19.3%)、「見たい作品が少ない」(18.6%)となっている。(図表2-13)。

※2015年度から設問を加えた。

- 18歳以上のグループで「チケット代金が高い」の割合が最も高く、18歳未満は「仕事や勉強で忙しい」の割合が最も高い。「仕事や勉強で忙しい」は、年齢層が高くなるほど割合が低くなっている。

図表2-13 来場の妨げになっていること(15年度)



第3章 貸館利用者からみた評価

1. 利用者調査の実施要領

- 調査の対象:2015年度の貸館利用者(団体)
- 配布・回収方法:利用当日に配布、回収(後日ファックス、郵送での回収も受付)
- 配布件数:245件
- 有効回答数(回収率):170件(69.4%)

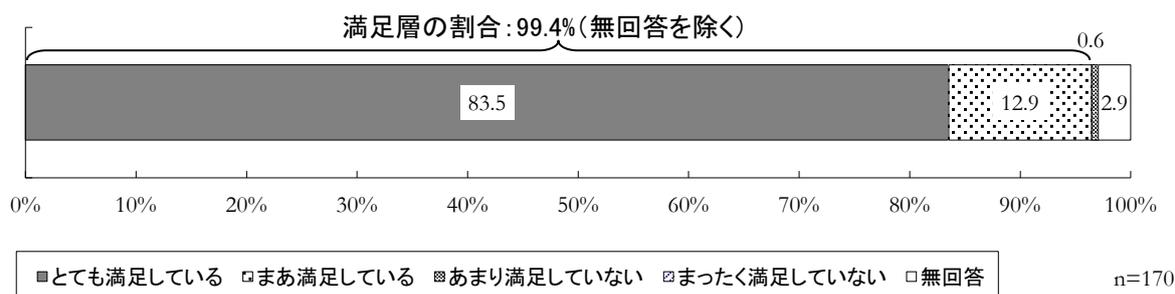
2. 利用者調査の結果概要

※本調査は、統計的な分析を目的とした調査ではなく、有効回答数も少ないため、アンケート結果の記述にあたっては、割合(%)とともに回答数を併記している。

(1) 劇場の使いごちに関する総合的な満足度(p.資-62)

- 劇場の使いごちに関する総合的な満足度は、「とても満足」が83.5%(142件)、「まあ満足」が12.9%(22件)で、満足層の割合(「とても満足」+「まあ満足」と回答した割合、無回答を除く)は99.4%と大変高い。

図表3-1 総合的な満足度(15年度)



(2) 施設に関する意見(p.資-63~67)

- 施設に関する7項目については、全ての項目で肯定的な評価をしている割合(「はい」+「どちらかといえば『はい』」、無回答を除く)が95%以上と大変高い。特に「館内が清潔」、「ホワイエや客席など劇場の雰囲気がよい」、「舞台設備・機器が充実している」は100%となっている。
- また、「はい」という積極的な評価の割合も高く、特に「館内が清潔」、「ホワイエや客席など劇場の雰囲気がよい」、「舞台設備・機器が充実している」、「舞台裏の施設・設備が使いやすい」、「設備・機器などを安全に使用できた」の5項目は、「はい」が90%以上である(図表3-2)。
- 「はい」という積極的な評価の割合についてみると、「館内が清潔」、「ホワイエや客席など劇場の雰囲気がよい」、「舞台設備・機器が充実している」、「舞台裏の施設・設備が使いやすい」、「設備・機器などを安全に使用できた」の5項目は、「はい」の割合が90%以上となっており、施設に関する評価は大変高い。(p.資-65~67)。
- 15年度は、14年度と比べて「ホワイエや客席など劇場の雰囲気がよい」、「劇場の広さ(客席数)がちょうどよい」、「搬入・搬出がしやすい」、「舞台設備・機器が充実している」、「設備・

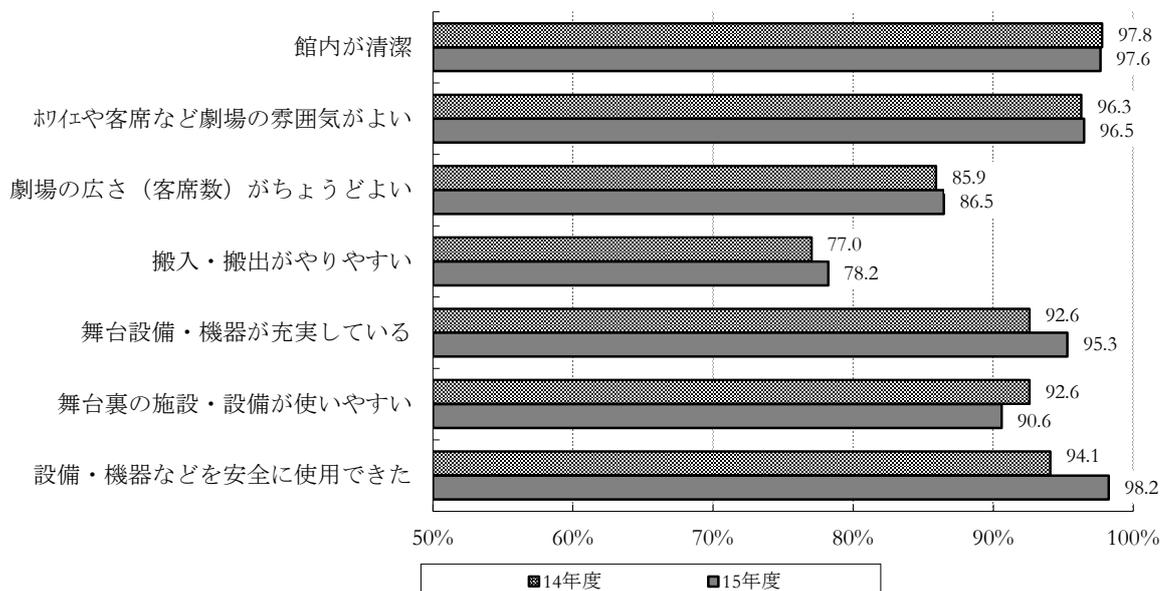
機器などを安全に使用できた」で「はい」への回答が増加している。「搬入・搬出がやりやすい」については、他の項目に比べて満足層の割合、「はい」への回答ともに少ないものの、経年変化でみると、昨年度に比べて評価が若干高く(14年度:77.0%→15年度:78.2%)、09年度以降で最も高い割合となっている。利用者への搬入・搬出に関する説明や案内が周知されてきていること、利用者が慣れてきていることがうかがえる(図表3-2)。

※搬入・搬出については、複合施設である故の制限、駐車場からの動線の難しさ等が、意見記述欄にも課題として記入されることが多いが、打合せ時に説明・案内を周知する、施設側(リバーウォーク北九州)と協議・調整する等の対策を講じている。

図表3-2 施設(ハード)に関する意見(15年度)

n=170(単位:%)	「はい」	どちらか といえば 「はい」	どちらか といえば 「いいえ」	「いいえ」	無回答	「はい」+ どちらか といえば「は い」 (除無回答)
館内が清潔	97.6	1.8	0.0	0.0	0.6	100.0
ホワイヤ客席など劇場の雰囲気が良い	96.5	2.9	0.0	0.0	0.6	100.0
劇場の広さ(客席数)がちょうどよい	86.5	10.6	1.8	0.6	0.6	97.6
搬入・搬出がやりやすい	78.2	17.6	2.9	1.2	0.0	95.9
舞台設備・機器が充実している	95.3	4.7	0.0	0.0	0.0	100.0
舞台裏の施設・設備が使いやすい	90.6	7.6	0.6	0.6	0.6	98.8
設備・機器などを安全に使用できた	98.2	1.2	0.0	0.6	0.0	99.4

図表3-3 施設(ハード)に関する意見「はい」の回答割合比較(14年度・15年度)



(3) 運営や対応に関する意見(p.資-68~73)

- 運営、対応に関する12項目についても、「現在の開館時間は適当」以外の11項目で、肯定的な評価をしている割合が95%以上と高くなっている。また、「はい」という積極的に評価する割合も高い(図表3-4)。
- 「はい」という積極的な評価の割合については、「当日の対応が適切」、「事務スタッフの対応がよい」、「フロントスタッフの対応がよい」が09年度以降7年間連続で9割以上が「はい」と回答している(p.資-71)。
- 15年度は、14年度と比べて、「施設利用や予約情報が入手しやすい」、「利用問い合わせ

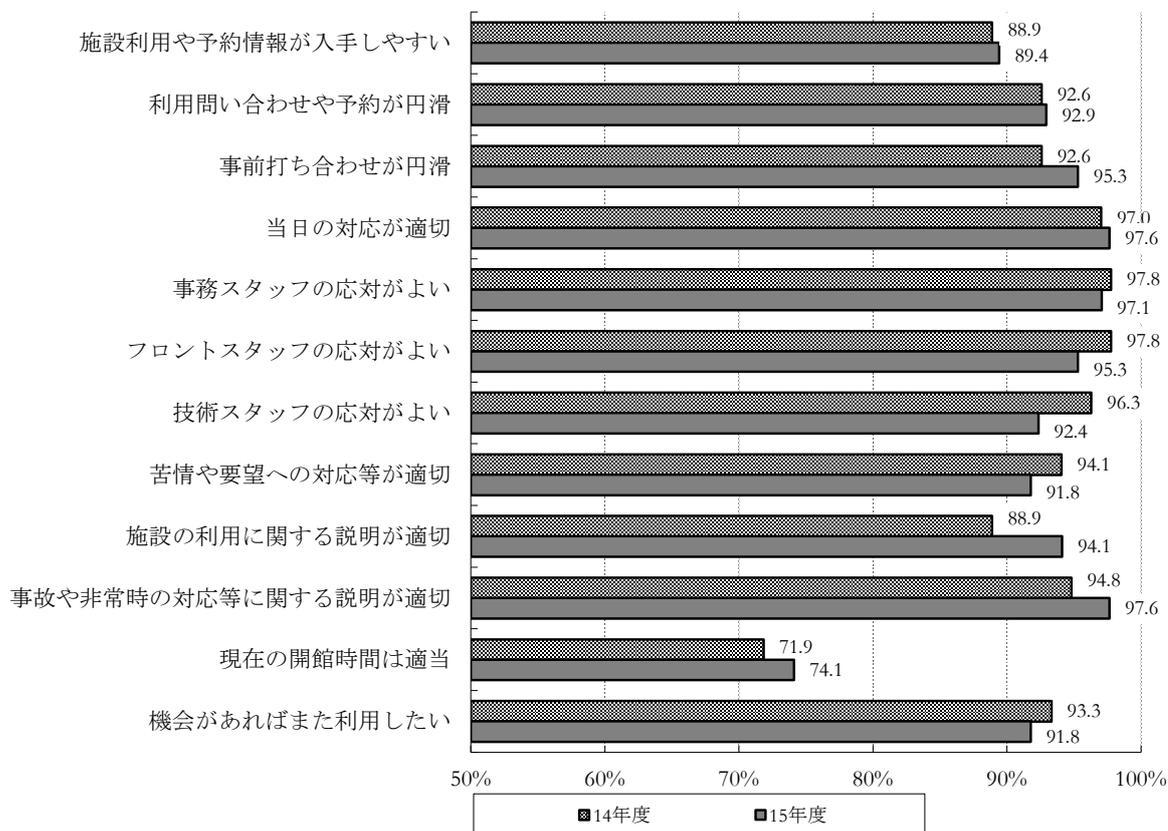
や予約が円滑」、「事前打ち合わせが円滑」、「当日の対応が適切」、「施設の利用に関する説明が適切」、「事故や非常時の対応等に関する説明が適切」、「現在の開館時間は適当」の項目で「はい」への回答割合が高くなっている(図表3-5)。

- 「現在の開館時間は適当」については、他の項目に比べると「はい」の割合が低い。これは管理規則で10時から22時と定められており、より長い開館時間を求める意見や、仕込み等のために柔軟な利用時間の設定を求める意見があがっている。ただし、過去の推移を見ると、管理規則に対する利用者側の理解が浸透してきていることがうかがえる。

図表3-4 運営や対応(ソフト)に関する意見(15年度)

n=170(単位:%)	「はい」	どちらか といえば 「はい」	どちらか といえば 「いいえ」	「いいえ」	無回答	「はい」+ どちらかと いえば「はい」 (除無回答)
	施設利用や予約情報が入手しやすい	89.4	8.2	0.6	0.0	
利用問い合わせや予約が円滑	92.9	4.7	0.0	0.0	2.4	100.0
事前打ち合わせが円滑	95.3	3.5	0.0	0.6	0.6	99.4
当日の対応が適切	97.6	1.8	0.0	0.0	0.6	100.0
事務スタッフの対応がよい	97.1	2.4	0.0	0.0	0.6	100.0
フロントスタッフの対応がよい	95.3	3.5	0.0	0.0	1.2	100.0
技術スタッフの対応がよい	92.4	4.7	1.2	0.0	1.8	98.8
苦情や要望への対応等が適切	91.8	6.5	0.0	0.0	1.8	100.0
施設の利用に関する説明が適切	94.1	2.9	0.0	0.0	2.9	100.0
事故や非常時の対応等に関する説明が適切	97.6	1.2	0.0	0.0	1.2	100.0
現在の開館時間は適当	74.1	16.5	6.5	1.8	1.2	91.7
機会があればまた利用したい	91.8	7.1	0.6	0.0	0.6	99.4

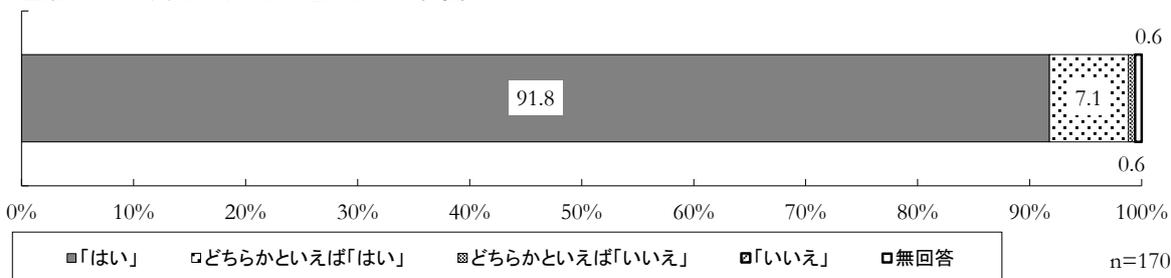
図表3-5 運営や対応(ソフト)に関する意見 「はい」の回答割合比較(14年度・15年度)



(4) 今後の利用の意向(p.資-73)

- 「機会があればまた利用したい」については、「はい」が91.8%(156件)と高い割合を占めており、「どちらかといえば『いいえ』」は0.6%(1件)、「いいえ」は0件であった。利用者の今後の利用意向は大変高い。
- 今後の利用意向の高さは、貸館事業全体への満足度の高さを示しているものであると考えられる。

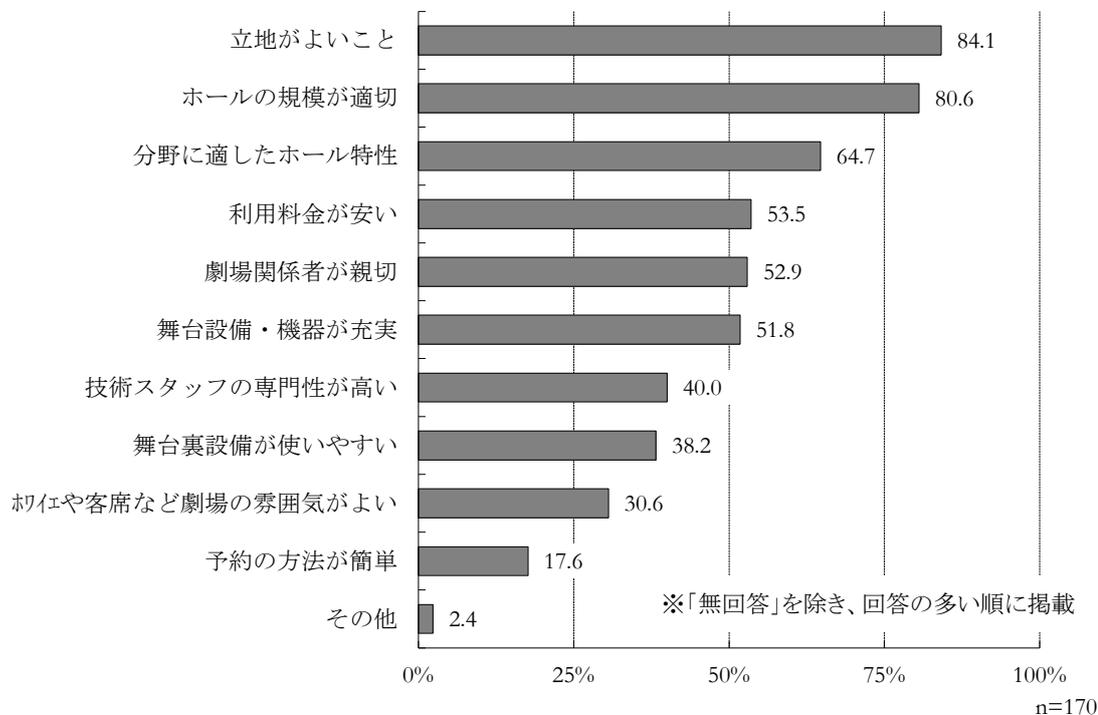
図表3-6 今後の利用の意向(15年度)



(5) 利用の際、重視すること(p.資-74~76)

- 利用の際重視することとしては、「立地がよいこと」(84.1%・143件)と「ホールの規模が適切」(80.6%・137件)への回答が多い。
- そのほか、「分野に適したホール特性」、「利用料金が安い」、「劇場関係者が親切」、「舞台設備・機器が充実」も50%以上の回答となっている。

図表3-7 利用の際、重視すること(15年度)

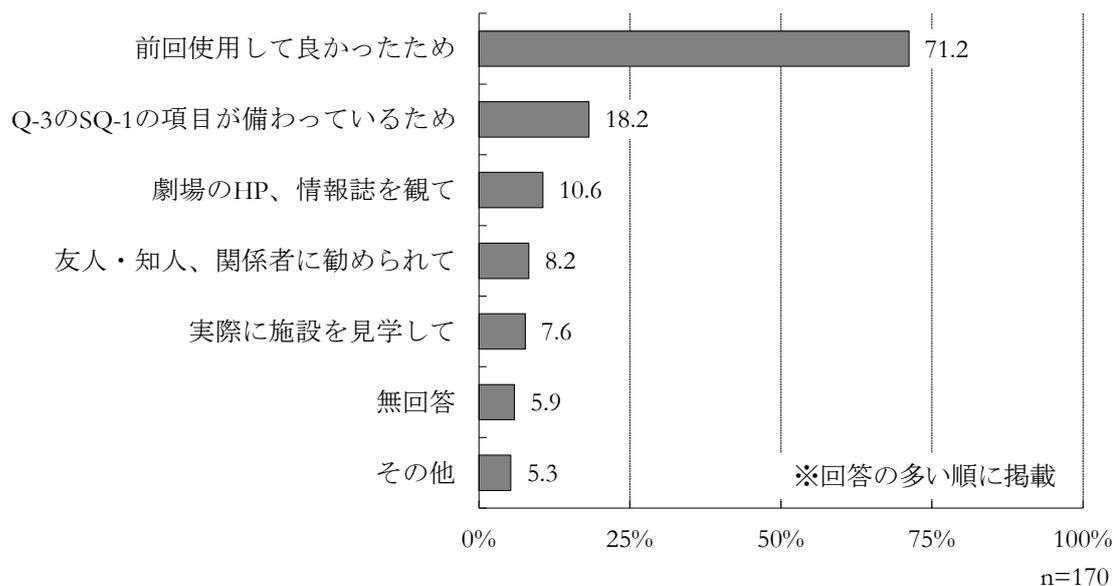


- 最も重視することは、「ホールの規模が適切」と「分野に適したホール特性」が同数(26.5%・45件)で最も多く、次いで「立地が良いこと」(24.7%・42件)、「利用料金が安い」(10.6%・18件)となっている。

(6) 利用のきっかけ(p.資-77)

- 利用のきっかけは、「前回使用して良かったため」への回答が最も多く、71.2%(121件)を占めている。利用者の劇場への満足度は高く、そのため、リピーターの利用が多いことがうかがえる。
- 次いで、「Q-3のSQ-1(利用の際、重視する)の項目が備わっているため」(18.2%・31件)となっており、「立地がよいこと」や「ホールの規模が適切」といった上位項目が劇場利用のきっかけになっていると考えられる。

図表3-8 利用のきっかけ(15年度)



第4章 経済波及効果とパブリシティ効果

劇場の経営は、様々な経済効果を生み出し、地域の活性化を促すと言われている。ここでは、昨年度調査と同様、経済波及効果について、産業連関表を用いた分析を行うとともに、パブリシティ効果について、その概要と金額換算による規模の把握を行った。

1. 経済波及効果

劇場の運営にともなう経済波及効果には、劇場および観客の支出からなる最終需要(直接的経済効果)、それに伴う生産増、そしてそれらがもたらす所得増、雇用増、税収増などが考えられる。

15年度も例年どおり、産業連関表に基づいた経済波及効果に加え、雇用効果を試算した。

(1) 北九州芸術劇場の経済波及効果の基本構造と分析方法

- 経済波及効果をもたらす支出(最終需要)は、
 - ①劇場の管理運営に関する支出
 - ②劇場の主催事業に関する支出
 - ③劇場の主催事業の観客の消費支出
 - ④貸館事業の主催者の事業支出
 - ⑤貸館事業の観客の消費支出の5つに分類することができる(図表4-1参照)。
- 今回の調査では、①、②については劇場の運営データに基づいて、③については観客アンケートの調査結果に基づいて把握・推計を行った。
- ④については貸館事業者からのデータ提供が必要であるが、調査対象となっていないため、貸館事業の1公演あたりの支出を、主催事業1公演あたりの支出の20%もしくは30%と想定して、この二つのケースについて、支出額を試算した。
- また、主催事業の観客アンケート調査の結果をみると、北九州市内だけではなく、九州全域や他の地域からも幅広く観客を集めているのに対し、貸館の事業内容をみると、同じように幅広いエリアからの集客や、同じような消費活動を行っているとは考えにくい。⑤については、③のデータを援用して試算した。
- したがって、④、⑤の計算結果については、あくまでも参考値である。
- また、これらの計算結果のうち、北九州市内の経済波及効果と福岡県の雇用表の就業係数、雇用係数を用いて、北九州芸術劇場がどのぐらいの雇用効果を有しているかを試算した。

(2) 分野別の最終需要と経済波及効果、雇用効果

- 上記①から⑤の分野別に見た最終需要と、産業連関表を使った経済波及効果の計算結果は、図表4-1に示したとおりである。なお、本文中および図表に表記されている個別の項目の数値は100万円未満を四捨五入しているため、小計、合計、誘発係数には四捨五入による誤差が生じている箇所がある。
- ①劇場の管理運営、②劇場の主催事業、③主催事業の観客の消費支出にともなう最終需要の金額は、それぞれ6億5,700万円、2億5,800万円、2億9,000万円、合計で12億500万円となっている。そのうち、67.2%にあたる約8億1,000万円が北九州市内での最終需要である。
- これら最終需要に伴う経済波及効果は、①が9億2,500万円、②が4億1,800万円、③が4億5,900万円、合計で18億300万円である。そのうち、61.7%にあたる11億1,200万円が北九州市

内での経済波及効果である。生産誘発係数は、全体で1.50、北九州市内で1.37である。

- 参考値ではあるが、貸館の事業主催者の支出および貸館事業の観客の消費支出による経済波及効果(北九州市内のみ)は、約7億3,000万円～7億9,200万円、生産誘発係数は1.40である。
- それらをあわせた経済波及効果の総合計は、約25億3,300万円～25億9,500万円で生産誘発係数は1.47、北九州市内に限ってみると、約18億4,200万円～19億300万円で生産誘発係数は1.38となっている。
- また、これら経済波及効果の結果から試算した雇用効果は、就業者数(労働量)では157～165人、雇用者数(有給の役員・雇用者数、常勤・臨時含む)で139～144人で、対事業所サービス、対個人サービス、商業などの分野を中心に雇用効果が現れている。

図表4-1 北九州芸術劇場の経済波及効果、雇用効果(15年度)

		最終需要	経済波及効果	誘発係数
管理運営・主催事業	①管理運営 事務局経費、委託費、光熱水費、その他	6億5,700万円 (5億8,500万円)	9億2,500万円 (8億100万円)	1.41 (1.37)
	②主催事業 出演料、創作スタッフ費、音楽費、製作費(交通費、宿泊費、食費、制作雑費)、宣伝費、記録費、予備費	2億5,800万円 (7,400万円)	4億1,800万円 (1億200万円)	1.62 (1.39)
	③主催事業観客消費支出 飲食・買物費、交通費、宿泊費	2億9,000万円 (1億5,100万円)	4億5,900万円 (2億800万円)	1.59 (1.38)
	小計	12億500万円 (8億1,000万円)	18億300万円 (11億1,200万円)	1.50 (1.37)
貸館事業(参考値)	④貸館事業(貸館主催者の支出) 出演料、製作費、その他	9,000万円 ～1億3,500万円	1億2,400万円 ～1億8,600万円	1.37
	⑤貸館事業観客消費支出 飲食・買物費、交通費、宿泊費	4億3,300万円	6億600万円	1.40
	小計(参考値)	5億2,300万円 ～5億6,800万円	7億3,000万円 ～7億9,200万円	1.40
合計(参考値)		17億2,900万円 ～17億7,400万円 (13億3,300万円 ～13億7,800万円)	25億3,300万円 ～25億9,500万円 (18億4,200万円 ～19億300万円)	1.47 (1.38)
		雇用効果 (北九州市内)	157～165人(就業者ベース) 139～144人(雇用者ベース)	

※下段の括弧内の数字は、北九州市内の最終需要、経済波及効果。貸館事業については、最終需要、経済波及効果とも北九州市内のみと想定した試算結果である。

※図表に表記されている数値は100万円未満を四捨五入しているため、誤差が生じている箇所がある。

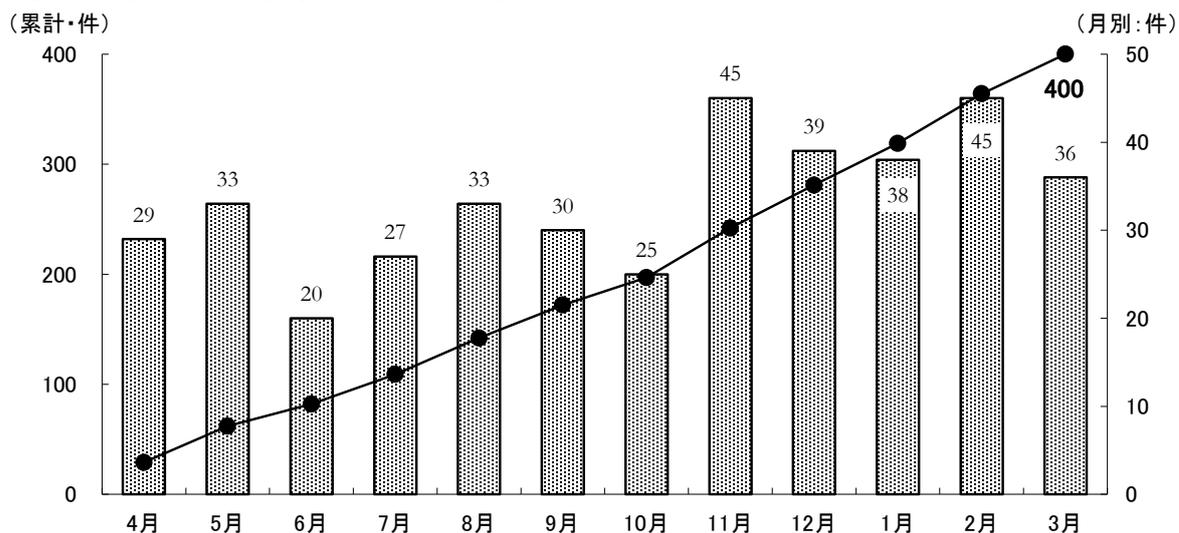
2. パブリシティ効果

文化的な催しや劇場運営においては、新聞や雑誌への記事掲載やテレビ報道などによって、地域の認知度向上やイメージアップが図られるケースが多く、それらは「パブリシティ効果」と呼ばれている。そして、その効果は、記事の大きさなどを基準にした広告宣伝費を目安にして、しばしば金額換算される。本事業評価調査では、03年度から新聞記事に焦点を当てたパブリシティ効果を算出しており、15年度も継続してパブリシティ効果の算出を行なった。

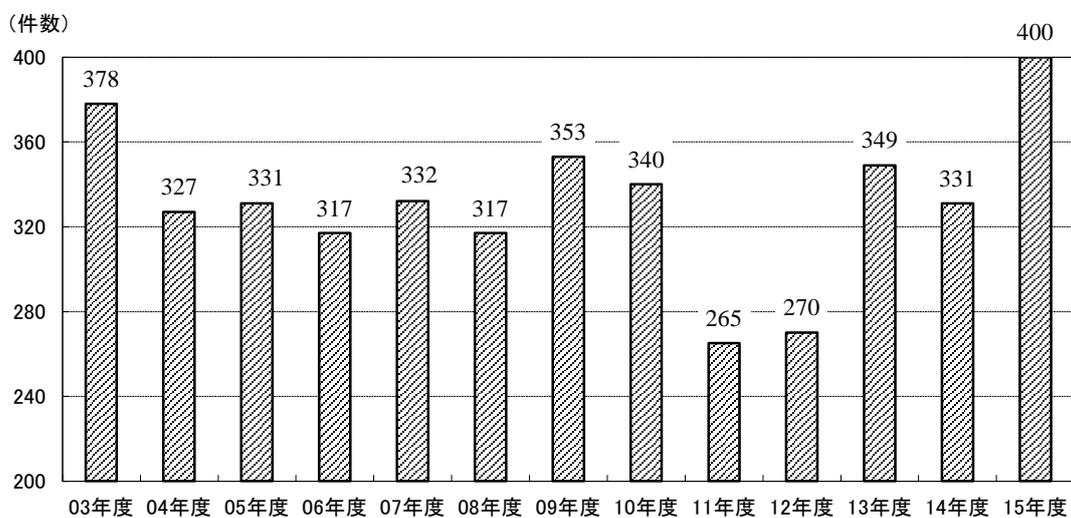
(1) 「北九州芸術劇場」をキーワードとした15年度の掲載記事の件数と内容

- 15年度についてみると、「北九州芸術劇場」をキーワードに検索された新聞記事の件数は400件(図表4-2)である。
- 03年度は開館年度ということで話題性が高く、掲載記事の件数も多かった。04年度以降は、「北九州芸術劇場」を会場とするイベントや関連記事、北九州芸術劇場の事業に関する記事がコンスタントに掲載されている。11年度は過去最少の掲載件数となったが、その要因は2011年3月11日に発生した東日本大震災を扱った記事が、長期間紙面を占めたことが考えられる。15年度の掲載記事件数は03年度を上回り、過去最高となった(図表4-3)。

図表4-2 月ごとの掲載件数と累計(15年度)



図表4-3 年度ごとの新聞記事掲載件数の推移(03年度～15年度)



資料) 図表4-2、4-3ともに「日経テレコン」記事検索の結果より作成

- 新聞別に見ると、15年度で掲載が最も多いのは西日本新聞(175件)、次いで、朝日新聞(61件)、毎日新聞(55件)、読売新聞(50件)、日経新聞(12件)となっている。その他、九州各県をはじめとする地方新聞は47件となっている(図表4.4)。

図表4-4 新聞別件数一覧(03年度～15年度)

	西日本新聞	朝日新聞	毎日新聞	読売新聞	日本経済新聞	その他	計
03年度	151	78	58	40	34	17	378
04年度	147	52	31	61	32	4	327
05年度	149	48	34	46	37	17	331
06年度	149	60	20	31	37	20	317
07年度	120	74	32	28	50	28	332
08年度	119	62	33	36	41	26	317
09年度	131	80	43	45	34	20	353
10年度	146	73	30	31	35	25	340
11年度	101	59	33	28	18	26	265
12年度	111	64	27	30	17	21	270
13年度	128	73	43	36	17	52	349
14年度	120	61	38	35	30	47	331
15年度	175	61	55	50	12	47	400

資料)「日経テレコン」記事検索の結果に基づく

- これら記事を、
 - ① 北九州芸術劇場の公演紹介・取材記事、劇評など
 - ② 北九州芸術劇場のPRキャンペーン、劇場主催事業の紹介記事
 - ③ 情報コーナーなどでの公演情報の提供等
 - ④ 芸術文化以外のイベント、講演の紹介記事(会場名が「北九州芸術劇場」)
 - ⑤ 情報コーナーなどでの芸術文化以外のイベントの情報提供(会場名が「北九州芸術劇場」)
 の5種類に分類し、北九州芸術劇場として記事性の高い①、②、および③のうち公演の内容紹介が掲載されている情報提供を抽出したところ、187件であった(14年度:158件)。
- その内容を、「主催/提携・協力事業」、「学芸事業」、「貸館事業」、「その他(劇場全般、劇場職員への取材記事等)」に分類すると、それぞれ、72件、25件、66件、24件であった(図表4-5)。

(2) 広告掲載料をベースとした金額換算と評価

- これら187件の掲載記事について広告掲載料をベースに金額換算すると、約1億9,400万円という結果となっている(図表4-6)。
- 03年度は開館、04年度は「とびうめ国文祭」で話題性が高く、掲載記事の件数・文字量が多かったため、換算金額も高くなった。
- 05年度は全国展開型の創造事業の公演数が多く、06年度は朝日舞台芸術賞グランプリを獲得し、全国紙の掲載件数が多かった。広告の単価は全国紙で高いため、05年度と06年度は全体の掲載件数は突出して多くはないが、換算金額が高いという結果になっている。
- 07年度以降は、コンスタントに劇場事業や関係する劇団の記事などが掲載されるようになっている。

- 15年度の掲載内容を見ると、西日本新聞、朝日新聞(西部)、読売新聞(西部)での演劇や舞台に関する批評・紹介欄で、公演事業に関する記事が掲載されている。九州他県の地方紙でも紹介されており、北九州市域外での劇場事業の定着が新聞記事からうかがえる。
- 15年度は「山海塾」、「ダンスダイブウィーク」、「ハイバイ」、「北九州モノレール公演」といった公演事業や、「画狂老人@北斎」、「わたしの青い鳥」、「Re:北九州の記憶」などの学芸事業や貸館事業に関する紹介記事も多い。
- 15年度の劇場事業に対する北九州市の補助金は約5,800万円であり、劇場事業のパブリシティ効果(約1億9,400万円)は補助金の規模を大幅に上回る成果を生み出していると言える。

図表4-5 新聞掲載記事の内容と件数(03年度～15年度)

	主催/提携 ・協力事業	学芸事業	貸館事業	その他	合計
2003年度	70	8	46	56	180
2004年度	54	5	43	61	163
2005年度	75	25	34	25	159
2006年度	88	17	35	23	163
2007年度	85	12	31	26	154
第1期 平均	74	13	38	38	164
2008年度	55	12	50	32	149
2009年度	86	11	57	23	177
2010年度	82	28	55	22	187
2011年度	41	8	42	15	106
2012年度	37	19	49	17	122
第2期 平均	60	16	51	22	148
2013年度	51	31	58	40	180
2014年度	65	28	40	25	158
2015年度	72	25	66	24	187
累計	861	229	606	389	2,085

図表4-6 新聞掲載記事の内容と金額換算(03年度～15年度)

(金額:千円)

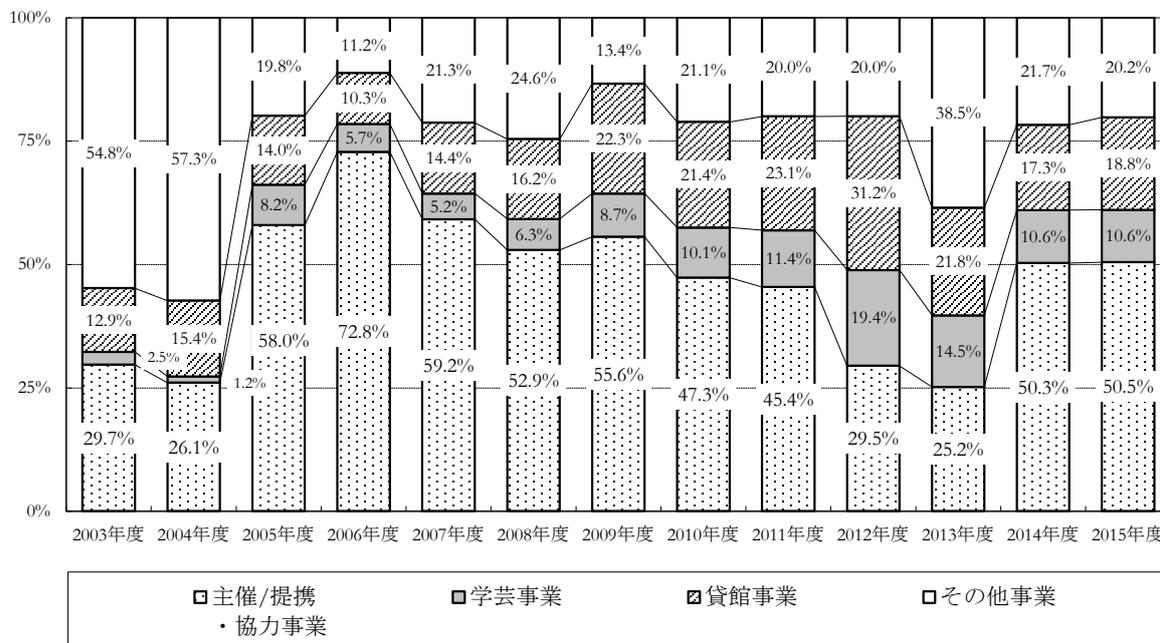
	主催/提携 ・協力事業	学芸事業	貸館事業	その他	合計
2003年度	62,140	5,331	27,072	114,683	209,226
2004年度	46,211	2,141	27,235	101,577	177,164
2005年度	110,044	15,505	26,622	37,678	189,849
2006年度	160,243	12,451	22,741	24,680	220,115
2007年度	66,027	5,777	16,056	23,737	111,597
第1期 平均	88,933	8,241	23,945	60,471	181,590
2008年度	66,588	7,926	20,392	30,961	125,867
2009年度	65,542	10,316	26,293	15,755	117,906
2010年度	64,078	13,718	28,986	28,598	135,380
2011年度	42,162	10,621	21,443	18,563	92,789
2012年度	31,969	21,021	33,825	21,646	108,461
第2期 平均	54,068	12,720	26,188	23,105	116,081
2013年度	41,879	24,104	36,272	64,035	166,291
2014年度	104,207	22,050	35,890	44,928	207,075
2015年度	97,930	20,472	36,429	39,170	194,002
累計	959,020	171,433	359,257	566,011	2,055,722

※ 金額換算は、写真を含めた記事面積と各新聞社の広告掲載料に基づいて、計算・集計した。

- また、事業ごとの掲載割合を金額換算ベースで見た場合、09年度の時点で過半数の割合

だった主催/提携・協力事業の割合が年々減少し、学芸事業、貸館事業、その他事業の割合が年々増加してきたが、14年度は主催/提携・協力事業の割合が13年度に比べて大幅に増加し、15年度も前年度と同程度となっていることが分かる。(図表4-7)。

図表4-7 事業ごとの掲載割合 [金額換算値ベース] (03年度～15年度)



第5章 ワークショップ参加者を対象とした調査

今年度のテーマ調査では、「ワークショップ参加者を対象とした調査」と題し、過去3年間(2013～2015年度)に実施した主なワークショップ型事業や創造事業の参加者を対象としたアンケートとグループインタビューを実施した。また、2004年度に実施した事業評価調査その2のテーマ調査「学芸事業の参加者から見た評価」の結果と比較することで、ワークショップ型事業や創造事業の中長期の成果や波及効果を検証した。

1. 調査概要

(1) アンケート

2013年度から2015年度に実施したワークショップ型事業や創造事業の参加者のうち、住所が把握できる人にアンケートを実施した。アンケートの概要は次のとおり。

① 調査の対象

- 2013年度から2015年度の創造・公演(アウトリーチ&ワークショップ等)及び学芸事業(次頁参照)に参加した401人。

② 配布・回収方法

- 調査票の直接郵送による配布、後日郵送、ファックスにて回収。

③ 実施時期

- 2016年11月17日～12月17日

④ 有効回答数・回答率

- 162件、回収率:40.4%(配布数:401件)

⑤ 主な調査項目

- 参加した講座やワークショップ(参加年度、ジャンル など)
- 情報入手経路、参加動機、ワークショップの評価、今後の参加意向
- 北九州芸術劇場以外での参加経験の有無、劇場の運営方針への意見
- ワークショップを受けた経験の影響や効果
- 今後の北九州芸術劇場のワークショップ型事業への意見 など

(2) グループインタビュー

アンケートの回答者からグループインタビューに「協力できる」と回答した方の中から、北九州芸術劇場と協議のうえ候補者を抽出し、グループインタビューを実施した。インタビューの内容は次のとおり。

- 参加の動機や目的
- 事業の内容、進め方、記憶に残っていること
- 参加して得られたこと、中長期での変化、今後やりたいこと
- ワークショップ型事業に関する要望
- 北九州芸術劇場全般などについて など

以下、アンケートおよびヒアリングの結果から、ワークショップ型事業や創造事業の中長期の成果や波及効果を紹介する。

2. ワークショップ参加者を対象としたアンケート調査

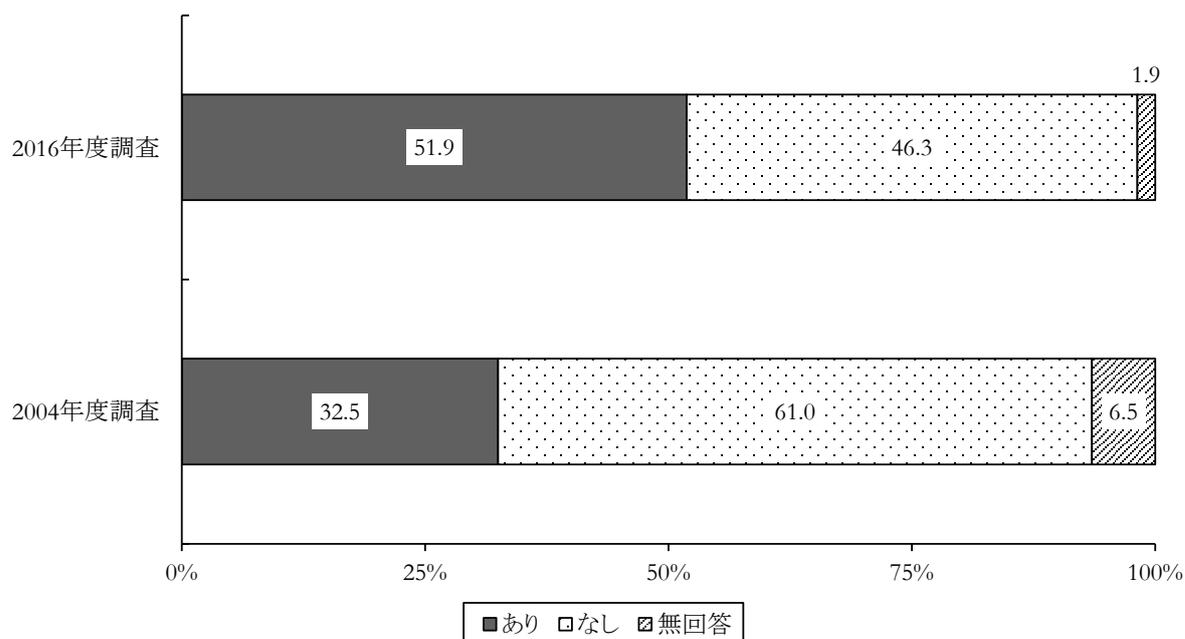
(1) 2004年度調査と比べて有配偶者や男性の割合が増加

ワークショップ参加者の属性を見ると、2004年度調査から大きな変化があった点は、有配偶者（結婚している方）の増加（04年度：32.5%→16年度：51.9%）と、男性の増加（21.1%→27.2%）が挙げられる。参加した講座やワークショップで最も多かったのは、「創造参加（青い鳥公演など）」で46.3%となっている。また、北九州芸術劇場での講座やワークショップに参加した回数は「1～2回」が54.9%と過半数となっており、「3～5回」が30.9%、「6～9回」が7.4%、「10回以上」が3.7%となっている。

【アンケートから】

- 参加者の性別は、女性が71.0%、男性が27.2%と女性の割合が高い。04年度調査では、女性が74.8%、男性が21.1%となっており、今回の調査では男性の割合が増えている。年齢別に見ると、「70代以上」の回答者は、他の世代に比べて男性の割合が高い（41.7%）。
- 配偶者については、「あり」が51.9%、「なし」が46.3%となっている。04年度調査では、「なし」が61.0%、「あり」が32.5%で、有配偶者の参加者が大幅に増えている。
- 参加者の居住エリアは、「北九州市」が71.6%、「北九州市周辺」が8.0%となっている。
- 参加した講座やワークショップで最も多かったのは、「創造参加（青い鳥公演など）」で46.3%、次いで「演劇ワークショップ」（29.0%）、「ダンスワークショップ」（22.2%）となっている。
- 北九州芸術劇場での講座やワークショップに参加した回数は「1～2回」が54.9%と過半数となっており、「3～5回」が30.9%、「6～9回」が7.4%、「10回以上」が3.7%となっている。
- 北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験が「ある」のは42.6%、「ない」のは55.6%となっており、04年度調査の「ある」（43.1%）、「ない」（54.5%）と、大きな変化はない。

図表5-1 配偶者の有無



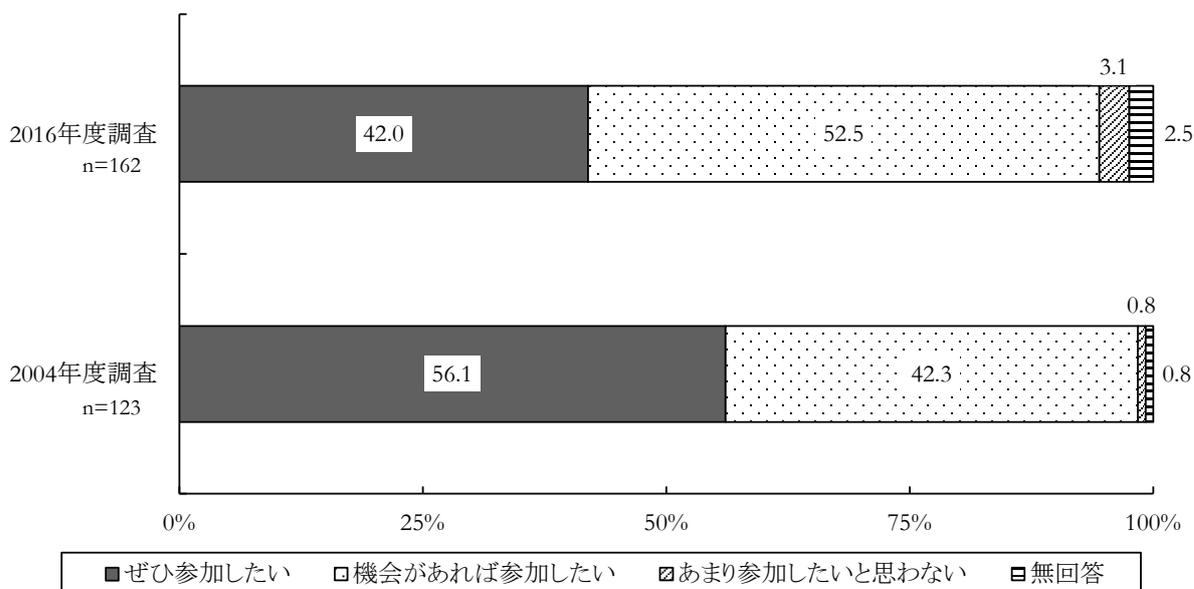
(2) 情報入手経路、参加の理由、今後の参加意向に変化が見られる

参加した講座やワークショップの満足度は、2004年度と同様に高い評価を得ている。講座やワークショップの情報入手経路を見ると、04年度で最も多かった「友人・知人から聞いた」が減少し、チラシ、ダイレクトメール、劇場のホームページ等の手段が多様化している。参加した理由については、04年度に比べて「新しいことを始めたかったから」が増えている。その一方で、今後の参加の意向について聞いたところ、「ぜひ参加したい」という積極的な意向が、04年度に比べて減少(04年度:56.1%→16年度:42.0%)していることがわかる。

【アンケートから】

- 参加した講座やワークショップの満足度を、6項目について聞いたところ、「たいへん満足」という積極的な評価の割合が高いのは「申し込み時、当日の劇場係員の対応」が77.8%、「講師」が73.5%、「講座・ワークショップの内容」66.0%となっている。総合的に見て「たいへん満足」と「まあ満足」を合わせた肯定的な評価は94.4%となっている。
- 情報入手経路は、「公演会場で配布されたチラシ」が30.2%で最も高く、次いで「郵便やEメールなど劇場からのダイレクトメール」が27.2%、「友人・知人から聞いた」が26.5%となっている。04年度調査では「友人・知人から聞いた」が最も高く、次いで「公演会場で配布されたチラシ」、「北九州市 市政だより」という順になっている。
- 参加した理由は、「演劇やダンスに興味があるから」が47.5%で最も高く、次いで「新しいことを始めたかったから」が42.6%、「表現力・創作力のスキルアップをしたいから」が40.7%という順になっている。04年度調査に比べて「新しいことを始めたかったから」という動機が大幅に増えている。
- 今後の参加の意向について、「ぜひ参加したい」という積極的な意向は42.0%、「機会があれば参加したい」は52.5%で、前向きな意向は94.4%となっている。2004年度調査では、「ぜひ参加した」が56.1%で「機会があれば参加したい」が42.3%となっている。

図表5-2 今後の参加の意向



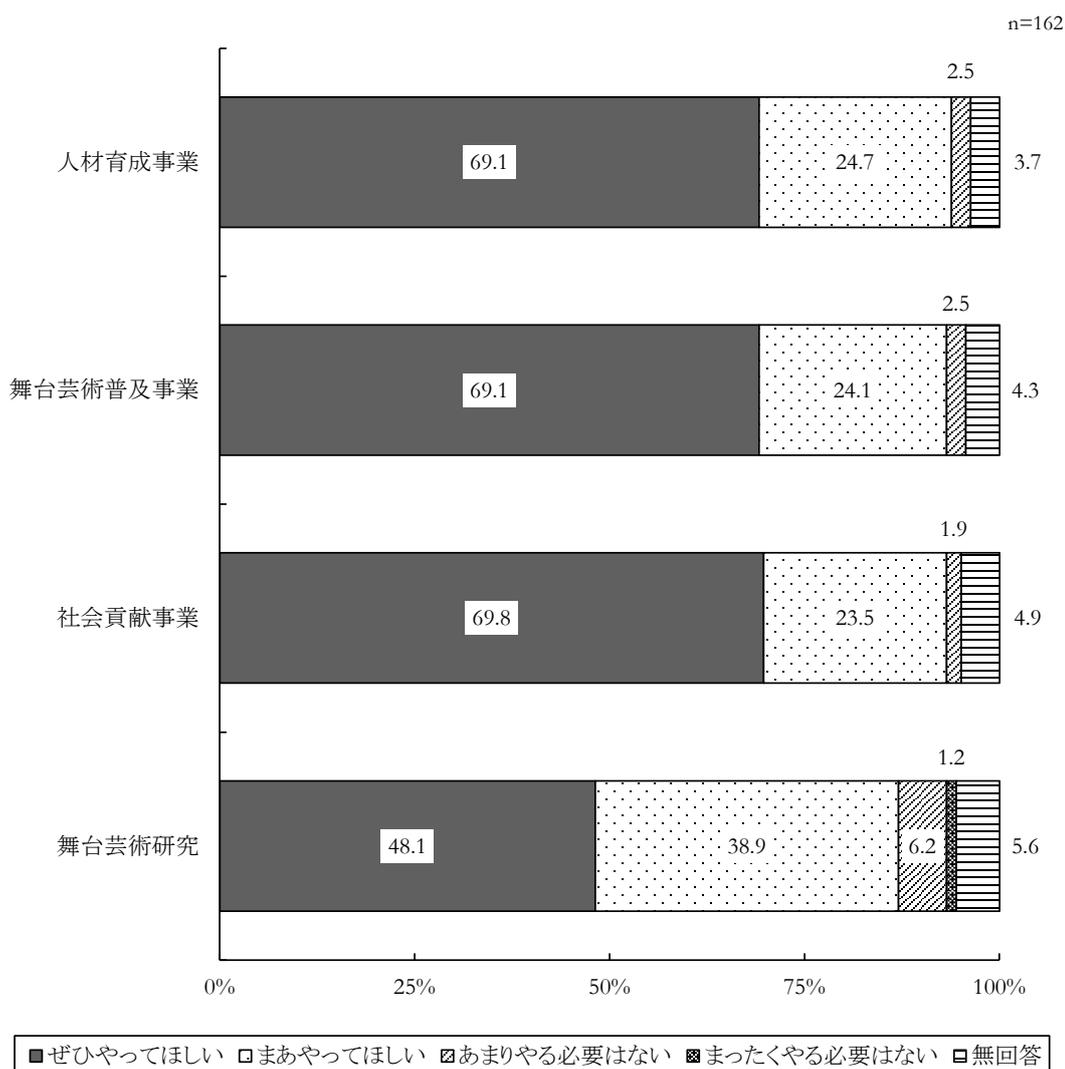
(3) 北九州芸術劇場の運営方針、学芸事業の柱に対する理解や支持は高い

北九州芸術劇場の4つの運営方針(「観る」、「支える」、「創る」、「育つ」)については、「ぜひやってほしい」と「まあやってほしい」を合わせた肯定的な意見は4つすべてで95%を超えている。また、学芸事業の4つの柱(「人材育成事業」、「舞台芸術普及事業」、「社会貢献事業」、「舞台芸術研究」)の事業について、「ぜひやってほしい」という意見は「社会貢献事業」が最も高く、2004年度調査に比べても増えている。

【アンケートから】

- 北九州芸術劇場の運営方針については、「ぜひやってほしい」との積極的な意見が「観る」が77.2%、「支える」が74.7%、「創る」が71.6%、「育つ」が68.5%となっている。「ぜひやってほしい」と「まあやってほしい」を合わせた肯定的な意見は4つすべてで95%を超えている。
- 北九州芸術劇場が学芸事業として柱としている4つの事業について、「ぜひやってほしい」という積極的な意見が高いのが「社会貢献事業」(69.8%)、「人材育成事業」、「舞台芸術普及事業」(ともに69.1%)、「舞台芸術研究」(48.1%)となっている。2004年度調査と比較すると「社会貢献事業」は「ぜひやってほしい」という意見が増えている(+3.1ポイント)。

図表5-3 学芸事業への意見



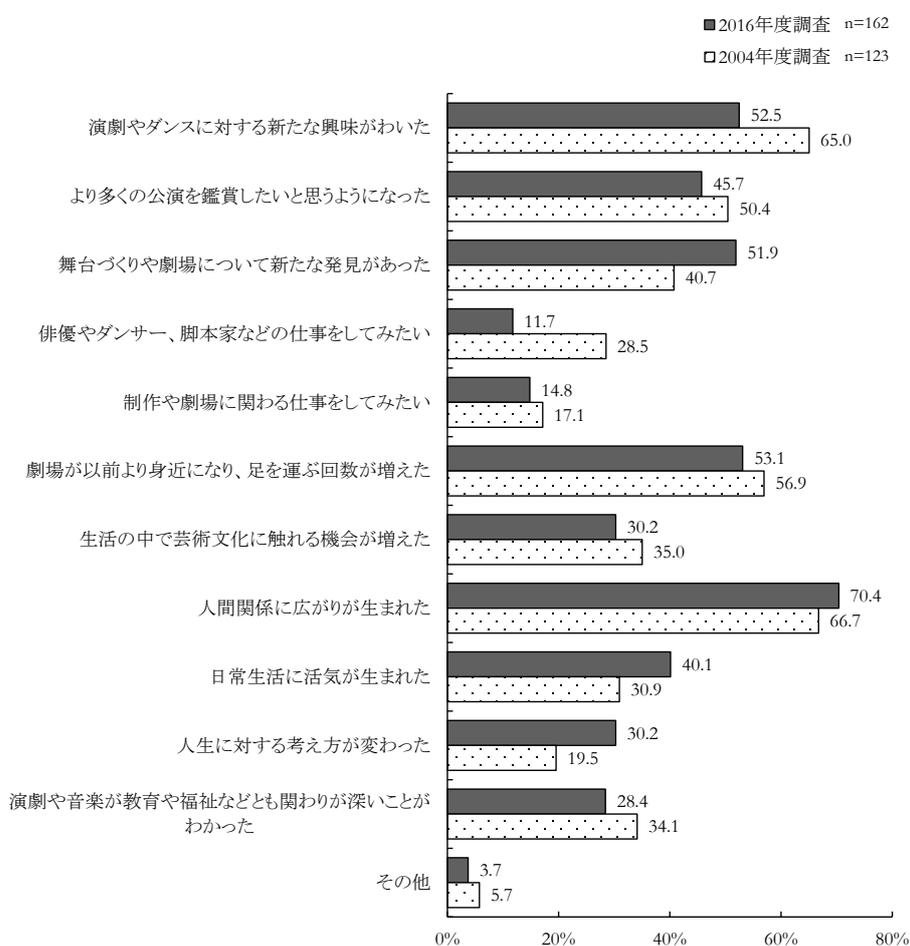
(4) 個々人の内面だけでなく人間関係の広がりにも効果や影響が見られる

講座やワークショップの影響や効果として、「人間関係に広がり生まれた」、「劇場が以前より身近になり、足を運ぶ回数が増えた」、「演劇やダンスに対する新たな興味がわいた」といった回答の割合が高く、個々人の内面の変化だけでなく、人間関係の広がりや変化も見られる。また、講座やワークショップの参加頻度が高くなればなるほど、鑑賞回数も増える傾向がある

【アンケートから】

- 講座やワークショップに参加した影響や効果については、「人間関係に広がり生まれた」が70.4%、「劇場が以前より身近になり、足を運ぶ回数が増えた」が53.1%、「演劇やダンスに対する新たな興味がわいた」が52.5%という順になっている。04年度調査と比べると、「演劇やダンスに対する新たな興味がわいた」の割合が12.5ポイント減少している。
- 講座やワークショップに参加したことによる生活や生き方に変化を自由記述で聞いたところ、日常生活に活気が生まれ、人生感が変化したといった内面の変化だけでなく、他者との交流、親子関係の深まりといった人間関係の広がりや変化に関する意見もある。
- 北九州芸術劇場での鑑賞回数は、「10回以上」が32.7%で最も高く、「6～9回」と「10回以上」を合わせた6回以上の割合が50.6%と過半数となっている。北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度が高くなればなるほど、鑑賞回数も増える傾向がある。また、04年度調査と比較して、ワークショップや講座の参加者による鑑賞回数は増えている。

図表5-4 講座やワークショップの影響や効果



(5) 講座やワークショップ

参加した講座やワークショップへの意見としては、多様な人々が参加できる講座・ワークショップであったことや、講師やスタッフへの感謝の気持ちなどが数多く寄せられた。また、北九州芸術劇場の鑑賞事業や劇場全般について意見では、北九州市の地域ブランドやシビックプライドへの貢献に関するご意見や、鑑賞事業の質の高さ、地元の人材育成への評価などの意見が寄せられている。

【アンケートから】

- 参加した講座やワークショップの内容に関する意見を自由記述で聞いたところ、多数の意見が寄せられた。多様な人々が参加できる講座・ワークショップであったことや、講師やスタッフへの感謝の気持ちなどが数多く寄せられている。
- 今後の講座・ワークショップについて、子ども、親子、高齢者などに参加の対象を広げてほしいという要望や、回数、期間、時間、料金などの設定についても要望が見られた。講座・ワークショップの内容については、参加したプログラムの目的が共有されていることが伺え、好感を持つ意見が多かった。
- 北九州芸術劇場の鑑賞事業や劇場全般について意見を自由記述で聞いたところ、北九州市の地域ブランドやシビックプライドへの貢献に関するご意見や、鑑賞事業の質の高さ、地元の人材育成への評価などの意見が寄せられている。また、バラエティに富んだ事業やスタッフの意識の高さを評価する意見も見られる。
- その他の劇場に対する意見や要望としては、障害を持つ人たちの鑑賞や参加、手頃な料金設定、理解しやすい内容を望む声などが見られる。

図表5-5 参加した講座・ワークショップの内容に関するご意見

- ◎ **多様な人々が参加できる講座・ワークショップ**
 - 年代、性別、職業、環境の違いが混ざり合っ一つになれるのが楽しい。
 - 老若男女を問わず、また障害をこえた様々な個性の参加者でステージを創る。やりがいがあった。
- ◎ **講師やスタッフへの感謝**
 - 優しく指導してくれる先生方やスタッフの方々にとっても感謝しています。
 - 指導者、会場の方々の対応が心のこもった内容であった。
 - 今、活躍されているプロとの距離がとても近く、とても強い、良い刺激を与えられた。
- ◎ **子ども対象、親子対象、高齢者対象の講座・ワークショップ**
 - もっと小さいお子さんも表現するワークショップがあれば良いと思う。
 - 子供と一緒に参加できるもの、参加しなくても見学できるものがもう少しあればいいです。
 - 高齢者を対象とした講座・ワークショップを昼間帯に実施して欲しい。
- ◎ **回数、期間、時間、料金設定への意見**
 - 私が参加したワークショップは2日で作品をつくり上げるものだったが少し時間が足りなかった。
 - 2週間の短い時間にここまでできることは、私自身よい経験とやる気につながりました。
 - ワークショップの参加費が高い。
- ◎ **講座・ワークショップの内容への意見**
 - 同じ環境で課題に向き合っている人たちとの出会いで悩みの共有ができ、打開策を検討するアイデアが広がった。
 - その時、その場だけの出逢いが楽しくて、また参加してみたいと思えるワークショップでした。
 - 芸術劇場がなければ演劇をやっていませんでした。ありがとうございます。

3. ワークショップ参加者を対象としたヒアリング調査

(1) 参加の動機・目的について

技術の向上や活動の幅を広げるためだけでなく、仕事や生活に変化や刺激を求めて参加

演劇や朗読といった表現活動に携わっている人たちや、もともと演劇の愛好家からは、より表現の技術を磨きたい、活動の幅を広げたいという欲求からワークショップに参加しているケースが多い。その一方で、直接的には表現活動をしていなかった人も、仕事や生活に何らかの変化を求めてワークショップに参加したケースもある。

【ヒアリングから】

- 朗読ボランティアで本を読むことがあるが、きちんと発音するなど基本的な技術を学ぶ機会が欲しかった。たまたま基本的なことが勉強できそうな講座(北九州ドラマ創作工房)があったため、そこに参加した。(「シアターカフェ」参加者)
- オーディション募集のチラシを、福岡市内の稽古場や、他にも舞台を見に行き同じチラシで手にして、内容を見て、北九州だけではなく広く募集し、しかも2週間という短期間で芝居を作るというので、面白いと思い応募した。(「シアターラボ」参加者)
- もともと照明や舞台美術などスタッフから演劇に関わったので、「演劇作品が出来るまで～舞台美術を通して」というワークショップのうたい文句に親しみを感じて、興味を持ったのが動機だ。(「劇場塾」参加者)
- 家庭と仕事だけのため発散するところがなかったのだが、全く知らない人たちの中に入り、自分が大好きなことを一緒にできて、すごく発散できた。(「赤シャツ」参加者)
- 合唱団に入っている娘が出演者募集のチラシを持って帰ってきた。その時は「本当の自分はこんなんじゃないんじゃないか」と落ち込んでいた時期で、そのチラシを見て、「これだ」と思ったのがきっかけである。(「青い鳥」参加者)

(2) 事業の内容や進め方について

真剣に取り組む講師やスタッフの姿勢、そこから生まれる参加者の一体感や連帯感

ワークショップの内容や進め方について、参加者の多くが、真剣に取り組む講師やスタッフの姿勢であり、そこから生まれる参加者の一体感や連帯感に喜びを感じている。講師やスタッフの「本物を作りたいという空気」があるからこそ、時には参加者にとって指導や出席のルールなどは厳しいと感じることもあるが、それを上回る達成感や、その後の生き方に影響を与える経験となっている。

【ヒアリングから】

- 記憶に残っていることは一体感だ。2週間でここまで本番のクオリティというか、想像がつかなかった。企画も面白いが、それに沿って、みんなが一つの方向に向かって行動を起こせば、一体になって物ができるのだなという驚きとうれしさが記憶の中で最も強い。(シアターラボ)
- 「おやじカフェ」でお客さんを楽ませるには、まず自分を開放しなさいと言われた。初めは恥ずかしくてできなくても、声を出し、握手し、ハグすることに少しずつ慣れていった。普段の仕事で上から目線で接していた関係が、その経験から、フレンドリーに話すようになり、人生の考え方が変わった。(おやじカフェ)
- 北村成美さんから「どうする、公演する？」というぐらいまで厳しい指導があったときに、みんな

話し合っ、「きちんと気持ちを一つにしてやります」などと言って、やっと公演にたどり着いた。あのときはみんな泣いて、一つになったのだが、あのときもスタッフが見守ってくれていた。(赤シャツ)

- スタッフの方は本当に優しく説明の仕方も良く、参加者が小学生からご高齢の方まで男女問わず分かるように説明するというやり方を本当によく分かっていると思う。最初から本当にそうだったかと言えば、ここ何年かでそれが分かりやすいものになってきたので、そこがすごいと思う。(青い鳥)
- お金を取るので、甘えては駄目なので、指揮の先生も歌の先生も舞台の皆さんも本気で作っていると思う。本物を作りたいという空気を皆さんが持っているから厳しいこともおっしゃる。(青い鳥)
- 遊びではあるが集団で普段しないような体験をすることがとても新鮮で、貴重な体験をさせてもらったと思っている。それを地域コーディネーターに生かせることができたらもちろん一番良いが、そうでない部分でもきっと生かせるのではないかと思った。(劇場塾)

(3) 参加して得られたこと、中長期での変化について

表現技術の向上やさらなる活動展開の契機、さらには人生や人間関係への影響

ワークショップに参加して得られたことや、自分自身の中長期での変化について意見を聞いたところ、参加する前から持っていた表現の技術や活動を、さらに向上させたり、活動の展開を広げたりするきっかけや意欲を持つことにつながっている。さらには、自分自身の価値観や生き方が大きく変わったり、参加者相互が家族のようにつながったりするような、人生や人間関係に少なからず影響を与えている意見も聞かれた。

【ヒアリングから】

- 福岡市に住んでいて、同じ福岡県だが勝手に遠いというイメージがあった。しかし、これに参加して移動も苦にならないことが分かり、参加すれば面白いので、アンテナを広げるようにした。こちらで行われているオーディションにも積極的に応募しようという感じになり、活動のテリトリーが広がった。(シアターラボ)
- せっかく戯曲の書き方のコツを教えてもらったし、習っている間でも「こうすればよかった」とぎりぎりになって気付いて間に合わないことがあったため、それを発揮できる場に応募したい。(シアターラボ)
- 住民に、自分の住む町の魅力を知ってもらうきっかけとなるようにワークショップをやって、ツアーと組んでガイド的なことをやっていけると面白いと思っている。(劇場塾)
- 人との関わり方が変わったことが本当に大きいことだと思う。ここに来る前は、人生の価値観というのは会社で昇進し、いい給料をもらい、裕福な仕事をするのが男性の価値だと思っていたのが、自分が楽しみ、相手も楽しんでということが、人生で最もいい価値観なのではないかと気付かせていただいた。(おやじカフェ)
- 「青い鳥」がきっかけで人生の伴侶を得た。参加者の1人が亡くなって皆で悲しんだり、ご高齢になったので大分の息子さんの所に行かれる方との別れを惜しんだり、そういうことでも家族が増えた感じだ。うちの子たちの成長も見守ってくれていて、生活の一部になっている。(青い鳥)

(4) ワークショップ型事業に関する要望について

より幅広い世代が参加できるワークショップの要望や、日数・期間に対する意見

ワークショップ型事業に関する要望を聞いたところ、幼児と一緒に親子で参加できるワークショップや、中高生、壮年男性、高齢者など、劇場に足を運ぶことが難しい世代が参加できるワークショップを望む声が多い。また、要望されるワークショップの目的や内容にもよるが、長い日数・期間を求める意見と、逆に、短い日数・期間を求める声の両意見が見られる。

【ヒアリングから】

- 高齢者が多いので、演劇の間口を少し広げていただき、プロから指導していただく機会が増えれば、見方も変わるし、全体の質が上がっていくと思う。(シアターカフェ)
- 子どもと一緒にできる企画があれば一緒に参加できて自分もできるし、他の人が見てくれたり、自分だけで自分のことができたりというのもあるので、そういう親子一緒にの企画してほしい。(赤シャツ)
- 部活に入っている中高生でも来られるようなものがあるといいと思う。部活にもよると思うが、運動部は土日の夜しか空いていないので厳しい。(青い鳥)
- 公演を目的にしたワークショップで、稽古期間や準備期間をもう少し長いスパンにするとどうなるのか、そういうことをしてみたいと思う。(シアターラボ)
- 短く2日間ぐらいで、例えば照明からのアプローチ、音響からのアプローチをやっていただくとありがたい。(劇場塾)
- 地域に数多くの市民センターがあるが、お祭りや催し物、イベントを「こんなになっているんだ」と思う。この町はこういうことをしているという発信地に芸術劇場さんがなればすごくいいのではないかと思う。(おやじカフェ)

第6章 評価フレームに基づいた事業評価結果

最後に、2003年度から15年度までの13ヶ年の北九州芸術劇場の事業評価結果をとりまとめた。07年度までは、初年度(2003年度)の調査研究で設定した事業評価の基本フレームで整理していたが、08年度に、(一財)地域創造の「公立ホール・公立劇場の評価指針」(2007年3月)の評価フレームに基づいて再整理し、今年度もそれに沿ってとりまとめを行った。

1. 評価フレームの考え方

「公立ホール・公立劇場の評価指針」の評価フレームは、「A.設置目的」、「B.管理運営」、「C.経営」という3つの戦略・評価軸を設定し、それぞれに評価大項目(戦略目標)を設定、さらに評価中項目(戦略)とそれを評価するための評価指標・基準を設定している。

図表5-1は、A、B、C、3つの戦略・評価軸の評価大項目を整理したものである。

図表5-1 「公立ホール・公立劇場の評価指針」の評価フレーム(評価軸と評価大項目)

戦略・評価軸	No	評価大項目
A 劇場の設置目的	A-0	劇場のミッション
	A-1	鑑賞系事業
	A-2	創造系事業
	A-3	普及系事業①:主に劇場内で実施するワークショップや講座など
	A-4	普及系事業②:アウトリーチ(学校、福祉施設等との連携など)
	A-5	市民文化活動支援(市民参加型事業、アマチュア支援など)
	A-6	地域への貢献①(地域経済への波及効果など)
	A-7	地域への貢献②(地域アピール、ブランド力のアップなど)
	A-8	広域施設としての役割発揮
B 管理運営	B-1	場の提供・支援(貸館)
	B-2	施設のホスピタリティ・サービス
	B-3	施設の維持管理
C 経営	C-1	経営体制
	C-2	リサーチ&マーケティング
	C-3	経営努力

- 15年度は、上記図表5-1の基本フレームに基づいて、03年度から15年度の13ヶ年で把握したデータや情報をあらためて整理した。

2. 評価結果の概要

基本フレームの評価項目ごとの評価結果は、図表5-3に一覧表として整理し、そのポイントを以下に記述した。 ※割合(%)の記載は、小数点以下を四捨五入して掲載した(図表5-3も同様)。

A. 劇場の設置目的

A-0 ミッション 「創る」「育つ」「観る」「支える」

①劇場の運営方針(ミッション)の有無と内容、ミッションの浸透の状況等

- 劇場では開館初年度から、「創る」「育つ」「観る」の3つの運営方針を設定している。開館10周年の節目を経過し、新たな一步を踏み出すため、4つめのキーワードとして、14年度から「支える」が加わった。
- 14年度から、4つの運営方針に基づき、北九州からの発信と地元演劇人の発掘、育成を意識した創造事業、舞台関係者の育成や子どもや学校、一般市民などを対象とした積極的な学芸事業、小劇場・現代演劇に多様なラインナップを揃えた公演事業、市民の文化活動の支援や地元劇団等の創造活動の支援を展開し、「創る」「育つ」「観る」「支える」それぞれの事業が一体となった事業を実施している。
- 10年度に実施した座談会では「地域文化振興における北九州芸術劇場の役割」というテーマを設定したところ、市内の美術、建築、伝統工芸の専門家が、地域における劇場の存在意義を高く評価していることがわかった。舞台芸術分野に限らず多様な地域文化の担い手が、劇場の事業や運営を信頼していることがうかがえる。

②劇場の運営方針を支持する市民の割合(市民の支持率)

- 観客の運営方針への支持率^{*}は、「創る」「育つ」「観る」いずれについても、開館の03年度から継続して90%を超えている。
※「ぜひやってほしい」+「まあやってほしい」の割合。無回答を除く。

③劇場の来場者(利用者)数

- 北九州芸術劇場への年間来場者(利用者)数は、05年度以降、毎年27~28万人で推移しているが、15年度は約29万人となった。また、この13年間で利用者数は延べ363万人を超えた。15年4月1日現在の北九州市の人口(推計値)は約95万であり、すでに人口の3倍以上の利用者が来場したことになる。
- 開館以来、北九州劇場を地域になくしてはならない施設として定着させていくために積み重ねてきた事業や運営の成果が利用者数の安定にも表れてきており、今後も引き続き、5年後、10年後を見据えた長期的な事業の展開と継続が必要であろう。

A-1 鑑賞系事業 「観る」

[観る]: 観る楽しみを知ってもらうため、国内外のエンターテインメント性や芸術性の高い作品を招き、市民に様々な公演を提供する。

①ミッションに基づいた鑑賞系事業の実施

- 15年度も、「観る」(鑑賞系事業)では、中劇場を中心とした小劇場・現代演劇、話題性・芸術性の高い現代舞踊など幅広いラインナップの公演が行われ、多様な年齢層、多様な鑑賞経験を持つ観客が来場している。

②年間延べ観客数

- 15年度の公演事業については、20事業で48回の公演が行われた。入場者数は26,296人、入場率は89%である。
- 創造事業、提携・協力事業、演劇フェスティバルも含めた鑑賞系事業全体では、41事業、公演回数は139回。入場者数は44,240人、入場率は88%となっている。

③公演に対する観客の満足度

- 観客調査の結果から公演(主催/提携・協力事業)に対する観客の満足度をみると、開館年度(03年度)から継続して「(本日の)公演内容」への満足度の高さが顕著である。15年度も満足層の割合^{*}は98%で、そのうち無回答を除いた「たいへん満足」の割合が76%と、観客からの高い評価を得ている。なお、この公演に対する観客の満足度には、次項の「創造系事業」も含まれる。

※「たいへん満足」+「まあ満足」の割合。無回答を除く。

- あわせて、「(本日の)公演のチケット料金」も満足層の割合は92%であり、「公演内容」への評価の高さが「公演のチケット料金」の満足度にも反映されていると考えられる。

④鑑賞系事業による芸術団体やアーティストからの評価

- 09年度に実施した九州圏域の劇場・演劇関係者へのグループインタビューでは、魅力的な作品を招聘しているという評価や、東京や大阪からの演劇作品の受け皿として、九州圏域の代表的な劇場であるという共通認識がある。
- 09年度のグループインタビューで、九州圏域の劇場関係者・演劇人や首都圏の劇場関係者ともに、将来的に福岡市に拠点文化施設が設置された場合に連携や機能分担が重要になるだろうという点は共通認識であった。北九州芸術劇場としては、市外からの観客層に影響が出ることは十分考えられるため、「今まで以上に『観る』という運営方針を拡大する必要はない」との意見も出された。

A-2 創造系事業 [創る]

[創る]: 北九州芸術劇場のオリジナル・プロデュースの演劇作品を創ることにより、“ものづくりの街”北九州市をアピールし地域の活性化を促していく。

①ミッションに基づいた創造系事業の実施

- 15年度も、全国発信型、地元演劇人の育成型、市民参加型などの多様な創造系事業が実施された。
- プロデュース作品「彼の地」は北九州(8回)、東京(3回)で公演を行った。
- 入場率では「彼の地」の東京公演で92%となっている。創造系事業全体の入場率が80%を超えており、市民からの支持の高さがうかがえる。
- 開館当初から継続して実施されている事業に新規企画事業を加えながら、創造系事業を効果的に実施し、地域に根付かせていこうとする努力の成果がうかがえる。また、プロデュース作品の東京などでの公演によって、北九州芸術劇場の全国発信に貢献している。

②年間延べ観客数

- 15年度、「創る」では、5事業で20回の公演が行われ、入場者は2,723人、入場率は平均で82%と高い入場率となっている。

③創造系事業による芸術団体やアーティストへの効果

- 10年度の座談会では、例えば劇場と美術館との共同制作や、伝統工芸を取り入れた衣装や舞台美術のデザインなど、舞台芸術以外の分野との協働の可能性について意見が寄せられた。それと同時に、そうした協働を可能とするための土壌として、地域の文化資源のデータベースが必要だとの意見も出された。
- 09年度の首都圏の劇場関係者によるグループインタビューでは、「北九州から演劇界に一石を投じるオリジナリティのある作品が出てきてほしい」という期待も寄せられていた。また、

九州圏域の劇場関係者や演劇人も共通して北九州芸術劇場の次なる目標として期待しているのは、アジアとの国際交流や創造・発信への取り組みであった。

A-3 普及系事業①:主に劇場内で実施するワークショップや講座など

[育つ]:アーティストを小・中学校等に派遣するアウトリーチ活動や劇場サポーター組織を通じてのヒューマンネットワーク作り等により、舞台芸術の手法を用いた人材育成・教育普及事業を行い、地域を育てながら地域とともに育っていく劇場を目指す。

①ミッションに基づいた普及系事業の実施

- 「育つ」については、普及系事業を継続的に実施している。15年度は、高校生に〔的〕を絞った取り組みを通して、演劇・パフォーマンスをより身近に感じていただくための「高校生〔的〕シアター」といった、市民が舞台芸術に触れる機会や創造参加への機会の提供に取り組んでいる。
- 11年度からの「アーティスト往来プログラム」は、同じアーティストが「アウトリーチ」と「インリーチ」でアプローチの対象や内容を変化させることで、劇場と学校や地域との間に、より多様な関係を生み出そうとする意図がうかがえる。

②年間の事業数、アクティビティの回数、参加人数

- 15年度の主に劇場内で実施するワークショップや講座などの回数は40回、参加延人数は951人。

③講座・ワークショップ参加者の満足度

- 16年度に実施したワークショップ参加者を対象としたアンケート調査によると、講座・ワークショップ参加者の事業に関する評価はたいへん高く、参加者の講座やワークショップに対する総合的な満足度は94%(うち「たいへん満足」は64%)となっている。
- 「たいへん満足」の割合の高い項目は、劇場係員の対応(78%)、講座・ワークショップの講師(74%)、内容(66%)となっている。

④参加者が事業から得たもの(事業の効果)

- 16年度に実施したワークショップ参加者を対象としたグループインタビュー調査によると、ワークショップに参加したことが、表現の技術や活動をさらに向上させたり、活動の展開を広げたりするきっかけや意欲を持つことにつながっている。
- さらに、自分自身の価値観や生き方が大きく変わったり、参加者相互が家族のようにつながったりするような、人生や人間関係に少なからず影響を与えている意見も聞かれた。

A-4 普及系事業②:アウトリーチ(学校、福祉施設等との連携など)

①他分野への貢献や地域活性化を視野に入れた戦略目標の有無と内容

- 15年度は、北九州市立美術館のコラボレーション企画第三弾として、「画狂老人@北斎」を行った。
- 「アーティスト往来プログラム」では、市内の小学校のほか、北九州市障害者芸術祭、子ども・若者応援センターYELL、埋蔵文化財センターでのアウトリーチなど、教育・福祉関係での活動に取り組んだ。

②学校等と連携したプログラム数と参加人数

- 15年度に学校、福祉施設等との連携したアウトリーチなどの回数は44回、参加延人数は3,542人となっている。

A-5 市民文化活動支援(市民参加型事業、アマチュア支援など)

① ミッションに基づいた市民活動支援の実施

- 市民の文化活動支援については、創造事業や学芸事業と連携しながら、創造参加として市民が舞台に立つ公演事業を実施しており、15年度は、合唱物語「わたしの青い鳥2015」、「ダンスダイブウィーク」、「Re:北九州の記憶」、「おさんぼわが町」などの11事業で51回のワークショップやアウトリーチなどが実施された。受講延人数・入場者数の合計は1,884人。
- 合唱物語「わたしの青い鳥」は04年度から継続実施されている事業で、市民に定着していることがうかがえる。
- 10年度の座談会では、「わたしの青い鳥」について「参加した人たちが楽しかったことを次々に伝えていくことで、喜びを共有する市民が増えている」との評価があった。

② 貸館事業に関するサービス内容、質への評価(専門的・技術的なアドバイスやサービスなど)

- 貸館利用者を対象とするアンケート調査で専門的・技術的サービスに関わる項目をみると、「技術スタッフの対応がよい」が99%、「事故や非常時の対応等に関する説明が適切」は100%と、満足層の割合は大変高い。関連する項目として、「設備・機器などを安全に使用できた」をみても、満足層の割合*は99%となっている。これらの項目では、「はい」という積極的な評価も高い。
- 劇場の専門的な技術サービスについては、利用者から高い信頼と評価を受けており、自由回答の書き込みも、それを裏付ける内容が多い(なお、09年度からテクニカルアドバイザーによるアドバイスの提供など、公演・講演に対する支援体制が強化された。)

A-6 地域への貢献①(地域経済などへの波及効果)

① 地域外からの来場者割合

- 観客アンケート結果をみると、07年度以降、北九州市および近隣地域以外の地域(福岡市をはじめとする九州各地、山口県など)からの来場者の割合が増加を続け(06年度:21%、07年度:31%、08年度:31%、09年度:33%、10年度:37%、11年度:34%、12年度:38%、13年度:44%、14年度:35%)、15年度は40%となっている。

② 公演鑑賞に伴う消費行動

- 観客アンケートから鑑賞前後の消費行動をみると、15年度の飲食またはショッピングをした人の割合は52%。
- 飲食をしている割合は44%で平均金額は1,679円、ショッピングをしている割合は24%で平均金額は4,918円となっている。

② 経済波及効果

- 上記公演鑑賞に伴う消費行動も含めた15年度の経済波及効果を算出すると、最終需要は、劇場の管理運営が約6.6億円、主催事業が約2.6億円、主催事業の観客の消費支出が約2.9億円となっている。
- それらの経済波及効果は、約18.0億円である。
- また、データ収集の制約から参考値ではあるが、貸館事業に基づいた経済波及効果については、最終需要が約5.2~5.7億円、経済波及効果が約7.3~7.9億円である。
- 経済波及効果の誘発係数は、管理運営と主催事業(観客消費支出含む)で1.50、貸館を含めると1.47となっている。試算を始めた04年度以降、管理運営・主催事業の誘発係数は

* 「たいへん満足」+「まあ満足」の割合。無回答を除く。

1.45～1.50となっており、北九州芸術劇場の運営は、相応の経済波及効果をもたらしていることが明らかとなっている。

- 雇用効果については、就業者ベースで157～165人、雇用者ベースで139～144人という結果となっている。

A-7 地域への貢献②(地域アピール、ブランド力のアップ)

①シビックプライドの醸成

- 北九州芸術劇場は、北九州市のシンボルとして市民の支持が広がっており、舞台芸術の愛好家でなくとも市民の誇り(シビックプライド)の一部となっていることは、10年度の座談会出席者の共通認識であった。その上で、劇場には北九州市全体の「文化の結節点」としての役割に期待が寄せられている。

③ パブリシティ効果

- パブリシティ効果についてみると、北九州芸術劇場や劇場事業に関する15年度の記事掲載件数は187件。新聞掲載記事を広告宣伝費に金額換算すると、15年度は約1億9,400万円となる。
- 15年度の劇場事業に対する北九州市の補助金は約5,800万円であり、劇場事業のパブリシティ効果は補助金の規模を3倍を超える成果を生み出していると言える。

A-8 広域施設としての役割発揮

①圏域内の市町村の劇場・ホールとの積極的な連携

- 09年度に実施した九州圏域の劇場・演劇関係者へのグループインタビューでは、舞台の専門家が少ない地域の公立ホールや公立劇場で、「困ったときには北九州芸術劇場に相談したり、北九州芸術劇場を手本とする」といった意見が聞かれた。
- また、「創る」「育つ」事業で九州圏域における演劇人の人材育成に貢献しており、北九州芸術劇場のプロデュース作品の九州圏域での巡回公演の可能性について期待する意見も多い。
- 北九州芸術劇場が、九州出身の劇作家の発掘と東京への発信や、九州・中国地方の小劇場のネットワークの形成を主導するような役割に期待が寄せられている。

②当該文化施設の運営だけにとられない圏域全体の文化振興

- 北九州芸術劇場の事業や運営は福岡市にも波及している。「福岡のみならず九州圏域で、今後、どのように棲み分けや連携ができるのか、検討が必要」との九州圏域の劇場・演劇関係者の意見が聞かれた。
- 今後の北九州芸術劇場あるいは(公財)北九州市芸術文化振興財団の長期的なビジョンには、地域版アーツカウンシルとしての役割や機能を視野に入れることが期待されるが、09年度のグループインタビュー調査では、九州圏域全体の舞台芸術環境を視野に入れたアーツカウンシルが求められていることが分かった。
- (公社)日本劇団協議会の加盟団体へのアンケート(回答32件)によると、ほとんどが東京を活動拠点としている劇団で、過去3年以内に北九州芸術劇場で公演を実施したことがある団体が6割で、九州公演を実施した団体の3分の2が北九州芸術劇場で公演を実施した。

B. 管理運営

B-1 場の提供・支援(貸館)[支える]

①ミッションに基づいた貸館事業の実施

- 貸館事業については、「創る」「育つ」「観る」の劇場の運営方針と並んで、14年度から「支える」として地域の創造力を高めるための「創造支援」として位置づけられている。

②貸館事業における入場者数

- 15年度の貸館の公演・講演事業数は242事業。計339回の公演・講演が実施され、入場者数は186,880人となっている。

③利用者の満足度

- 貸館利用者を対象とした利用者調査の結果では、劇場利用に関する総合的な満足度^{*}は99%で、利用者のほぼ全員が満足している。また、今後の利用意向^{*}も99%と高いことは、満足度の高さの現れといえよう。
- 具体的な項目をみても、スタッフの応対や説明などソフト面に対する満足度^{*}は、「現在の開館時間は適当である」を除いて95%以上と非常に高い。また、「はい」という積極的な評価の割合も高い。
- 05年度(利用者調査開始年度)以降、項目ごとに満足度は上下しているが、常に高い満足度を維持するべく、利用者の苦情や要望に対する劇場スタッフの前向きな対応の成果がうかがえる。

B-2 施設のホスピタリティ・サービス

①公演や催し物情報に関する満足度

- 開館年度(03年度)に満足度が65%であった「公演情報の入手のしやすさ」は、04年度以降改善傾向が続いてきたが、15年度は83%で14年度から5ポイントの減少(06年度:79%、07年度:81%、08年度:86%、09年度:87%、10年度:85%、11年度:90%、12年度:89%、13年度:88%、14年度:88%)となっている。

②ホスピタリティに関する満足度

- 03年度に満足度が69%であった「劇場の入口・案内表示のわかりやすさ」は、04年度以降改善傾向が続き、15年度は89%で14年度から3ポイントの減少(06年度:79%、07年度:82%、08年度:87%、09年度:88%、10年度:89%、11年度:90%、12年度:89%、13年度:89%、14年度:92%)となっている。
- 満足度の上昇は、①公演や催し物情報に関する満足度と同様に、開館から12年が経過し、観客が劇場に慣れてきたこともあろうが、案内表示の増設や既存サインの大型化など、劇場側の工夫によるところも大きいといえる。
- 「劇場やロビーのデザイン、雰囲気」は03年度から88%の高い満足度が少しずつ上昇し、15年度は95%となっている。

③スタッフの応対や電話応対等に関する満足度

- 03年度から満足度の高かった「劇場係員の応対」は、継続して高い満足度を保っており、15年度も95%と満足層の割合は非常に高い。また、「電話予約・チケットカウンターの応対」の満足度は95%で、劇場の顧客対応は高い評価を受けている。今後も高い満足度の維持

^{*} 満足度は「たいへん満足」+「まあ満足」の割合、利用意向は「はい」+「どちらかといえば『はい』」の割合。無回答は除く。

に向けた取り組みが望まれる。

- 「チケットの予約・購入のしやすさ」は、03年度は53%と満足度項目のうち最も低かったが、04年度に73%に上昇、その後年々満足度は上昇し、オンラインチケット購入システムを導入した11年度は90%、14年度は89%に増加したが、15年度は79%と10ポイントの減少となっている。

④ 飲食に関する満足度

- 劇場ロビーの飲食サービスの満足度は70%台後半で推移してきたが、07年度に80%に達し、15年度は87%となっている。

B-3 施設の維持管理

① 施設の維持管理

- 貸館利用者を対象としたアンケート調査をみても、劇場の施設や設備などのハード面で高い満足度となっている。特に、「館内が清潔」、「ホワイエや客席など劇場の雰囲気がいよい」、「舞台設備・機器が充実している」、「舞台裏の施設・設備が使いやすい」、「設備・機器などを安全に使用できた」については、「はい」への回答が90%以上と大変高い評価となっている。また、05年度(利用者調査開始年度)以降、多くの項目で満足度は向上しており、劇場スタッフの努力がうかがえる。

② 稼働率

- 施設稼働率は、大ホールが79%、中劇場が78%、小劇場が84%である。
- 開館年の03年度を除き、3つのホールの稼働率は約70～80%で推移しており、2015年度の(一財)地域創造の悉皆調査結果(2014年9月1日時点でのデータ。専用ホールのうち政令市施設の平均稼働率は70%)と比較しても高い水準にある。ただし、稼働率が過度に高い状況では、設備・機器の安全な使用にも影響を及ぼしかねないことに留意する必要がある。

C. 経営

※C-1 経営体制、C-2 リサーチ&マーケティングについては、調査や評価の方法を含め、今後の検討課題である。

C-3 経営努力

① 外部資金、チケット収入の割合

- 北九州芸術劇場の15年度の事業費は2億5,848万円。財源内訳をみると、チケット収入が全体の59%、市の補助金が22%、文化庁と(一財)地域創造、協賛金による外部資金が18%となっている。

② 事業収支からみた経営努力

- 事業収支面でも、開館以来培ってきた交渉力や事業の効率性の向上、交通費や宿泊費に関する積極的な経費削減(団体割引の適用等)の努力が行われていることが数字からうかがえる。
- 15年度の事業費の収入の部の決算報告では、予算額と決算額の差が事業収入で約210万円の減収、補助金等収入は約1,500万円の減収となっており、事業規模が縮小した結果、収入も減少した形になった。

3. 事業評価の結果から—今後の事業評価の方向性と検討課題

北九州芸術劇場の事業評価調査では、03年度の開館年度から図表5-2のと通りの調査を行ってきた。

図表5-2 北九州芸術劇場における実施調査

調査内容	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

【継続調査】

劇場運営基礎データの収集・分析	→													
観客調査(アンケート)	→													
貸館利用者を対象としたアンケート調査 (実施:05年度～、整理・分析:07年度)			---	---	→									
経済波及効果の算出		→												
パブリシティ効果の把握	→													

【テーマ調査】

専門家による座談会(開場から1年間の劇場運営の成果について)		○											
市民意識調査(アンケート)			○										
ワークショップ参加者を対象とした学芸調査(アンケート/グループインタビュー)		○											
学校を対象とした学芸調査(アンケート)					○								
(舞台芸術の公演による)劇場使用者へのグループインタビュー				○									
劇場スタッフへのグループインタビュー						○							
北九州芸術劇場の広域的役割と長期的ビジョンに関するグループインタビュー							○						
舞台芸術以外の分野から見た北九州芸術劇場の役割(座談会)								○					
北九州芸術劇場の10年間と社会情勢、文化・芸術環境の変化									○				
北九州芸術劇場のこれまでの10年と、これからの10年										○			
舞台芸術公演の流通と北九州芸術劇場											○		
ワークショップ参加者を対象とした調査												○	

最後に、今後の事業評価を継続する上で、検討・留意すべきだと考えられる事項を、次の7点に整理した。

①継続調査

経年変化による劇場運営、事業に関する満足度やニーズの分析のためにも、上記5つの継続調査を引き続き実施し、データや情報を蓄積することが望まれる。

②地域や市民への効果を把握するための定性調査

また、劇場が地域や市民に与える波及効果や影響を把握するため、定性調査の実施も検討したい。近年、劇場と地域との連携がより強く求められる中、①観客(あるいはチケットクラブ会員)、②創造事業や市民参加事業に参加した市民、③地域(市民センターなど)でのアウトリーチ事業参加者などを対象としたグループインタビューや聞き取り調査を行い、劇場運営や事業に関する詳細な意見、成果を把握する機会が必要だと考えられる。また、2005年度の市民意識調査の実施から10年以上経過していることから、今後タイミングを見て、同様の市民調査の実施を検討する必要もある。

③劇場内部での事業評価の活用

2008年度の劇場スタッフへのグループインタビューからは、①この事業評価調査の結果も含めて、劇場内で蓄積しているデータを有効に活用していくこと、②評価結果について、係を越えた情報共有や振返りの機会を持つこと、が必要だという声が多かった。今後は、評価本来の目的である PDCA サイクル(Plan→Do→Check→Action)をより有効に機能させるためにも、事業評価調査の結果を現場での業務の振返りに有効活用するとともに、データの収集や整理にあたって、スタッフのより積極的な関わりを促していくことが重要だと考えられる。

④評価結果の公表と発信

北九州芸術劇場は、ホームページ上で劇場の運営方針を広く周知し、事業評価調査の報告書(本編)をホームページで公開するなど、市民へのアカウンタビリティに努めている。今後、評価結果も含め、劇場運営や事業の成果に関する市民への情報発信をより一層強化するとともに、市民からの意見を聴取するためのしくみづくりを検討していく必要があるだろう。また、開館10周年という節目にあたり、これだけの長期間の評価の蓄積は、全国の公立文化施設や文化政策にとっても意義深い取り組みだと言える。公共劇場や文化関係者の間でその成果を共有するためにも、より積極的な公表や発信が望まれる。

⑤次の戦略構築への活用

また、次の北九州芸術劇場の戦略構築のために、これまでの事業評価の結果を活用することが望まれる。2009年度のグループインタビュー調査、2010度の座談会では、これまでの劇場の事業や運営を高く評価するとともに、それらを継続するだけでなく、次の目標設定とそれに向けた取り組みの必要性を指摘する意見があった。開館当初に設定した目標が徐々に達成されつつあることを考えると、ミッションの再確認や見直し、それに基づいた事業の再検討も視野に入れた取り組みが期待される。

⑥事業評価の再構築

前述した「次の北九州芸術劇場の戦略」に基づく事業評価の再構築も視野に入れたい。戦略や目標を設定し直せば、その評価のあり方も再検討する必要がある。この数年間、劇場に対する観客や貸館利用者の評価は、多くの項目で高評価となっている一方で、批評的な

観点からの課題や新たな要望が見えにくくなっている点も否めない。また、観客や利用者以外の市民、舞台芸術以外の芸術分野、あるいは劇場周辺の地域を越えて、多様なステークホルダー(利害関係者)との関係を広げていくことが2010度の座談会でも期待されている。

また近年、文化政策や文化プログラムなどの事業評価の手法そのものが変化しており、評価の理論的なフレームワークとして用いられることの多いロジック・モデルの手法などを北九州芸術劇場の事業評価にも取り入れることも考えられる。その試行として、2012年度のテーマ調査では、10年間の事業評価の主要な項目を、結果(アウトプット)、短期的・中長期的な成果(アウトカム)、直接的・間接的な影響や効果(インパクト)に分けて整理した。それらも踏まえた上で、評価の視点、指標のあり方、分析手法などについて見直し、評価フレームを次の段階へと進化させることが望まれる。

⑦次の10年を見据えた総括

北九州芸術劇場は、2013年8月に開館10周年を迎えた。これまでの事業評価の結果を見ると、その間、北九州芸術劇場は、積極的な事業や運営を継続、進化させ、それが観客をはじめとした市民や地域からの評価に結びついてきたと言える。開館後数年間で減速する公共劇場が少なくない中、10年間、開館当初のコンセプトに基づいて一定水準の事業や運営を継続してきたこと自体、高く評価すべきであろう。14年度からは、開館10周年の節目を経過し、新たな一步を踏み出すため、開館以来の事業の基本方針である「創る」「育つ」「観る」の3つをキーワードに加えて「支える」が加わった。今後、4つの基本方針が相互に好循環を生み出しながら、次の10年を見据えた事業を展開していくことが期待される。

図表5-3 政策評価フレームに基づいた評価結果一覧

※この評価結果一覧は、(一財)地域創造「公立ホール・公立劇場の評価指針」(平成19年3月)の評価フレームに基づき、北九州芸術劇場で03年度～15年度に実施した事業評価調査の結果を整理したものである。

※事業評価の結果を、定量評価(事業実績データ、アンケート調査データ)とともに、定性評価(グループインタビュー等)の結果も含めて総合的に整理した。

※「公立ホール・公立劇場の評価指針」の評価指標・基準を網羅することを目的とはせず、基本フレームを活用することにより、北九州芸術劇場の事業実績や運営の状況を、体系的に把握することを目的としている。

※したがって、「公立ホール・公立劇場の評価指針」の評価指標・基準とはすべてが一致するものではない。また、段階評価(達成度合いを自己点検できる解説式のモデル指標)項目については、劇場内部の自己評価であることから本報告書では掲載対象外としている。

A:劇場の設置目的

評価大項目	評価指標・基準	調査結果・評価データ ※[]内は調査名・調査実施年度	評価結果・改善のポイント	事業評価に関する今後の課題
A-0 「創る」「育つ」「観る」「支える」	①劇場の運営方針(ミッション)の有無と内容、ミッションの浸透の状況等	<ul style="list-style-type: none"> 劇場では、開館年度から「創る」「育つ」「観る」の3つを運営方針として設定、14年度から「支える」が加わった。 [専門家との座談会/10年度]では、市内の美術、建築、伝統工芸の専門家が、地域における劇場の存在意義を高く評価していることがわかった。舞台芸術分野に限らず多様な地域文化の担い手が、劇場の事業や運営を信頼していることがうかがえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 3つの運営方針への支持率は、観客、市民、九州圏域や全国の劇場関係者からも高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 劇場内部での、事業評価結果を活用したPDCAサイクルの実現のための議論の場の設定、きっかけづくり。
	②劇場の運営方針を支持する市民の割合(市民の支持率)	<ul style="list-style-type: none"> 運営方針への観客からの支持率は、「創る」「育つ」「観る」いずれも開館年(03年)度から90%以上。 ○15年度 創る:95%、育つ:96%、観る:99%、支える:97% [観客調査/15年度] 一般市民からの支持率も、「創る」「育つ」「観る」いずれについても80%以上。 ○創る:81%、育つ:90%、観る:90% [市民調査/05年度] ※支持率は、「ぜひやってほしい」+「まあやってほしい」の割合。無回答を除く。割合(%)は小数点以下を四捨五入して掲載。 	<ul style="list-style-type: none"> 14年度から運営方針に加わった「支える」に対しても支持率は高いが、新たな方針が加わったことによる成果の広がりが望まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 観客調査の継続。
	③事業や運営に対する自己評価や振り返り、運営データの蓄積	<ul style="list-style-type: none"> 業務の振り返り、データを蓄積・活用して評価や業務にフィードバックしていくことが必要だという認識が高い。[劇場スタッフへのグルイン/08年度] 	<ul style="list-style-type: none"> 事業評価データ等を活用し、係を超えた振り返りの機会づくりが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 長期的な視点(5年ごと、10年ごとなど)での市民調査の検討、実施。
	④市民の劇場の認知度や劇場への意見	<ul style="list-style-type: none"> 市民の劇場の認知度(劇場があることを「知っている」と回答した割合)は84%、知っている場合の来場・利用率は44%、来場したことがない場合の今後の来場意向は78%。[市民調査/05年度] 劇場に来場経験を持つ市民を増やすこと、劇場の存在を肯定的に考えてくれる市民を増やすことは、劇場スタッフへのグルインでも、業務を超えた共通の問題意識。[劇場スタッフへのグルイン/08年度] 	<ul style="list-style-type: none"> 運営方針に基づいた長期的な事業の継続により、地域に浸透。 	<ul style="list-style-type: none"> 有効な定量的評価指標、定性的評価指標の検討。
	⑤劇場の来場者(利用者)数	<ul style="list-style-type: none"> 年間来場者(利用者)数は、05年度から09年度まで毎年27～28万人で推移。10年度は1年間で31万人に増加した。15年度は29万人。開館からの13年間で延べ363万人が来場。 	<ul style="list-style-type: none"> 北九州市の人口(15年4月1日現在)は約95万人であり、すでに人口の3倍を超える利用者が来場。 	<ul style="list-style-type: none"> 「次なる目標」としての事業方針と、その評価手法の検討。
A-1 「観る」 観る楽しみを知ってもらうため、国内外のエンターテインメント性や芸術性の高い作品を招き、市民に様々な公演を提供します	①ミッションに基づいた鑑賞系事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 小劇場・現代演劇、ダンス・現代舞踊など幅広いラインナップの公演事業を実施。 多様な年齢層、多様な鑑賞経験を持つ観客が来場。 ○年齢層 29歳以下:17%、30歳代:16%、40歳代:23%、50歳代:25%、60歳以上:19% 平均年齢:46歳。 ○北九州芸術劇場での鑑賞経験 今日が初めて:28%、1～2回:13%、3～5回:19%、6回以上:30% 北九州市域外(北九州市内+北九州近隣地域を除く)からの観客は、13年度が過去最高の割合(44%)。 ○06年度:21%⇒07:31%⇒08:31%⇒09:33%⇒10:37%⇒11:34%⇒12:38%⇒13:44%⇒14:35%⇒15:40% 	<ul style="list-style-type: none"> 小劇場・現代演劇を中心に、幅広い事業構成で、多様な年齢層、多様な鑑賞経験を持つ観客を集客。 	<ul style="list-style-type: none"> 観客調査の継続。
	②年間延べ観客数	<ul style="list-style-type: none"> 15年度の公演事業は20事業、公演回数は48回、入場者数は26,296人である。入場率は89%。 創造事業、提携・協力事業、演劇フェスティバルも含めた鑑賞系事業全体では、41事業、公演回数は139回、入場者数は44,240人である。入場率は88%。 	<ul style="list-style-type: none"> 公演事業全体で極めて高い入場率。「観る」に対する観客・市民の支持率、公演内容に関する観客の満足度も極めて高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 観客の意識やニーズを詳細に把握するための調査の実施。
	③公演に対する観客の満足度	<ul style="list-style-type: none"> 開館年から「公演内容」への満足度の高さが顕著。満足層の割合は98%。「公演のチケット料金」への満足度も高く、「公演内容」への評価の高さが「公演のチケット料金」の満足度にも反映していると考えられる。 満足層の割合(「たいへん満足」+「まあ満足」の割合。無回答を除く。) ○公演内容 03年度:96%⇒04:96%⇒05:97%⇒06:97%⇒07:98%⇒08:97%⇒09:98%⇒10:97%⇒11:98%⇒12:98%⇒13:97%⇒14:97%⇒15:98% ○公演のチケット料金 03年度:86%⇒04:88%⇒05:92%⇒06:90%⇒07:92%⇒08:93%⇒09:93%⇒10:91%⇒11:94%⇒12:94%⇒13:93%⇒14:94%⇒15:92%[観客調査/15年度] 「絶対にいい公演が来てくれる」という信頼感が生まれているとの評価があった。その信頼感によって、北九州以外の他の都市からの観客を北九州市に吸引しているとの意見があった。[専門家との座談会/10年度] 	<ul style="list-style-type: none"> 「観る」という方針では、福岡市と何らかの機能分担をした上で、「創る」、「育つ」、「支える」に重点を置いていくことも、将来のひとつの方向性だと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 有効な定量的評価指標、定性的評価指標の検討。
	④鑑賞系事業による芸術団体やアーティストからの評価	<ul style="list-style-type: none"> 公演事業での劇場使用者からも、劇場の運営方針や実施事業への支援の声、期待の声が大きい。特に、劇場スタッフの対応については、人間関係・信頼関係が作れる劇場であるとの評価が高い。[劇場使用者を対象としたグルイン/06年度] [九州圏域の劇場・演劇関係者へのグルイン/09年度]でも、魅力的なものと呼んでいるという評価や、東京や大阪からの演劇作品の受け皿として、九州圏域の代表的な劇場であるという共通認識がある。 [全国の劇場関係者へのグルイン/09年度]では、将来的に福岡市に拠点文化施設が設置された場合、市外からの観客層に影響が出ることは十分考えられるため、「今まで以上に『観る』という運営方針を拡大する必要はない」との意見も出された。 	<ul style="list-style-type: none"> 公演事業の質に対する信頼感の形成と、他都市からの観客の吸引力。 	

評価大項目	評価指標・基準	調査結果・評価データ ※[]内は調査名・調査実施年度	評価結果・改善のポイント	事業評価に関する今後の課題
<p>A-2</p> <p>〔創造系事業〕</p> <p>「創る」北九州芸術劇場のオリジナル・プロデュースの演劇作品を創ることにより、「ものづくりの街」北九州市をアピールし地域の活性化を促していきます</p>	<p>①ミッションに基づいた創造系事業の実施</p> <p>②年間延べ観客数</p> <p>③創造系事業の公演に対する観客の満足度</p> <p>④創造系事業による芸術団体やアーティストへの効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国発信型、地元演劇人の育成型、市民参加型などの多様な事業が実施されている。 ● 開館当初から継続して実施されている事業に新規企画事業を加えながら、効果的に事業を展開している。 ● プロデュース作品「彼の地」は北九州(8回)、東京(3回)で公演を行った。 ● 15年度は、5事業で20回の公演が行われ、入場者は2,723人。入場率では平均で82%。 ● 「彼の地」の東京公演で92%となっており、創造系事業全体の入場率が80%を超えている。 ● 鑑賞系事業③を参照 ● 北九州・福岡の若手劇団・カンパニーから「劇団相互、あるいは北九州・福岡の連携が強まった」、「役者や劇団のレベルアップになった」と評価。〔劇場使用者を対象としたグルイン/06年度〕 ● [九州圏域の劇場・演劇関係者へのグルイン/09年度]でも、利用の自由度の高さやスタッフの専門性の高さが評価されている。 ● [専門家との座談会/10年度]では、舞台芸術以外の分野との協働の可能性について意見が寄せられた。それと同時に、そうした協働を可能とするための土壌として、地域の文化資源のデータベースが必要だとの意見も出された。 ● [全国の劇場関係者へのグルイン/09年度]では、「北九州から演劇界に一石を投じるオリジナリティのある作品が出てきてほしい」という期待も寄せられていた。また、次なる目標としてアジアとの国際交流や創造・発信への取り組みが期待されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高い入場率を確保。市民に事業が定着していること、地域からの注目度の高さがうかがえる。 ● 「創る」に関する観客および市民の支持率は高く、今後もこの基本方針の継続が望まれる。 ● 九州圏域や全国に視野を広げても、北九州芸術劇場の「創る」事業には大きな期待が寄せられている。 ● 今後の北九州芸術劇場の運営にとって、アジアとのつながりは重要な戦略の一つと考えられる。 ● 美術館との共同制作など、舞台芸術以外の分野との協働の模索。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 観客調査の継続。 ● 創造系事業参加者の意識・満足度・ニーズ把握のための調査の実施。 ● 有効な定量的評価指標、定性的評価指標の検討。
<p>A-3</p> <p>「育つ」アーティストを小・中学校等に派遣するアウトリーチ活動や劇場サポーター組織を通じてのヒューマンネットワーク作り等により、舞台芸術の手法を用いた人材育成・教育普及事業を行い、地域を育てながら地域とともに育っていく劇場を目指します</p> <p>〔普及系事業①〕主に劇場内で実施するワークショップや講座など</p>	<p>①ミッションに基づいた普及系事業の実施</p> <p>②年間の事業数、アクティビティの回数、参加人数</p> <p>③講座・ワークショップ参加者の満足度</p> <p>④参加者が事業から得たもの(事業の効果)ー講座・ワークショップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 普及系事業を継続的に実施。15年度も、○高校生に〔的〕を絞った取り組みを通して、演劇・パフォーマンスをより身近に感じていただくための「高校生〔的〕シアター」○「アーティスト往来プログラム」として、多彩な講師を招いた「ワークショップ」、「アウトリーチ」などの多様なプログラムを実施。 ● 11年度からの「アーティスト往来プログラム」は、劇場と学校や地域との間に、より多様な関係を生み出そうとする意図がうかがえる。 ● 15年度は、主に劇場内で実施するワークショップや講座などの回数は71回、参加延人数は2,223人。 ● 「アーティスト往来プログラム」や「ダンスダイブウィーク」など、地域と劇場との関係を積極的に開拓するような企画内容が多く見られる。 ● 講座・ワークショップ参加者の事業に関する評価はたいへん高い。〔学芸調査・アンケート/15年度〕○参加者の講座やワークショップに対する総合的な満足度 満足層:94%、うち「たいへん満足」:64% ○「たいへん満足」の割合が高い項目 劇場係員の対応(78%)、講座・ワークショップの講師(74%)、内容(66%) ● 講座やワークショップに参加したことで、参加者は次のような効果があったと感じている。〔学芸調査・アンケート/15年度〕「人間関係に広がり生まれた」(70%)、「劇場が身近になり、足を運ぶ回数が増えた」(53%)、「演劇やダンスに新たな興味がわいた」(53%)、「舞台づくりや劇場について新たな発見があった」(52%)、「より多くの公演を鑑賞したいと思った」(46%)など。 ● グループインタビューでも、人生や人間関係に少なからず影響を与えている意見も聞かれた。〔学芸調査・グルイン/15年度〕 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「育つ」に対する観客および市民の支持率は高く、今後もこの基本方針の継続が望まれる。 ● ワorkshopや講座参加者の事業に対する満足度は極めて高く、参加したことで鑑賞活動や日常生活の中に多様な効果が生み出されている。 ● 学校との連携事業については、演劇を活用した事業が子どもたちの表現力やコミュニケーション力への効果に期待が高い。長期的な視点で、まず事業の効果を立証するデータや情報を整理することが重要。 ● 地域と連携した事業については、演劇を活用した事業が地域コミュニティに及ぼす効果など、長期的な視点で、事業の効果を立証するデータや情報を整理することが重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業参加者、関係する地域・施設等を対象とした意識・満足度・ニーズ把握のための調査の実施。 ● 有効な定量的評価指標、定性的評価指標の検討。 ● 長期継続の学芸事業による定量的・定性的な成果を把握するための調査の検討。
<p>A-4</p> <p>〔普及系事業②〕アウトリーチ(学校、福祉施設等との連携など</p>	<p>①他分野への貢献や地域活性化を視野に入れた戦略目標の有無と内容</p> <p>②学校等と連携したプログラム数と参加者数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 09年度から小学生から一般市民を対象としたアウトリーチ事業として、「エンゲキで私イキイキ、地域イキイキ」事業を立ち上げ、地域との連携を強化した。11年度は3ヶ年計画の3年目で、20回のワークショップで参加延人数が440人、公演「冬の盆」は2回行い、242人の入場者であった。 ● 15年度は、北九州市立美術館のコラボレーション企画第三弾として、「画狂老人@北斎」を行った。 ● 15年度に実施した「アーティスト往来プログラム」では、市内の小学校のほか、北九州市障害者芸術祭、子ども・若者応援センターYELL、埋蔵文化財センターでのアウトリーチなど、教育・福祉関係での活動に取り組んだ。 ● 学校との連携事業への評価 [小学校を対象としたアンケート調査/07年度] ○事業経験者の約8割は、演劇を活用した事業が子どもたちに与える効果を実感。○具体的には、「自分の考えや気持ちを表現する力」(80%)、「豊かな感受性や想像力」(61%)、「人とコミュニケーションする力」(52%)については、効果を実感している先生が多い。○先生自身も「子どもたちそれぞれの個性や能力をより理解できるようになった」(72%)等の効果を実感。○事業に参加した先生では、今後の劇場との連携の意向も高い(連携したいと思う割合:83%)。 ● 15年度に実施した学校、福祉施設等との連携したアウトリーチなどの回数は44回、参加人数は3,542人となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校との連携事業については、演劇を活用した事業が子どもたちの表現力やコミュニケーション力への効果に期待が高い。長期的な視点で、まず事業の効果を立証するデータや情報を整理することが重要。 ● 地域と連携した事業については、演劇を活用した事業が地域コミュニティに及ぼす効果など、長期的な視点で、事業の効果を立証するデータや情報を整理することが重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業参加者、関係する地域・施設等を対象とした意識・満足度・ニーズ把握のための調査の実施。 ● 有効な定量的評価指標、定性的評価指標の検討。 ● 長期継続の学芸事業による定量的・定性的な成果を把握するための調査の検討。

評価大項目	評価指標・基準	調査結果・評価データ ※[]内は調査名・調査実施年度	評価結果・改善のポイント	事業評価に関する今後の課題
<p>A-5</p> <p>[市民文化活動支援] 市民参加型事業、貸館事業におけるアマチュア支援など</p>	<p>①ミッションに基づいた市民活動支援の実施</p> <p>②貸館事業に関するサービス内容、質への評価（専門的・技術的なアドバイスやサービスなど）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市民の文化活動支援については、創造事業や学芸事業と連携しながら、創造参加として市民が舞台に立つ公演事業やアウトリーチを実施。 15年度は、合唱物語「わたしの青い鳥2015」、「ダンスダイブウィーク」、「Re:北九州の記憶」、「おさんぼわが町」などの11事業で51回のワークショップやアウトリーチなどが実施された。受講延人数・入場者数の合計は1,884人。 合唱物語「わたしの青い鳥」は、04年度からの継続事業。 [専門家との座談会/10年度]では、「わたしの青い鳥」について「参加した人たちが楽しかったことを次々に伝えていくことで、喜びを共有する市民が増えている」と高く評価。 貸館利用者への専門的・技術的アドバイスについては、「技術スタッフの対応がよい」が99%、「事故や非常時の対応等に関する説明が適切」が100%の大変高い満足度。 関連する項目として、「設備・機器などを安全に使用できた」も99%の高い満足度。[貸館調査/15年度] 	<ul style="list-style-type: none"> 市民参加型事業には継続事業が多く、市民からの支持がうかがえる。 貸館事業における専門的、技術的支援については、ほぼ100%の高い評価。 	<ul style="list-style-type: none"> 貸館調査の継続。 市民参加型事業、アマチュア支援に関する調査手法の検討。 開館以降継続してきた事業の参加者に対するインパクト(直接的・間接的な波及効果)を把握するための調査の検討。
<p>A-6</p> <p>[地域への貢献①] 地域経済などへの波及効果</p>	<p>①地域外からの来場者割合</p> <p>②公演鑑賞に伴う消費行動</p> <p>③経済波及効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> 06年度以降、北九州市および近隣地域以外の地域(福岡市をはじめとする九州各地、山口県など)からの来場者の割合が増加を続け、15年度は40%となっている。 ○地域外からの来場者割合 06年度:21%⇒07:31%⇒08:31%⇒09:33%⇒10:37%⇒11:34%⇒12:38%⇒13:44%⇒14:35%⇒15:40%[観客調査/15年度] 鑑賞前後のショッピングの消費行動をみると、14年度の飲食・ショッピングをしている人の割合は52%。 ●飲食をしている場合の平均金額は1,679円、ショッピングの場合は4,918円。[観客調査/15年度] 15年度の経済波及効果を算出すると、 ○最終需要 劇場の管理運営:約6.6億円、主催事業:約2.6億円、主催事業の観客の消費支出:約2.9億円(参考値)貸館事業に基づいた最終需要:約5.2～5.7億円 ※試算 ○経済波及効果 約18.0億円 (参考値)貸館事業に基づいた経済波及効果:約7.3～7.9億円 ※試算 経済波及効果の誘発係数は、 ○管理運営・主催事業・主催事業観客消費支出:1.50 ○貸館を含めた消費支出:1.47 04年度以降、運営管理・主催事業の誘発係数は、事業規模により1.45～1.50で推移。 雇用効果は、就業者ベースで157～165人、雇用者ベースで139～144人。 	<ul style="list-style-type: none"> 北九州市域外からの来場者が増加していることは、舞台芸術の鑑賞拠点としての北九州芸術劇場の認知度、評価が向上しているものと考えられる。 観劇に伴う観客の消費活動も活発。劇場の事業規模に応じた経済効果が発生している。 今後、集客のためにも、より劇場と地域(北九州の街、近隣商店街、大学等)との連携を深めるための、積極的な方策の検討が望まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域(地域経済)への波及効果の測定手法、評価項目の検討。 継続調査の実施、精度アップ(劇場管理運営費、事業費の振り分け、観客消費支出の精度アップ)。 所得増、雇用増、税収増の試算。 貸館事業に伴う経済波及効果の精度アップ(貸館事業者、貸館事業観客へのアンケート調査)。 開館以降の地域(地域経済)へのインパクト(直接的・間接的な波及効果)を把握するための調査の検討。
<p>A-7</p> <p>[地域への貢献②] 地域アピール、ブランド力のアップ</p>	<p>①シビックプライドの醸成</p> <p>②パブリシティ効果</p> <p>③劇場・ホールの存在を肯定的に考えている市民の割合</p>	<ul style="list-style-type: none"> 北九州芸術劇場は、北九州市のシンボルとして市民の支持が広がっており、舞台芸術の愛好家でなくとも市民の誇り(シビックプライド)の一部となっていることは、10年度の座談会出席者の共通認識であった。 その上で、劇場には北九州市全体の「文化の結節点」としての役割に期待が寄せられている。[専門家との座談会/10年度] 北九州芸術劇場や劇場事業に関する15年度の記事掲載件数は187件。 187件の新聞掲載記事を広告宣伝費に金額換算すると、15年度は約1億9,400万円(14年度:約2億707万円)。 15年度では、「山海塾」、「ダンスダイブウィーク」、「ハイバイ」、「北九州モノレール公演」といった公演事業や、「画狂老人@北斎」、「わたしの青い鳥」、「Re:北九州の記憶」などの学芸事業や貸館事業に関する紹介記事も多い。 市民調査では、「これからの時代に必要な施設である」(46%)、「市の文化行政のシンボル」(35%)といった肯定的な意見への回答割合が高い。 劇場開設の効果として、鑑賞機会や日常生活の中で芸術文化に触れる機会が増えたとする市民が多い。 一方で、「情報が限られており、どんなことをやっているのかわかりにくい」という意見も多い(44%)。[市民調査/05年度] 劇場スタッフのインタビューでは、広い北九州市の中でどのように地域に劇場や舞台芸術を浸透させていくのか、劇場を応援してくれる市民をどのように増やしていくのかが、今後の検討課題としてあがっている。[劇場スタッフへのグルイン/08年度] 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月コンスタントに掲載されていること、全国紙・地方紙でも事業が紹介されていることなど、劇場事業の定着と広がり进行评估。 新聞掲載記事の広告宣伝費への換算金額は、市の事業に対する補助金(約5,800万円)を大きく上回る規模であり、北九州芸術劇場の事業や運営が高いパブリシティ効果を生み出している。 北九州芸術劇場に関して、肯定的な意見が多いことは高く評価。一方、広い北九州市域の中で、劇場や劇場事業に関する情報をいかに市民に届けるかが検討課題。 北九州のシンボル、シビックプライドとしての評価の高まり。 	<ul style="list-style-type: none"> より精緻なパブリシティ効果の測定手法、および劇場の情報発信力を把握する評価手法の検討。 長期的な視点(5年ごと、10年ごとなど)での市民調査の検討、実施。 市民の劇場への意識・ニーズをより詳細に把握するための評価手法の検討。

評価大項目	評価指標・基準	調査結果・評価データ ※[]内は調査名・調査実施年度	評価結果・改善のポイント	事業評価に関する今後の課題
<p>A-8</p> <p>[広域施設としての役割発揮]</p> <p>圏域内の他施設の活動や文化振興に対する支援者の役割を果たします *「広域施設」とは主に都道府県立の公立ホール・公立劇場を想定</p>	<p>①圏域内の市町村の劇場・ホールとの積極的な連携</p> <p>②当該文化施設の運営だけにとらわれない圏域全体の文化振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 舞台の専門家が少ない地域の公立ホールや公立劇場で、困ったときには北九州芸術劇場に相談したり、北九州芸術劇場を手本とする取り組みが生まれている。 ● 「シアターラボ」「エンゲキで私イキイキ、地域イキイキ」といった「創る」「育つ」事業で九州圏域における演劇人の人材育成に貢献しており、北九州芸術劇場のプロデュース作品の九州圏域での巡回公演の可能性について期待する意見も多い。[九州圏域の劇場・演劇関係者へのグルイン/09年度] ● 北九州芸術劇場が、九州出身の劇作家の発掘と東京への発信や、九州・中国地方の小劇場のネットワークの形成を主導するような役割に期待が寄せられている。[舞台芸術公演の流通と北九州芸術劇場/14年度] <ul style="list-style-type: none"> ● 北九州芸術劇場の事業が、福岡市にも波及している。福岡のみならず九州圏域で、今後、どのように棲み分けや連携ができるのか、検討が必要である。[九州圏域の劇場・演劇関係者へのグルイン/09年度] ● 国のアーツカウンシルとは別に、地域版アーツカウンシルのようなものが北九州の文化振興ビジョンの中に入っているが、どのようにリアリティを感じさせるようにするかが大きな課題。[全国の劇場関係者へのグルイン/09年度] ● 2003年に開館して以来、「創る」、「観る」、「育つ」という事業の考え方や、事業評価を行うことの二点において、北九州芸術劇場が公共劇場のスタンダードを形成してきたと言える。[北九州芸術劇場のこれまでの10年と、これからの10年/13年度] ● (公社)日本劇団協議会の加盟団体へのアンケート(回答32件)によると、ほとんどが東京を活動拠点としている劇団で、過去3年以内に北九州芸術劇場で公演を実施したことがある団体が6割で、九州公演を実施した団体の3分の2が北九州芸術劇場で公演を実施した。[舞台芸術公演の流通と北九州芸術劇場/14年度] 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後、北九州芸術劇場が九州圏域に果たす役割には、より一層の期待が高まっている。 ● 「北九州モデル」としての成功を、他の地方自治体に発信・波及させながら、次なる目標を確立し、それに向かって挑んでいくことが必要。 ● 国や他の地方自治体(とくに九州圏域の県や市)との緩やかな連携も視野に入れて、地域版アーツカウンシルとしてのあるべき姿や北九州芸術劇場の位置づけを検討していくことが重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 広域施設の役割を担うための「次なる目標」としての事業方針と、その評価手法の検討。

B:管理運営

※この評価結果一覧は、(一財)地域創造「公立ホール・公立劇場の評価指針」(平成19年3月)の評価フレームに基づき、北九州芸術劇場で03年度～13年度に実施した事業評価調査の結果を整理したものである。

評価大項目		評価指標・基準	調査結果・評価データ ※[]内は調査名・調査実施年度	評価結果・改善のポイント	事業評価に関する今後の課題
B-1	「支える」 [場の提供・支援 (貸館事業)]	①ミッションに基づいた貸館事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 貸館事業については、「創る」「育つ」「観る」の劇場の運営方針と並んで、地域の創造力を高めるための「創造支援」として位置づける方向性。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な満足度、今後の利用意向ともに100%近い割合であることは、利用者からの大きな評価。 貸館事業のソフトに関する評価は大変高く、今後もこのサービス内容・質の維持が望まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 貸館調査の継続。 利用者の満足度に関する定量的評価指標、定性的評価指標の検討。
		②貸館における入場者数	<ul style="list-style-type: none"> 15年度の貸館公演・講演は242事業。計339回の公演・講演が行われ、入場者数は186,880人。 		
		③利用者の満足度	<ul style="list-style-type: none"> 劇場利用に関する総合的な満足度は99%。今後の利用意向も99%と満足度はたいへん高い。 ソフト面に関する12項目のうち、「開館時間が適当である」以外は、満足層の割合が95%以上。貸館事業におけるスタッフの対応への評価は高い。[貸館調査/15年度] 15年度では、14年度に比べて、「施設利用や予約情報が入手しやすい」、「利用問い合わせや予約が円滑」、「事前打ち合わせが円滑」、「当日の対応が適切」、「施設の利用に関する説明が適切」、「事故や非常時の対応等に関する説明が適切」、「現在の開館時間は適当」の項目で「はい」への回答割合が高くなっている。 		
B-2	[施設のホスピタリティ・サービス]	①公演や催し物情報に関する満足度	<ul style="list-style-type: none"> 開館年度(03年度)に満足度が低かった「公演情報の入手のしやすさ」は、04年度以降改善傾向が続き、14年度の満足層は88%となっているが、15年度は83%に減少した。[観客調査/15年度] ○公演情報の入手のしやすさ 03年度:65%⇒04:73%⇒05:78%⇒06:79%⇒07:81%⇒08:86%⇒09:87%⇒10:85%⇒11:90%⇒12:89%⇒13:88%⇒14:88%⇒15:83% 	<ul style="list-style-type: none"> 高い満足度は堅持し、低い満足度は大きく改善している。開館から10年が経過し、観客が劇場や鑑賞活動に慣れてきたこともあろうが、劇場側の工夫と努力が大きいと考えられる。 劇場のホスピタリティ・サービスに関する評価は大変高く、今後もこのサービス内容・質の維持が望まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 観客調査の継続。 観客の意識・満足度・ニーズ把握に関する定量的評価指標、定性的評価指標の検討。
		②ホスピタリティに関する満足度	<ul style="list-style-type: none"> 開館年度に満足度が69%であった「劇場の入口・案内表示のわかりやすさ」は、04年度以降改善傾向が続き、15度は89%であった。 「劇場やロビーのデザイン、雰囲気」は03年度から88%の高い満足度が少しずつ上昇し、15年度は95%となっている。[観客調査/14年度] ○案内表示 03年度:69%⇒04:74%⇒05:77%⇒06:79%⇒07:82%⇒08:87%⇒09:88%⇒10:89%⇒11:90%⇒12:89%⇒13:89%⇒14:92%⇒15:89% ○デザイン・雰囲気 03年度:88%⇒04:91%⇒05:93%⇒06:93%⇒07:94%⇒08:95%⇒09:96%⇒10:96%⇒11:97%⇒12:97%⇒13:96%⇒14:97%⇒14:95% 		
		③スタッフの対応や電話応対等に関する満足度	<ul style="list-style-type: none"> 「電話予約・チケットカウンターの対応」「劇場係員の対応」への満足度は大変高い。「劇場係員の対応」については、開館年度から90%以上の満足度を維持、15年度は97%であった。 開館年度(03年度)に満足度が低かった「チケットの予約・購入のしやすさ」は、04年度以降改善傾向が続き、14年度には89%の満足度となっているが、15年度は79%に減少した。[観客調査/15年度] ○劇場係員の対応 03年度:92%⇒04:97%⇒05:98%⇒06:97%⇒07:97%⇒08:97%⇒09:98%⇒10:98%⇒11:99%⇒12:98%⇒13:98%⇒14:97%⇒15:97% ○電話・チケットカウンター 03年度:80%⇒04:91%⇒05:93%⇒06:92%⇒07:93%⇒08:95%⇒09:96%⇒10:96%⇒11:97%⇒12:97%⇒13:95%⇒14:95%⇒15:95% ○チケットの予約購入 03年度:53%⇒04:73%⇒05:79%⇒06:80%⇒07:83%⇒08:90%⇒09:86%⇒10:84%⇒11:90%⇒12:89%⇒13:89%⇒14:89%⇒15:79% 		
		④飲食に関する満足度	<ul style="list-style-type: none"> 劇場ロビーの飲食サービスの満足度は70%台後半で推移してきたが、07年度に80%に達し、15年度は87%となっている。[観客調査/15年度] ○飲食サービス 03年度:73%⇒04:78%⇒05:79%⇒06:77%⇒07:80%⇒08:83%⇒09:86%⇒10:86%⇒11:88%⇒12:86%⇒13:85%⇒14:87%⇒15:87% 		
B-3	[施設の維持管理]	①施設の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 貸館調査でも、劇場の施設や設備などハード面で利用者からの満足度は大変高いが、搬入・搬出のしやすさについては複合施設でエレベーターを使用することから、他の項目に比べて満足度は低い。満足層の割合は次のとおり。[貸館調査/15年度] ○館内は清潔に保たれていた:100% ○ホワイエや客席など劇場の雰囲気がよい:100% ○劇場の広さ(客席数)がちょうどよい:98% ○搬入・搬出がやりやすい:96% ○舞台設備・機器は充実している:100% ○楽屋など舞台裏の施設が使いやすい:99% ○設備・機器などを安全に使用できた:99% 	<ul style="list-style-type: none"> 劇場利用者からの施設・設備の維持管理に関する評価は大変高く、今後も安心・安全な施設利用への取り組みが望まれる。 スタッフからは、中長期の修繕計画が課題としてあげられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 貸館調査の継続。 利用者の評価に関する定量的評価指標、定性的評価指標の検討。 施設の維持管理に関する詳細調査の検討。
		②稼働率	<ul style="list-style-type: none"> 施設稼働率は、大ホールが79%、中劇場が78%、小劇場が84%である。 開館年の03年度を除き、3つのホールの稼働率は約70～80%で推移。全国平均(専用ホールのうち政令市施設の平均稼働率は70%)と比較しても高い水準。ただし、稼働率が過度に高い状況では、設備・機器の安全な使用にも影響を及ぼしかねないことに留意する必要がある。 		

C:経営

※この評価結果一覧は、(一財)地域創造「公立ホール・公立劇場の評価指針」(平成19年3月)の評価フレームに基づき、北九州芸術劇場で03年度～13年度に実施した事業評価調査の結果を整理したものである。

評価大項目		評価指標・基準	調査結果・評価データ ※[]内は調査名・調査実施年度	評価結果・改善のポイント	事業評価に関する今後の課題
C-3	[経営努力]	①外部資金、チケット収入の割合	<ul style="list-style-type: none"> 15年度事業費は約2億5,848万円。財源内訳は、チケット収入:約1億5,300万円(59%)、外部資金:約4,700万円(18%)、市の補助金:約5,800万円(22%)。 チケット収入と外部資金の03年度からの比率をみると次のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ○チケット収入 03年度:54%⇒04:43%⇒05:37%⇒06:61%⇒07:52%⇒08:42%⇒09:65%⇒10:68%⇒11:53%⇒12:47%⇒13:52%⇒14:39%⇒15:59% ○外部資金 03年度:18%⇒04:20%⇒05:22%⇒06:14%⇒07:14%⇒08:15%⇒09:8%⇒10:15%⇒11:12%⇒12:13%⇒13:19%⇒14:22%⇒15:18% 	<ul style="list-style-type: none"> チケット収入の割合の高さなど、劇場の営業努力、運営努力の成果として評価。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続したデータ収集・分析の実施。 詳細調査の必要性の検討、実施。
		②事業収支からみた経営努力	<ul style="list-style-type: none"> 15年度の事業費の収入の部の決算報告では、予算額と決算額の差が事業収入で約210万円の減収、補助金等収入は約1,500万円の減収となっており、事業規模が縮小した結果、収入も減少した形になった。 		

※C-1 経営体制、C-2 リサーチ&マーケティングについては、調査や評価の方法を含め、今後の検討課題である。

北九州芸術劇場
事業評価調査
[資料編]



觀客調查結果

序 観客調査の実施要領

観客調査の実施要領

(1) 調査の手法

- 調査の対象:2015年度に北九州芸術劇場で実施した主催事業および提携・協力事業公演34公演
- 配布・回収方法:各公演の開演時に配布、終演時に回収(後日ファックス、郵送にて回収も受付)
- 実施時期: 2015年4月16日～2016年3月31日
- 有効回答数:1,989、回収率:14.1%(配布数:14,116件)
- 調査対象の公演名、会場、ジャンル、公演ごとの配布数、回収数等の詳細は、図表-資 I -1のとおりである。

図表-資 I -1 アンケート調査実施公演一覧

公演名	会場	公演ジャンル	配布日	配布数	回収数	回収率(%)
NODA・MAP「エッグ」	大ホール	現代演劇	4/16	1,239	100	8.1%
「私のエディット」 ～松坂慶子が語るエディット・ピアフの物語～	中劇場	現代演劇	6/14	401	46	11.5%
合唱物語「わたしの青い鳥 2015」	中劇場	音楽劇	6/28	443	39	8.8%
戦後 70 年平和祈念「この子たちの夏」 -1945・ヒロシマ ナガサキ	中劇場	現代演劇	7/5	351	67	19.1%
ラッパ屋第 41 回公演「ボンコツ大学探検部」	中劇場	現代演劇	7/12	357	80	22.4%
平成 27 年度公共ホール現代ダンス活性化事業 東野祥子ダンス公演「世界は不在の中のひとつの小さな星ではないか? - "A World inside the Absence" -」	小劇場	ダンス・現代舞踊	7/12	72	14	19.4%
「サティさん」“Pan Satie”	小劇場	ダンス・現代舞踊	7/28	83	5	6.0%
3 軒茶屋婦人会 6 「ス・ワ・ン」	中劇場	現代演劇	7/25	435	60	13.8%
子供のためのシェイクスピア「ロミオとジュリエット」	中劇場	現代演劇	7/30	346	45	13.0%
ワンコインコンサート vol.1	大ホール	音楽劇	8/26	309	68	22.0%
「マクベス ～One-Man MACBETH～」	中劇場	現代演劇	8/28	605	106	17.5%
女性の眼と句で綴る演劇「花、盛ル。」	小劇場	現代演劇	8/29	108	20	18.5%
DDW ショーケース	小劇場	ダンス・現代舞踊	9/19	79	7	8.9%
KERA・MAP #6「グッドバイ」	中劇場	現代演劇	10/3	608	73	12.0%
バットシェパ舞踊団「DECADANCE-デカダンス」	大ホール	ダンス・現代舞踊	10/11	637	77	12.1%
こまつ座「十一ぴきのネコ」	中劇場	ミュージカル・商業演劇	11/7	378	60	15.9%
No.9 - 不滅の旋律 -	大ホール	現代演劇	11/13	1,193	351	29.4%
ワンコインコンサート vol.2	大ホール	音楽劇	12/9	311	91	29.3%
DDW「談ス」	中劇場	ダンス・現代舞踊	12/12	437	39	8.9%
南河内万歳一座「似世物小屋」	小劇場	現代演劇	12/12	61	15	24.6%
北九州芸術劇場+市民共同創作リーディング 「Re:北九州の記憶」	小劇場	現代演劇	12/19	100	25	25.0%
音楽劇 レミング～世界の涯まで連れてって～	大ホール	音楽劇	12/26	555	57	10.3%
小林賢太郎演劇作品「うるう」	中劇場	現代演劇	1/9	478	132	27.6%
ツインズ	大ホール	現代演劇	1/16	1,036	90	8.7%
熱海殺人事件	中劇場	現代演劇	1/16	564	67	11.9%
H26 年度劇ツ優勝劇団公演 不思議少年 「いいひと」	小劇場	現代演劇	1/22	63	4	6.3%
山海塾「金柑少年」	中劇場	ダンス・現代舞踊	2/7	443	6	1.4%
北九州芸術劇場プロデュース「彼の地」	小劇場	現代演劇	2/7	94	71	75.5%
ハイバイ「夫婦」	小劇場	現代演劇	2/13	132	19	14.4%
二兎社「書く女」	中劇場	現代演劇	2/20	613	61	10.0%
田上パル「合唱曲第 58 番」	小劇場	現代演劇	2/27	101	2	2.0%
北九州芸術劇場リーディングセッション vol.26「会議」	小劇場	現代演劇	3/5	94	18	19.1%

公演名	会場	公演ジャンル	配布日	配布数	回収数	回収率(%)
劇トツ×20分 2016	小劇場	現代演劇	3/13	151	0	0.0%
NODA・MAP「逆鱗」	大ホール	現代演劇	3/31	1,239	74	6.0%
計	—	—	—	14,116	1,989	14.1%

(注) 配布数は、アンケートを配布する公演初日の入場者数と設定している。

(2) 調査項目

- 来場公演名、ジャンル(調査票の右肩に記載されている公演名から分類)
- 北九州芸術劇場での鑑賞活動(鑑賞した公演、公演に来た理由、情報入手経路)
- 公演内容や劇場サービスに対する満足度、総合満足度
- 運営方針に対する賛同
- 公演鑑賞前後の飲食やショッピング
- 日頃の芸術鑑賞活動(鑑賞頻度、北九州芸術劇場での鑑賞経験)
- 来場の妨げになっていること
- 基本属性(性別、年齢層、居住エリア、チケットクラブへの入会)

(3) 来場公演のジャンル、年齢の分類

① 来場公演のジャンル

- 調査結果の集計にあたっては、ジャンルごとの傾向を把握するため、公演を「小劇場・現代演劇」、「音楽劇・音楽」、「ミュージカル・商業演劇」、「ダンス・現代舞踊」の4つのジャンルに分類した(例年では、「古典芸能(歌舞伎・能等)」、「パフォーマンス」を加えて集計しているが、2015年度は当該分野の事業が行われなかった。また、「音楽」は「音楽劇」に含めて集計した)。
- 調査対象34公演のジャンル分類は図表-資 I -1にも記しているとおり、
 - 小劇場・現代演劇: 23公演 ※下記他ジャンルの11公演以外
 - 音楽劇: 4公演…合唱物語「わたしの青い鳥2015」/音楽劇 レミング～世界の涯まで連れてって～/ワンコインコンサート vol.1/ワンコインコンサート vol.2
 - ミュージカル・商業演劇: 1公演…こまつ座「十一ぴきのネコ」
 - ダンス・現代舞踊: 6公演…平成27年度公共ホール現代ダンス活性化事業 東野祥子ダンス公演「世界は不在の中のひとつの小さな星ではないか? —“A World inside the Absence” —」/「サティさん」“Pan Satie”/DDW ショーケース/バットシユバ舞踊団「DECADANCE-デカダンス」/DDW「談ス」/山海塾「金柑少年」

となっている。

※15年度のアンケート結果は、「小劇場・現代演劇」の観客が多いことに留意が必要であるが、劇場全体の公演プログラムとして「小劇場・現代演劇」が多いことを考えると、15年度の観客全体と回答者像に大きな乖離はないと考えられる。

② 年齢層

- 実数で記載されている年齢については、年齢ごとの傾向を把握するため、「18歳未満」、「18～29歳」、「30歳代」、「40歳代」、「50歳代」、「60歳以上」の6つの年齢層に分類した。

(4) 基本分析軸の設定

- アンケート調査結果の集計・分析にあたっては、鑑賞活動や満足度に関する傾向に顕著な差が出ると考えられる、「来場公演のジャンル」、「性別」、「年齢層」、「チケットクラブへの入会」、「北九州芸術劇場での鑑賞経験」の5つを集計・分析の柱(基本分析軸)として設定した。

- なお、「北九州芸術劇場での鑑賞経験」は、08年度までは「今日が初めて」「1～5回」「6回以上」の3分類としていたが、鑑賞経験の多い来場者が増えてきたことに伴い、09年度からは、「今日が初めて」「1～2回」「3～5回」「6～10回」「11回以上」の5分類としている。
- 基本分析軸の詳細は図表-資 I -2のとおりである。

図表-資 I -2 基本分析軸

基本分析軸	項目	回収数	占有率
全 体		1,989	—
来場公演の ジャンル n=1,989	小劇場・現代演劇	1,423	71.5%
	音楽劇	293	14.7%
	ミュージカル・商業演劇	60	3.0%
	古典芸能(歌舞伎・能等)	0	0.0%
	ダンス・現代舞踊	213	10.7%
	パフォーマンス	0	0.0%
性別 n=1,817	男性	300	16.5%
	女性	1,517	83.5%
年齢層 n=1,746	18歳未満	57	3.3%
	18～29歳	243	13.9%
	30歳代	285	16.3%
	40歳代	396	22.7%
	50歳代	437	25.0%
	60歳以上	328	18.8%
チケットクラブへの 入会 n=1,778	加入	496	27.9%
	未加入	1,282	72.1%
北九州芸術劇場 での鑑賞経験 n=1,794	今日が初めて	561	31.3%
	1～2回	256	14.3%
	3～5回	372	20.7%
	6～10回	247	13.8%
	11回以上	358	20.0%

(注1) 基本分析軸に無回答は含まない。

(注2) 無回答の件数は、性別:172件、年齢層:243件、チケットクラブへの入会の有無:211件、北九州芸術劇場での鑑賞経験:195件である。「来場公演のジャンル」は、調査票にあらかじめ記載された公演名から分類するため、無回答はゼロである。

1 属性

回答者の性別は、「男性」が16.5%、「女性」が83.5%と、「女性」の割合が高い。

[来場公演のジャンル別]

・いずれのジャンルでも「女性」の割合が高い。

[年齢別]

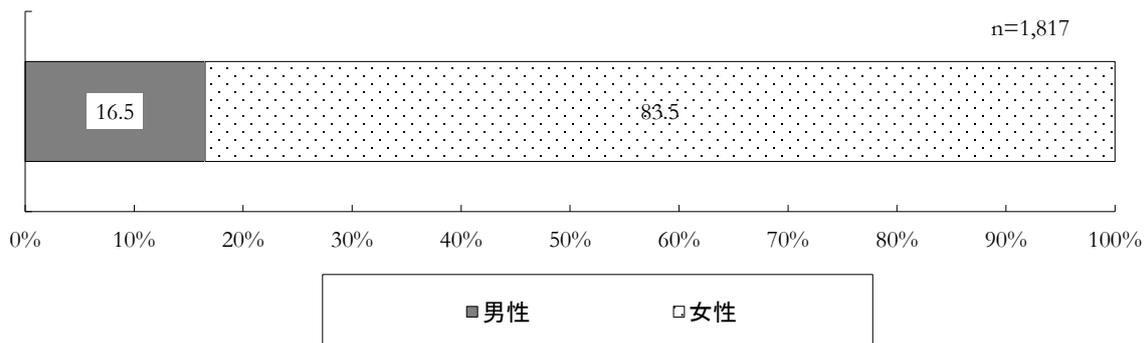
・いずれの年齢層でも「女性」の割合が高い。18歳未満では「男性」の割合が21.1%、60歳以上では21.0%と他の年齢層に比べて高い。

[北九州芸術劇場での鑑賞経験別]

・鑑賞経験を問わず「女性」の割合が高い。1～2回では「男性」の割合が20.7%と他の鑑賞経験に比べて高い。

[過去調査と比較して]

・過去調査でも回答者の性別は「女性」の割合が高いが、最も男性の割合が高くなっているのは12年度の24.2%である。



(単位:%)

		調査数 (n)	Q12性別	
			男性	女性
全体		1817	16.5	83.5
ジャンル	小劇場・現代演劇	1327	14.7	85.3
	音楽劇	242	22.3	77.7
	ミュージカル・商業演劇	54	14.8	85.2
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0
	ダンス・現代舞踊	194	22.2	77.8
	パフォーマンス	0	0.0	0.0
性別	男性	300	100.0	0.0
	女性	1517	0.0	100.0
年齢層	18歳未満	57	21.1	78.9
	18～29歳	242	16.9	83.1
	30歳代	285	15.4	84.6
	40歳代	396	12.6	87.4
	50歳代	436	17.4	82.6
	60歳以上	328	21.0	79.0
チケット クラブ	加入	492	10.8	89.2
	未加入	1273	18.8	81.2
鑑賞 経験	今日が初めて	556	16.9	83.1
	1～2回	256	20.7	79.3
	3～5回	369	16.0	84.0
	6～10回	243	12.8	87.2
	11回以上	357	16.0	84.0

※n=1,817は、無回答(172件)を除く。

参考	14年度調査結果	1068	21.8	78.2
	13年度調査結果	1446	21.1	78.9
	12年度調査結果	1478	24.2	75.8
	11年度調査結果	1599	22.3	77.7
	10年度調査結果	2232	18.4	81.6
	09年度調査結果	1607	16.6	83.4
	08年度調査結果	1653	19.0	81.0
	07年度調査結果	2901	17.9	82.1
	06年度調査結果	2394	20.6	79.4
	05年度調査結果	2510	18.1	81.9
	04年度調査結果	4089	14.6	85.4
	03年度調査結果	3595	15.9	84.1

* 表中の網掛け部分は、各属性のうち無回答以外の最高の占率を表す(以下、いずれの表についても同様)。

回答者の平均年齢は45.6歳。「50歳代」が25.0%と最も割合が高いが、「40歳代」が22.7%、「60歳以上」が18.8%、「30歳代」が16.3%、「18～29歳」が13.9%、と、18歳未満を除くと年齢層で大きな偏りはなく、幅広い年齢層の観客が来場している。

[来場公演のジャンル別]

- ・平均年齢が最も高いのは音楽劇の52.9歳となっている。
- ・ミュージカル・商業演劇では、「18歳未満」の割合が全体の割合を上回っており、幅広い年齢層が鑑賞している。

[性別]

- ・平均年齢は、男性が46.8歳、女性が45.4歳と、男性の平均年齢が高い。
- ・女性では「40歳代」の割合が男性に比べて高く、男性では「60歳以上」の割合が女性に比べて高い。

[チケットクラブへの加入・未加入別]

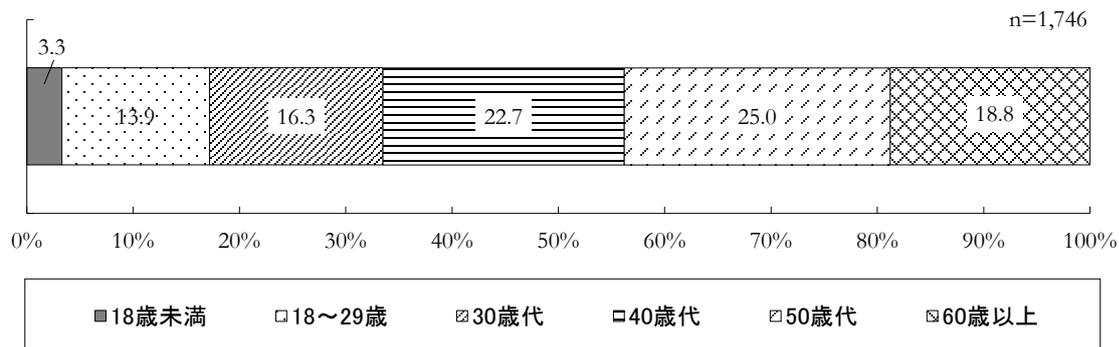
- ・加入の場合の平均年齢は48.3歳、未加入の場合は44.4歳と、加入の平均年齢が高い。

[北九州芸術劇場での鑑賞経験別]

- ・北九州芸術劇場での鑑賞経験が多いほど平均年齢は高い。
- ・6～10回では、「50歳代」に続いて「60歳以上」の割合が高い。

[過去調査と比較して]

- ・過去調査でも回答者の平均年齢は40歳台前半となっている。年齢層も大きな偏りがなく、幅広い年齢層の観客が来場しているのは、例年どおりの傾向である。
- ・過去調査と比較して15年度は、03年度の平均年齢(45.5歳)を上回り、最も高い平均年齢となった。「50歳代」の割合が最高となっている。



(単位: %)

	調査数 (n)	Q13年年齢層						平均年齢 (歳)	
		18歳未 満	18~29 歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以 上		
全体	1746	3.3	13.9	16.3	22.7	25.0	18.8	45.6	
ジャンル	小劇場・現代演劇	1276	3.7	15.7	17.1	23.7	25.9	14.0	43.9
	音楽劇	233	2.1	7.7	10.7	16.3	21.0	42.1	52.9
	ミュージカル・商業演劇	51	7.8	9.8	17.6	29.4	21.6	13.7	43.2
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ダンス・現代舞踊	186	0.5	10.8	17.7	22.0	25.3	23.7	48.6
	パフォーマンス	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別	男性	292	4.1	14.0	15.1	17.1	26.0	23.6	46.8
	女性	1452	3.1	13.8	16.6	23.8	24.8	17.8	45.4
年齢層	18歳未満	57	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0
	18~29歳	243	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.1
	30歳代	285	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	34.8
	40歳代	396	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	44.6
	50歳代	437	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	53.9
	60歳以上	328	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	66.6
チケット クラブ	加入	467	0.4	6.2	15.4	29.8	30.8	17.3	48.3
	未加入	1233	4.2	17.0	16.8	20.2	23.0	18.8	44.4
鑑賞 経験	今日が初めて	538	4.1	23.6	17.7	20.3	23.2	11.2	41.0
	1~2回	247	3.6	16.6	17.4	19.4	25.5	17.4	44.7
	3~5回	363	4.4	11.0	14.6	26.7	23.1	20.1	46.1
	6~10回	233	1.7	10.3	18.9	16.7	29.2	23.2	48.3
	11回以上	332	0.6	2.4	13.6	29.5	27.1	26.8	51.2

※n=1746は、無回答(243件)を除く。

参考	14年度調査結果	1004	6.1	11.1	16.3	27.5	22.2	16.8	44.8
	13年度調査結果	1386	3.6	18.2	22.4	25.4	16.7	13.6	41.9
	12年度調査結果	1398	3.2	16.7	21.0	24.2	20.4	14.4	42.9
	11年度調査結果	1529	5.8	15.0	23.9	26.7	17.1	11.6	41.4
	10年度調査結果	2162	5.1	19.1	27.3	21.3	15.3	11.9	40.2
	09年度調査結果	1546	3.5	15.1	28.7	22.1	17.5	13.1	42.0
	08年度調査結果	1586	3.9	16.2	23.3	20.9	19.7	15.9	42.9
	07年度調査結果	2818	4.7	18.0	23.0	19.3	16.4	18.5	42.7
	06年度調査結果	2302	5.8	15.6	22.3	19.3	18.0	19.1	43.4
	05年度調査結果	2363	2.8	19.6	22.7	17.6	18.0	18.6	43.4
	04年度調査結果	3867	4.9	17.1	23.4	20.4	17.5	16.7	42.3
	03年度調査結果	3470	3.1	15.1	21.4	16.9	19.9	23.6	45.5

- ・回答者の居住エリアは、北九州市及び周辺地域が50.2%（「北九州市」：41.7%、北九州市周辺：8.5%）を占めるが、福岡市やその周辺をはじめ、九州各地、山口県等からの来場者は40.2%と5人に2人の割合となっている。過去調査と比較すると、北九州市及び周辺以外からの来場者の割合は、07年度以降は3割以上が定着している。
- ・福岡県以外の九州について具体的な県名をみると、大分県（43件）、熊本県（36件）、佐賀県（23件）、鹿児島県（14件）等の記載がある。

【来場公演のジャンル別】

- ・ジャンルを問わず「北九州市」の占める割合が最も高く、特に「北九州市」の割合が高いのは、音楽劇（63.5%）となっている。
- ・ダンス・現代舞踊では、「福岡市+周辺」（19.2%）や「北九州・福岡周辺以外の九州」（16.9%）からの割合が高い。

【性別】

- ・性別では、男女ともに「北九州市」の割合が高いものの、性別で大きな差はない。

【年齢別】

- ・「北九州市」の割合は、18歳未満で高く、75.4%となっている。
- ・一方、18～29歳、30歳代では、「福岡市+周辺」からの来場者の割合が高い。

【チケットクラブへの加入・未加入別】

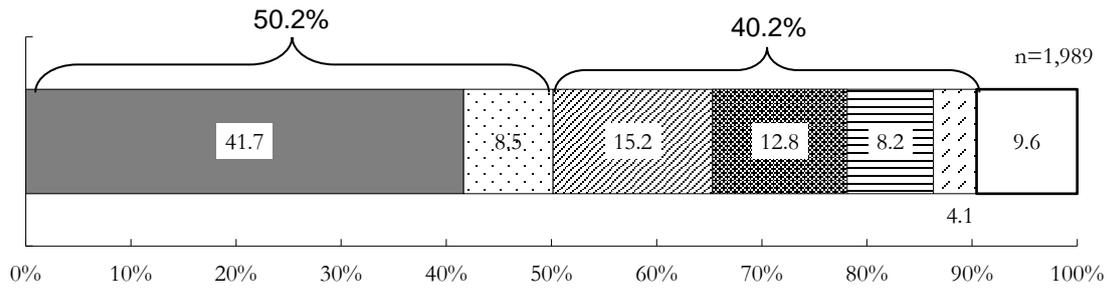
- ・加入、未加入ともに「北九州市」の割合が最も高く、大きな差はない。

【北九州芸術劇場での鑑賞経験別】

- ・11回以上の来場者は59.5%が「北九州市」の居住となっており、鑑賞経験が多いほど「北九州市」の割合が高い傾向となっている。市内に居住していること（＝劇場に来やすいこと）が鑑賞経験にも影響しているものと考えられる。
- ・初めての来場者では「北九州・福岡周辺以外の九州」が25.0%と、「北九州市」（23.9%）よりも割合が高い。

【過去調査と比較して】

- ・10年度までは「北九州市+周辺」からの来場割合が下降傾向、「北九州市+周辺以外のエリア」からの来場割合が上昇傾向にあり、13年度の43.6%が最も高い割合となっている。15年度は13年度に次いで2番目に「北九州市+周辺以外のエリア」からの来場割合が高い。



■北九州市 □北九州市周辺 ▨福岡市+周辺 ▩左記以外の九州 □山口県 ▨その他 □無回答

(単位: %)

	調査数 (n)	Q11居住エリア							無回答
		北九州市	北九州市 周辺	福岡市+ 周辺	北九州・ 福岡周辺 以外の九州	山口県	その他		
全体	1989	41.7	8.5	15.2	12.8	8.2	4.1	9.6	
ジャンル	小劇場・現代演劇	1423	39.1	9.2	17.2	14.4	8.1	4.8	7.1
	音楽劇	293	63.5	5.5	3.8	2.0	6.1	1.0	18.1
	ミュージカル・商業演劇	60	38.3	8.3	11.7	13.3	15.0	1.7	11.7
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ダンス・現代舞踊	213	31.5	8.5	19.2	16.9	9.9	4.2	9.9
	パフォーマンス	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性別	男性	300	46.7	11.0	15.7	12.7	8.3	4.3	1.3
	女性	1517	45.4	8.9	16.9	14.3	9.1	4.4	1.1
年齢層	18歳未満	57	75.4	7.0	8.8	1.8	1.8	1.8	3.5
	18~29歳	243	37.4	6.6	22.6	18.5	7.0	6.6	1.2
	30歳代	285	40.7	7.4	22.1	15.1	9.8	4.2	0.7
	40歳代	396	43.7	10.1	18.7	13.1	8.6	5.1	0.8
	50歳代	437	41.2	11.2	15.1	16.9	9.4	5.5	0.7
	60歳以上	328	59.1	10.7	8.2	8.8	10.1	0.9	2.1
チケット クラブ	加入	496	48.6	10.7	13.9	11.1	11.1	4.0	0.6
	未加入	1282	44.1	8.6	17.5	15.4	8.4	4.8	1.2
鑑賞 経験	今日が初めて	561	23.9	7.1	21.7	25.0	10.0	10.9	1.4
	1~2回	256	47.3	8.2	18.0	13.7	9.0	3.1	0.8
	3~5回	372	55.4	13.2	14.8	8.1	5.9	1.3	1.3
	6~10回	247	57.9	10.5	15.0	8.5	4.9	2.0	1.2
	11回以上	358	59.5	8.4	11.2	6.7	13.4	0.3	0.6

北九州市 +周辺	北九州市 +周辺 以外のエ リア
50.2	40.2
48.3	44.6
68.9	13.0
46.7	41.7
0.0	0.0
39.9	50.2
0.0	0.0
57.7	41.0
54.3	44.6
82.5	14.0
44.0	54.7
48.1	51.2
53.8	45.5
52.4	46.9
69.8	28.0
59.3	40.1
52.7	46.0
31.0	67.6
55.5	43.8
68.5	30.1
68.4	30.4
67.9	31.6

参考	14年度調査結果	1146	48.7	9.5	14.0	9.7	8.6	2.6	6.9
	13年度調査結果	1569	40.5	7.8	17.7	13.2	9.8	2.9	8.2
	12年度調査結果	1599	45.7	8.8	16.3	9.7	8.9	2.9	7.8
	11年度調査結果	1688	49.9	10.1	12.7	10.1	9.7	1.8	5.7
	10年度調査結果	2379	45.4	11.1	13.5	12.1	9.0	2.9	6.2
	09年度調査結果	1692	50.7	11.1	14.0	9.6	7.7	1.9	5.0
	08年度調査結果	1732	52.9	11.5	12.0	7.6	10.0	1.5	4.4
	07年度調査結果	3033	52.6	11.7	11.8	9.3	8.0	2.1	4.4
	06年度調査結果	2766	61.9	12.5	8.4	4.6	7.1	1.3	4.2
	05年度調査結果	3073	60.7	11.3	11.5	4.3	8.1	1.4	2.7
	04年度調査結果	4708	63.3	8.4	10.2	8.5	6.9	1.0	1.7
	03年度調査結果	4078	60.5	7.5	7.8	-	-	11.6	7.7

58.2	34.9
48.2	43.6
54.4	37.8
60.1	34.2
56.4	37.4
61.8	33.2
64.5	31.1
64.3	31.2
74.4	21.4
72.0	25.3
71.7	26.6
68.0	19.4

チケットクラブに入会している割合は24.9%、入会していない割合は64.5%である。

[来場公演のジャンル別]

・チケットクラブに入会している割合(加入率)は、ミュージカル・商業演劇(35.0%)で高い。

[性別]

・加入率は、男性が17.7%、女性が28.9%と、女性の割合がやや高い。

[年齢別]

・加入率は、40歳代(35.1%)、50歳代(33.0%)で高い。

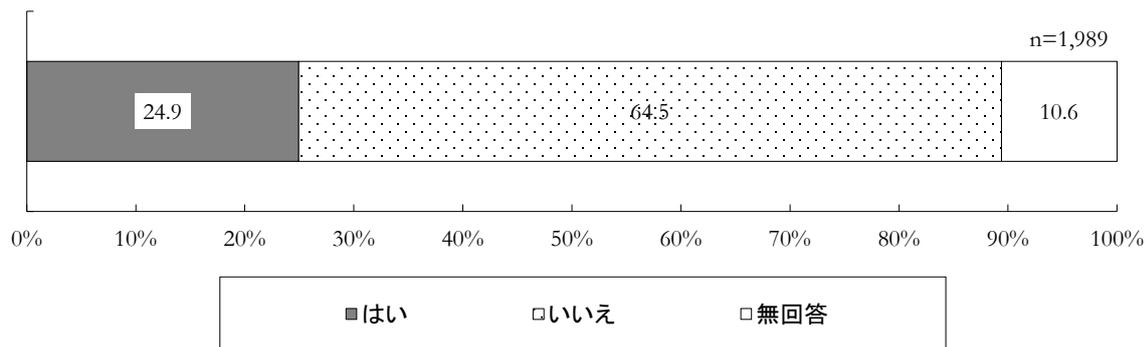
[北九州芸術劇場での鑑賞経験別]

・北九州芸術劇場での鑑賞経験が初めてのグループでは、加入率は11.1%に留まるが、鑑賞経験が多いほど入会している割合は高く、特に、11回以上のグループの加入率の高さは63.4%となっている。

[過去調査と比較して]

・年度ごとに増減があり、おおよそ加入:20%前後、未加入:70%前後の割合で推移してきたが、10年度以降、加入率は徐々に高まっている。

・加入率は03年度が最も高く(33.4%)、次いで14年度が2番目、15年度が3番目に高い割合となっている。



(単位: %)

	調査数 (n)	Q9チケットクラブへの入会			
		はい	いいえ	無回答	
全体	1989	24.9	64.5	10.6	
ジャンル	小劇場・現代演劇	1423	26.8	64.7	8.5
	音楽劇	293	13.7	67.6	18.8
	ミュージカル・商業演劇	60	35.0	53.3	11.7
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0	0.0
	ダンス・現代舞踊 パフォーマンス	213	24.9	62.0	13.1
性別	男性	300	17.7	79.7	2.7
	女性	1517	28.9	68.2	2.9
年齢層	18歳未満	57	3.5	91.2	5.3
	18～29歳	243	11.9	86.0	2.1
	30歳代	285	25.3	72.6	2.1
	40歳代	396	35.1	62.9	2.0
	50歳代	437	33.0	65.0	2.1
60歳以上	328	24.7	70.7	4.6	
チケット クラブ	加入	496	100.0	0.0	0.0
	未加入	1282	0.0	100.0	0.0
鑑賞 経験	今日が初めて	561	11.1	87.9	1.1
	1～2回	256	12.9	85.5	1.6
	3～5回	372	22.3	75.3	2.4
	6～10回	247	34.0	62.8	3.2
	11回以上	358	63.4	33.5	3.1

参考	14年度調査結果	1146	25.2	65.6	9.2
	13年度調査結果	1569	23.3	66.7	10.0
	12年度調査結果	1599	24.8	66.0	9.2
	11年度調査結果	1688	22.7	68.8	8.5
	10年度調査結果	2379	19.0	73.1	7.9
	09年度調査結果	1692	22.5	70.7	6.9
	08年度調査結果	1732	18.7	73.8	7.5
	07年度調査結果	3033	20.3	73.6	6.1
	06年度調査結果	2766	23.1	70.6	6.3
	05年度調査結果	3073	24.0	71.0	4.9
	04年度調査結果	4708	23.1	73.4	3.4
	03年度調査結果	4078	33.4	57.3	9.3

現在チケットクラブ会員ではない場合、今後の入会意向のある割合は13.5%、ない割合は49.4%である。無回答の割合も37.1%と高い(入会の意向が明確ではない人は無回答の場合が多いと考えられる)。

[来場公演のジャンル別]

・今後の入会意向は、小劇場・現代演劇が高い(14.2%)。

[性別]

・今後の入会意向は、男性が10.9%、女性が14.2%と女性がやや高い。

[年齢別]

・入会意向は40歳代で高く(17.7%)、60歳以上は低い(9.1%)。

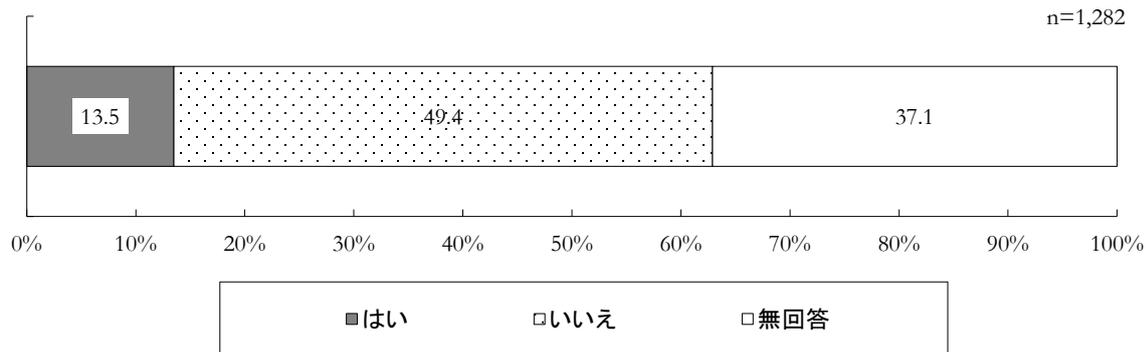
・60歳以上で無回答の割合が高く、45.7%が無回答である。

[北九州芸術劇場での鑑賞経験別]

・入会意向は、6～10回以上のグループで若干高くなっている。概ね鑑賞経験が多いほど高い傾向となっている。

[過去調査と比較して]

・07年度以降の入会意向が20%を下回る状況が続いており、過去調査と比較して15年度は最も低い割合となっている。



(単位:%)

	全体	Q9-1今後の意向			
		はい	いいえ	無回答	
全体	1282	13.5	49.4	37.1	
ジャンル	小劇場・現代演劇	920	14.2	51.1	34.7
	音楽劇	198	11.6	44.4	43.9
	ミュージカル・商業演劇	32	12.5	37.5	50.0
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0	0.0
	ダンス・現代舞踊	132	11.4	47.7	41.0
	パフォーマンス	0	0.0	0.0	0.0
性別	男性	239	10.9	53.1	35.9
	女性	1034	14.2	48.6	37.1
年齢層	18歳未満	52	9.6	78.8	11.5
	18～29歳	209	11.0	56.9	32.1
	30歳代	207	16.4	41.1	42.5
	40歳代	249	17.7	53.8	28.5
	50歳代	284	14.8	45.1	40.1
	60歳以上	232	9.1	45.3	45.7
鑑賞経験	今日が初めて	493	11.2	51.7	37.1
	1～2回	219	12.8	49.3	37.9
	3～5回	280	16.4	46.4	37.2
	6～10回	155	18.7	45.8	35.5
	11回以上	120	12.5	50.0	37.5

参考	14年度調査結果	752	16.0	50.1	33.9
	13年度調査結果	1046	16.8	51.4	31.7
	12年度調査結果	1055	14.7	51.3	34.0
	11年度調査結果	1161	15.3	52.9	31.8
	10年度調査結果	1738	14.7	52.0	33.3
	09年度調査結果	1196	17.4	50.5	32.1
	08年度調査結果	1278	18.4	47.6	34.0
	07年度調査結果	2232	17.3	48.3	34.4
	06年度調査結果	1954	25.3	46.4	28.2
	05年度調査結果	2183	20.5	45.1	34.4
	04年度調査結果	3458	30.3	40.3	29.4
	03年度調査結果	2337	37.5	30.1	32.4

* n=1,282は、チケットクラブに入会していないと回答した人の数

2 本日の公演や劇場に関する意見

(1) 来場公演のジャンル

回答者が鑑賞した公演のジャンルは、「小劇場・現代演劇」が71.5%である。そのほかのジャンルについては、「音楽劇」が14.7%、「ダンス・現代舞踊」が10.7%、「ミュージカル・商業演劇」が3.0%となっている。

※2015年度のアンケート配布34公演のうち、「小劇場・現代演劇」が23公演を占めていることから、全体の数字は、「小劇場・現代演劇」の影響が大きいことに留意が必要である。

[性別]

・男性、女性ともに、「小劇場・現代演劇」の割合が最も高いが、やや女性の鑑賞割合が高い(男性:65.0%、女性:74.6%)。

[年齢別]

・いずれの年代でも「小劇場・現代演劇」の割合が高いが、特に、18歳未満で高い。
・60歳以上では「音楽劇」の割合が29.9%と他の年齢層に比べて高い。
・「小劇場・現代演劇」では年齢層が低いほど割合が高く、「ダンス・現代舞踊」では年齢層が高いほど割合が高い。

[チケットクラブへの加入・未加入別]

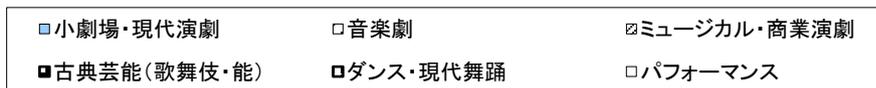
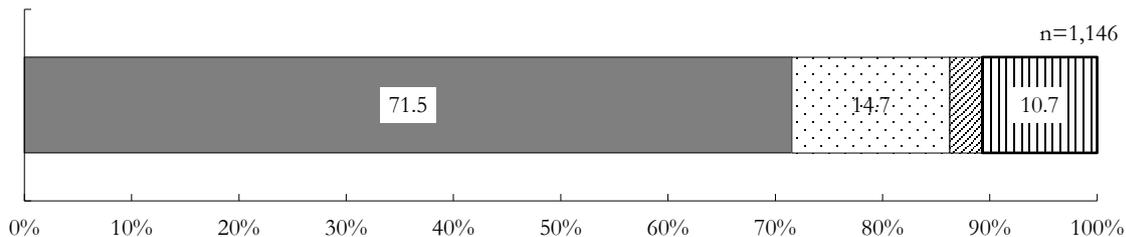
・加入・未加入ともに「小劇場・現代演劇」の割合が最も高く、加入の場合は77.0%を占めている。

[北九州芸術芸場での鑑賞経験別]

・初めての来場者の場合、「小劇場・現代演劇」の割合は83.4%となっている。

[過去調査と比較して]

・過去調査と比較して、07年度以降、若干の増減はあるが「小劇場・現代演劇」の割合が増加しており、14年度は最も高くなっている。



(単位: %)

	調査数 (n)	ジャンル						
		小劇場・ 現代演劇	音楽劇	ミュージカル・商 業演劇	古典芸能 (歌舞伎・能)	ダンス・ 現代舞踊	パフォー マンス	
全体	1989	71.5	14.7	3.0	0.0	10.7	0.0	
ジャンル	小劇場・現代演劇	1423	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	音楽劇	293	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ミュージカル・商業演劇	60	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ダンス・現代舞踊	213	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	パフォーマンス	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性別	男性	300	65.0	18.0	2.7	0.0	14.3	0.0
	女性	1517	74.6	12.4	3.0	0.0	10.0	0.0
年齢層	18歳未満	57	82.5	8.8	7.0	0.0	1.8	0.0
	18～29歳	243	82.3	7.4	2.1	0.0	8.2	0.0
	30歳代	285	76.5	8.8	3.2	0.0	11.6	0.0
	40歳代	396	76.3	9.6	3.8	0.0	10.4	0.0
	50歳代	437	75.5	11.2	2.5	0.0	10.8	0.0
	60歳以上	328	54.6	29.9	2.1	0.0	13.4	0.0
チケット クラブ	加入	496	77.0	8.1	4.2	0.0	10.7	0.0
	未加入	1282	71.8	15.4	2.5	0.0	10.3	0.0
鑑賞 経験	今日が初めて	561	83.4	8.0	1.8	0.0	6.8	0.0
	1～2回	256	74.2	13.3	3.1	0.0	9.4	0.0
	3～5回	372	69.9	17.5	2.4	0.0	10.2	0.0
	6～10回	247	69.2	11.7	2.4	0.0	16.6	0.0
	11回以上	358	62.0	17.6	5.9	0.0	14.5	0.0

参考	14年度調査結果	1146	88.3	6.3	0.0	0.0	5.4	0.0	
	13年度調査結果	1569	78.3	4.3	0.0	0.0	17.3	0.0	
	12年度調査結果	1599	79.4	3.6	9.3	0.0	3.2	4.5	
	11年度調査結果	1688	76.1	4.1	0.0	8.1	7.3	4.3	
	10年度調査結果	2379	70.5	7.2	16.1	4.4	1.7	0.0	
	09年度調査結果	1692	70.3	5.3	10.1	5.7	4.1	4.5	
	08年度調査結果	1732	43.8	22.1	24.0	5.5	3.6	0.9	
	07年度調査結果	3033	26.9	3.8	44.0	16.7	4.6	3.1	0.9
	06年度調査結果	2766	35.8	4.5	33.3	22.2	3.3	1.0	—
	05年度調査結果	3073	27.4	3.0	33.3	16.1	8.9	6.7	4.6
	04年度調査結果	4708	45.1	—	24.1	22.0	3.0	—	5.7
	03年度調査結果	4078	21.2	6.4	34.7	23.5	2.2	—	1.1

↑
「その他のジャンル」

※03年度は、「クラシック音楽」ジャンルが設けられており、割合は10.9%であった。
 ※08年度以降、「その他のジャンル」は、他のジャンルに分類・統合している。

・公演情報の入手経路については、「ホームページ・ブログ」が21.9%、「友人・知人から聞いた」が20.3%となっており、続いて「他の公演会場で配布されたチラシ」(15.0%)、「ダイレクトメール」(12.2%)となっている。

・「雑誌・タウン情報誌」名の具体的な書き込みをみると「ナッセ」(9件)「リビング北九州」(8件)「かるかる」(5件)などの地域情報誌(紙)名の記載もある。

・「その他」の具体的な書き込みをみると、「情報誌Q」への回答が多い(60件)。そのほか、互助会の幹旋、チケットぴあ、ファンクラブからの案内などの回答がある。また、幼稚園、学校、職場からの紹介、県内自治体の公報なども多く、情報の入手経路は多様である。

※15年度は、14年度以前の調査で使用していた選択肢「インターネット・ホームページ」を「ホームページ・ブログ」と「Facebook、TwitterなどのSNS」の2つに分け、「ぴあ・ローソンなどプレイガイドの店頭」を削除した。

[来場公演のジャンル別]

・公演情報の入手経路は、ジャンルによって特徴があり、

- ・小劇場・現代演劇:「ホームページ・ブログ」(26.2%)
 - ・音楽劇:「友人・知人から聞いた」(19.8%)
 - ・ミュージカル・商業演劇:「街中のチラシ・ポスター」「ダイレクトメール」(ともに23.3%)
 - ・ダンス・現代舞踊:「他の公演会場で配布されたチラシ」(20.2%)
- の割合が最も高い。

[年齢別]

・公演情報の入手経路は、年齢による特徴も顕著で、18～29歳、30歳代、40歳代は「ホームページ・ブログ」の割合が最も高い。

・50歳代は「友人・知人から聞いた」が23.6%、60歳以上は「新聞」が26.5%で最も高い。

・18歳未満では、「その他」が22.8%で最も高く、具体的な書き込みを見ると「部活」という回答が多い(10件)。

・15年度に新たに選択肢を設けた「Facebook、TwitterなどのSNS」は、18～29歳が17.7%で他の世代に比べて割合が多い。

[チケットクラブへの加入・未加入別]

・加入している場合、「ホームページ・ブログ」が33.1%で最も高く、次いで「他の公演会場で配布されたチラシ」が28.4%と高い割合を占める。これら2項目の割合の高さは、未加入と比べて顕著である。また、「その他」への回答も多く、具体的な書き込み内容をみると「情報誌Q」が多い。

・一方、未加入の場合は、「友人・知人から聞いた」が26.1%と最も高く、次いで「ホームページ・ブログ」(18.9%)となっている。

[北九州芸術劇場での鑑賞経験別]

・北九州芸術劇場での鑑賞経験が6～10回では「ホームページ・ブログ」の割合が最も高く、11回以上では「他の公演で配布されたチラシ」の割合が最も高い。

・一方、5回以下のグループでは、「友人・知人から聞いた」が最も高く、次いで「ホームページ・ブログ」となっている。

・劇場での鑑賞経験によって情報の入手経路は特徴があるが、「ホームページ・ブログ」はいずれの鑑賞頻度でも19～25%の回答がある。鑑賞頻度に関わらず、便利な情報入手ツールとして使われていることがうかがえる。

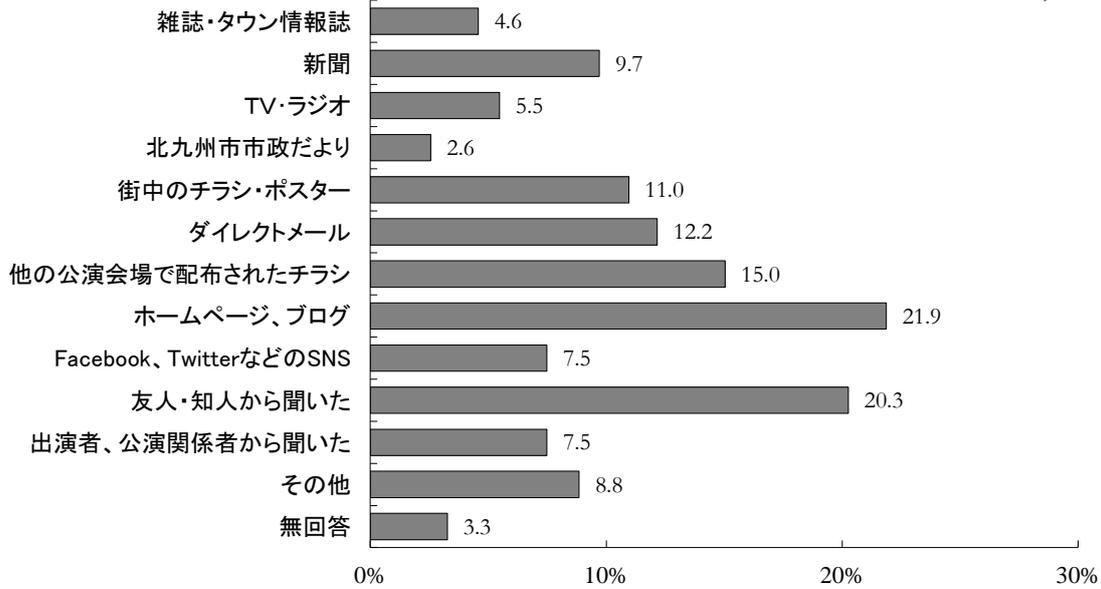
・鑑賞経験が多くなるほど、「他の公演会場で配布されたチラシ」と「ダイレクトメール」の割合は多くなる傾向にある。

[過去調査と比較して]

・10年度は初めて「インターネット・ホームページ」が最も高い割合となったが、11年度以降は「友人・知人から聞いた」と最上位が年によって入れ替わっている。

・一方、年度によって増減はあるが、「新聞」の割合が06年度をピーク(18.7%)として減少している(14年度:8.6%)。「ぴあ・ローソンなどプレイガイドの店頭」も06年度(6.3%)から減少傾向にある(14年度:2.9%)。

n=1,989



(単位:%)

	調査数 (n)	Q1公演情報の入手経路													
		雑誌・タウン情報誌	新聞	TV・ラジオ	北九州市市政だより	街中のチラシ・ポスター	ダイレクトメール	他の公演会場で配布されたチラシ	ホームページ、ブログ	Facebook、TwitterなどのSNS	友人・知人から聞いた	出演者、公演関係者から聞いた	その他	無回答	
全体	1989	4.6	9.7	5.5	2.6	11.0	12.2	15.0	21.9	7.5	20.3	7.5	8.8	3.3	
ジャンル	小劇場・現代演劇	1423	4.3	8.1	7.1	1.6	9.3	11.9	13.4	26.2	8.5	20.8	6.1	9.3	3.2
	音楽劇	293	8.2	17.1	1.4	7.5	17.1	8.5	18.8	5.1	1.4	19.8	14.7	5.5	2.4
	ミュージカル・商業演劇	60	6.7	5.0	0.0	1.7	23.3	23.3	16.7	13.3	8.3	13.3	6.7	11.7	5.0
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ダンス・現代舞踊	213	0.9	11.7	1.9	2.3	9.9	16.0	20.2	18.3	8.9	19.2	7.0	9.4	4.2
パフォーマンス	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別	男性	300	2.7	10.0	1.7	1.7	11.7	10.0	14.7	22.7	7.0	23.7	11.0	9.0	2.0
	女性	1517	4.9	8.9	6.4	2.4	10.3	13.4	15.8	22.8	7.8	19.2	6.9	9.0	2.9
年齢層	18歳未満	57	1.8	1.8	5.3	1.8	19.3	5.3	12.3	12.3	5.3	15.8	14.0	22.8	0.0
	18~29歳	243	0.0	1.2	2.9	0.0	7.8	4.5	10.3	31.3	17.7	26.7	11.5	3.3	1.6
	30歳代	285	3.5	1.1	6.0	2.5	8.4	10.9	13.7	28.8	10.9	20.7	10.2	9.5	3.2
	40歳代	396	4.8	5.6	6.6	1.0	11.1	14.4	17.2	29.5	9.1	14.4	7.1	10.1	2.3
	50歳代	437	5.3	9.8	7.1	1.8	8.2	15.6	16.5	23.3	4.3	23.6	5.5	9.6	2.3
	60歳以上	328	7.0	26.5	3.0	6.1	14.6	13.7	16.8	4.9	0.9	19.5	5.2	8.8	4.6
チケットが?	加入	496	6.9	5.8	7.3	2.0	12.9	24.6	28.4	33.1	9.1	4.8	3.2	13.3	2.6
	未加入	1282	3.6	10.1	5.0	2.3	9.4	8.3	10.6	18.9	7.3	26.1	9.4	7.5	2.6
鑑賞経験	今日が初めて	561	2.9	8.6	10.2	0.5	5.5	5.0	4.6	25.0	10.9	27.1	9.6	8.9	2.1
	1~2回	256	4.7	10.5	5.9	2.0	10.2	7.8	10.5	19.5	7.4	27.3	7.8	7.0	2.0
	3~5回	372	4.6	7.3	4.0	2.4	10.8	11.6	13.7	19.9	6.5	22.3	6.5	8.3	3.2
	6~10回	247	4.0	9.7	2.4	3.2	11.7	21.1	20.6	22.7	5.7	13.8	6.5	8.1	3.6
	11回以上	358	7.3	9.8	2.2	3.9	17.0	25.1	35.5	25.4	6.1	5.6	5.3	12.3	3.1

※15年度は、14年度以前の調査で使用していた選択肢「インターネット・ホームページ」を「ホームページ・ブログ」と「Facebook、TwitterなどのSNS」の2つに分け、「びあ・ローソンなどプレイガイドの店頭」を削除した。

	調査数 (n)	雑誌・タウン情報誌	新聞	テレビ・ラジオ	北九州市市政だより	街中のチラシ・ポスター	ダイレクトメール	他の公演会場で配布されたチラシ	インターネット・ホームページ	友人・知人から聞いた	出演者、公演関係者から聞いた	びあ・ローソンなどプレイガイドの店頭	その他	無回答	
参考	14年度調査結果	1146	4.9	8.6	3.3	2.8	13.1	14.4	18.0	20.9	21.6	12.7	2.9	8.7	4.4
	13年度調査結果	1569	5.9	10.3	3.5	2.7	9.8	14.9	13.1	27.1	21.0	7.1	4.3	7.6	3.6
	12年度調査結果	1599	6.0	9.1	2.8	2.4	12.1	14.8	15.4	22.0	22.0	9.3	3.3	7.5	5.4
	11年度調査結果	1688	3.7	10.2	1.4	2.8	10.5	17.9	17.1	20.8	23.5	8.4	3.6	9.1	3.9
	10年度調査結果	2379	5.3	10.3	4.4	4.1	11.4	14.8	13.1	22.4	21.9	7.2	4.2	7.1	4.6
	09年度調査結果	1692	6.0	11.2	3.5	4.0	12.1	16.1	16.0	16.3	20.3	8.7	4.0	8.9	5.2
	08年度調査結果	1732	7.1	14.5	2.6	4.2	10.2	17.1	13.1	13.3	23.2	9.4	4.0	10.1	3.5
	07年度調査結果	3033	7.2	15.9	4.9	5.9	9.8	13.1	12.5	16.5	22.8	6.1	5.7	10.2	2.4
	06年度調査結果	2766	6.6	18.7	5.7	11.7	11.4	16.6	11.4	12.0	21.6	4.6	6.3	9.2	2.4
	05年度調査結果	3073	6.3	17.5	5.0	7.8	11.5	19.0	13.2	10.7	24.2	6.2	4.8	9.7	1.3
	04年度調査結果	4708	7.1	15.6	3.5	9.8	12.1	19.5	13.7	9.5	23.1	5.7	5.4	11.4	1.6
	03年度調査結果	4078	9.7	17.2	9.7	18.5	15.5	14.9	12.5	6.8	21.9	3.2	5.7	9.5	1.7

- ・公演に来た理由については、「出演者等が好きだから」が62.7%、「公演内容が面白そうだったから」が45.4%となっている。
- ・「その他」の具体的な内容を見ると、「料金が安かったので」「部活」「子供と一緒にきてみたかった」という回答が複数見られる。
- ・そのほか、招待やチケット当選、出演者のファンであることから興味があつてなど、来場の理由は多様である。

[来場公演のジャンル別]

- ・公演に来た理由は、ジャンルによって特徴があり、
 - ・小劇場・現代演劇:「出演者等が好きだから」(70.9%)
 - ・音楽劇:「公演内容が面白そうだったから」(49.1%)
 - ・ミュージカル・商業演劇:「公演内容が面白そうだったから」(60.0%)
 - ・ダンス・現代舞踊:「出演者等が好きだから」(55.4%)の割合が最も高い。

[性別]

- ・男性、女性ともに「出演者等が好きだから」の割合が最も高い。
- ・男性に比べて女性の割合が高いのは、「出演者等が好きだから」(68.0%)。また、「公演内容がおもしろそうだったから」(47.3%)、「劇場が近くだったから」(17.8%)も女性の割合が高い。

[年齢別]

- ・18歳から50歳代では「出演者等が好きだから」の割合が最も高い。
- ・60歳以上と18歳未満では、「公演内容が面白そうだったから」の割合が最も高い。

[チケットクラブへの加入・未加入別]

- ・加入、未加入ともに「出演者等が好きだから」の割合が最も高い。
- ・未加入の場合、「人に誘われたから」の割合が高い。

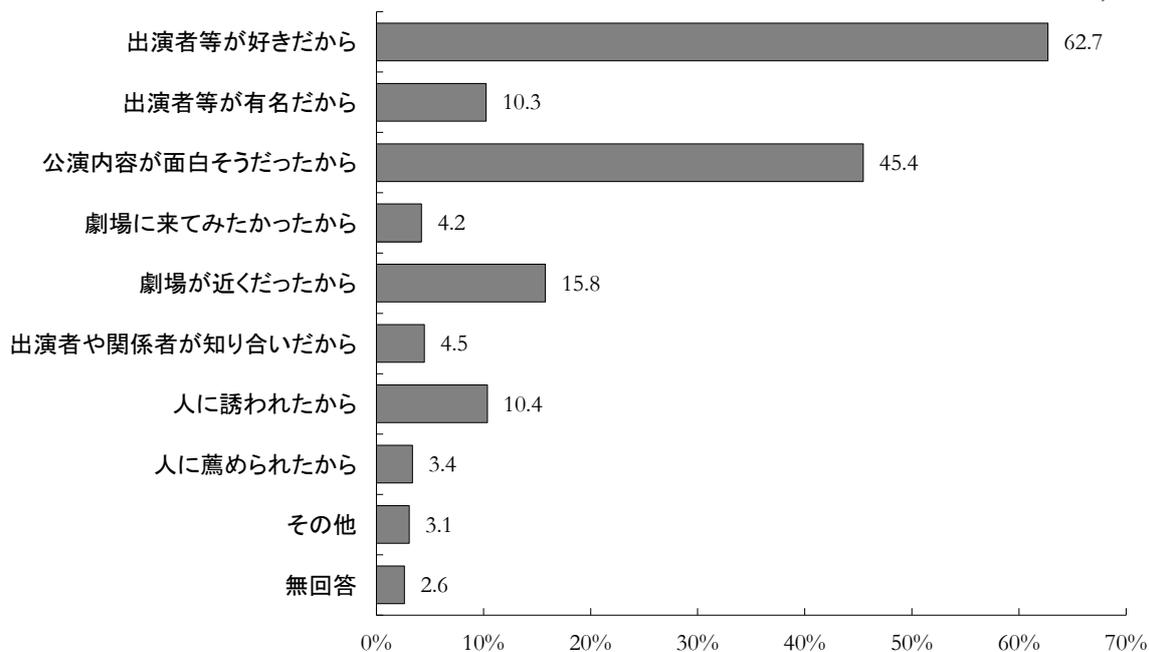
[北九州芸術劇場での鑑賞経験別]

- ・すべての回数の鑑賞経験で「出演者等が好きだから」の割合が最も高い。
- ・鑑賞経験が多いほど「公演内容が面白そうだったから」の割合が高くなっている。鑑賞経験が少ないほど概ね「人に誘われたから」の割合は高くなっている。

[過去調査と比較して]

- ・過去調査と比較して、「公演内容が面白そうだったから」が「出演者等が好きだから」を上回ったのは03年度と14年度の2回となっている。
- ・15年度は「出演者等が有名だから」が過去最高の割合となった。

n=1,989



(単位:%)

	調査数 (n)	Q2公演に来た理由										
		出演者等 が好きだ から	出演者等 が有名だ から	公演内容 が面白そ うだった から	劇場に 来てみた かったか ら	劇場が 近くだ ったか ら	出演者 や関係 者が知 り合い だから	人に誘 われた から	人に勧 められ たから	その他	無回答	
全体	1989	62.7	10.3	45.4	4.2	15.8	4.5	10.4	3.4	3.1	2.6	
ジャンル	小劇場・現代演劇	1423	70.9	11.9	42.6	3.7	17.4	2.7	10.3	3.0	2.6	2.6
	音楽劇	293	31.1	4.1	49.1	8.5	14.0	13.3	13.3	5.1	6.1	2.4
	ミュージカル・商業演劇	60	55.0	3.3	60.0	1.7	11.7	5.0	8.3	1.7	3.3	1.7
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ダンス・現代舞踊 パフォーマンス	213	53.5	9.4	55.4	2.3	8.5	3.8	7.0	4.2	1.9	3.3
性別	男性	300	45.7	8.3	40.0	5.0	8.3	8.7	16.3	5.0	4.7	2.3
	女性	1517	68.0	10.6	47.3	4.3	17.8	3.6	9.2	2.8	2.6	2.0
年齢層	18歳未満	57	29.8	7.0	33.3	8.8	5.3	10.5	24.6	3.5	15.8	5.3
	18~29歳	243	68.3	10.7	46.1	5.8	19.8	3.7	17.7	5.3	1.2	0.8
	30歳代	285	73.3	9.5	42.1	4.2	16.1	4.2	9.1	2.5	1.8	1.8
	40歳代	396	73.2	8.6	45.2	3.8	18.7	5.3	6.1	2.5	2.5	1.8
	50歳代	437	64.3	11.4	45.8	3.7	16.2	3.7	9.4	1.6	3.2	2.1
60歳以上	328	48.2	11.9	51.5	4.6	11.9	4.6	10.7	4.6	4.0	2.4	
チケット クラブ	加入	496	74.2	12.1	57.5	1.2	23.4	1.0	1.4	0.8	2.2	2.0
	未加入	1282	60.5	9.5	41.1	5.8	13.7	5.7	14.0	4.0	3.0	2.0
鑑賞 経験	今日が初めて	561	69.7	10.0	32.1	10.5	12.1	3.0	14.3	4.5	2.5	1.4
	1~2回	256	59.4	10.5	41.0	2.3	16.8	5.9	14.8	4.7	2.7	2.0
	3~5回	372	57.0	11.8	48.7	1.9	19.1	4.8	10.5	2.7	3.5	1.9
	6~10回	247	66.8	7.7	53.8	1.6	15.4	5.7	7.3	2.0	2.4	2.8
	11回以上	358	65.1	10.9	63.1	1.1	20.1	3.9	2.5	1.4	3.9	2.8

参考	14年度調査結果	1146	44.7	9.8	51.9	10.7	18.2	11.9	10.4	5.7	4.9	5.4
	13年度調査結果	1569	59.0	10.3	46.7	8.3	18.2	6.1	10.2	3.8	5.4	4.1
	12年度調査結果	1599	50.1	10.2	49.0	7.6	18.3	8.0	11.9	3.1	5.4	5.6
	11年度調査結果	1688	51.7	8.3	50.7	9.0	20.7	7.2	12.1	5.8	4.7	4.0
	10年度調査結果	2379	60.4	10.9	43.5	7.8	20.7	5.0	12.0	3.5	5.7	4.7
	09年度調査結果	1692	56.4	11.0	47.5	8.3	19.7	7.1	13.1	4.1	5.1	4.7
	08年度調査結果	1732	52.9	10.2	49.2	8.0	19.6	8.9	13.7	4.0	10.9	3.2
	07年度調査結果	3033	55.7	11.9	46.0	5.5	12.8	5.1	14.0	4.0	10.7	2.3
	06年度調査結果	2766	55.2	13.3	49.1	6.8	13.7	4.6	13.1	3.6	9.6	2.7
	05年度調査結果	3073	51.8	14.2	48.5	7.7	13.3	5.5	14.4	4.1	11.3	1.3
	04年度調査結果	4708	51.0	13.3	49.6	7.9	15.8	4.8	13.0	4.1	12.1	1.3
	03年度調査結果	4078	51.8	19.1	55.9	28.8	15.0	2.4	10.8	2.7	13.3	0.6

公演前後に飲食やショッピングをしている割合は52.0%である。飲食をしている場合の平均金額は1,679.4円、ショッピングをしている場合の平均金額は4,917.8円となっており、昨年度と比較すると飲食平均額、ショッピング平均額ともに減少している。

[来場公演のジャンル別]

・飲食・ショッピングの割合はミュージカル・商業演劇が高く、飲食をしている場合の平均額はダンス・現代舞踊での来場者が高い。ショッピングをしている場合の平均金額では、小劇場・現代演劇が高い。

[性別]

・飲食やショッピングをしている割合は、男性が47.0%、女性が58.2%と女性の方が高い。平均金額では、飲食平均額で男性が女性を上回り、ショッピング平均額では女性が男性を上回っている。

[年齢別]

・飲食やショッピングをしている割合、飲食をしている場合の平均金額、ショッピングをしている場合の平均金額で、50歳代が最も高い。

[チケットクラブへの加入・未加入別]

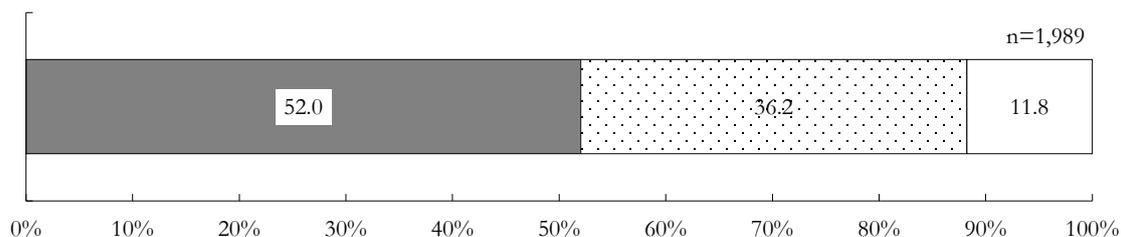
・飲食やショッピングをしている割合は、チケットクラブの加入者が64.5%、未加入者は54.1%で、加入が未加入を上回っている。飲食とショッピングの平均金額では、未加入が加入を上回っている。

[北九州芸術劇場での鑑賞経験別]

・鑑賞経験による飲食やショッピングの割合、平均金額の傾向の違いは見られない。

[過去調査と比較して]

・過去調査と比較して、年によって増減はあるものの、飲食やショッピングをしている割合は概ね減少傾向にあり、14年度の割合は過去最少となっている。飲食やショッピングの平均金額は、年度によってかなりの増減が見られる。



■はい □いいえ □無回答

		(単位: %)			(単位: 円)		
		調査数 (n)	Q6公演前後の飲食・ショッピング*			飲食をして いる場合 の平均金 額 (n=882)	ショッピングを している場 合の平均 金額 (n=479)
			はい	いいえ	無回答		
全体		1989	52.0	36.2	11.8	1679.4	4917.8
ジャンル	小劇場・現代演劇	1423	54.9	35.5	9.6	1649.1	5057.7
	音楽劇	293	40.3	38.6	21.2	1576.0	5027.0
	ミュージカル・商業演劇	60	55.0	33.3	11.7	1575.0	3823.5
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0	0.0		
	ダンス・現代舞踊	213	48.4	38.5	13.1	2056.5	4045.5
	パフォーマンス	0	0.0	0.0	0.0		
性別	男性	300	47.0	48.7	4.3	2301.9	4460.9
	女性	1517	58.2	37.5	4.3	1590.5	4994.4
年齢層	18歳未満	57	28.1	66.7	5.3	1095.4	2000.0
	18~29歳	243	47.3	51.0	1.6	1641.0	5249.3
	30歳代	285	54.4	42.8	2.8	1748.5	4597.3
	40歳代	396	62.6	34.6	2.8	1559.8	4271.4
	50歳代	437	62.7	32.7	4.6	1799.5	5788.7
	60歳以上	328	54.6	38.7	6.7	1768.2	3988.4
チケット クラブ	加入	496	64.5	32.9	2.6	1589.0	4392.7
	未加入	1282	54.1	42.0	3.8	1728.2	5219.5
鑑賞 経験	今日が初めて	561	54.9	41.2	3.9	1850.2	5861.9
	1~2回	256	52.7	42.6	4.7	1716.3	5362.7
	3~5回	372	57.8	38.2	4.0	1530.6	2831.5
	6~10回	247	66.4	31.2	2.4	1604.9	4747.6
	11回以上	358	55.9	41.6	2.5	1634.6	5377.0
参考	14年度調査結果	1146	49.7	39.2	11.2	1731.2	6098.2
	13年度調査結果	1569	50.8	36.8	12.4	1480.7	5434.2
	12年度調査結果	1599	52.7	36.0	11.3	1509.2	5027.1
	11年度調査結果	1688	55.7	35.0	9.2	1490.7	4909.0
	10年度調査結果	2379	57.8	32.1	10.2	1585.0	4610.3
	09年度調査結果	1692	58.9	31.8	9.3	1510.7	4649.3
	08年度調査結果	1732	58.6	33.1	8.3	1614.1	5503.3
	07年度調査結果	3033	60.5	30.8	8.7	1829.8	5753.9
	06年度調査結果	2766	60.3	31.2	8.5	1856.6	5724.6
	05年度調査結果	3073	60.7	31.5	7.8	1687.5	6658.4
	04年度調査結果	4708	63.3	32.2	4.5	4061.7	
	03年度調査結果	4078	70.5	27.3	2.1	4582.9	

* 03年度、04年度は、「飲食やショッピング」として一つの質問項目で尋ねているため、04年度以前の数字と、05年度以降の数字の比較には留意が必要である。

・公演や劇場に対する9項目の満足度を満足層(※)の割合で見ると、満足層の割合が90%以上を占めるのは、「本日の公演内容」、「本日の公演のチケット料金」、「電話予約・チケットカウンターの対応」、「劇場係員の対応」、「劇場やロビーのデザイン、雰囲気」の5項目である。

※「たいへん満足」+「まあ満足」の割合。無回答を除く。

・「たいへん満足」と回答した割合が高い(4割以上)のは、「本日の公演内容」(60.6%)、「劇場係員の対応」(46.5%)、「劇場やロビーのデザイン、雰囲気」(40.5%)の3項目である。

・「本日の公演内容」については、ジャンル、性別、年齢層、鑑賞経験を問わず、満足層の割合と「たいへん満足」の割合いずれも高い(ただし年齢層では、60歳以上で「無回答」の割合も高い)。

・過去調査結果と比べて、「本日の公演のチケット料金」、「電話予約・チケットカウンターの対応」、「劇場の入口や案内表示のわかりやすさ」、「公演情報の入手のしやすさ」については、多少の年度の変化はあるものの「たいへん満足」への回答割合も上昇傾向である。

[来場公演のジャンル別]

・ジャンルで顕著な差は見られない。

[性別]

・男性、女性で顕著な差は見られない。

[年齢別]

・60歳以上は、ほぼすべての項目で、満足層の割合、「たいへん満足」の割合ともに低く、特に「たいへん満足」への回答割合の低さは顕著である。60歳以上ほどではないが、50歳代でも、満足度は相対的に低くなっている。

・満足層の割合、「たいへん満足」の割合ともに、年齢層が高いほど低くなり、この傾向は「劇場の入口や案内表示のわかりやすさ」、「劇場やロビーのデザイン、雰囲気」のハードに関する2項目で顕著である。

[チケットクラブへの加入・未加入別]

・加入に比べて未加入の方が、「公演情報の入手のしやすさ」の不満足層の割合が高い。

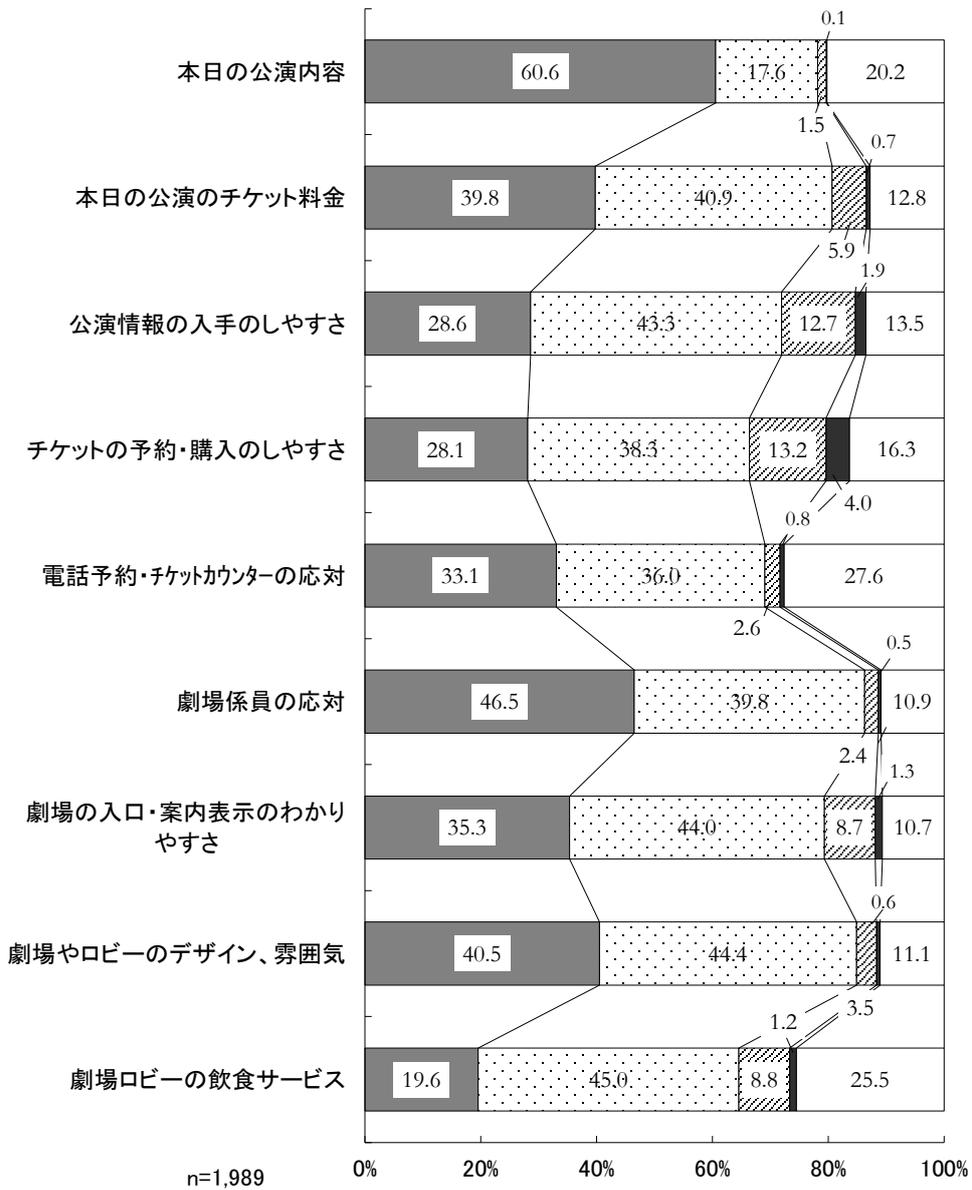
[北九州芸術劇場での鑑賞経験別]

・鑑賞頻度で、満足度に顕著な差はみられないが、「公演情報の入手のしやすさ」については、鑑賞経験が多いほど満足度が高い傾向にある。

[過去調査と比較して]

・項目全般について、15年度も高い満足度を維持しており、満足層の割合は、「チケットの予約・購入のしやすさ」以外の項目で80%以上となっている。「チケットの予約・購入のしやすさ」は満足層が79.4%で、前年度(88.9%)に比べて大きく減少している。

※無回答の割合が20%以上を占めるのは、「本日の公演内容」、「電話予約・チケットカウンターの対応」、「劇場ロビーの飲食サービス」の3項目である。「電話予約・チケットカウンターの対応」、「劇場ロビーの飲食サービス」については、サービスを利用したことがない人が無回答になっていると考えられる。



たいへん満足
 まあ満足
 少し不満足
 まったく不満足
 無回答

【本日の公演内容】

	全体	Q3-1本日の公演内容					「無回答」を除いた割合					(単位:%)		
		たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答	回答数	たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	満足層	不満足層	
全体	1989	60.6	17.6	1.5	0.1	20.2	1587	75.9	22.1	1.9	0.1	98.0	2.0	
ジャンル	小劇場・現代演劇	1423	60.9	16.9	1.5	0.1	20.6	1130	76.6	21.2	1.9	0.2	97.9	2.1
	音楽劇	293	56.0	18.1	1.4	0.0	24.6	221	74.2	24.0	1.8	0.0	98.2	1.8
	ミュージカル・商業演劇	60	60.0	25.0	3.3	0.0	11.7	53	67.9	28.3	3.8	0.0	96.2	3.8
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ダンス・現代舞踊	213	65.3	19.7	0.9	0.0	14.1	183	76.0	23.0	1.1	0.0	98.9	1.1
	パフォーマンス	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別	男性	300	56.3	22.0	1.7	0.0	20.0	240	70.4	27.5	2.1	0.0	97.9	2.1
	女性	1517	62.4	16.6	1.5	0.1	19.5	1221	77.5	20.6	1.8	0.1	98.1	1.9
年齢層	18歳未満	57	73.7	7.0	0.0	0.0	19.3	46	91.3	8.7	0.0	0.0	100.0	0.0
	18～29歳	243	71.2	11.9	0.4	0.4	16.0	204	84.8	14.2	0.5	0.5	99.0	1.0
	30歳代	285	70.2	16.5	0.4	0.0	13.0	248	80.6	19.0	0.4	0.0	99.6	0.4
	40歳代	396	67.4	14.9	3.0	0.3	14.4	339	78.8	17.4	3.5	0.3	96.2	3.8
	50歳代	437	59.7	22.7	1.4	0.0	16.2	366	71.3	27.0	1.6	0.0	98.4	1.6
	60歳以上	328	40.9	20.4	1.5	0.0	37.2	206	65.0	32.5	2.4	0.0	97.6	2.4
チケットクラブ	加入	496	60.1	21.0	1.0	0.2	17.7	408	73.0	25.5	1.2	0.2	98.5	1.5
	未加入	1282	61.5	16.7	1.6	0.1	20.0	1025	77.0	20.9	2.0	0.1	97.9	2.1
鑑賞経験	今日が初めて	561	68.4	13.9	0.9	0.2	16.6	468	82.1	16.7	1.1	0.2	98.7	1.3
	1～2回	256	61.3	14.1	1.6	0.0	23.0	197	79.7	18.3	2.0	0.0	98.0	2.0
	3～5回	372	55.4	23.4	2.2	0.3	18.8	302	68.2	28.8	2.6	0.3	97.0	3.0
	6～10回	247	59.1	17.0	2.4	0.0	21.5	194	75.3	21.6	3.1	0.0	96.9	3.1
	11回以上	358	57.8	21.2	0.8	0.0	20.1	286	72.4	26.6	1.0	0.0	99.0	1.0
	参考	14年度調査結果	1146	52.5	24.9	1.8	0.3	20.5	911	66.1	31.3	2.3	0.3	97.4
13年度調査結果		1569	57.7	19.9	1.7	0.4	20.3	1251	72.4	24.9	2.2	0.5	97.4	2.6
12年度調査結果		1599	53.0	21.9	1.1	0.3	23.8	1219	69.5	28.7	1.5	0.3	98.2	1.8
11年度調査結果		1688	56.6	19.4	1.5	0.4	22.0	1316	72.6	24.9	2.0	0.5	97.6	2.4
10年度調査結果		2379	54.6	21.6	1.7	0.3	21.7	1862	69.8	27.7	2.1	0.4	97.4	2.6
09年度調査結果		1692	50.9	23.0	1.4	0.1	24.5	1277	67.4	30.5	1.9	0.2	98.0	2.0
08年度調査結果		1732	51.5	25.8	2.0	0.2	20.6	1376	64.8	32.4	2.5	0.3	97.2	2.8
07年度調査結果		3033	56.2	24.6	1.8	0.2	17.2	2510	67.9	29.7	2.2	0.2	97.6	2.4
06年度調査結果		2766	54.2	26.4	2.2	0.2	17.1	2294	65.3	31.8	2.7	0.2	97.1	2.9
05年度調査結果		3073	52.1	26.2	2.1	0.4	19.2	2483	64.5	32.5	2.6	0.4	97.0	3.0
04年度調査結果		4708	53.0	26.8	2.8	0.3	17.1	3905	63.9	32.3	3.4	0.4	96.2	3.8
03年度調査結果		4078	49.8	29.7	3.2	0.4	16.8	3392	59.9	35.7	3.9	0.5	95.6	4.4

* 満足層は、「たいへん満足」+「まあ満足」の計、不満足層は、「少し不満足」+「まったく不満足」の計。無回答を除く。以下同様。

** 小数点第2以下の四捨五入により、表中の無回答を除く「たいへん満足」+「まあ満足」の割合は満足層の割合と、「少し不満足」+「まったく不満足」の割合は不満足層の割合と、必ずしも一致しない。

【本日の公演のチケット料金】

		全体	Q3-2本日の公演のチケット料金				
			たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答
	全体	1989	39.8	40.9	5.9	0.7	12.8
ジャンル	小劇場・現代演劇	1423	34.2	45.0	6.8	0.6	13.4
	音楽劇	293	61.4	22.9	2.4	0.0	13.3
	ミュージカル・商業演劇	60	33.3	50.0	5.0	3.3	8.3
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ダンス・現代舞踊	213	49.3	35.7	5.2	0.9	8.9
	パフォーマンス	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性別	男性	300	42.3	40.3	6.3	0.7	10.3
	女性	1517	38.8	42.3	6.1	0.7	12.1
年齢層	18歳未満	57	54.4	31.6	5.3	3.5	5.3
	18～29歳	243	46.1	36.6	6.6	0.8	9.9
	30歳代	285	35.8	53.0	3.5	0.0	7.7
	40歳代	396	45.7	36.9	6.8	1.3	9.3
	50歳代	437	33.4	49.9	6.2	0.7	9.8
	60歳以上	328	36.6	35.4	6.1	0.3	21.6
チケットクラブ	加入	496	41.5	44.0	4.4	0.6	9.5
	未加入	1282	38.6	41.3	7.0	0.8	12.3
鑑賞経験	今日が初めて	561	36.7	44.4	8.0	1.1	9.8
	1～2回	256	38.3	37.1	6.6	0.8	17.2
	3～5回	372	40.3	43.5	4.6	0.3	11.3
	6～10回	247	40.9	42.9	5.3	0.8	10.1
	11回以上	358	43.3	39.9	5.3	0.6	10.9

(単位:%)

回答数	「無回答」を除いた割合				
	たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答
1735	45.6	46.9	6.8	0.7	
1232	39.4	51.9	7.9	0.7	
254	70.9	26.4	2.8	0.0	
55	36.4	54.5	5.5	3.6	
0	0.0	0.0	0.0	0.0	
194	54.1	39.2	5.7	1.0	
0	0.0	0.0	0.0	0.0	
269	47.2	45.0	7.1	0.7	
1333	44.2	48.2	6.9	0.8	
54	57.4	33.3	5.6	3.7	
219	51.1	40.6	7.3	0.9	
263	38.8	57.4	3.8	0.0	
359	50.4	40.7	7.5	1.4	
394	37.1	55.3	6.9	0.8	
257	46.7	45.1	7.8	0.4	
449	45.9	48.6	4.9	0.7	
1124	44.0	47.1	8.0	0.9	
506	40.7	49.2	8.9	1.2	
212	46.2	44.8	8.0	0.9	
330	45.5	49.1	5.2	0.3	
222	45.5	47.7	5.9	0.9	
319	48.6	44.8	6.0	0.6	

満足層	不満足層
92.4	7.6
91.4	8.6
97.2	2.8
90.9	9.1
0.0	0.0
93.3	6.7
0.0	0.0
92.2	7.8
92.3	7.7
90.7	9.3
91.8	8.2
96.2	3.8
91.1	8.9
92.4	7.6
91.8	8.2
94.4	5.6
91.1	8.9
89.9	10.1
91.0	9.0
94.5	5.5
93.2	6.8
93.4	6.6

		全体	参考				
			たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答
	14年度調査結果	1146	36.4	47.6	4.8	0.5	10.6
	13年度調査結果	1569	35.6	46.6	5.7	0.7	11.3
	12年度調査結果	1599	35.1	47.0	5.4	0.3	12.3
	11年度調査結果	1688	34.4	47.5	5.1	0.4	12.7
	10年度調査結果	2379	29.0	51.3	7.6	0.4	11.7
	09年度調査結果	1692	30.4	49.8	6.2	0.3	13.3
	08年度調査結果	1732	34.6	47.6	5.9	0.4	11.4
	07年度調査結果	3033	30.9	49.1	6.8	0.4	12.8
	06年度調査結果	2766	24.5	54.9	8.5	0.3	11.7
	05年度調査結果	3073	29.8	49.7	6.1	0.4	13.9
	04年度調査結果	4708	27.0	52.4	10.3	0.6	9.6
	03年度調査結果	4078	21.7	53.4	11.6	0.7	12.5

回答数	「無回答」を除いた割合				
	たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答
1024	40.7	53.3	5.4	0.6	
1391	40.2	52.6	6.5	0.8	
1402	40.0	53.6	6.1	0.3	
1474	39.3	54.4	5.8	0.4	
2101	32.9	58.1	8.6	0.5	
1467	35.0	57.5	7.2	0.3	
1534	39.1	53.7	6.7	0.5	
2646	35.4	56.3	7.8	0.5	
2442	27.8	62.2	9.7	0.4	
2645	34.7	57.8	7.1	0.5	
4255	29.9	58.0	11.4	0.7	
3567	24.8	61.1	13.3	0.8	

満足層	不満足層
94.0	6.0
92.7	7.3
93.6	6.4
93.8	6.2
91.0	9.0
92.5	7.5
92.8	7.2
91.7	8.3
90.0	10.0
92.4	7.6
87.9	12.1
85.9	14.1

【公演情報の入手のしやすさ】

		全体	Q3-3公演情報の入手のしやすさ				
			たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答
	全体	1989	28.6	43.3	12.7	1.9	13.5
ジャンル	小劇場・現代演劇	1423	26.8	43.3	14.6	2.3	12.9
	音楽劇	293	36.9	38.2	6.1	0.3	18.4
	ミュージカル・商業演劇	60	20.0	58.3	10.0	0.0	11.7
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ダンス・現代舞踊	213	31.5	46.5	9.9	1.4	10.8
	パフォーマンス	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性別	男性	300	25.7	52.3	9.7	0.3	12.0
	女性	1517	28.5	43.0	13.7	2.2	12.6
年齢層	18歳未満	57	50.9	33.3	7.0	1.8	7.0
	18～29歳	243	35.4	43.2	14.0	1.2	6.2
	30歳代	285	25.6	54.7	11.6	1.4	6.7
	40歳代	396	31.1	43.2	13.9	2.3	9.6
	50歳代	437	25.2	48.1	14.4	1.8	10.5
	60歳以上	328	22.6	36.0	11.6	2.4	27.4
チケットクラブ	加入	496	32.1	48.4	10.3	2.4	6.9
	未加入	1282	26.6	43.8	14.0	1.8	13.8
鑑賞経験	今日が初めて	561	24.4	43.9	17.3	3.2	11.2
	1～2回	256	29.3	38.7	12.1	2.0	18.0
	3～5回	372	25.3	48.7	12.1	1.9	12.1
	6～10回	247	30.4	42.5	13.4	0.8	13.0
	11回以上	358	35.2	47.2	8.4	0.8	8.4

(単位:%)

回答数	「無回答」を除いた割合				
	たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答
1721	33.1	50.1	14.7	2.1	
1239	30.8	49.7	16.8	2.7	
239	45.2	46.9	7.5	0.4	
53	22.6	66.0	11.3	0.0	
0	0.0	0.0	0.0	0.0	
190	35.3	52.1	11.1	1.6	
0	0.0	0.0	0.0	0.0	
264	29.2	59.5	11.0	0.4	
1326	32.7	49.2	15.7	2.5	
53	54.7	35.8	7.5	1.9	
228	37.7	46.1	14.9	1.3	
266	27.4	58.6	12.4	1.5	
358	34.4	47.8	15.4	2.5	
391	28.1	53.7	16.1	2.0	
238	31.1	49.6	16.0	3.4	
462	34.4	51.9	11.0	2.6	
1105	30.9	50.8	16.3	2.1	
498	27.5	49.4	19.5	3.6	
210	35.7	47.1	14.8	2.4	
327	28.7	55.4	13.8	2.1	
215	34.9	48.8	15.3	0.9	
328	38.4	51.5	9.1	0.9	

満足層	不満足層
83.1	16.9
80.5	19.5
92.1	7.9
88.7	11.3
0.0	0.0
87.4	12.6
0.0	0.0
88.6	11.4
81.8	18.2
90.6	9.4
83.8	16.2
86.1	13.9
82.1	17.9
81.8	18.2
80.7	19.3
86.4	13.6
81.6	18.4
76.9	23.1
82.9	17.1
84.1	15.9
83.7	16.3
89.9	10.1

		全体	参考				
			たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答
	14年度調査結果	1146	32.0	46.8	10.2	0.5	10.5
	13年度調査結果	1569	28.9	49.5	9.2	1.6	10.8
	12年度調査結果	1599	26.8	51.9	8.9	0.6	11.8
	11年度調査結果	1688	28.5	51.4	8.3	0.7	11.1
	10年度調査結果	2379	24.9	50.0	11.9	1.0	12.1
	09年度調査結果	1692	23.0	52.9	10.5	1.2	12.4
	08年度調査結果	1732	25.8	49.5	10.5	1.6	12.7
	07年度調査結果	3033	19.5	48.4	14.7	1.5	15.9
	06年度調査結果	2766	17.3	50.4	16.0	2.1	14.2
	05年度調査結果	3073	15.2	49.0	16.7	2.0	17.2
	04年度調査結果	4708	14.2	49.3	20.2	3.0	13.3
	03年度調査結果	4078	12.0	43.8	22.6	7.5	14.1

回答数	「無回答」を除いた割合				
	たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答
1026	35.8	52.2	11.4	0.6	
1399	32.5	55.5	10.3	1.8	
1411	30.3	58.8	10.1	0.7	
1500					

【チケットの予約・購入のしやすさ】

	全体	Q3-4チケットの予約・購入のしやすさ					
		たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答	
全体	1989	28.1	38.3	13.2	4.0	16.3	
ジャンル	小劇場・現代演劇	1423	25.1	37.9	16.0	5.3	15.7
	音楽劇	293	37.9	32.8	6.8	0.7	21.8
	ミュージカル・商業演劇	60	26.7	55.0	3.3	1.7	13.3
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ダンス・現代舞踊	213	35.2	43.7	6.6	0.9	13.6
	パフォーマンス	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	性別	男性	300	33.0	43.7	6.7	3.0
	女性	1517	26.6	38.2	15.0	4.5	15.7
年齢層	18歳未満	57	54.4	28.1	3.5	3.5	10.5
	18～29歳	243	37.0	36.6	12.3	4.9	9.1
	30歳代	285	24.6	43.5	17.2	3.2	11.6
	40歳代	396	29.0	37.9	15.2	5.1	12.9
	50歳代	437	24.0	45.3	13.5	3.9	13.3
	60歳以上	328	23.8	31.7	10.7	4.9	29.0
チケットクラブ	加入	496	27.6	44.2	13.9	6.7	7.7
	未加入	1282	27.8	37.2	13.7	3.6	17.7
鑑賞経験	今日が初めて	561	25.7	36.7	16.0	6.4	15.2
	1～2回	256	30.5	35.5	11.7	3.5	18.8
	3～5回	372	24.7	43.0	12.4	4.6	15.3
	6～10回	247	29.6	36.4	15.8	3.2	15.0
	11回以上	358	31.0	42.7	11.7	2.2	12.3

「無回答」を除いた割合					
回答数	たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答
1664	33.6	45.8	15.8	4.8	
1199	29.8	45.0	18.9	6.3	
229	48.5	41.9	8.7	0.9	
52	30.8	63.5	3.8	1.9	
0	0.0	0.0	0.0	0.0	
184	40.8	50.5	7.6	1.1	
0	0.0	0.0	0.0	0.0	
259	38.2	50.6	7.7	3.5	
1279	31.5	45.3	17.8	5.4	
51	60.8	31.4	3.9	3.9	
221	40.7	40.3	13.6	5.4	
252	27.8	49.2	19.4	3.6	
345	33.3	43.5	17.4	5.8	
379	27.7	52.2	15.6	4.5	
233	33.5	44.6	15.0	6.9	
458	29.9	47.8	15.1	7.2	
1055	33.7	45.2	16.7	4.4	
476	30.3	43.3	18.9	7.6	
208	37.5	43.8	14.4	4.3	
315	29.2	50.8	14.6	5.4	
210	34.8	42.9	18.6	3.8	
314	35.4	48.7	13.4	2.5	

(単位: %)	
満足層	不満足層
79.4	20.6
74.8	25.2
90.4	9.6
94.2	5.8
0.0	0.0
91.3	8.7
0.0	0.0
88.8	11.2
76.8	23.2
92.2	7.8
81.0	19.0
77.0	23.0
76.8	23.2
79.9	20.1
78.1	21.9
77.7	22.3
79.0	21.0
73.5	26.5
81.3	18.8
80.0	20.0
77.6	22.4
84.1	15.9

参考		全体	Q3-5チケットの予約・購入のしやすさ				
			たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答
	14年度調査結果	1146	32.2	45.5	8.2	1.5	12.7
	13年度調査結果	1569	32.1	44.9	7.3	2.4	13.3
	12年度調査結果	1599	28.0	48.1	8.1	1.4	14.4
	11年度調査結果	1688	30.5	46.6	7.4	1.2	14.3
	10年度調査結果	2379	23.5	47.2	11.7	2.0	15.6
	09年度調査結果	1692	24.1	48.6	10.9	1.4	15.1
	08年度調査結果	1732	25.9	49.9	7.2	1.3	15.8
	07年度調査結果	3033	21.5	47.1	12.0	1.8	17.5
	06年度調査結果	2766	18.7	47.9	13.7	2.7	17.1
	05年度調査結果	3073	17.0	47.8	14.4	2.6	18.2
	04年度調査結果	4708	14.4	47.6	19.1	4.0	14.8
	03年度調査結果	4078	9.7	35.2	24.9	14.8	15.4

「無回答」を除いた割合					
回答数	たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答
1001	36.9	52.0	9.4	1.7	
1361	37.0	51.8	8.4	2.7	
1368	32.7	56.2	9.4	1.6	
1446	35.6	54.4	8.6	1.4	
2007	27.8	56.0	13.9	2.3	
1436	28.3	57.2	12.8	1.6	
1459	30.7	59.2	8.5	1.6	
2501	26.1	57.1	14.6	2.2	
2293	22.5	57.8	16.5	3.2	
2514	20.8	58.4	17.6	3.1	
4010	17.0	55.9	22.4	4.7	
3449	11.5	41.6	29.4	17.5	

(単位: %)	
満足層	不満足層
88.9	11.1
88.8	11.2
89.0	11.0
90.0	10.0
83.8	16.2
85.6	14.4
89.9	10.1
83.2	16.8
80.3	19.7
79.2	20.8
72.9	27.1
53.1	46.9

【(北九州芸術劇場の)電話予約・チケットカウンターの対応】

	全体	Q3-5電話予約・チケットカウンターの対応					
		たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答	
全体	1989	33.1	36.0	2.6	0.8	27.6	
ジャンル	小劇場・現代演劇	1423	31.8	37.0	2.7	0.8	27.6
	音楽劇	293	36.2	30.7	1.4	1.0	30.7
	ミュージカル・商業演劇	60	30.0	43.3	6.7	1.7	18.3
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ダンス・現代舞踊	213	38.0	34.3	1.9	0.0	25.8
	パフォーマンス	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	性別	男性	300	34.0	39.0	2.0	1.3
	女性	1517	32.6	36.3	2.8	0.7	27.8
年齢層	18歳未満	57	71.9	14.0	3.5	0.0	10.5
	18～29歳	243	39.5	34.6	2.9	0.4	22.6
	30歳代	285	33.0	41.4	2.1	0.0	23.5
	40歳代	396	38.9	32.3	3.3	0.8	24.7
	50歳代	437	26.5	41.9	2.5	0.5	28.6
	60歳以上	328	25.6	37.8	2.1	1.2	33.2
チケットクラブ	加入	496	40.7	44.0	2.8	1.4	11.1
	未加入	1282	29.6	34.2	2.7	0.5	32.9
鑑賞経験	今日が初めて	561	29.9	35.1	4.5	0.9	29.6
	1～2回	256	34.0	32.4	1.2	1.2	31.3
	3～5回	372	32.8	35.8	2.2	1.1	28.2
	6～10回	247	38.1	37.2	2.0	0.0	22.7
	11回以上	358	33.8	42.2	2.0	0.6	21.5

「無回答」を除いた割合					
回答数	たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答
1440	45.7	49.7	3.5	1.0	
1030	44.0	51.2	3.8	1.1	
203	52.2	44.3	2.0	1.5	
49	36.7	53.1	8.2	2.0	
0	0.0	0.0	0.0	0.0	
158	51.3	46.2	2.5	0.0	
0	0.0	0.0	0.0	0.0	
229	44.5	51.1	2.6	1.7	
1096	45.1	50.2	3.8	0.9	
51	80.4	15.7	3.9	0.0	
188	51.1	44.7	3.7	0.5	
218	43.1	54.1	2.8	0.0	
298	51.7	43.0	4.4	1.0	
312	37.2	58.7	3.5	0.6	
219	38.4	56.6	3.2	1.8	
441	45.8	49.4	3.2	1.6	
860	44.1	51.0	4.1	0.8	
395	42.5	49.9	6.3	1.3	
176	49.4	47.2	1.7	1.7	
267	45.7	49.8	3.0	1.5	
191	49.2	48.2	2.6	0.0	
281	43.1	53.7	2.5	0.7	

(単位: %)	
満足層	不満足層
95.4	4.6
95.1	4.9
96.6	3.4
89.8	10.2
0.0	0.0
97.5	2.5
0.0	0.0
95.6	4.4
95.3	4.7
96.1	3.9
95.7	4.3
97.2	2.8
94.6	5.4
95.8	4.2
95.0	5.0
95.2	4.8
95.1	4.9
92.4	7.6
96.6	3.4
95.5	4.5
97.4	2.6
96.8	3.2

参考		全体	Q3-5電話予約・チケットカウンターの対応				
			たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答
	14年度調査結果	1146	31.8	36.0	3.1	0.3	28.8
	13年度調査結果	1569	32.5	34.7	2.6	0.7	29.5
	12年度調査結果	1599	32.7	36.8	1.7	0.3	28.6
	11年度調査結果	1688	30.6	38.4	2.1	0.2	28.6
	10年度調査結果	2379	26.2	38.8	2.6	0.5	31.9
	09年度調査結果	1692	27.9	38.5	2.8	0.3	30.5
	08年度調査結果	1732	26.6	38.6	3.2	0.5	31.1
	07年度調査結果	3033	26.9	41.9	4.1	1.1	26.1
	06年度調査結果	2766	24.4	45.8	5.0	1.0	23.9
	05年度調査結果	3073	25.3	43.5	4.6	1.0	25.7
	04年度調査結果	4708	22.4	46.4	5.8	1.3	24.1
	03年度調査結果	4078	14.1	46.3	10.3	5.0	24.2

「無回答」を除いた割合					
回答数	たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答
816	44.6	50.6	4.3	0.5	
1106	46.1	49.2	3.7	1.0	
1142	45.8	51.5	2.4	0.4	
1205	4				

【劇場係員の対応】

	全体	Q3-6劇場係員の対応					「無回答」を除いた割合					(単位:%)		
		たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答	回答数	たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	満足層	不満足層	
全体	1989	46.5	39.8	2.4	0.5	10.9	1772	52.2	44.6	2.7	0.5	96.8	3.2	
ジャンル	小劇場・現代演劇	1423	44.8	41.3	2.5	0.6	10.9	1268	50.3	46.3	2.8	0.6	96.6	3.4
	音楽劇	293	52.6	33.4	1.0	0.0	13.0	255	60.4	38.4	1.2	0.0	98.8	1.2
	ミュージカル・商業演劇	60	41.7	50.0	3.3	0.0	5.0	57	43.9	52.6	3.5	0.0	96.5	3.5
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ダンス・現代舞踊	213	50.7	35.7	3.3	0.5	9.9	192	56.3	39.6	3.6	0.5	95.8	4.2
	パフォーマンス	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性別	男性	300	47.3	40.3	2.0	0.3	10.0	270	52.6	44.8	2.2	0.4	97.4	2.6
	女性	1517	46.3	40.8	2.5	0.5	10.0	1366	51.4	45.3	2.8	0.5	96.7	3.3
年齢層	18歳未満	57	77.2	17.5	0.0	0.0	5.3	54	81.5	18.5	0.0	0.0	100.0	0.0
	18～29歳	243	65.8	27.6	0.8	0.0	5.8	229	69.9	29.3	0.9	0.0	99.1	0.9
	30歳代	285	50.5	39.6	1.4	0.4	8.1	262	55.0	43.1	1.5	0.4	98.1	1.9
	40歳代	396	49.5	39.4	2.5	0.8	7.8	365	53.7	42.7	2.7	0.8	96.4	3.6
	50歳代	437	37.5	51.3	3.0	0.7	7.6	404	40.6	55.4	3.2	0.7	96.0	4.0
	60歳以上	328	36.0	39.9	4.0	0.0	20.1	262	45.0	50.0	5.0	0.0	95.0	5.0
チケットクラブ	加入	496	45.0	47.0	1.6	0.8	5.6	468	47.6	49.8	1.7	0.9	97.4	2.6
	未加入	1282	47.0	38.6	2.7	0.3	11.3	1137	53.0	43.5	3.1	0.4	96.6	3.4
鑑賞経験	今日が初めて	561	48.1	39.6	3.2	0.5	8.6	513	52.6	43.3	3.5	0.6	95.9	4.1
	1～2回	256	47.3	36.7	1.2	1.2	13.7	221	54.8	42.5	1.4	1.4	97.3	2.7
	3～5回	372	46.8	41.7	2.2	0.0	9.4	337	51.6	46.0	2.4	0.0	97.6	2.4
	6～10回	247	45.7	41.3	2.4	0.4	10.1	222	50.9	45.9	2.7	0.5	96.8	3.2
	11回以上	358	45.3	43.9	2.2	0.3	8.4	328	49.4	47.9	2.4	0.3	97.3	2.7

参考		全体	Q3-7劇場の入口・案内表示のわかりやすさ					「無回答」を除いた割合					(単位:%)	
			たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答	回答数	たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	満足層	不満足層
	14年度調査結果	1146	48.5	41.0	2.1	0.3	8.0	1054	52.8	44.6	2.3	0.4	97.3	2.7
	13年度調査結果	1569	50.2	38.6	1.6	0.4	9.1	1426	55.3	42.5	1.8	0.5	97.8	2.2
	12年度調査結果	1599	49.1	39.9	1.3	0.1	9.7	1444	54.4	44.2	1.4	0.1	98.5	1.5
	11年度調査結果	1688	48.0	42.5	0.8	0.2	8.4	1546	52.4	46.4	0.9	0.3	98.8	1.2
	10年度調査結果	2379	47.5	41.7	1.6	0.1	9.1	2162	52.3	45.8	1.8	0.1	98.1	1.9
	09年度調査結果	1692	44.1	43.5	1.7	0.2	10.5	1514	49.3	48.6	1.8	0.3	97.9	2.1
	08年度調査結果	1732	46.5	40.6	2.3	0.6	10.0	1558	51.7	45.1	2.6	0.6	96.8	3.2
	07年度調査結果	3033	46.5	41.7	2.4	0.5	9.0	2761	51.1	45.8	2.6	0.5	96.9	3.1
	06年度調査結果	2766	43.6	44.6	2.8	0.4	8.6	2527	47.7	48.8	3.1	0.4	96.5	3.5
	05年度調査結果	3073	44.7	42.8	1.7	0.4	10.4	2752	49.9	47.7	1.9	0.4	97.7	2.3
	04年度調査結果	4708	44.1	46.2	2.2	0.3	7.2	4371	47.5	49.8	2.4	0.3	97.3	2.7
	03年度調査結果	4078	26.7	54.2	6.0	1.1	12.1	3585	30.3	61.6	6.8	1.3	91.9	8.1

【劇場の入口・案内表示のわかりやすさ】

	全体	Q3-7劇場の入口・案内表示のわかりやすさ					「無回答」を除いた割合					(単位:%)		
		たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答	回答数	たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	満足層	不満足層	
全体	1989	35.3	44.0	8.7	1.3	10.7	1777	39.6	49.2	9.8	1.4	88.8	11.2	
ジャンル	小劇場・現代演劇	1423	34.4	45.1	8.8	1.4	10.3	1277	38.4	50.3	9.8	1.6	88.6	11.4
	音楽劇	293	37.5	39.9	7.2	1.0	14.3	251	43.8	46.6	8.4	1.2	90.4	9.6
	ミュージカル・商業演劇	60	26.7	56.7	11.7	1.7	3.3	58	27.6	58.6	12.1	1.7	86.2	13.8
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ダンス・現代舞踊	213	40.8	38.5	9.9	0.5	10.3	191	45.5	42.9	11.0	0.5	88.5	11.5
	パフォーマンス	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別	男性	300	35.3	46.7	7.7	0.7	9.7	271	39.1	51.7	8.5	0.7	90.8	9.2
	女性	1517	35.3	45.0	9.0	1.3	9.6	1372	39.0	49.7	9.9	1.4	88.7	11.3
年齢層	18歳未満	57	71.9	21.1	1.8	0.0	5.3	54	75.9	22.2	1.9	0.0	98.1	1.9
	18～29歳	243	52.7	34.2	6.6	1.2	5.3	230	55.7	36.1	7.0	1.3	91.7	8.3
	30歳代	285	40.0	44.2	8.8	1.1	6.0	268	42.5	47.0	9.3	1.1	89.6	10.4
	40歳代	396	38.6	47.5	6.3	0.5	7.1	368	41.6	51.1	6.8	0.5	92.7	7.3
	50歳代	437	26.8	52.6	11.0	1.1	8.5	400	29.3	57.5	12.0	1.3	86.8	13.3
	60歳以上	328	22.3	44.8	11.0	2.4	19.5	264	27.7	55.7	13.6	3.0	83.3	16.7
チケットクラブ	加入	496	31.9	55.2	6.7	0.8	5.4	469	33.7	58.4	7.0	0.9	92.1	7.9
	未加入	1282	36.4	41.6	9.9	1.4	10.7	1145	40.8	46.6	11.1	1.6	87.3	12.7
鑑賞経験	今日が初めて	561	35.7	43.3	11.2	1.6	8.2	515	38.8	47.2	12.2	1.7	86.0	14.0
	1～2回	256	36.3	41.0	8.2	2.3	12.1	225	41.3	46.7	9.3	2.7	88.0	12.0
	3～5回	372	34.9	45.4	8.9	1.1	9.7	336	38.7	50.3	9.8	1.2	89.0	11.0
	6～10回	247	39.3	42.5	8.5	0.4	9.3	224	43.3	46.9	9.4	0.4	90.2	9.8
	11回以上	358	32.7	53.4	5.3	0.6	8.1	329	35.6	58.1	5.8	0.6	93.6	6.4

参考		全体	Q3-7劇場の入口・案内表示のわかりやすさ					「無回答」を除いた割合					(単位:%)	
			たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答	回答数	たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	満足層	不満足層
	14年度調査結果	1146	37.1	47.5	6.5	0.8	8.2	1052	40.4	51.7	7.0	0.9	92.1	7.9
	13年度調査結果	1569	37.0	43.7	8.7	1.8	8.9	1430	40.6	47.9	9.5	2.0	88.5	11.5
	12年度調査結果	1599	34.8	45.8	9.1	0.8	9.6	1445	38.5	50.7	10.0	0.8	89.1	10.9
	11年度調査結果	1688	36.2	46.7	7.6	1.2	8.2	1549	39.4	50.9	8.3	1.4	90.4	9.6
	10年度調査結果	2379	34.9	45.8	9.6	0.9	8.8	2169	38.3	50.2	10.6	1.0	88.5	11.5
	09年度調査結果	1692	30.4	48.9	9.1	1.7	9.9	1524	33.7	54.3	10.1	1.9	88.0	12.0
	08年度調査結果	1732	31.5	47.7	9.5	1.8	9.5	1568	34.8	52.7	10.5	2.0	87.4	12.6
	07年度調査結果	3033	28.4	46.3	13.8	2.8	8.7	2768	31.1	50.7	15.1	3.0	81.8	18.2
	06年度調査結果	2766	24.6	47.1	16.4	3.0	8.8	2522	27.0	51.7	18.0	3.3	78.7	21.3
	05年度調査結果	3073	24.2	45.0	17.5	3.7	9.6	2778	26.8	49.8	19.4	4.1	76.6	23.4
	04年度調査結果	4708	22.3	46.6	20.3	4.1	6.6	4396	23.9	49.9	21.7	4.4	73.9	26.1
	03年度調査結果	4078	17.4	44.3	22.1	5.5	10.7	3643	19.5	49.6	24.7	6.2	69.1	30.9

【劇場やロビーのデザイン、雰囲気】

	全体	Q3-8劇場やロビーのデザイン、雰囲気					
		たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答	
全体	1989	40.5	44.4	3.5	0.6	11.1	
ジャンル	小劇場・現代演劇	1423	39.6	45.6	3.7	0.6	10.5
	音楽劇	293	40.3	42.0	1.7	0.0	16.0
	ミュージカル・商業演劇	60	36.7	51.7	6.7	1.7	3.3
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ダンス・現代舞踊	213	47.4	37.6	3.8	0.9	10.3
	パフォーマンス	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	性別	男性	300	40.3	47.0	3.7	0.0
	女性	1517	40.5	45.2	3.6	0.7	10.2
年齢層	18歳未満	57	75.4	17.5	1.8	0.0	5.3
	18～29歳	243	64.6	28.0	2.5	0.8	4.1
	30歳代	285	44.6	47.0	1.8	0.7	6.0
	40歳代	396	45.7	44.4	2.3	0.8	6.8
	50歳代	437	32.7	53.5	5.7	0.2	7.8
	60歳以上	328	20.4	50.6	4.0	0.9	24.1
チケットクラブ	加入	496	37.1	53.4	2.8	0.6	6.0
	未加入	1282	41.7	42.7	4.0	0.6	11.0
鑑賞経験	今日が初めて	561	44.9	41.9	4.3	0.5	8.4
	1～2回	256	42.2	43.0	2.7	0.8	11.3
	3～5回	372	38.2	47.6	3.2	0.5	10.5
	6～10回	247	39.7	44.9	4.9	0.0	10.5
	11回以上	358	36.3	51.1	2.8	0.8	8.9

「無回答」を除いた割合					
回答数	たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	
1769	45.5	49.9	3.9	0.7	
1274	44.3	50.9	4.1	0.7	
246	48.0	50.0	2.0	0.0	
58	37.9	53.4	6.9	1.7	
0	0.0	0.0	0.0	0.0	
191	52.9	41.9	4.2	1.0	
0	0.0	0.0	0.0	0.0	
273	44.3	51.6	4.0	0.0	
1363	45.0	50.3	4.0	0.7	
54	79.6	18.5	1.9	0.0	
233	67.4	29.2	2.6	0.9	
268	47.4	50.0	1.9	0.7	
369	49.1	47.7	2.4	0.8	
403	35.5	58.1	6.2	0.2	
249	26.9	66.7	5.2	1.2	
466	39.5	56.9	3.0	0.6	
1141	46.9	47.9	4.5	0.7	
514	49.0	45.7	4.7	0.6	
227	47.6	48.5	3.1	0.9	
333	42.6	53.2	3.6	0.6	
221	44.3	50.2	5.4	0.0	
326	39.9	56.1	3.1	0.9	

(単位: %)	
満足層	不満足層
95.4	4.6
95.2	4.8
98.0	2.0
91.4	8.6
0.0	0.0
94.8	5.2
0.0	0.0
96.0	4.0
95.3	4.7
98.1	1.9
96.6	3.4
97.4	2.6
96.7	3.3
93.5	6.5
93.6	6.4
96.4	3.6
94.8	5.2
94.7	5.3
96.0	4.0
95.8	4.2
94.6	5.4
96.0	4.0

参考		全体	Q3-9劇場ロビーの飲食サービス			
			たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足
	14年度調査結果	1146	40.3	47.9	3.0	0.3
	13年度調査結果	1569	44.7	42.4	3.2	0.6
	12年度調査結果	1599	40.7	46.5	2.6	0.2
	11年度調査結果	1688	43.5	44.7	2.7	0.4
	10年度調査結果	2379	42.2	45.3	3.4	0.3
	09年度調査結果	1692	39.7	46.4	3.4	0.3
	08年度調査結果	1732	38.3	46.6	4.3	0.6
	07年度調査結果	3033	36.2	48.7	4.5	0.7
	06年度調査結果	2766	31.9	52.3	5.5	0.5
	05年度調査結果	3073	31.4	51.3	5.5	0.7
	04年度調査結果	4708	31.4	52.6	7.3	1.0
	03年度調査結果	4078	26.5	51.7	9.1	1.2

「無回答」を除いた割合					
回答数	たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	
1048	44.1	52.4	3.2	0.3	
1426	49.2	46.6	3.5	0.6	
1437	45.2	51.7	2.9	0.2	
1540	47.7	49.0	3.0	0.4	
2169	46.2	49.7	3.8	0.3	
1519	44.2	51.7	3.8	0.3	
1555	42.6	51.9	4.8	0.6	
2733	40.2	54.1	5.0	0.8	
2497	35.3	58.0	6.1	0.6	
2735	35.3	57.6	6.2	0.8	
4348	34.0	57.0	7.9	1.1	
3608	30.0	58.5	10.3	1.3	

(単位: %)	
満足層	不満足層
96.5	3.5
95.9	4.1
96.9	3.1
96.6	3.4
95.9	4.1
95.9	4.1
94.5	5.5
94.3	5.7
93.3	6.7
92.9	7.1
91.0	9.0
88.4	11.6

【劇場ロビーの飲食サービス】

	全体	Q3-9劇場ロビーの飲食サービス				
		たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	
全体	1989	19.6	45.0	8.8	1.2	
ジャンル	小劇場・現代演劇	1423	18.3	46.2	9.4	1.3
	音楽劇	293	21.8	41.0	6.1	0.3
	ミュージカル・商業演劇	60	18.3	55.0	11.7	3.3
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ダンス・現代舞踊	213	24.9	39.4	7.5	0.9
	パフォーマンス	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	性別	男性	300	22.7	46.0	9.0
	女性	1517	18.9	45.7	9.2	1.1
年齢層	18歳未満	57	50.9	31.6	7.0	1.8
	18～29歳	243	29.2	43.2	7.8	1.6
	30歳代	285	21.4	52.6	8.1	0.4
	40歳代	396	21.2	47.5	9.8	0.5
	50歳代	437	15.6	53.1	10.5	1.4
	60歳以上	328	10.1	36.3	7.9	2.1
チケットクラブ	加入	496	17.5	52.6	9.7	1.6
	未加入	1282	20.3	43.2	9.2	1.0
鑑賞経験	今日が初めて	561	20.9	44.6	9.8	1.2
	1～2回	256	23.0	41.0	10.2	0.8
	3～5回	372	16.7	48.7	10.2	0.3
	6～10回	247	21.5	44.5	8.1	0.8
	11回以上	358	16.5	50.3	7.3	2.2

「無回答」を除いた割合					
回答数	たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	
1482	26.2	60.4	11.8	1.6	
1071	24.4	61.4	12.5	1.7	
203	31.5	59.1	8.9	0.5	
53	20.8	62.3	13.2	3.8	
0	0.0	0.0	0.0	0.0	
155	34.2	54.2	10.3	1.3	
0	0.0	0.0	0.0	0.0	
237	28.7	58.2	11.4	1.7	
1136	25.3	61.1	12.2	1.4	
52	55.8	34.6	7.7	1.9	
199	35.7	52.8	9.5	2.0	
235	26.0	63.8	9.8	0.4	
313	26.8	60.1	12.5	0.6	
352	19.3	65.9	13.1	1.7	
185	17.8	64.3	14.1	3.8	
404	21.5	64.6	11.9	2.0	
945	27.5	58.6	12.5	1.4	
429	27.3	58.3	12.8	1.6	
192	30.7	54.7	13.5	1.0	
282	22.0	64.2	13.5	0.4	
185	28.6	59.5	10.8	1.1	
273	21.6	65.9	9.5	2.9	

(単位: %)	
満足層	不満足層
86.6	13.4
85.8	14.2
90.6	9.4
83.0	17.0
0.0	0.0
88.4	11.6
0.0	0.0
86.9	13.1
86.4	13.6
90.4	9.6
88.4	11.6
89.8	10.2
86.9	13.1
85.2	14.8
82.2	17.8
86.1	13.9
86.1	13.9
85.5	14.5
85.4	14.6
86.2	13.8
88.1	11.9
87.5	12.5

参考		全体	Q3-9劇場ロビーの飲食サービス			
			たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足
	14年度調査結果	1146	17.1	44.4	8.2	1.0
	13年度調査結果	1569	17.3	41.1	9.2	1.2
	12年度調査結果	1599	16.3	45.2	9.2	1.3
	11年度調査結果	1688	17.8	44.8	8.1	0.7
	10年度調査結果	2379	15.8	48.4	9.5	1.4
	09年度調査結果	1692	14.8	47.6	9.5	0.8
	08年度調査結果	1732	14.4	47.1	11.2	1.5
	07年度調査結果	3033	15.5	48.4	14.3	1.6
	06年度調査結果	2766	11.4	51.0	16.7	1.9
	05年度調査結果	3073	12.6	49.2	14.6	1.7
	04年度調査結果	4708	11.6	52.1	16.1	2.3
	03年度調査結果	4078	9.5	46.3	17.5	2.9

「無回答」を除いた割合					
回答数	たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	
810	24.2	62.8	11.6	1.4	
1080	25.2	59.7	13.3	1.8	
1149	22.6	62.8	12.8	1.7	
1207	24.9	62.7	11.4	1.0	
1784	21.0	64.5	12.6	1.8	
1230	20.4	65.4	13.1	1.1	
1285	19.5	63.4	15.1	2.0	
2421	19.4	60.6	18.0	2.0	
2239	14.0	63.0	20.7	2.3	
2398	16.1	63.0	18.8	2.1	
3868	14.1	63.4	19.6	2.8	
3112	12.5	60.7	22.9	3.9	

(単位: %)	
満足層	不満足層
87.0	13.0
84.9	15.1
85.5	14.5
87.7	12.3
85.5	14.5
85.9	14.1
82.9	17.1
80.0	20.0
77.0	23.0
79.1	20.9
77.6	22.4
73.2	26.8

劇場に対する総合的な意見(満足度)については、満足層が97.4%、「たいへん満足」の割合は34.2%である。過去調査結果を通じて、満足層の割合は12年度の98.2%まで上昇し続け、その後も高い割合を維持している。

[来場公演のジャンル別]

・「たいへん満足」の割合は、ダンス・現代舞踊が高い(42.3%)。

[性別]

・満足度では、男女で顕著な差はない。

[年齢別]

・満足層の割合、「たいへん満足」の割合ともに、年齢層が高くなるほど低くなる傾向がある。

[チケットクラブへの加入・未加入別]

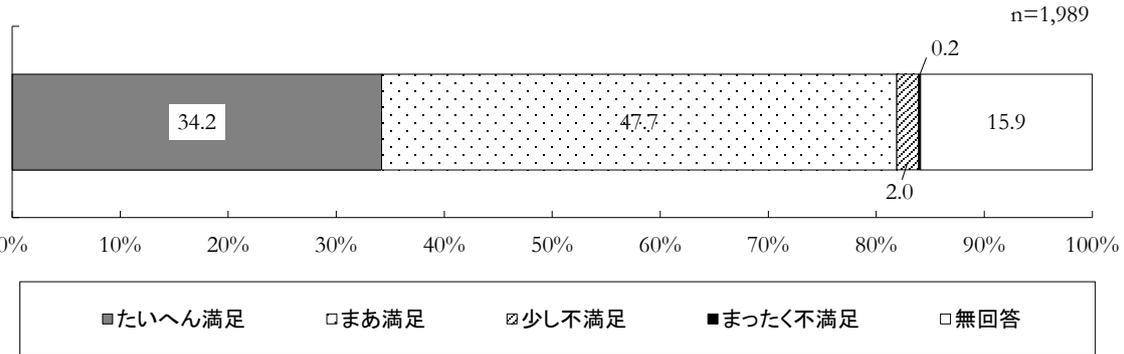
・満足度では、加入・未加入で顕著な差はない。

[北九州芸術劇場での鑑賞経験別]

・鑑賞頻度で顕著な差はないが、6～10回のグループで、「たいへん満足」への回答割合が高い(42.1%)。

[過去調査と比較して]

・過去調査結果を通じて、満足層の割合は12年度の98.2%まで上昇し続け、その後も高い割合を維持している。



	全体	Q4総合的な満足度					「無回答」を除いた割合					(単位: %)		
		たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答	回答数	たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	満足層	不満足層	
全体	1989	34.2	47.7	2.0	0.2	15.9	1673	40.6	56.7	2.4	0.2	97.4	2.6	
ジャンル	小劇場・現代演劇	1423	32.7	48.6	1.8	0.3	16.6	1187	39.3	58.3	2.1	0.3	97.6	2.4
	音楽劇	293	36.9	47.4	2.0	0.0	13.7	253	42.7	54.9	2.4	0.0	97.6	2.4
	ミュージカル・商業演劇	60	26.7	50.0	5.0	0.0	18.3	49	32.7	61.2	6.1	0.0	93.9	6.1
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ダンス・現代舞踊	213	42.3	41.3	2.8	0.0	13.6	184	48.9	47.8	3.3	0.0	96.7	3.3
	パフォーマンス	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別	男性	300	37.0	46.3	1.7	0.3	14.7	256	43.4	54.3	2.0	0.4	97.7	2.3
	女性	1517	34.5	48.7	2.1	0.2	14.5	1297	40.3	57.0	2.5	0.2	97.3	2.7
年齢層	18歳未満	57	57.9	10.5	3.5	0.0	28.1	41	80.5	14.6	4.9	0.0	95.1	4.9
	18~29歳	243	46.1	40.3	0.4	0.0	13.2	211	53.1	46.4	0.5	0.0	99.5	0.5
	30歳代	285	38.2	48.8	1.1	0.0	11.9	251	43.4	55.4	1.2	0.0	98.8	1.2
	40歳代	396	41.4	43.9	2.0	0.0	12.6	346	47.4	50.3	2.3	0.0	97.7	2.3
	50歳代	437	33.0	53.1	2.3	0.2	11.4	387	37.2	59.9	2.6	0.3	97.2	2.8
	60歳以上	328	17.1	59.8	2.1	0.9	20.1	262	21.4	74.8	2.7	1.1	96.2	3.8
チケットクラブ	加入	496	37.5	48.8	1.8	0.6	11.3	440	42.3	55.0	2.0	0.7	97.3	2.7
	未加入	1282	33.9	48.8	2.2	0.1	15.1	1089	39.9	57.5	2.6	0.1	97.3	2.7
鑑賞経験	今日が初めて	561	32.6	48.7	1.6	0.0	17.1	465	39.4	58.7	1.9	0.0	98.1	1.9
	1~2回	256	31.3	51.6	2.0	0.8	14.5	219	36.5	60.3	2.3	0.9	96.8	3.2
	3~5回	372	34.1	50.0	2.7	0.0	13.2	323	39.3	57.6	3.1	0.0	96.9	3.1
	6~10回	247	42.1	45.3	2.4	0.0	10.1	222	46.8	50.5	2.7	0.0	97.3	2.7
	11回以上	358	38.3	46.4	2.0	0.6	12.8	312	43.9	53.2	2.2	0.6	97.1	2.9
参考	14年度調査結果	1146	35.3	44.6	2.3	0.6	17.2	949	42.7	53.8	2.7	0.7	96.5	3.5
	13年度調査結果	1569	34.9	46.5	1.7	0.5	16.4	1311	41.7	55.7	2.0	0.6	97.4	2.6
	12年度調査結果	1599	31.3	48.4	1.4	0.1	18.8	1299	38.6	59.6	1.8	0.1	98.2	1.8
	11年度調査結果	1688	33.4	47.9	2.2	0.4	16.2	1415	39.9	57.1	2.6	0.4	97.0	3.0
	10年度調査結果	2379	33.2	47.9	2.3	0.2	16.4	1989	39.8	57.3	2.7	0.3	97.0	3.0
	09年度調査結果	1692	31.3	49.3	2.4	0.1	16.9	1406	37.6	59.4	2.9	0.1	97.0	3.0
	08年度調査結果	1732	30.7	53.0	2.9	0.4	13.0	1507	35.3	60.9	3.3	0.5	96.2	3.8
	07年度調査結果	3033	25.4	55.6	4.4	0.3	14.3	2600	29.6	64.9	5.1	0.4	94.5	5.5
	06年度調査結果	2766	21.0	59.5	4.6	0.3	14.6	2362	24.6	69.6	5.3	0.4	94.3	5.7
	05年度調査結果	3073	20.1	58.0	5.7	0.6	15.6	2594	23.8	68.7	6.8	0.7	92.6	7.4
	04年度調査結果	4708	19.2	60.9	6.2	0.7	13.1	4092	22.0	70.0	7.2	0.8	92.1	7.9
	03年度調査結果	4078	19.7	57.5	6.5	0.5	15.8	3434	23.4	68.2	7.7	0.6	91.6	8.4

「観る」、「創る」、「育つ」、「支える」(※)いずれも、賛同者の割合(「ぜひやってほしい」+「まあやってほしい」の割合。無回答は除く)は95%以上と、高い賛同を得ている。特に、「観る」については、賛同する人の割合は99.0%、「ぜひやってほしい」という積極的な賛同の割合も78.7%と高い割合を占める。

※2014年度から運営方針のキーワードに「支える」が加わった。

[来場公演のジャンル別]

- ・「観る」:ほとんどのジャンルで「ぜひやってほしい」の割合が7割以上(無回答を除いた回答)と高い。
- ・「創る」、「育つ」、「支える」:いずれのジャンルでも「ぜひやってほしい」の割合が5割以上(無回答を除いた回答)となっている。

[性別]

- ・賛同する割合では、男女で顕著な差はないが、「ぜひやってほしい」の割合は、「観る」については女性で、「創る」、「育つ」、「支える」については男性で高い。

[年齢別]

- ・「観る」:いずれの年代でも「ぜひやってほしい」の割合が7割以上(無回答を除いた回答)と高い。
- ・「創る」、「育つ」、「支える」:18歳未満で「ぜひやってほしい」への割合が7割以上(無回答を除いた回答)と高い。
- ・「観る」、「創る」、「育つ」、「支える」:いずれも60歳以上で無回答の割合が高い。

[チケットクラブへの加入・未加入別]

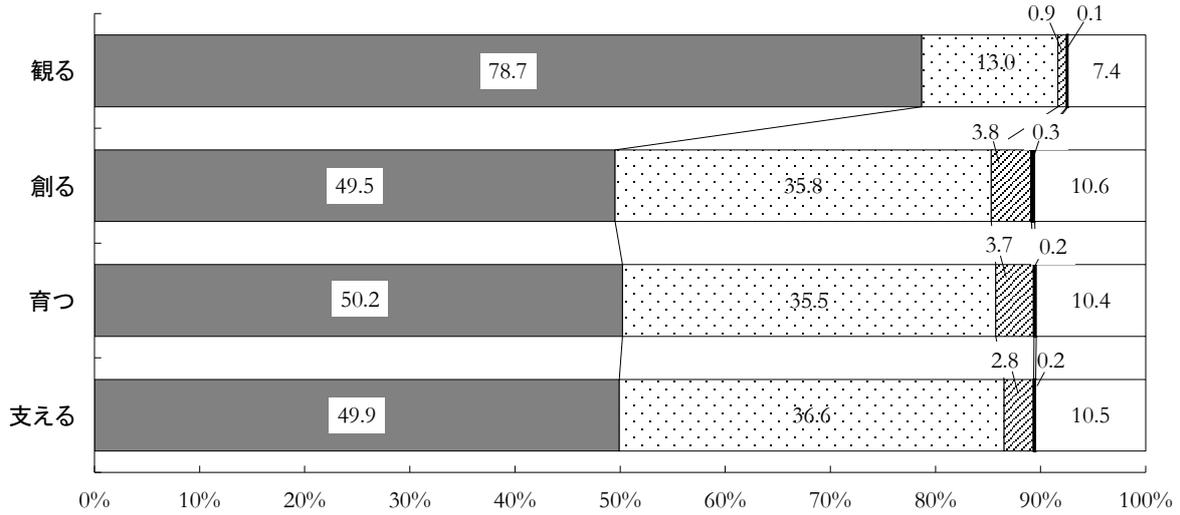
- ・加入・未加入で顕著な差はないが、「観る」については加入、「創る」、「育つ」、「支える」については未加入で「ぜひやってほしい」の割合が高い。

[北九州芸術劇場での鑑賞経験別]

- ・鑑賞頻度で顕著な傾向はみられない。

[過去調査と比較して]

- ・過去調査結果を通じて、「観る」への賛同は極めて高い割合を維持しているものの、「ぜひやってほしい」という積極的な賛同の割合は、04年度の83.3%が最も高く、多少の年度の変化はあるものの、やや減少傾向にある。
- ・一方、「創る」と「育つ」は、「観る」に比べて賛同の割合は低いものの、一定の割合を維持している。



n=1,989

■ぜひやってほしい □まあやってほしい ▨あまりやる必要はない ■まったくやる必要はない □無回答

【観る】

	全体	Q5-1運営方針：観る					「無回答」を除いた割合					(単位：%)		
		ぜひやってほしい	まあやってほしい	あまりやる必要はない	まったくやる必要はない	無回答	回答数	ぜひやってほしい	まあやってほしい	あまりやる必要はない	まったくやる必要はない	賛同する割合	賛同しない割合	
全体	1989	78.7	13.0	0.9	0.1	7.4	1842	85.0	14.0	0.9	0.1	99.0	1.0	
ジャンル	小劇場・現代演劇	1423	81.2	11.7	0.5	0.0	6.5	1330	86.9	12.6	0.5	0.0	99.5	0.5
	音楽劇	293	66.6	19.5	1.7	0.3	11.9	258	75.6	22.1	1.9	0.4	97.7	2.3
	ミュージカル・商業演劇	60	76.7	15.0	1.7	0.0	6.7	56	82.1	16.1	1.8	0.0	98.2	1.8
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ダンス・現代舞踊	213	78.9	11.7	1.9	0.5	7.0	198	84.8	12.6	2.0	0.5	97.5	2.5
	パフォーマンス	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別	男性	300	69.0	22.7	1.7	0.0	6.7	280	73.9	24.3	1.8	0.0	98.2	1.8
	女性	1517	82.8	11.5	0.5	0.1	5.1	1440	87.2	12.1	0.6	0.1	99.3	0.7
年齢層	18歳未満	57	82.5	14.0	0.0	0.0	3.5	55	85.5	14.5	0.0	0.0	100.0	0.0
	18～29歳	243	84.0	11.5	0.4	0.4	3.7	234	87.2	12.0	0.4	0.4	99.1	0.9
	30歳代	285	86.7	10.5	0.0	0.0	2.8	277	89.2	10.8	0.0	0.0	100.0	0.0
	40歳代	396	83.8	12.9	0.8	0.0	2.5	386	86.0	13.2	0.8	0.0	99.2	0.8
	50歳代	437	84.2	11.9	0.2	0.2	3.4	422	87.2	12.3	0.2	0.2	99.5	0.5
	60歳以上	328	63.7	20.7	2.1	0.0	13.4	284	73.6	23.9	2.5	0.0	97.5	2.5
チケットクラブ	加入	496	88.9	8.3	0.6	0.0	2.2	485	90.9	8.5	0.6	0.0	99.4	0.6
	未加入	1282	77.6	15.3	0.8	0.2	6.2	1203	82.7	16.3	0.8	0.2	99.0	1.0
鑑賞経験	今日が初めて	561	82.4	10.9	0.4	0.4	6.1	527	87.7	11.6	0.4	0.4	99.2	0.8
	1～2回	256	78.9	16.4	0.4	0.0	4.3	245	82.4	17.1	0.4	0.0	99.6	0.4
	3～5回	372	76.6	16.4	0.8	0.0	6.2	349	81.7	17.5	0.9	0.0	99.1	0.9
	6～10回	247	86.6	7.7	0.4	0.0	5.3	234	91.5	8.1	0.4	0.0	99.6	0.4
	11回以上	358	79.9	15.4	1.7	0.0	3.1	347	82.4	15.9	1.7	0.0	98.3	1.7
参考	14年度調査結果	1146	76.0	15.5	1.4	0.1	7.0	1066	81.7	16.7	1.5	0.1	98.4	1.6
	13年度調査結果	1569	79.3	12.6	1.0	0.1	7.0	1459	85.3	13.5	1.0	0.1	98.8	1.2
	12年度調査結果	1599	77.5	13.7	0.8	0.0	7.9	1472	84.2	14.9	0.9	0.0	99.1	0.9
	11年度調査結果	1688	77.7	14.5	0.8	0.2	6.9	1571	83.5	15.5	0.8	0.2	99.0	1.0
	10年度調査結果	2379	79.5	12.7	0.7	0.1	7.1	2211	85.5	13.6	0.8	0.1	99.1	0.9
	09年度調査結果	1692	80.4	12.5	0.5	0.1	6.5	1582	86.0	13.3	0.6	0.1	99.4	0.6
	08年度調査結果	1732	80.5	11.8	0.5	0.1	7.0	1611	86.6	12.7	0.6	0.1	99.3	0.7
	07年度調査結果	3033	79.8	13.1	0.5	0.3	6.4	2840	85.2	13.9	0.5	0.3	99.2	0.8
	06年度調査結果	2766	80.5	12.3	0.9	0.3	5.9	2602	85.6	13.1	0.9	0.3	98.7	1.3
	05年度調査結果	3073	82.2	11.3	0.6	0.1	5.8	2894	87.2	12.0	0.6	0.1	99.3	0.7
	04年度調査結果	4708	83.3	12.1	0.6	0.1	3.9	4523	86.7	12.6	0.6	0.1	99.2	0.8
03年度調査結果	4078	81.8	9.8	0.7	0.1	7.7	3764	88.6	10.6	0.7	0.1	99.2	0.8	

* 賛同する割合は、「ぜひやってほしい」+「まあやってほしい」の計、
 不満足層は、「あまりやる必要はない」+「まったくやる必要はない」の計。無回答を除く。以下同様。
 ** 小数点第2以下の四捨五入により、表中の無回答を除く「ぜひやってほしい」+「まあやってほしい」の割合は賛同する割合と
 「あまりやる必要はない」+「まったくやる必要はない」の割合は賛同しない割合と必ずしも一致しない。

【創る】

		調査数(n)	Q5-2運営方針:創る					無回答
			ぜひやってほしい	まあやってほしい	あまりやる必要はない	まったくやる必要はない		
ジャンル	全体	1989	49.5	35.8	3.8	0.3	10.6	
	小劇場・現代演劇	1423	49.7	36.5	3.7	0.4	9.8	
	音楽劇	293	44.0	35.5	5.8	0.3	14.3	
	ミュージカル・商業演劇	60	46.7	38.3	1.7	0.0	13.3	
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ダンス・現代舞踊	213	56.8	31.0	2.8	0.0	9.4	
	パフォーマンス	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別	男性	300	54.3	33.7	5.0	0.0	7.0	
	女性	1517	50.1	37.6	3.5	0.3	8.6	
年齢層	18歳未満	57	66.7	24.6	1.8	1.8	5.3	
	18～29歳	243	65.4	27.6	2.1	0.4	4.5	
	30歳代	285	55.8	34.7	4.6	0.4	4.6	
	40歳代	396	50.8	41.4	2.8	0.0	5.1	
	50歳代	437	49.0	38.4	4.6	0.5	7.6	
	60歳以上	328	39.3	38.4	4.0	0.0	18.3	
チケットクラブ	加入	496	49.6	39.9	4.2	0.4	5.8	
	未加入	1282	50.9	36.7	3.6	0.2	8.7	
鑑賞経験	今日が初めて	561	54.9	32.6	3.0	0.5	8.9	
	1～2回	256	52.3	34.4	5.1	0.4	7.8	
	3～5回	372	43.0	41.1	5.6	0.0	10.2	
	6～10回	247	51.4	38.9	2.0	0.0	7.7	
	11回以上	358	50.8	41.1	3.4	0.3	4.5	

「無回答」を除いた割合					
回答数	ぜひやってほしい	まあやってほしい	あまりやる必要はない	まったくやる必要はない	
1779	55.4	40.0	4.3	0.3	
1283	55.1	40.5	4.1	0.4	
251	51.4	41.4	6.8	0.4	
52	53.8	44.2	1.9	0.0	
0	0.0	0.0	0.0	0.0	
193	62.7	34.2	3.1	0.0	
0	0.0	0.0	0.0	0.0	
279	58.4	36.2	5.4	0.0	
1387	54.8	41.1	3.8	0.3	
54	70.4	25.9	1.9	1.9	
232	68.5	28.9	2.2	0.4	
272	58.5	36.4	4.8	0.4	
376	53.5	43.6	2.9	0.0	
404	53.0	41.6	5.0	0.5	
268	48.1	47.0	4.9	0.0	
467	52.7	42.4	4.5	0.4	
1171	55.7	40.1	3.9	0.3	
511	60.3	35.8	3.3	0.6	
236	56.8	37.3	5.5	0.4	
334	47.9	45.8	6.3	0.0	
228	55.7	42.1	2.2	0.0	
342	53.2	43.0	3.5	0.3	

(単位:%)

賛同する割合	賛同しない割合
95.4	4.6
95.6	4.4
92.8	7.2
98.1	1.9
0.0	0.0
96.9	3.1
0.0	0.0
94.6	5.4
95.9	4.1
96.3	3.7
97.4	2.6
94.9	5.1
97.1	2.9
94.6	5.4
95.1	4.9
95.1	4.9
95.8	4.2
96.1	3.9
94.1	5.9
93.7	6.3
97.8	2.2
96.2	3.8

参考		調査数(n)	Q5-2運営方針:創る					無回答
			ぜひやってほしい	まあやってほしい	あまりやる必要はない	まったくやる必要はない		
	14年度調査結果	1146	56.0	31.6	2.9	0.3	9.2	
	13年度調査結果	1569	51.6	34.5	3.8	0.1	9.9	
	12年度調査結果	1599	51.8	34.7	3.3	0.3	9.9	
	11年度調査結果	1688	53.6	34.4	3.8	0.2	8.1	
	10年度調査結果	2379	48.7	37.7	4.0	0.4	9.2	
	09年度調査結果	1692	50.1	36.8	3.7	0.3	9.1	
	08年度調査結果	1732	47.9	37.3	4.4	0.5	9.8	
	07年度調査結果	3033	49.0	36.5	5.1	0.6	8.8	
	06年度調査結果	2766	47.3	38.9	5.0	0.6	8.2	
	05年度調査結果	3073	48.6	36.8	5.2	0.3	9.1	
	04年度調査結果	4708	48.3	39.5	5.4	0.7	6.2	
	03年度調査結果	4078	45.0	37.8	4.5	0.4	12.3	

「無回答」を除いた割合					
回答数	ぜひやってほしい	まあやってほしい	あまりやる必要はない	まったくやる必要はない	
1041	61.7	34.8	3.2	0.4	
1413	57.3	38.3	4.2	0.1	
1440	57.6	38.5	3.6	0.3	
1552	58.2	37.4	4.1	0.3	
2160	53.7	41.5	4.4	0.5	
1538	55.1	40.5	4.1	0.3	
1562	53.1	41.4	4.9	0.6	
2765	53.8	40.0	5.6	0.6	
2540	51.5	42.4	5.5	0.6	
2794	53.4	40.5	5.7	0.4	
4418	51.5	42.1	5.7	0.7	
3575	51.3	43.1	5.2	0.4	

賛同する割合	賛同しない割合
96.4	3.6
95.6	4.4
96.1	3.9
95.6	4.4
95.2	4.8
95.6	4.4
94.5	5.5
93.8	6.2
93.9	6.1
94.0	6.0
93.5	6.5
94.4	5.6

【育つ】

		調査数(n)	Q5-3運営方針:育つ					無回答
			ぜひやってほしい	まあやってほしい	あまりやる必要はない	まったくやる必要はない		
ジャンル	全体	1989	50.2	35.5	3.7	0.2	10.4	
	小劇場・現代演劇	1423	48.7	37.1	3.9	0.3	10.0	
	音楽劇	293	50.2	32.4	4.4	0.0	13.0	
	ミュージカル・商業演劇	60	43.3	41.7	1.7	0.0	13.3	
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ダンス・現代舞踊	213	62.4	27.2	1.4	0.0	8.9	
	パフォーマンス	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別	男性	300	55.3	33.7	4.0	0.3	6.7	
	女性	1517	50.0	37.5	3.8	0.1	8.6	
年齢層	18歳未満	57	73.7	19.3	3.5	0.0	3.5	
	18～29歳	243	67.5	25.1	2.9	0.0	4.5	
	30歳代	285	53.7	36.8	4.9	0.4	4.2	
	40歳代	396	51.0	39.4	4.0	0.3	5.3	
	50歳代	437	47.6	40.7	3.2	0.2	8.2	
	60歳以上	328	40.5	39.3	3.4	0.0	16.8	
チケットクラブ	加入	496	47.4	42.9	3.6	0.2	5.8	
	未加入	1282	52.2	35.3	3.8	0.2	8.6	
鑑賞経験	今日が初めて	561	56.1	31.2	3.7	0.0	8.9	
	1～2回	256	52.7	34.4	5.1	0.4	7.4	
	3～5回	372	46.2	39.8	3.5	0.0	10.5	
	6～10回	247	52.2	37.7	2.8	0.0	7.3	
	11回以上	358	45.5	45.0	4.5	0.6	4.5	

「無回答」を除いた割合					
回答数	ぜひやってほしい	まあやってほしい	あまりやる必要はない	まったくやる必要はない	
1782	56.1	39.6	4.1	0.2	
1281	54.1	41.2	4.4	0.3	
255	57.6	37.3	5.1	0.0	
52	50.0	48.1	1.9	0.0	
0	0.0	0.0	0.0	0.0	
194	68.6	29.9	1.5	0.0	
0	0.0	0.0	0.0	0.0	
280	59.3	36.1	4.3	0.4	
1387	54.7	41.0	4.1	0.1	
55	76.4	20.0	3.6	0.0	
232	70.7	26.3	3.0	0.0	
273	56.0	38.5	5.1	0.4	
375	53.9	41.6	4.3	0.3	
401	51.9	44.4	3.5	0.2	
273	48.7	47.3	4.0	0.0	
467	50.3	45.6	3.9	0.2	
1172	57.1	38.6	4.2	0.2	
511	61.6	34.2	4.1	0.0	
237	57.0	37.1	5.5	0.4	
333	51.7	44.4	3.9	0.0	
229	56.3	40.6	3.1	0.0	
342	47.7	47.1	4.7	0.6	

(単位:%)

賛同する割合	賛同しない割合
95.7	4.3
95.3	4.7
94.9	5.1
98.1	1.9
0.0	0.0
98.5	1.5
0.0	0.0
95.4	4.6
95.7	4.3
96.4	3.6
97.0	3.0
94.5	5.5
95.5	4.5
96.3	3.7
96.0	4.0
95.9	4.1
95.6	4.4
95.9	4.1
94.1	5.9
96.1	3.9
96.9	3.1
94.7	5.3

参考		調査数(n)	Q5-3運営方針:育つ					無回答
			ぜひやってほしい	まあやってほしい	あまりやる必要はない	まったくやる必要はない		
	14年度調査結果	1146	53.8	32.9	3.7	0.5	9.2	
	13年度調査結果	1569	45.6	39.4	4.3	0.6	10.1	
	12年度調査結果	1599	48.5	36.5	3.8	0.8	10.5	
	11年度調査結果	1688	51.3	35.6	4.3	0.5	8.4	
	10年度調査結果	2379	46.4	38.8	4.9	0.5	9.4	
	09年度調査結果	1692	47.8	37.3	5.1	0.6	9.2	
	08年度調査結果	1732	48.0	35.9	5.6	0.8	9.8	
	07年度調査結果	3033	47.2	37.4	5.8	0.7	8.9	
	06年度調査結果	2766	47.7	37.6	5.6	0.6	8.5	
	05年度調査結果	3073	48.6	36.1	5.7	0.4	9.3	
	04年度調査結果	4708	50.3	36.8	5.6	0.6	6.8	
	03年度調査結果	4078	45.8	35.6	5.4	0.7	12.6	

「無回答」を除いた割合					
回答数	ぜひやってほしい	まあやってほしい	あまりやる必要はない	まったくやる必要はない	
1041	59.2	36.2	4.0	0.6	
1411	50.7	43.8	4.7	0.7	
1431	54.2	40.8	4.2	0.8	
1547	56.0	38.8	4.7	0.5	
2155	51.2	42.8	5.4	0.6	
1537	52.6	41.1	5.7	0.7	
1563	53.2	39.7	6.2	0.9	
2763	51.8	41.0	6.4	0.7	
2531	52.1	41.1	6.1	0.7	
2788	53.5	39.8	6.2	0.5	
4387	53.9	39.5	6.0	0.6	
3564	52.4	40.7	6.2	0.8	

【支える】

	調査数(n)	Q5-4運営方針:支える					無回答	「無回答」を除いた割合					(単位:%)	
		ぜひやってほしい	まあやってほしい	あまりやる必要はない	まったくやる必要はない			回答数	ぜひやってほしい	まあやってほしい	あまりやる必要はない	まったくやる必要はない	賛同する割合	賛同しない割合
全体	1989	49.9	36.6	2.8	0.2	10.5	1781	55.8	40.9	3.1	0.2	96.6	3.4	
ジャンル	小劇場・現代演劇	1423	49.0	38.4	2.5	0.3	9.8	1284	54.3	42.6	2.8	0.3	96.9	3.1
	音楽劇	293	51.9	31.1	3.1	0.0	14.0	252	60.3	36.1	3.6	0.0	96.4	3.6
	ミュージカル・商業演劇	60	45.0	36.7	5.0	0.0	13.3	52	51.9	42.3	5.8	0.0	94.2	5.8
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ダンス・現代舞踊	213	54.9	31.9	3.8	0.0	9.4	193	60.6	35.2	4.1	0.0	95.9	4.1
	パフォーマンス	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性別	男性	300	58.0	31.7	3.3	0.3	6.7	280	62.1	33.9	3.6	0.4	96.1	3.9
	女性	1517	49.1	39.5	2.7	0.1	8.6	1386	53.8	43.2	3.0	0.1	97.0	3.0
年齢層	18歳未満	57	66.7	19.3	8.8	0.0	5.3	54	70.4	20.4	9.3	0.0	90.7	9.3
	18～29歳	243	65.0	28.4	1.6	0.4	4.5	232	68.1	29.7	1.7	0.4	97.8	2.2
	30歳代	285	55.4	36.5	3.5	0.0	4.6	272	58.1	38.2	3.7	0.0	96.3	3.7
	40歳代	396	51.3	40.7	2.8	0.3	5.1	376	54.0	42.8	2.9	0.3	96.8	3.2
	50歳代	437	48.1	42.1	2.1	0.2	7.6	404	52.0	45.5	2.2	0.2	97.5	2.5
	60歳以上	328	39.9	39.6	3.0	0.0	17.4	271	48.3	48.0	3.7	0.0	96.3	3.7
チケットクラブ	加入	496	46.2	45.6	2.0	0.4	5.8	467	49.0	48.4	2.1	0.4	97.4	2.6
	未加入	1282	52.4	35.8	3.1	0.1	8.6	1172	57.3	39.2	3.4	0.1	96.5	3.5
鑑賞経験	今日が初めて	561	52.9	34.0	3.4	0.2	9.4	508	58.5	37.6	3.7	0.2	96.1	3.9
	1～2回	256	52.7	35.5	3.5	0.4	7.8	236	57.2	38.6	3.8	0.4	95.8	4.2
	3～5回	372	45.2	42.7	2.4	0.0	9.7	336	50.0	47.3	2.7	0.0	97.3	2.7
	6～10回	247	54.7	35.6	2.0	0.0	7.7	228	59.2	38.6	2.2	0.0	97.8	2.2
	11回以上	358	48.0	44.7	2.8	0.3	4.2	343	50.1	46.6	2.9	0.3	96.8	3.2

3 日頃の鑑賞活動

コンサートや演劇に出かける頻度については、「年に1～2回程度」(23.3%)が最も割合が高く、次いで「年に3～4回程度」が22.0%、「年に5～9回程度」(16.2%)と続いており、月に1回以上出かける割合は20.9%となっている。日頃コンサートや演劇に出かける人は多く、回答者の鑑賞頻度は多様である。

[来場公演のジャンル別]

・ミュージカル・商業演劇では、月1回以上出かける割合が31.7%とジャンル中最も高く、次いでダンス・現代舞踊で月1回以上の割合が高い(23.0%)。

[性別]

・男性、女性ともに「年に1～2回程度」の割合が最も高い。
・月1回以上出かける割合をみると、男性は25.0%、女性は22.1%と、男性の割合が高い。

[年齢別]

・18歳未満では「年に1～2回程度」の割合が最も高く、他の年代に比べて、「今日が初めて」の割合も高い。
・月1回以上の割合が最も高いのは40歳代(27.0%)であるが、40歳以上のグループはいずれも、月1回以上の割合が20%を超えている。

[チケットクラブへの加入・未加入別]

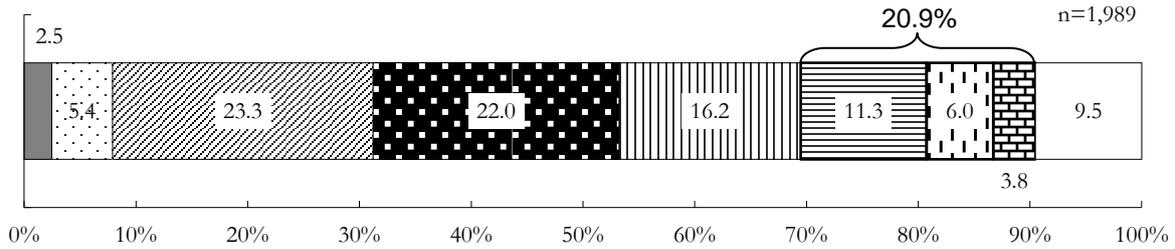
・加入の場合は「年に5～9回程度」(25.8%)、未加入の場合は「年に1～2回」(30.3%)の割合が最も高い。また加入の場合は「月に1回以上」の割合が38.7%を占めており、未加入(16.8%)に比べて日頃からコンサートや演劇に出かける頻度が高いことがわかる。

[北九州芸術劇場での鑑賞経験別]

・北九州芸術劇場での鑑賞頻度が高いほど、日頃コンサートや演劇に出かける頻度も高く、その傾向は顕著である。
・北九州芸術劇場で11回以上の鑑賞経験がある場合、月1回以上コンサートや演劇に出かける割合は54.7%を占める。
・北九州芸術劇場での鑑賞が初めてのグループと1～2回のグループでは「年に1～2回程度」の割合が最も高い。

[過去調査と比較して]

・過去調査結果と比較すると、11年度では月1回以上の割合が過去最高の割合となった。15年度(20.9%)は、06年度(19.5%)、10年度(20.8%)に次いで3番目に少ない割合となっている。



- 今日が初めて □ ほとんど行かない ▣ 年に1~2回程度 ■ 年に3~4回程度 □ 年に5~9回程度
- ▣ 月に1回程度 □ 月に2回程度 ▣ 月に3回以上 □ 無回答

(単位:%)

	調査数 (n)	Q7コンサートや演劇に出かける頻度									月1回以上の割合	
		今日が初めて	ほとんど行かない	年に1~2回程度	年に3~4回程度	年に5~9回程度	月に1回程度	月に2回程度	月に3回以上	無回答		
全体	1989	2.5	5.4	23.3	22.0	16.2	11.3	6.0	3.8	9.5	20.9	
ジャンル	小劇場・現代演劇	1423	2.5	5.8	24.7	22.8	16.2	11.2	5.5	3.7	7.5	20.3
	音楽劇	293	3.1	5.5	20.1	18.4	14.0	9.6	8.2	3.1	18.1	20.8
	ミュージカル・商業演劇	60	3.3	3.3	16.7	18.3	16.7	11.7	13.3	6.7	10.0	31.7
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ダンス・現代舞踊	213	0.9	3.3	20.2	22.5	19.2	14.1	4.2	4.7	10.8	23.0
	パフォーマンス	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性別	男性	300	4.7	10.3	25.7	20.3	12.7	12.7	5.7	6.7	1.3	25.0
	女性	1517	2.2	5.1	25.5	24.5	18.7	12.0	6.5	3.6	2.0	22.1
年齢層	18歳未満	57	12.3	10.5	33.3	22.8	7.0	7.0	1.8	1.8	3.5	10.5
	18~29歳	243	5.3	10.7	24.3	27.6	12.3	10.7	4.9	2.5	1.6	18.1
	30歳代	285	2.5	8.1	28.4	22.8	18.2	11.2	5.6	2.5	0.7	19.3
	40歳代	396	1.5	4.8	25.5	22.5	17.2	12.9	7.1	7.1	1.5	27.0
	50歳代	437	1.8	4.6	28.6	21.3	20.4	12.4	6.2	3.7	1.1	22.2
	60歳以上	328	1.8	3.0	22.3	26.2	20.1	12.2	5.8	4.6	4.0	22.6
チケットクラブ	加入	496	0.0	1.0	13.5	19.8	25.8	16.7	12.9	9.1	1.2	38.7
	未加入	1282	3.7	8.0	30.3	25.7	14.5	10.5	4.2	2.2	0.9	16.8
鑑賞経験	今日が初めて	561	7.8	11.2	32.4	25.7	12.7	5.9	2.0	1.8	0.5	9.6
	1~2回	256	1.2	9.4	41.4	23.4	10.9	9.4	1.2	0.8	2.3	11.3
	3~5回	372	0.3	4.0	29.8	30.1	17.2	11.6	3.8	2.2	1.1	17.5
	6~10回	247	0.4	1.6	17.8	28.7	21.9	15.4	8.5	4.0	1.6	27.9
	11回以上	358	0.0	0.3	3.9	12.0	28.2	22.9	19.6	12.3	0.8	54.7
参考	14年度調査結果	1146	3.4	5.9	20.8	22.8	14.1	10.8	8.2	6.8	7.2	25.8
	13年度調査結果	1569	3.2	6.2	20.5	22.6	15.2	11.2	6.9	5.7	8.4	23.8
	12年度調査結果	1599	3.4	6.0	18.6	19.2	16.1	13.4	8.4	6.4	8.4	28.3
	11年度調査結果	1688	3.1	5.6	18.2	22.5	15.7	12.9	9.2	6.7	6.1	28.8
	10年度調査結果	2379	3.6	7.1	23.7	22.6	15.2	11.0	5.9	4.0	7.0	20.8
	09年度調査結果	1692	2.5	5.7	22.1	22.4	16.0	12.5	7.9	4.8	6.0	25.2
	08年度調査結果	1732	2.8	5.8	22.0	23.0	16.7	12.2	7.4	4.6	5.5	24.2
	07年度調査結果	3033	4.2	5.9	24.5	21.9	16.4	11.7	6.7	3.4	5.3	21.9
	06年度調査結果	2766	3.7	5.0	23.2	24.9	18.1	10.0	5.9	3.7	5.5	19.5
	05年度調査結果	3073	3.0	5.6	21.2	25.6	18.6	11.1	6.2	4.8	3.8	22.1
	04年度調査結果	4708	2.7	4.9	20.6	24.7	19.4	12.6	7.8	4.6	2.6	25.0
	03年度調査結果	4078	2.7	4.5	22.4	24.1	18.9	11.5	7.1	4.4	4.5	23.0

北九州芸術劇場での鑑賞経験は、「今日が初めて」が28.2%と最も高い。次いで、「3～5回」(18.7%)、「11回以上」(18.0%)、「1～2回」(12.9%)、「6～10回」(12.4%)と、大きな偏りがなく分布している。初めてからリピーターまで、幅広い層が来場している。

[来場公演のジャンル別]

・いずれのジャンルも、初めてからリピーターまで幅広い観客層となっているが、ミュージカル・商業演劇とダンス・現代舞踊は「11回以上」の割合が最も高く、音楽劇は、「3～5回」の割合が最も高い。

[性別]

・男性、女性ともに「今日が初めて」の割合が最も高いが、分布は幅広い。

[年齢別]

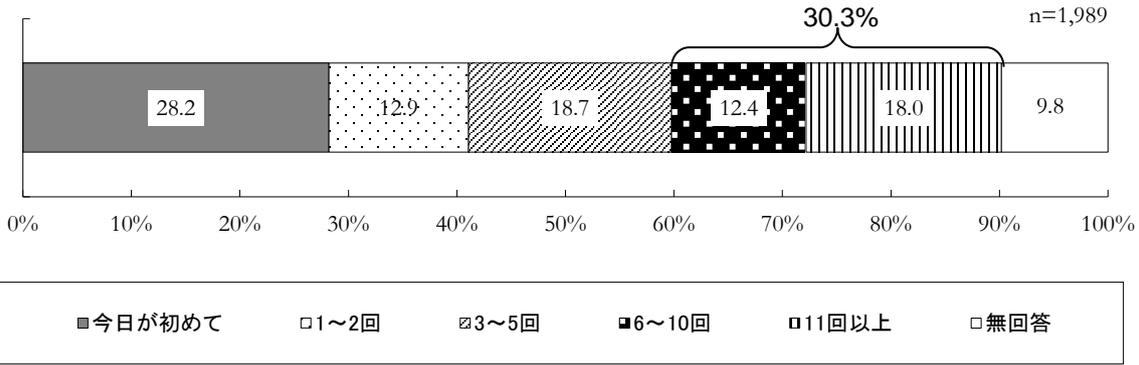
・60歳以上は、「11回以上」の割合が最も高い。それ以外のグループは「今日が初めて」の割合が高い。
・年齢層が高くなるほど、6回以上の割合が高い。

[チケットクラブへの加入・未加入別]

・加入の場合は「11回以上」が45.8%と顕著に高く、6回以上の割合も62.7%となっている。一方、未加入の場合は「今日が初めて」が38.5%と最も高く、6回以上来場している割合は21.5%となっている。

[過去調査と比較して]

・6回以上の割合は、08年度までの調査では増加傾向で08～09年度は30%を超えていたものの、10年度は29.4%と減少し、11～13年度は、再び6回以上の割合が30%を超えた。
・14年度は6回以上の割合が39.9%と過去最高となっているが、15年度は30.3%となっている。



(単位:%)

		調査数 (n)	Q8北九州芸術劇場での鑑賞経験					6回以上の割合		
			今日が初めて	1~2回	3~5回	6~10回	11回以上		無回答	
全体		1989	28.2	12.9	18.7	12.4	18.0	9.8	30.3	
ジャンル	小劇場・現代演劇	1423	32.9	13.4	18.3	12.0	15.6	7.9	27.6	
	音楽劇	293	15.4	11.6	22.2	9.9	21.5	19.5	31.4	
	ミュージカル・商業演劇	60	16.7	13.3	15.0	10.0	35.0	10.0	45.0	
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ダンス・現代舞踊	213	17.8	11.3	17.8	19.2	24.4	9.4	43.7	
	パフォーマンス	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別	男性	300	31.3	17.7	19.7	10.3	19.0	2.0	29.3	
	女性	1517	30.5	13.4	20.4	14.0	19.8	2.0	33.8	
年齢層	18歳未満	57	38.6	15.8	28.1	7.0	3.5	7.0	10.5	
	18~29歳	243	52.3	16.9	16.5	9.9	3.3	1.2	13.2	
	30歳代	285	33.3	15.1	18.6	15.4	15.8	1.8	31.2	
	40歳代	396	27.5	12.1	24.5	9.8	24.7	1.3	34.6	
	50歳代	437	28.6	14.4	19.2	15.6	20.6	1.6	36.2	
	60歳以上	328	18.3	13.1	22.3	16.5	27.1	2.7	43.6	
チケット	加入	496	12.5	6.7	16.7	16.9	45.8	1.4	62.7	
	未加入	1282	38.5	17.1	21.8	12.1	9.4	1.2	21.5	
鑑賞経験	今日が初めて	561	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1~2回	256	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	3~5回	372	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	6~10回	247	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	
	11回以上	358	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	
参考	14年度調査結果	1146	18.8	13.7	19.8	16.3	23.6	7.8	39.9	
	13年度調査結果	1569	22.9	14.1	20.2	15.4	18.2	9.1	33.7	
	12年度調査結果	1599	22.4	13.8	18.1	15.5	21.0	9.2	36.5	
	11年度調査結果	1688	20.5	12.9	20.3	15.3	23.9	7.2	39.2	
	10年度調査結果	2379	29.1	13.5	21.0	12.9	16.6	7.0	29.4	
	09年度調査結果	1692	21.7	15.1	23.8	15.4	17.7	6.3	33.1	
	08年度調査結果	1732	22.9	15.9	21.7	17.1	16.1	6.4	33.2	
	07年度調査結果	3033	32.8	15.2	21.4	12.7	12.4	5.4	25.2	
	06年度調査結果	2766	28.7	16.8	25.2	12.5	11.4	5.4	23.9	
	05年度調査結果	3073	30.8	17.1	25.7	12.3	10.4	3.7	22.7	
	04年度調査結果	4708	33.1	20.9	25.2	11.6	6.4	2.7	18.0	
	03年度調査結果	4078	-	-	-	-	-	-	-	-

来場の妨げになっていること(※)は、「チケット代金が高い」(32.6%)、「会場が遠い」(25.7%)、「仕事や勉強で忙しい」(19.4%)、「開催時間が間に合わない」(19.3%)、「見たい作品が少ない」(18.6%)となっている。

※2015年度から設問を加えた。

[来場公演のジャンル別]

・いずれのジャンルでも「チケット代金が高い」が最も高い割合となっているが、ミュージカル・商業演劇が他のジャンルに比べて割合が高い(40.0%)。

[性別]

・男性、女性ともに「チケット代金が高い」が最も高いが、男性は27.0%、女性は37.0%で女性の割合が高い。

・男性では、「仕事や勉強で忙しい」が26.0%で、女性(20.1%)に比べて割合が高い。女性は「会場が遠い」が29.3%で、男性(21.3%)に比べて割合が高い。

[年齢別]

・18歳未満以外のグループで「チケット代金が高い」の割合が最も高く、18歳未満は「仕事や勉強で忙しい」の割合が最も高い。

・「仕事や勉強で忙しい」は、年齢層が高くなるほど割合が低くなっている。

[チケットクラブへの加入・未加入別]

・加入、未加入ともに「チケット代金が高い」が最も高い。次いで、加入では「開催時間が間に合わない」(26.6%)、未加入では「会場が遠い」(29.3%)が高くなっている。

[北九州芸術劇場での鑑賞経験別]

・北九州芸術劇場での鑑賞経験が多いほど、「チケット代金が高い」の割合が高くなっている。

・今日が初めてのグループでは、「会場が遠い」(39.9%)が「チケット代金が高い」(32.3%)を上回っている。

Q10

(単位:%)

		調査数 (n)	Q10来場の妨げになっていること										無回答
			見たい作 品が少ない	いつ何を やっている か情報 がない	チケット 代金が高い	会場が遠 い	開催時間 が間に合 わない	周りに一 緒に見に 行く人が いない	仕事や勉 強で忙し い	子どもや 家族がい て出かけ られない	その他	特に妨げ は感じな い	
全体		1989	18.6	14.8	32.6	25.7	19.3	4.7	19.4	5.0	2.8	12.3	13.1
ジャンル	小劇場・現代演劇	1423	19.0	14.9	33.0	28.0	18.5	4.6	20.1	4.8	3.2	12.5	10.7
	音楽劇	293	14.7	14.0	34.1	13.7	17.1	6.1	15.0	6.5	1.4	13.3	23.2
	ミュージカル・商業演劇	60	23.3	15.0	40.0	31.7	31.7	8.3	16.7	6.7	1.7	15.0	10.0
	古典芸能(歌舞伎・能)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ダンス・現代舞踊	213	19.7	15.5	25.4	25.4	23.9	2.3	21.6	4.2	1.9	8.5	16.0
	パフォーマンス	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性別	男性	300	18.7	12.0	27.0	21.3	24.0	4.3	26.0	2.7	2.3	15.0	6.0
	女性	1517	20.6	17.0	37.0	29.3	20.4	5.3	20.1	6.0	3.2	13.1	5.1
年齢層	18歳未満	57	14.0	12.3	26.3	15.8	17.5	7.0	35.1	1.8	0.0	21.1	3.5
	18～29歳	243	16.9	12.3	39.5	34.2	21.8	7.4	32.5	2.1	1.6	10.3	2.9
	30歳代	285	21.8	19.6	35.8	30.2	25.6	7.4	24.6	6.3	2.1	9.8	3.9
	40歳代	396	20.7	18.2	35.4	27.5	21.5	4.0	22.7	10.4	5.6	12.1	3.5
	50歳代	437	19.2	14.0	35.5	29.1	21.5	4.3	19.0	3.7	2.3	15.8	6.2
	60歳以上	328	20.7	18.3	31.4	22.9	13.4	4.0	9.1	4.3	2.7	18.3	8.5
チケット クラブ	加入	496	22.4	6.9	39.3	25.8	26.6	3.2	19.4	7.7	4.6	15.5	4.2
	未加入	1282	19.8	19.7	34.2	29.3	18.7	5.9	21.8	4.8	2.5	12.8	4.6
鑑賞 経験	今日が初めて	561	17.8	18.0	32.3	39.9	16.0	5.7	22.8	4.1	2.9	10.5	4.3
	1～2回	256	24.6	17.2	34.4	26.6	18.0	7.8	18.8	3.1	2.7	13.7	4.3
	3～5回	372	21.5	20.7	35.8	21.0	19.1	6.2	18.5	7.5	3.2	15.1	5.1
	6～10回	247	24.3	13.0	33.6	24.3	21.1	2.4	22.7	6.9	3.6	13.4	7.3
	11回以上	358	17.0	10.1	41.9	19.6	33.2	2.8	21.2	6.4	3.1	16.8	5.3

参考 | 調査票

お帰りの際にロビー備え付けの回収箱にお入れいただくか、後日、郵送（下記住所宛）もしくはファックスにてご返送ください。

FAX 送付先：
093-562-2633

北九州芸術劇場 アンケート係 〒803-0812 北九州市小倉北区室町1丁目1-1-11 TEL: 093-562-2620

本日は、北九州芸術劇場の公演にご来場いただき、誠にありがとうございます。皆様の声を今後の事業に活かしていきたいと思っておりますので、アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

すべての設問にご回答いただいた方々の中から抽選で、「△△△△」の招待券をペアで5組・10名の方に差し上げます。なお、当選者の発表は当選通知の発送にかえさせていただきます。

Q 1 今日の公演は何でお知りになりましたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1 雑誌・タウン情報誌 (誌名: _____) | 2 新聞 (紙名: _____) |
| 3 TV・ラジオ | 4 北九州市 市政だより |
| 5 街中のチラシ・ポスター | 6 郵送やEメールでのダイレクトメール |
| 7 他の公演会場で配布されたチラシ | 8 ホームページ、ブログ |
| 9 Facebook、TwitterなどのSNS | 10 友人・知人から聞いた |
| 11 出演者、公演関係者から聞いた | 12 その他 (具体的に _____) |

Q 2 今日の公演に来られた主な理由をお聞かせください。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 出演者、出演団体が好きだから | 2 出演者、出演団体が有名だから |
| 3 公演内容が面白そうだったから | 4 劇場に来てみたかったから |
| 5 劇場が近くだったから | 6 出演者や関係者が知り合いだから |
| 7 人に誘われたから | 8 人に勧められたから |
| 9 その他 (具体的に _____) | |

Q 3 今日の公演や北九州芸術劇場についてあなたのご意見をお聞かせください。(〇は各項目ひとつずつ)

	1 たいへん 満足	2 まあ 満足	3 少し 不満足	4 まったく 不満足
(記入見本)	1	②	3	4
本日の公演内容	1	2	3	4
本日の公演のチケット料金	1	2	3	4
公演情報の入手のしやすさ	1	2	3	4
チケットの予約・購入のしやすさ	1	2	3	4
(北九州芸術劇場の) 電話予約やチケットカウンターでの対応	1	2	3	4
劇場係員の対応	1	2	3	4
劇場の入り口や案内表示のわかりやすさ	1	2	3	4
劇場やロビーのデザイン、雰囲気	1	2	3	4
劇場ロビーの飲食サービス	1	2	3	4

Q 4 総合的にみて北九州芸術劇場に対するあなたのご意見をお聞かせください。(〇はひとつ)

- 1 たいへん満足している 2 まあ満足している 3 あまり満足していない 4 まったく満足していない

Q 5 北九州芸術劇場は次のような方針で運営しています。あなたのご意見をお聞かせください。

(〇は各項目ひとつだけ)

		1 ぜひやって ほしい	2 まあやっ てほしい	3 あまり やる必要 はない	4 まったくや る必要がな い
観る	東京、大阪など舞台芸術の先進都市からエンターテインメント性や芸術性の高い‘旬’の舞台作品を招きます	1	2	3	4
創る	劇場のオリジナル・プロデュースで本格的な舞台作品を創ります	1	2	3	4
育つ	アーティストを劇場の外に派遣するなどの活動を通じて、地域に舞台芸術を愛する人が根づく土壌を作ります	1	2	3	4
支える	市民の文化活動の支援や、地元劇団等の創作活動の支援を行います	1	2	3	4

Q6 今日の公演前に飲食やショッピングをされましたか。また公演後される予定ですか。(○はひとつ)

- 1 はい
2 いいえ
「1 はい」とお答えになった方へ。だいたいいくらぐらい
お使いになりましたか。あるいはお使いになる予定ですか。
飲食とショッピングの別にご記入ください。

飲食	円ぐらい
----	------

ショッピング	円ぐらい
--------	------

Q7 日頃、コンサートや演劇などの公演にどのくらいの頻度でお出かけになっていますか。(○はひとつだけ)

- 1 今日が初めて 2 ほとんど行かない 3 年に1~2回程度 4 年に3~4回程度
5 年に5~9回程度 6 月に1回程度 7 月に2回程度 8 月に3回以上

Q8 では、今までに北九州芸術劇場で何回ぐらい公演をご覧になりましたか。(○はひとつ)

- 1 今日が初めて 2 1~2回 3 3~5回 4 6~10回 5 11回以上

Q9 あなたは当財団のチケットクラブQ会員ですか。(○はひとつ)

- 1 はい 2 いいえ (→今後入会をお考えですか 1 はい 2 いいえ)

Q10 コン서트や演劇などの公演に出かけるのに、何が妨げになっていますか。(○はいくつでも)

- 1 見たい作品が少ない 2 いつ何をやっているか情報がない
3 チケット代金が高い 4 会場が遠い
5 開催時間が合わない 6 まわりに一緒に見に行く人がいない
7 仕事や勉強で忙しい 8 子どもや家族がいて出かけられない
9 その他(具体的に _____) 10 特に妨げは感じない

Q11 お住まいのエリアをお答えください。(○はひとつだけ)

- 1 北九州市 2 北九州市周辺(直方市、田川市、行橋市、中間市、宗像市、福津市、宮若市、遠賀郡等)
3 福岡市 4 福岡市周辺(筑紫野市、春日市、大野城市、太宰府市、古賀市、糸島市、糟屋郡等)
5 上記以外の福岡県内(具体的に _____) 6 福岡県以外の九州(具体的に _____)
7 下関市 8 下関市以外の山口県(具体的に _____)
9 その他(具体的に _____)

Q12 ご性別をお答えください。(○はひとつだけ)

- 1 男性 2 女性

Q13 ご年齢をお答えください。

ご年齢 _____ 歳

Q14 最後に、北九州芸術劇場へのご要望などについて自由にご記入ください。

--

※本日の座席番号 階 列 番

お名前とご連絡先のご記入をお願いします。(招待券の抽選への参加にはご記入が必要です。ご記入頂いた情報は、招待券の抽選・発送と劇場及び演劇関係者からのご案内の目的以外には一切使いません)

■お名前 _____ (フリガナ)

■ご住所 〒 _____

■Tel _____ ■E-mail _____

今後、北九州市芸術文化振興財団が主催する公演のご案内をお送りする場合がありますが、よろしいですか。

- 1 すでに届いている 2 はい(郵送で・E-mailで・両方で) 3 いいえ

ご協力ありがとうございました。劇場スタッフ一同、またのご来場を心よりお待ちしております。

II

貸館利用者 調査結果

序 利用者調査の実施要領

貸館利用者調査の実施要領

(1) 調査の手法

- 調査の対象:2015年度の貸館利用者(大ホール、中劇場、小劇場)
- 配布・回収方法:利用当日に配布、回収(後日ファックス、郵送での回収も受付)
- 配布件数:245件
- 回答数(回収率):170件(69.4%)

(2) 集計・分析にあたっての留意事項

- 貸館利用者調査(「施設利用に関するアンケート調査」)は、2005年度から北九州芸術劇場が独自に開始し、2006年度からは北九州市の方針により、北九州芸術劇場、響ホール、門司市民会館、若松市民会館、八幡市民会館の5館で共通の調査票を用いた調査を実施することとなった。
- 調査票は、2005年度に北九州芸術劇場で実施した調査票に基づき、2006年度から5館共通の調査票を再設計している。そのため、共通の項目が多い一方、統合できない項目もある。
- 2009年度から、満足度項目のうち、運営・応対面に関する項目を若干変更している。また、「Q4:劇場を利用したきっかけ」を新たに設けている。

(3) 調査項目

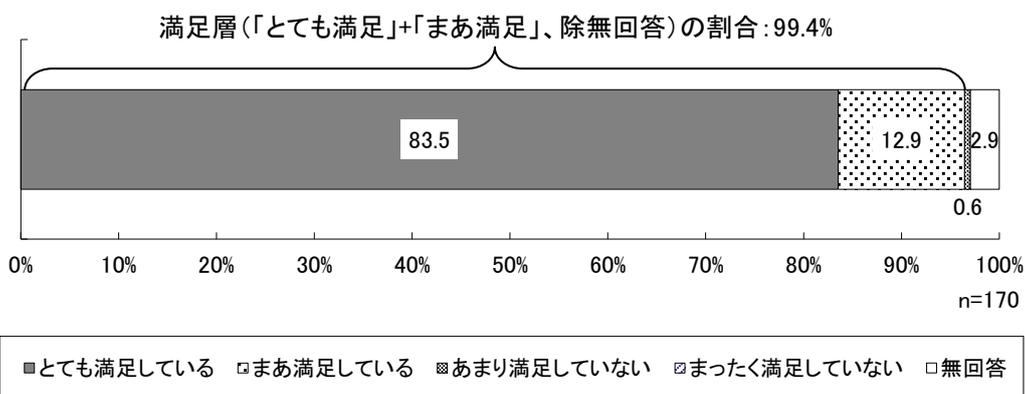
- 劇場の使いごちに対する総合的な満足度
- 劇場の施設に関する意見(「はい」「どちらかといえばはい」「どちらかといえばいいえ」「いいえ」で回答)
- 劇場の運営や応対に関する意見(「はい」「どちらかといえばはい」「どちらかといえばいいえ」「いいえ」で回答)
- 施設を利用する際重視すること
- うち最も重視すること、2番目に重視すること
- 劇場を利用したきっかけ
- その他自由回答

利用者調査結果

(1) 劇場の使いごちに関する総合的な満足度

Q1

・北九州芸術劇場の使いごちに関する総合的な満足度は、「とても満足している」が83.5% (142件)、「まあ満足している」が12.9% (22件)であり、無回答を除いた満足層の割合は99.4% (164件)である。劇場利用者の満足度は大変高い。
 ・経年変化でみると、09年度以降で「とても満足している」回答の割合が最も高い割合となっている。



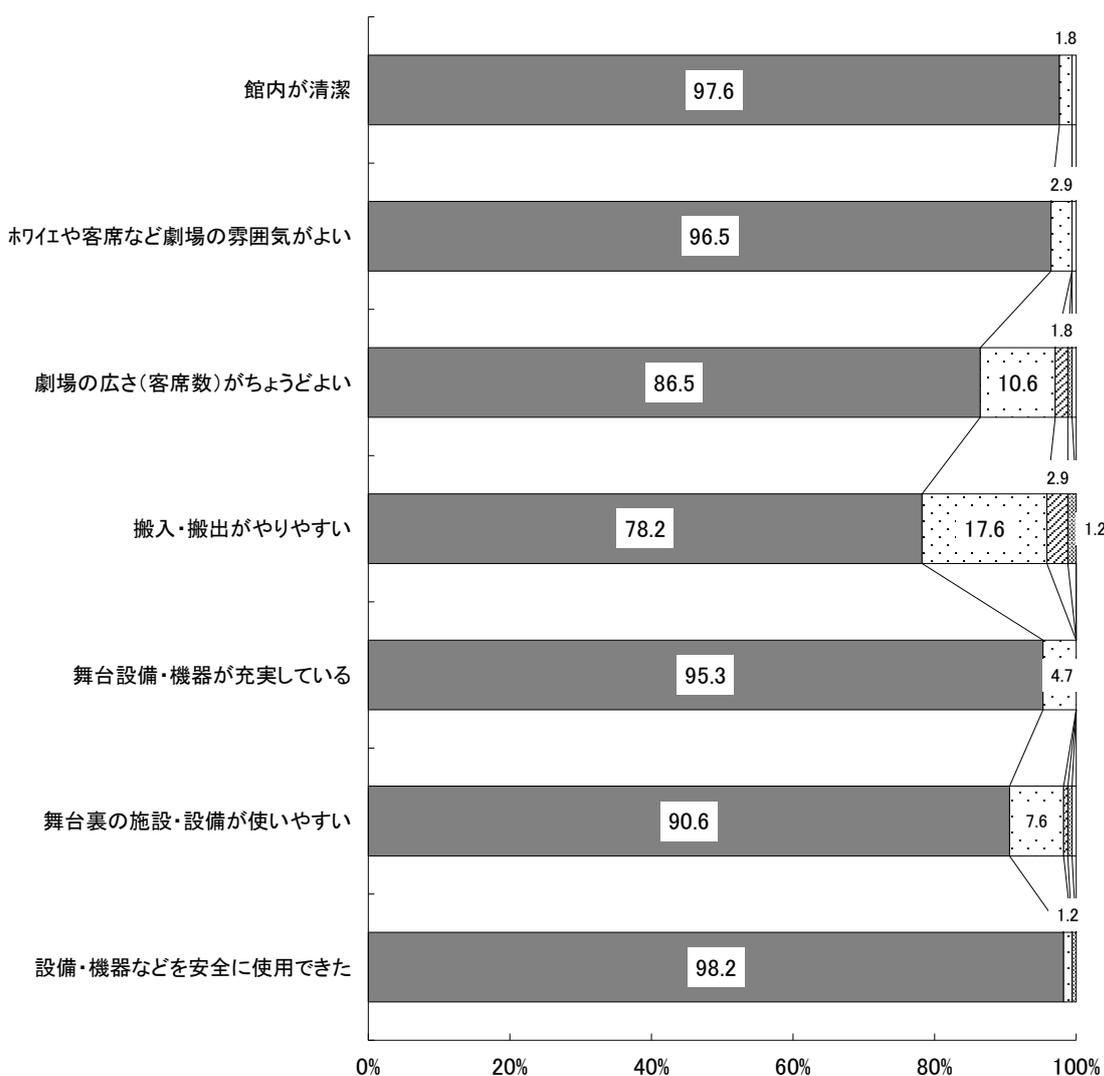
	調査数	Q1 使いごちに関する総合的な意見					満足層
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	無回答	
15年度	170 100.0	142 83.5	22 12.9	1 0.6	0 0.0	5 2.9	164 99.4
14年度	135 100.0	101 74.8	27 20.0	1 0.7	0 0.0	6 4.4	
13年度	152 100.0	115 75.7	33 21.7	1 0.7	0 0.0	3 2.0	
12年度	165 100.0	131 79.4	29 17.6	1 0.6	0 0.0	4 2.4	
11年度	163 100.0	120 73.6	36 22.1	1 0.6	0 0.0	6 3.7	
10年度	145 100.0	102 70.3	39 26.9	0 0.0	1 0.7	3 2.1	
09年度	149 100.0	113 75.8	31 20.8	2 1.3	0 0.0	3 2.0	

※ 回答母数が少ないので、回答件数と%を併記する。
 ※ 表の上段は件数、下段は%である。また、網掛け部分は、最も回答が多い項目である。
 ※ 集計表には、参考として09年度～12年度の各年度の数字を掲載している。

・劇場の施設に関する7項目についての意見をみると、肯定的な評価(「はい」+「どちらかといえば『はい』」)の割合は、「館内が清潔」、「ホワイエや客席など劇場の雰囲気がよい」、「舞台設備・機器が充実している」の3項目で100%となっており、他の4項目は、95%以上となっている。

・「はい」の割合をみると、「館内が清潔」、「ホワイエや客席など劇場の雰囲気がよい」、「舞台設備・機器が充実している」、「舞台裏の施設・設備が使いやすい」、「設備・機器などを安全に使用できた」の5項目は、「はい」の割合が90%以上となっており、施設に関する評価は大変高い。とくに、「設備・機器などを安全に使用できた」での「はい」の割合が98.2%で、09年度以降で最も高い割合となっている。

・開館以来、他の項目に比べると「はい」への回答割合が低い「搬入・搬出がやりやすい」だが、経年変化でみると、昨年度に比べて評価が若干高く(14年度:77.0% → 15年度:78.2%)、09年度以降で最も高い割合となっている。

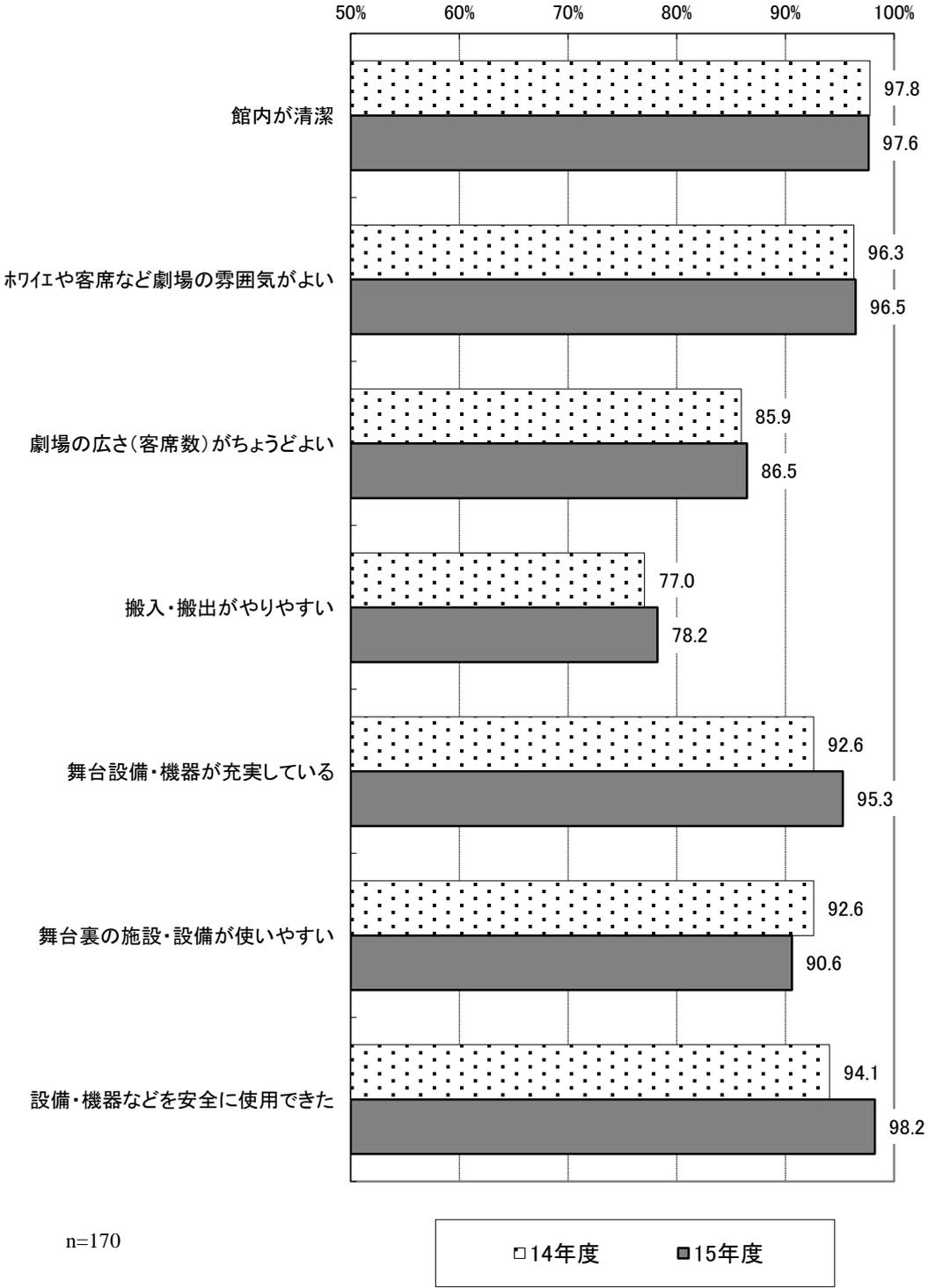


n=170

※グラフの見やすさを優先するため、1.0%未満の数値は省略している。

■「はい」 □「どちらかといえば『はい』」 ▨「どちらかといえば『いいえ』」 ▩「『いいえ』」 □「無回答」

【「はい」の割合比較 14年度・15年度】



【館内が清潔】

	調査数	Q2-施設① 館内が清潔				
		「はい」	どちらかといえは「はい」	どちらかといえは「いいえ」	「いいえ」	無回答
15年度	170 100.0	166 97.6	3 1.8	0 0.0	0 0.0	1 0.6
14年度	135 100.0	132 97.8	3 2.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
13年度	152 100.0	148 97.4	4 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
12年度	165 100.0	161 97.6	4 2.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
11年度	163 100.0	159 97.5	4 2.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
10年度	145 100.0	142 97.9	3 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
09年度	149 100.0	143 96.0	6 4.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

満足層
169 100.0

※ 満足層は、「はい」+「どちらかといえは『はい』」の割合。無回答を除く。

【ホワイエや客席など劇場の雰囲気が良い】

	調査数	Q2-施設② ホワイエや客席など劇場の雰囲気がよい				
		「はい」	どちらかといえは「はい」	どちらかといえは「いいえ」	「いいえ」	無回答
15年度	170 100.0	164 96.5	5 2.9	0 0.0	0 0.0	1 0.6
14年度	135 100.0	130 96.3	4 3.0	1 0.7	0 0.0	0 0.0
13年度	152 100.0	142 93.4	9 5.9	1 0.7	0 0.0	0 0.0
12年度	165 100.0	160 97.0	5 3.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
11年度	163 100.0	152 93.3	11 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
10年度	145 100.0	140 96.6	5 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
09年度	149 100.0	141 94.6	7 4.7	1 0.7	0 0.0	0 0.0

満足層
169 100.0

【劇場の広さ(客席数)がちょうどよい】

	調査数	Q2-施設③ 劇場の広さ(客席数)がちょうどよい				
		「はい」	どちらかといえは「はい」	どちらかといえは「いいえ」	「いいえ」	無回答
15年度	170 100.0	147 86.5	18 10.6	3 1.8	1 0.6	1 0.6
14年度	135 100.0	116 85.9	13 9.6	1 0.7	4 3.0	1 0.7
13年度	152 100.0	132 86.8	14 9.2	5 3.3	1 0.7	0 0.0
12年度	165 100.0	144 87.3	17 10.3	2 1.2	1 0.6	1 0.6
11年度	163 100.0	128 78.5	26 16.0	6 3.7	3 1.8	0 0.0
10年度	145 100.0	119 82.1	18 12.4	3 2.1	4 2.8	1 0.7
09年度	149 100.0	131 87.9	16 10.7	1 0.7	1 0.7	0 0.0

満足層
165 97.6

【搬入・搬出がやりやすい】

	調査数	Q2-施設④ 搬入・搬出がやりやすい				
		「はい」	どちらかといえは「はい」	どちらかといえは「いいえ」	「いいえ」	無回答
15年度	170 100.0	133 78.2	30 17.6	5 2.9	2 1.2	0 0.0
14年度	135 100.0	104 77.0	20 14.8	7 5.2	1 0.7	3 2.2
13年度	152 100.0	110 72.4	37 24.3	4 2.6	0 0.0	1 0.7
12年度	165 100.0	126 76.4	29 17.6	6 3.6	1 0.6	3 1.8
11年度	163 100.0	126 77.3	24 14.7	8 4.9	2 1.2	3 1.8
10年度	145 100.0	100 69.0	32 22.1	9 6.2	2 1.4	2 1.4
09年度	149 100.0	111 74.5	23 15.4	9 6.0	3 2.0	3 2.0

満足層
163 95.9

【舞台設備・機器が充実している】

	調査数	Q2-施設⑤ 舞台設備・機器が充実している				
		「はい」	どちらかといえは「はい」	どちらかといえは「いいえ」	「いいえ」	無回答
15年度	170 100.0	162 95.3	8 4.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
14年度	135 100.0	125 92.6	6 4.4	2 1.5	0 0.0	2 1.5
13年度	152 100.0	140 92.1	11 7.2	0 0.0	0 0.0	1 0.7
12年度	165 100.0	150 90.9	13 7.9	0 0.0	0 0.0	2 1.2
11年度	163 100.0	151 92.6	11 6.7	0 0.0	0 0.0	1 0.6
10年度	145 100.0	128 88.3	15 10.3	0 0.0	0 0.0	2 1.4
09年度	149 100.0	144 96.6	3 2.0	1 0.7	0 0.0	1 0.7

満足層
170 100.0

【舞台裏の施設・設備が使いやすい】

	調査数	Q2-施設⑥ 舞台裏の施設・設備が使いやすい				
		「はい」	どちらかといえは「はい」	どちらかといえは「いいえ」	「いいえ」	無回答
15年度	170 100.0	154 90.6	13 7.6	1 0.6	1 0.6	1 0.6
14年度	135 100.0	125 92.6	7 5.2	2 1.5	1 0.7	0 0.0
13年度	152 100.0	133 87.5	16 10.5	2 1.3	0 0.0	1 0.7
12年度	165 100.0	144 87.3	15 9.1	5 3.0	0 0.0	1 0.6
11年度	163 100.0	135 82.8	21 12.9	4 2.5	1 0.6	2 1.2
10年度	145 100.0	119 82.1	22 15.2	0 0.0	2 1.4	2 1.4
09年度	149 100.0	121 81.2	22 14.8	4 2.7	0 0.0	2 1.3

満足層
167 98.8

【設備・機器などを安全に使用できた】

	調査数	Q2-施設⑦ 設備・機器などを安全に使用できた				
		「はい」	どちらかといえは「はい」	どちらかといえは「いいえ」	「いいえ」	無回答
15年度	170 100.0	167 98.2	2 1.2	0 0.0	1 0.6	0 0.0
14年度	135 100.0	127 94.1	7 5.2	0 0.0	0 0.0	1 0.7
13年度	152 100.0	142 93.4	8 5.3	0 0.0	0 0.0	2 1.3
12年度	165 100.0	156 94.5	6 3.6	0 0.0	0 0.0	3 1.8
11年度	163 100.0	153 93.9	8 4.9	1 0.6	0 0.0	1 0.6
10年度	145 100	134 92.4	9 6.2	0 0.0	0 0.0	2 1.4
09年度	149 100.0	142 95.3	7 4.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0

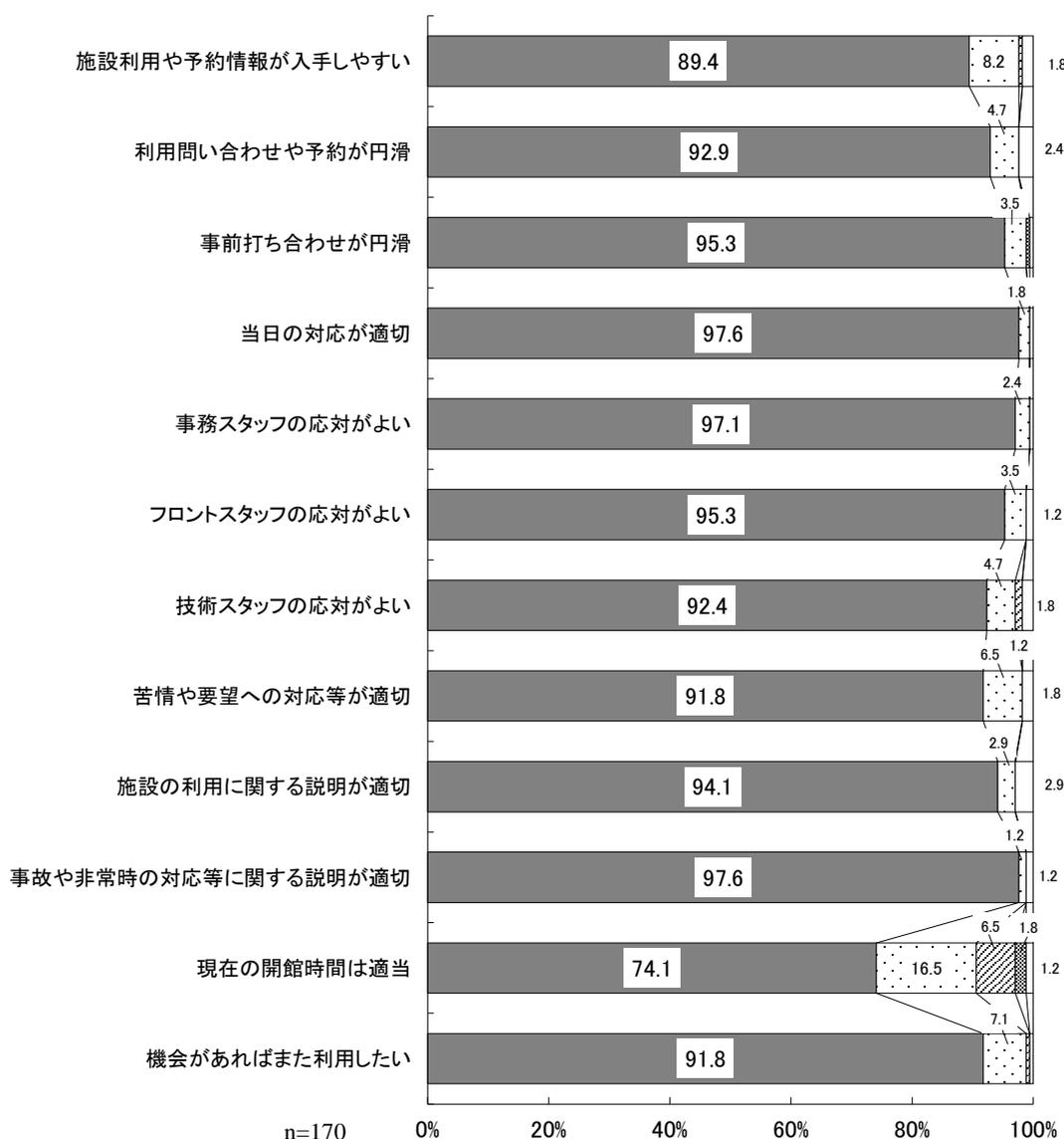
満足層
169 99.4

・劇場の運営や対応に関する12項目についての意見をみると、肯定的な評価(「はい」+「どちらかといえば『はい』」)の割合は、「現在の開館時間は適当」以外の11項目で95%以上となっている。

・また、「施設利用や予約情報が入手しやすい」、「現在の開館時間は適当」以外については、「はい」への回答割合が90%以上と高い評価となっている。特に、当日の対応や事務スタッフ・フロントスタッフの対応に関する項目に「はい」の回答が多い。「現在の開館時間は適当」については、他の項目に比べると、「どちらかといえば『いいえ』」(6.5%・11件)、「いいえ」(1.8%・3件)の回答が多くなっている。

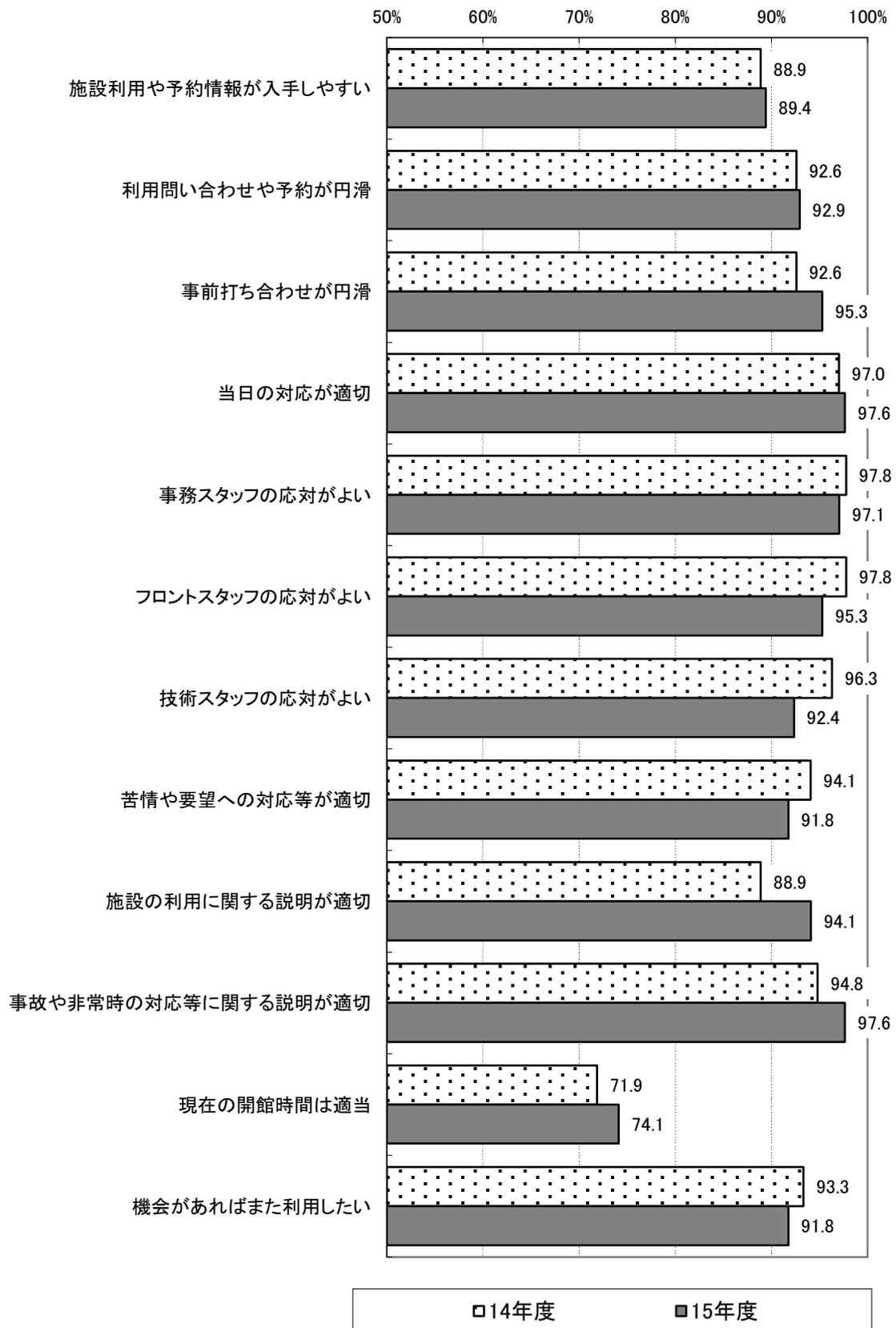
・15年度は、「施設利用や予約情報が入手しやすい」、「利用問い合わせや予約が円滑」、「事前打ち合わせが円滑」、「当日の対応が適切」、「施設の利用に関する説明が適切」、「事故や非常時の対応等に関する説明が適切」、「現在の開館時間は適当」の7項目で14年度に比べて「はい」への回答率が向上した。

・今後の利用への意向は、「機会があればまた利用したい」に対して「はい」と回答した割合が91.8%(156件)となっている。



■「はい」 □「どちらかといえば『はい』」 ▨「どちらかといえば『いいえ』」 ▩「いいえ」 □無回答

【「はい」の割合比較 14年度・15年度】



【施設利用や予約情報が入手しやすい】

	調査数	Q2-運営・対応① 施設利用や予約情報が入手しやすい				
		「はい」	どちらかといえは「はい」	どちらかといえは「いいえ」	「いいえ」	無回答
15年度	170 100.0	152 89.4	14 8.2	1 0.6	0 0.0	3 1.8
14年度	135 100.0	120 88.9	9 6.7	0 0.0	0 0.0	6 4.4
13年度	152 100.0	138 90.8	12 7.9	0 0.0	0 0.0	2 1.3
12年度	165 100.0	146 88.5	15 9.1	1 0.6	0 0.0	3 1.8
11年度	163 100.0	132 81.0	23 14.1	3 1.8	0 0.0	5 3.1
10年度	145 100.0	112 77.2	26 17.9	0 0.0	1 0.7	6 4.1
09年度	149 100.0	131 87.9	17 11.4	1 0.7	0 0.0	0 0.0

満足層
166 99.4

【利用問い合わせや予約が円滑】

	調査数	Q2-運営・対応② 利用問い合わせや予約が円滑				
		「はい」	どちらかといえは「はい」	どちらかといえは「いいえ」	「いいえ」	無回答
15年度	170 100.0	158 92.9	8 4.7	0 0.0	0 0.0	4 2.4
14年度	135 100.0	125 92.6	5 3.7	0 0.0	0 0.0	5 3.7
13年度	152 100.0	138 90.8	11 7.2	0 0.0	0 0.0	3 2.0
12年度	165 100.0	155 93.9	4 2.4	1 0.6	0 0.0	5 3.0
11年度	163 100.0	140 85.9	13 8.0	4 2.5	0 0.0	6 3.7
10年度	145 100.0	122 84.1	13 9.0	1 0.7	2 1.4	7 4.8
09年度	149 100.0	136 91.3	10 6.7	1 0.7	0 0.0	2 1.3

満足層
166 100.0

【事前打ち合わせが円滑】

	調査数	Q2-運営・対応③ 事前打ち合わせが円滑				
		「はい」	どちらかといえは「はい」	どちらかといえは「いいえ」	「いいえ」	無回答
15年度	170 100.0	162 95.3	6 3.5	0 0.0	1 0.6	1 0.6
14年度	135 100.0	125 92.6	2 1.5	3 2.2	0 0.0	5 3.7
13年度	152 100.0	137 90.1	8 5.3	3 2.0	1 0.7	3 2.0
12年度	165 100.0	150 90.9	9 5.5	1 0.6	1 0.6	4 2.4
11年度	163 100.0	145 89.0	11 6.7	2 1.2	1 0.6	4 2.5
10年度	145 100.0	120 82.8	18 12.4	2 1.4	3 2.1	2 1.4
09年度	149 100.0	129 86.6	13 8.7	5 3.4	0 0.0	2 1.3

満足層
168 99.4

【当日の対応が適切】

	調査数	Q2-運営・対応④ 当日の対応が適切				
		「はい」	どちらかといえは「はい」	どちらかといえは「いいえ」	「いいえ」	無回答
15年度	170 100.0	166 97.6	3 1.8	0 0.0	0 0.0	1 0.6
14年度	135 100.0	131 97.0	4 3.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
13年度	152 100.0	144 94.7	5 3.3	1 0.7	0 0.0	2 1.3
12年度	165 100.0	156 94.5	6 3.6	0 0.0	1 0.6	2 1.2
11年度	163 100.0	149 91.4	9 5.5	2 1.2	0 0.0	3 1.8
10年度	145 100.0	135 93.1	7 4.8	0 0.0	2 1.4	1 0.7
09年度	149 100.0	138 92.6	10 6.7	0 0.0	0 0.0	1 0.7

満足層
169 100.0

【事務スタッフの対応がよい】

	調査数	Q2-運営・対応⑤ 事務スタッフの対応がよい				
		「はい」	どちらかといえは「はい」	どちらかといえは「いいえ」	「いいえ」	無回答
15年度	170 100.0	165 97.1	4 2.4	0 0.0	0 0.0	1 0.6
14年度	135 100.0	132 97.8	3 2.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
13年度	152 100.0	144 94.7	6 3.9	0 0.0	0 0.0	2 1.3
12年度	165 100.0	156 94.5	7 4.2	0 0.0	0 0.0	2 1.2
11年度	163 100.0	153 93.9	7 4.3	1 0.6	0 0.0	2 1.2
10年度	145 100.0	137 94.5	6 4.1	0 0.0	2 1.4	0 0.0
09年度	149 100.0	143 96.0	5 3.4	1 0.7	0 0.0	0 0.0

満足層
169 100.0

【フロントスタッフの対応がよい】

	調査数	Q2-運営・対応⑥ フロントスタッフの対応がよい				
		「はい」	どちらかといえは「はい」	どちらかといえは「いいえ」	「いいえ」	無回答
15年度	170 100.0	162 95.3	6 3.5	0 0.0	0 0.0	2 1.2
14年度	135 100.0	132 97.8	2 1.5	1 0.7	0 0.0	0 0.0
13年度	152 100.0	146 96.1	5 3.3	0 0.0	0 0.0	1 0.7
12年度	165 100.0	156 94.5	6 3.6	0 0.0	0 0.0	3 1.8
11年度	163 100.0	147 90.2	11 6.7	0 0.0	0 0.0	5 3.1
10年度	145 100.0	132 91.0	11 7.6	0 0.0	2 1.4	0 0.0
09年度	149 100.0	136 91.3	8 5.4	2 1.3	0 0.0	3 2.0

満足層
168 100.0

【技術スタッフの対応がよい】

	調査数	Q2-運営・対応⑦ 技術スタッフの対応がよい				
		「はい」	どちらかといえは「はい」	どちらかといえは「いいえ」	「いいえ」	無回答
15年度	170 100.0	157 92.4	8 4.7	2 1.2	0 0.0	3 1.8
14年度	135 100.0	130 96.3	3 2.2	0 0.0	0 0.0	2 1.5
13年度	152 100.0	144 94.7	6 3.9	0 0.0	1 0.7	1 0.7
12年度	165 100.0	153 92.7	8 4.8	0 0.0	1 0.6	3 1.8
11年度	163 100.0	145 89.0	13 8.0	1 0.6	0 0.0	4 2.5
10年度	145 100.0	127 87.6	10 6.9	1 0.7	2 1.4	5 3.4
09年度	149 100.0	137 91.9	11 7.4	0 0.0	0 0.0	1 0.7

満足層
165 98.8

【苦情や要望への対応等が適切】

	調査数	Q2-運営・対応⑧ 苦情や要望への対応等が適切				
		「はい」	どちらかといえは「はい」	どちらかといえは「いいえ」	「いいえ」	無回答
15年度	170 100.0	156 91.8	11 6.5	0 0.0	0 0.0	3 1.8
14年度	135 100.0	127 94.1	3 2.2	1 0.7	0 0.0	4 3.0
13年度	152 100.0	140 92.1	8 5.3	1 0.7	0 0.0	3 2.0
12年度	165 100.0	155 93.9	5 3.0	1 0.6	0 0.0	4 2.4
11年度	163 100.0	143 87.7	13 8.0	1 0.6	0 0.0	6 3.7
10年度	145 100.0	128 88.3	13 9.0	0 0.0	2 1.4	2 1.4
09年度	149 100.0	131 87.9	14 9.4	1 0.7	0 0.0	3 2.0

満足層
167 100.0

【施設の利用に関する説明が適切】

	調査数	Q2-運営・対応⑨ 施設の利用に関する説明が適切				
		「はい」	どちらかといえは「はい」	どちらかといえは「いいえ」	「いいえ」	無回答
15年度	170 100.0	160 94.1	5 2.9	0 0.0	0 0.0	5 2.9
14年度	135 100.0	120 88.9	6 4.4	1 0.7	1 0.7	7 5.2
13年度	152 100.0	139 91.4	9 5.9	0 0.0	0 0.0	4 2.6
12年度	165 100.0	152 92.1	7 4.2	0 0.0	0 0.0	6 3.6
11年度	163 100.0	144 88.3	10 6.1	2 1.2	0 0.0	7 4.3
10年度	145 100.0	120 82.8	16 11.0	4 2.8	0 0.0	5 3.4
09年度	149 100.0	128 85.9	17 11.4	2 1.3	0 0.0	2 1.3

満足層
165 100.0

【事故や非常時の対応等に対する説明が適切】

	調査数	Q2-運営・対応⑩ 事故や非常時の対応等に対する説明が適切				
		「はい」	どちらかといえは「はい」	どちらかといえは「いいえ」	「いいえ」	無回答
15年度	170	166	2	0	0	2
	100.0	97.6	1.2	0.0	0.0	1.2
14年度	135	128	5	0	0	2
	100.0	94.8	3.7	0.0	0.0	1.5
13年度	152	141	9	0	0	2
	100.0	92.8	5.9	0.0	0.0	1.3
12年度	165	154	6	1	0	4
	100.0	93.3	3.6	0.6	0.0	2.4
11年度	163	143	13	4	0	3
	100.0	87.7	8.0	2.5	0.0	1.8
10年度	145	124	16	1	0	4
	100.0	85.5	11.0	0.7	0.0	2.8
09年度	149	137	11	0	0	1
	100.0	91.9	7.4	0.0	0.0	0.7

満足層
168
100.0

【現在の開館時間は適当】

	調査数	Q2-運営・対応⑪ 現在の開館時間は適当				
		「はい」	どちらかといえは「はい」	どちらかといえは「いいえ」	「いいえ」	無回答
15年度	170	126	28	11	3	2
	100.0	74.1	16.5	6.5	1.8	1.2
14年度	135	97	24	8	5	1
	100.0	71.9	17.8	5.9	3.7	0.7
13年度	152	98	34	13	5	2
	100.0	64.5	22.4	8.6	3.3	1.3
12年度	165	115	29	9	5	7
	100.0	69.7	17.6	5.5	3.0	4.2
11年度	163	101	32	21	6	3
	100.0	62.0	19.6	12.9	3.7	1.8
10年度	145	86	28	21	7	3
	100.0	59.3	19.3	14.5	4.8	2.1
09年度	149	86	37	16	7	3
	100.0	57.7	24.8	10.7	4.7	2.0

満足層
154
91.7

【機会があればまた利用したい】

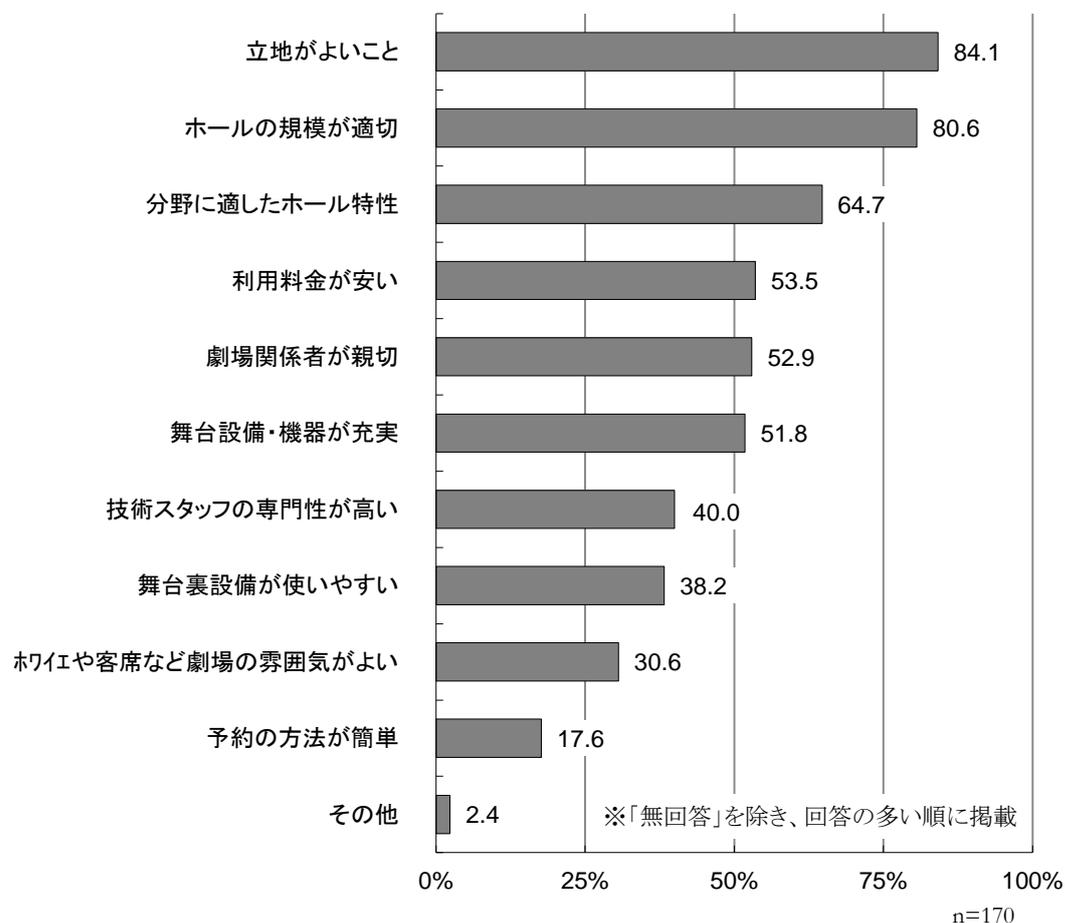
	調査数	Q2 機会があればまた利用したい				
		「はい」	どちらかといえは「はい」	どちらかといえは「いいえ」	「いいえ」	無回答
15年度	170	156	12	1	0	1
	100.0	91.8	7.1	0.6	0.0	0.6
14年度	135	126	7	1	0	1
	100.0	93.3	5.2	0.7	0.0	0.7
13年度	152	140	11	0	0	1
	100.0	92.1	7.2	0.0	0.0	0.7
12年度	165	155	6	2	0	2
	100.0	93.9	3.6	1.2	0.0	1.2
11年度	163	148	10	2	0	3
	100.0	90.8	6.1	1.2	0.0	1.8
10年度	145	120	17	1	2	5
	100	82.8	11.7	0.7	1.4	3.4
09年度	149	137	11	1	0	0
	100.0	91.9	7.4	0.7	0.0	0.0

満足層
168
99.4

(4) 施設を利用する際、重視すること

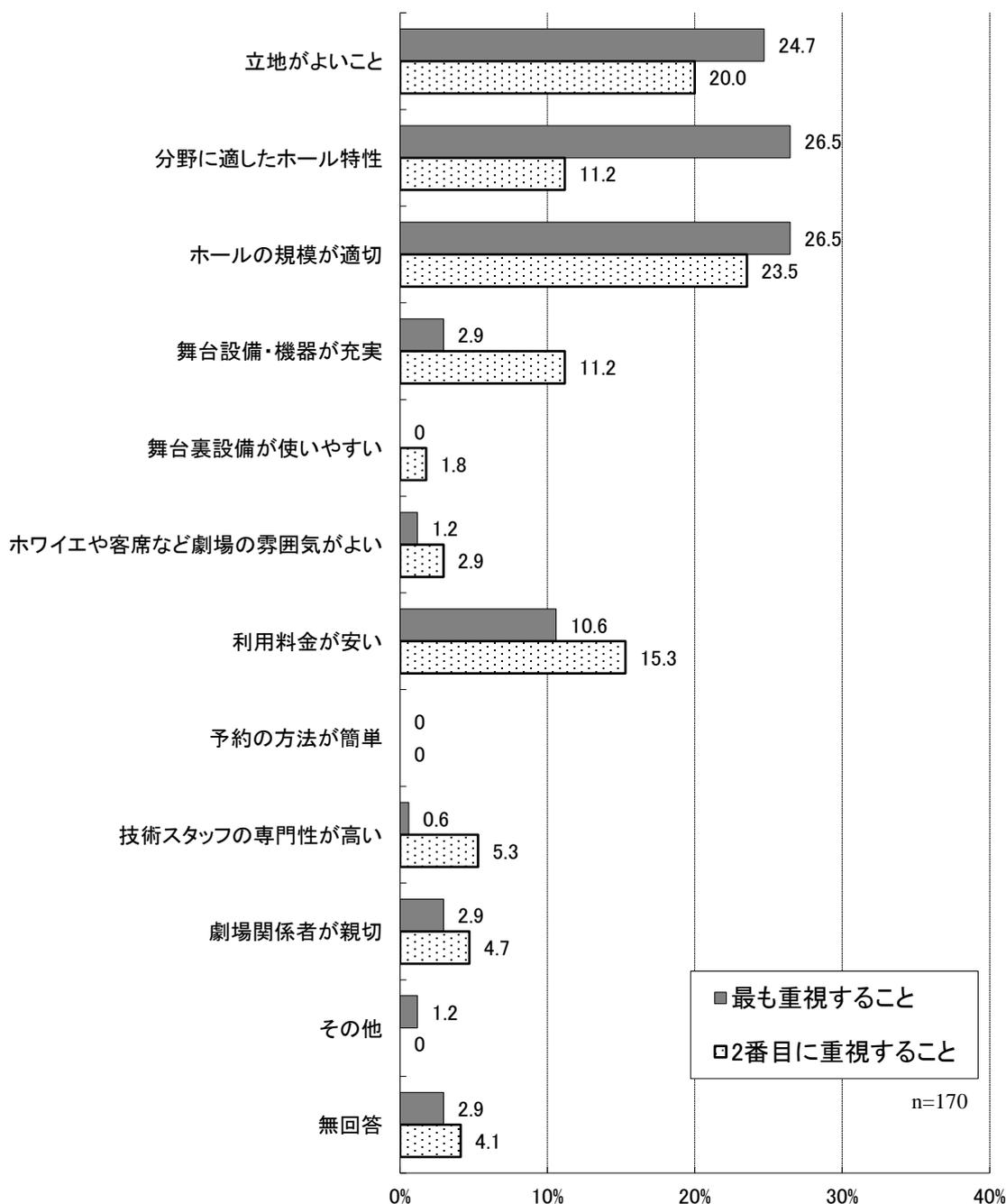
Q3

・施設を利用する際重視することとして最も回答が多いのは、「立地がよいこと」(84.1%・143件)、次いで「ホールの規模が適切」(80.6%・137件)となっている。
 ・次いで、「分野に適したホール特性」が60%台、「利用料金が安い」と「劇場関係者が親切」と「舞台設備・機器が充実」が50%台となっており、施設面だけでなく、人や運営面を重視する声も挙がっている。



	調査数	Q3 施設利用の際、重視すること											無回答
		立地がよいこと	分野に適したホール特性	ホールの規模が適切	舞台設備・機器が充実	舞台裏設備が使いやすい	劇場の雰囲気がよい	利用料金が安い	予約の方法が簡単	技術スタッフの専門性が高い	劇場関係者が親切	その他	
15年度	170	143 84.1	110 64.7	137 80.6	88 51.8	65 38.2	52 30.6	91 53.5	30 17.6	68 40.0	90 52.9	4 2.4	4 2.4
14年度	135	115 85.2	81 60.0	105 77.8	76 56.3	53 39.3	52 38.5	74 54.8	30 22.2	56 41.5	85 63.0	2 1.5	2 1.5
13年度	152	132 86.8	83 54.6	117 77.0	76 50.0	64 42.1	47 30.9	85 55.9	31 20.4	60 39.5	88 57.9	8 5.3	1 0.7
12年度	165	140 84.8	115 69.7	138 83.6	99 60.0	74 44.8	70 42.4	87 52.7	27 16.4	64 38.8	98 59.4	6 3.6	1 0.6
11年度	163	139 85.3	95 58.3	130 79.8	91 55.8	68 41.7	73 44.8	79 48.5	28 17.2	55 33.7	85 52.1	6 3.7	2 1.2
10年度	145	120 82.8	71 49.0	110 75.9	76 52.4	48 33.1	42 29.0	78 53.8	26 17.9	52 35.9	68 46.9	2 1.4	3 2.1
09年度	149	129 86.6	89 59.7	127 85.2	89 59.7	51 34.2	54 36.2	84 56.4	32 21.5	60 40.3	87 58.4	0 0.0	1 0.7

・施設を利用する際に最も重視することは「ホールの規模が適切」と「分野に適したホール特性」が同数(26.5%・45件)で最も多く、次いで「立地が良いこと」(24.7%・42件)、「利用料金が安い」(10.6%・18件)と続いており、その他の項目は10%未満である。
 ・2番目に重視することは、「ホールの規模が適切」(23.5%・40件)が最も多く、次いで「立地が良いこと」(20.0%・34件)、「利用料金が安い」(15.3%・26件)となっている。「利用料金が安い」は、最も重視する割合よりも2番目に重視する割合が高い。



※ Q3・SQ1は回答が一つ(シングル・アンサー)のため、本来であれば帯グラフでの表示が適当であるが、選択肢の数が多いため、見やすさから棒グラフを用いた。

【最も重視すること】

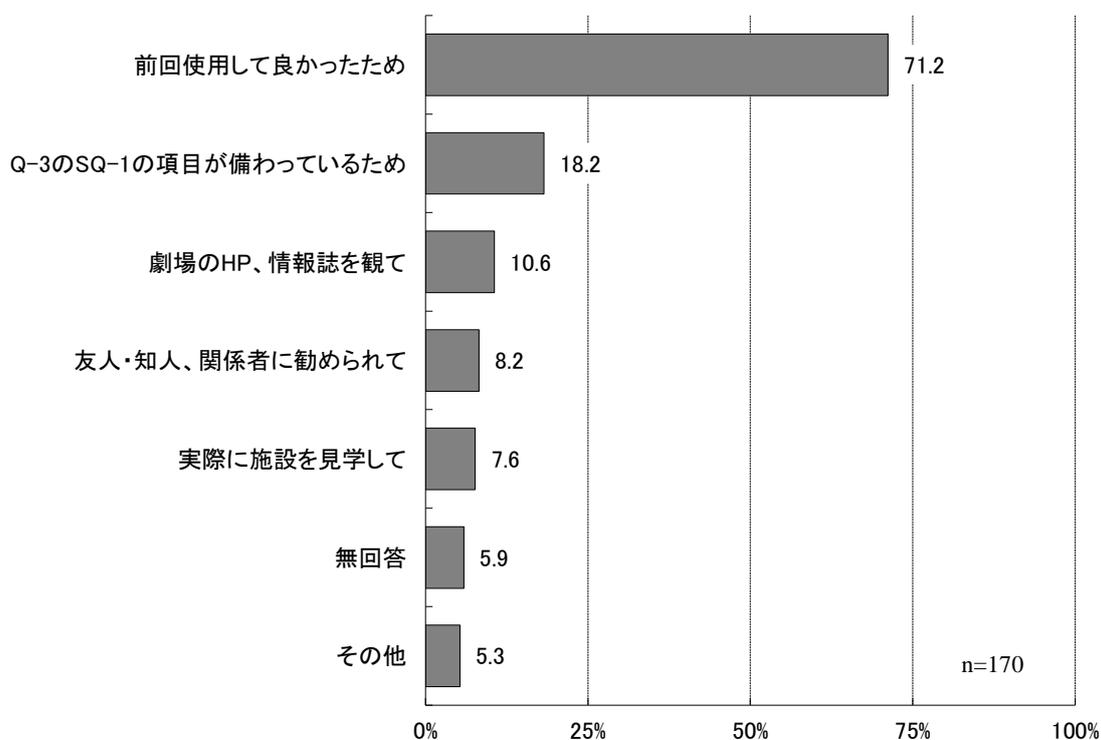
	調査数	Q3 SQ1-① 最も重視すること											
		立地がよいこと	分野に適したホール特性	ホールの規模が適切	舞台設備・機器が充実	楽屋等舞台裏設備が使いやすい	劇場の雰囲気がよい	利用料金が安い	予約の方法が簡単	技術スタッフの専門性が高い	劇場関係者が親切	その他	無回答
15年度	170 100.0	42 24.7	45 26.5	45 26.5	5 2.9	0 0.0	2 1.2	18 10.6	0 0.0	1 0.6	5 2.9	2 1.2	5 2.9
14年度	135 100.0	43 31.9	35 25.9	31 23.0	6 4.4	0 0.0	2 1.5	9 6.7	0 0.0	1 0.7	6 4.4	0 0.0	2 1.5
13年度	152 100.0	45 29.6	40 26.3	41 27.0	2 1.3	1 0.7	1 0.7	10 6.6	0 0.0	1 0.7	5 3.3	4 2.6	2 1.3
12年度	165 100.0	49 29.7	48 29.1	42 25.5	6 3.6	0 0.0	1 0.6	8 4.8	0 0.0	3 1.8	6 3.6	0 0.0	2 1.2
11年度	163 100.0	46 28.2	37 22.7	44 27.0	8 4.9	1 0.6	1 0.6	12 7.4	0 0.0	2 1.2	7 4.3	2 1.2	3 1.8
10年度	145 100.0	46 31.7	30 20.7	42 29.0	7 4.8	1 0.7	1 0.7	10 6.9	0 0.0	0 0.0	4 2.8	1 0.7	3 2.1
09年度	149 100.0	38 25.5	34 22.8	51 34.2	4 2.7	0 0.0	2 1.3	11 7.4	0 0.0	2 1.3	5 3.4	1 0.7	1 0.7

【2番目に重視すること】

	調査数	Q3 SQ1-② 2番目に重視すること											
		立地がよいこと	分野に適したホール特性	ホールの規模が適切	舞台設備・機器が充実	楽屋等舞台裏設備が使いやすい	劇場の雰囲気がよい	利用料金が安い	予約の方法が簡単	技術スタッフの専門性が高い	劇場関係者が親切	その他	無回答
15年度	170 100.0	34 20.0	19 11.2	40 23.5	19 11.2	3 1.8	5 2.9	26 15.3	0 0.0	9 5.3	8 4.7	0 0.0	7 4.1
14年度	135 100.0	23 17.0	19 14.1	35 25.9	9 6.7	6 4.4	3 2.2	21 15.6	0 0.0	7 5.2	7 5.2	0 0.0	5 3.7
13年度	152 100.0	29 19.1	17 11.2	34 22.4	16 10.5	2 1.3	5 3.3	30 19.7	1 0.7	5 3.3	8 5.3	2 1.3	3 2.0
12年度	165 100.0	31 18.8	16 9.7	39 23.6	16 9.7	9 5.5	9 5.5	24 14.5	0 0.0	7 4.2	10 6.1	0 0.0	4 2.4
11年度	163 100.0	39 23.9	16 9.8	33 20.2	17 10.4	6 3.7	8 4.9	30 18.4	0 0.0	4 2.5	6 3.7	0 0.0	4 2.5
10年度	145 100.0	31 21.4	13 9.0	28 19.3	12 8.3	5 3.4	5 3.4	23 15.9	1 0.7	5 3.4	14 9.7	1 0.7	7 4.8
09年度	149 100.0	44 29.5	17 11.4	33 22.1	21 14.1	2 1.3	4 2.7	13 8.7	2 1.3	6 4.0	6 4.0	0 0.0	1 0.7

・劇場を利用したきっかけは、「前回使用して良かったため」への回答が最も多く、71.2%(121件)を占めている。劇場への満足度が高いこと、そのため、リピーターの利用が多いことがうかがえる。

・次いで、「Q-3のSQ-1の項目が備わっているため」(18.2%・31件)となっており、「立地がよいこと」や「ホールの規模が適切」といった上位項目が劇場利用のきっかけになっていると考えられる。



	調査数	Q4 劇場を利用したきっかけ						
		劇場のHP、情報誌を観て	友人・知人、関係者に勧められて	実際に施設を見学して	前回使用して良かったため	Q-3のSQ-1の項目	その他	無回答
15年度	170	18	14	13	121	31	9	10
	100.0	10.6	8.2	7.6	71.2	18.2	5.3	5.9
14年度	135	10	13	10	99	32	10	5
	100.0	7.4	9.6	7.4	73.3	23.7	7.4	3.7
13年度	152	16	22	17	109	35	15	2
	100.0	10.5	14.5	11.2	71.7	23.0	9.9	1.3
12年度	165	24	14	24	116	43	6	4
	100.0	14.5	8.5	14.5	70.3	26.1	3.6	2.4
11年度	163	21	20	20	100	37	10	9
	100.0	12.9	12.3	12.3	61.3	22.7	6.1	5.5
10年度	145	23	17	18	85	28	8	9
	100.0	15.9	11.7	12.4	58.6	19.3	5.5	6.2
09年度	149	18	24	23	85	45	10	2
	100.0	12.1	16.1	15.4	57.0	30.2	6.7	1.3

参考 | 利用者調査 調査票

施設利用に関するアンケート調査（ホール用）

このたびは、北九州芸術劇場をご利用いただきありがとうございます。皆様の声を今後の運営に活かしていきたいと思っておりますので、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。なお、本アンケートへの個別のご回答内容が公表されることはありませんので、忌憚ないご意見をお聞かせください。

ご回答は後日ファックスでも受け付けております。

（北九州芸術劇場） TEL093-562-2655/ FAX 093-562-2588

Q-1 今回ご利用されて、北九州芸術劇場の使いごちに関する総合的なご意見はいかがですか。

（〇は1つ）

1. とても満足している 2. まあ満足している 3. あまり満足していない 4. まったく満足していない

（「まったく満足していない」とご回答された方へ） 具体的なお意見をお聞かせください

Q-2 本日もご利用されての北九州芸術劇場に関するご意見をお聞かせください。それぞれの項目について、「はい」、「どちらかといえば、はい」、「どちらかといえば、いいえ」、「いいえ」の4つの回答から、あなたのお考えに一番近いものに〇をつけてください。（〇は各項目1つずつ）

（施設について）

項目	はい	どちらかとい えば、 <u>はい</u>	どちらかとい えば、 <u>いいえ</u>	いいえ	「いいえ」とご回答された方は、 その理由をご記入ください
1 館内は清潔に保たれていま したか。	1	2	3	4	
2 ホワイエや客席など雰囲気 がよかったですか。	1	2	3	4	
3 広さ（客席数等）はちょうどよ かったですか。	1	2	3	4	
4 搬入・搬出がやりやすかつ たですか。	1	2	3	4	

項目	はい	どちらかとい えば、 <u>はい</u>	どちらかとい えば、 <u>いいえ</u>	いいえ	「いいえ」とご回答された方は、 その理由をご記入ください
5 舞台設備・機器は充実して いましたか。	1	2	3	4	
6 楽屋、休憩室など舞台裏の 施設・設備が使いやすかつ たですか。	1	2	3	4	
7 設備・機器を使用する際、 安全に使用できましたか。	1	2	3	4	

(運営・対応について)

項目	はい	どちらかとい えば、 <u>はい</u>	どちらかとい えば、 <u>いいえ</u>	いいえ	「いいえ」とご回答された方は、 その理由をご記入ください
1 施設利用や予約に関する情報 は入手しやすかったですか。	1	2	3	4	
2 利用問い合わせや予約・受 付は円滑でしたか。	1	2	3	4	
3 事前打合わせは円滑でし たか。	1	2	3	4	
4 当日の対応は適切でした か。	1	2	3	4	
5 事務スタッフの対応はよか ったですか。	1	2	3	4	
6 フロントスタッフの対応は よかったですか。	1	2	3	4	
7 技術スタッフの対応はよか ったですか（技術的な助言 や援助は適切でしたか）。	1	2	3	4	
8 苦情や要望への対応は適切 でしたか。	1	2	3	4	
9 設備、料金、使用時間等施 設の利用に関する説明は適 切でしたか。	1	2	3	4	
10 事故防止や非常時の対応等 に関する説明は適切でした か。	1	2	3	4	
11 現在の開館時間（午前10 時～午後10時）は適当で あると思いますか。	1	2	3	4	
12 次回利用する機会があれ ば、また利用したいと思いますか。	1	2	3	4	

Q-3 施設を利用する際、重視することは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 立地がよいこと
2. 公演分野に適したホール特性(残響、舞台の広さ等)をもっていること
3. ホールの規模(客席数)が適切であること
4. 舞台設備・機器が充実していること
5. 楽屋など舞台裏の設備が使いやすいこと
6. ホワイエや客席などの雰囲気が良いこと
7. 利用料金が安いこと
8. 予約の方法が簡単なこと
9. 技術スタッフの専門性が高いこと
10. スタッフが親切なこと
11. その他(具体的に: _____)

SQ-1 上記10項目の中で、最も重視すること、2番目に重視することは何ですか。

最も重視 すること	<input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/>	2番目に重視 すること	<input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/>
--------------	---	----------------	---

Q-4 北九州芸術劇場をご利用いただいたきっかけ及び理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 劇場のホームページ、情報誌(チラシなどを含む)を見て
2. 友人・知人、その他関係者に勧められて
3. 実際に施設を見学して
4. 前回使用して良かったため
5. 上記Q-3のSQ-1の項目が備わっているため
6. その他(具体的に: _____)

Q-5 北九州芸術劇場を利用するに当たって、良かったと感じた点、今後改善すべきだと感じた点について、ご意見をお聞かせください。
また、ご利用回数が2回以上の方で前回のご利用と比べ良くなったと感じた点、改善されていないと感じた点についても、ご意見をお聞かせください。

◎ 差し支えなければ、ご記入ください。

①貴団体名(個人の場合はお名前)	
②ご記入者の所属・ご担当業務	
③ご利用日時	年 月 日() ~ 月 日()
④ご利用施設	大ホール・中劇場・小劇場
④北九州芸術劇場の利用回数	1. 初めて 2. 2回目 3. 3回以上 (いずれか1つに〇)

ご協力ありがとうございました。

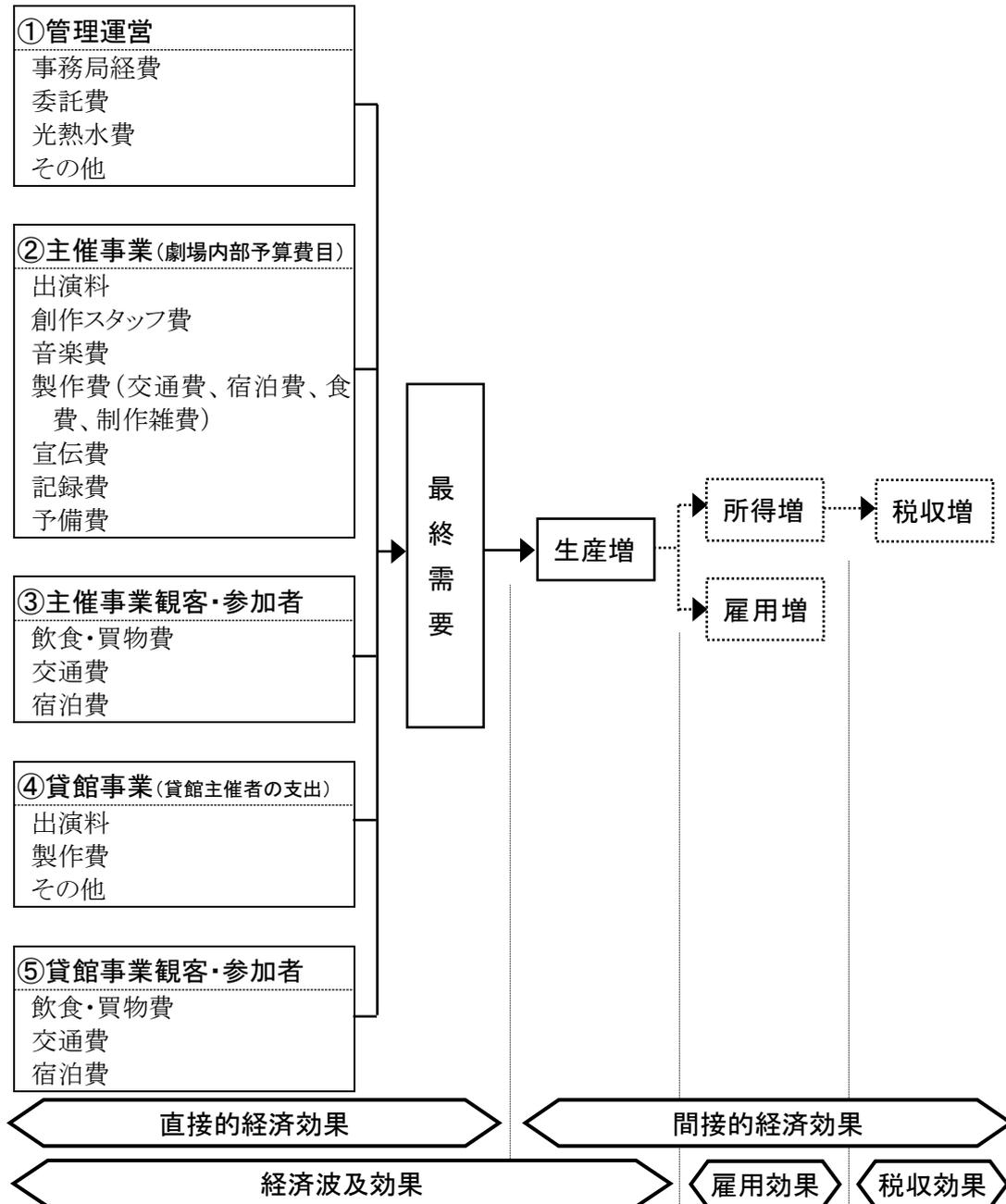
III

經濟波及效果

1. 北九州芸術劇場の運営に伴う経済波及効果の基本構造

- 北九州芸術劇場の運営に伴う経済波及効果としては、図表-資Ⅲ-1に整理したように5種類の支出からなる最終需要(直接的経済効果)、それに伴う生産増、そしてそれらからもたらされる所得増、雇用増、税収増などが考えられる。
- 経済波及効果としてどこまでを含めるかについては、ケースバイケースであるが、今回の調査でも、基礎的な経済波及効果として、産業連関表に基づいた生産増に加え、福岡県の雇用表を用いて雇用効果まで試算することとした。

図表-資Ⅲ-1 北九州芸術劇場における経済波及効果の基本構造



- 前記の5種類の支出は、劇場の運営や事業に伴うもの(①、②、④)と、観客の消費支出に伴うもの(③、⑤)に分けられるが、経済波及効果も、それぞれ、劇場の運営や事業の実施に伴う波及効果、観客の消費支出に伴う波及効果、に分けられる。

- 産業連関表に基づいて、経済波及効果を把握するためには、運営や事業に伴う支出、観客の消費支出を、産業連関表の産業分類に分類し直す必要がある。
- 産業連関表の部門別の定義や範囲と、劇場の支出内容、観客の消費支出の内容を照らし合わせて、図表-資Ⅲ-2の対応表を作成した。

図表-資Ⅲ-2 産業連関表(平成17年度・34部門)と劇場における支出費目の関係

産業部門名	劇場運営・事業に伴う最終需要				
	管理運営	主催事業	主催事業観客	貸館事業	貸館事業観客
1 農林水産業					
2 鉱業					
3 飲食料品					
4 繊維製品					
5 パルプ・紙・木製品					
6 化学製品					
7 石油・石炭製品					
8 窯業・土石製品					
9 鉄鋼					
10 非鉄金属					
11 金属製品					
12 一般機械					
13 電気機械					
14 情報・通信機器					
15 電子部品					
16 輸送機械					
17 精密機械					
18 その他の製造工業製品	出版・印刷	出版・印刷	出版・印刷	出版・印刷	出版・印刷
19 建設					
20 電力・ガス・熱供給	光熱費 (電力・ガス)				
21 水道・廃棄物処理	上下水道費				
22 商業	物品購入 (小売)	物品購入 (小売)	ショッピング (小売)	物品購入 (小売)	ショッピング (小売)
23 金融・保険	保険料	保険料		保険料	
24 不動産					
25 運輸	旅費・交通費 輸送費	旅費・交通費 輸送費	旅費・交通費	旅費・交通費 輸送費	旅費・交通費
26 通信・放送	郵便・通信費	郵便・通信費	郵便・通信費	郵便・通信費	郵便・通信費
27 公務					
28 教育・研究					
29 医療・保健・社会保障					
30 その他の公共サービス					
31 対事業所サービス	広告(TV・ラジオ、 新聞・雑誌等) 事務用品貸貸 委託(清掃・警 備・舞台技術ス タッフ)	広告(TV・ラジオ、 新聞・雑誌等) 委託(公演・舞台 技術スタッフ・フロント スタッフ)		広告(TV・ラジ オ、新聞・雑誌等)	
32 対個人サービス	飲食(飲食店) 宿泊費(旅館)	出演者・講師等 飲食(飲食店) 宿泊費(旅館)	飲食(飲食店) 宿泊費(旅館)	劇団等(興行団) 飲食(飲食店) 宿泊費(旅館)	飲食(飲食店) 宿泊費(旅館)
33 事務用品	事務用品	事務用品		事務用品	
34 分類不明					

注) 括弧内は産業連関表における産業分類名

2. 劇場運営に伴う最終需要と観客の消費支出

(1) 管理運営に伴う最終需要

- まず、北九州芸術劇場の管理運営に伴う支出を、費目別に整理したものが下表である。舞台技術スタッフの委託料など、対事業所サービス部門への支出が最も大きく、次いで、電力・ガス・熱供給部門への支出が大きいことがわかる。

図表-資Ⅲ-3 管理運営に伴う支出額

産業分類項目	財団支出費目	金額(千円)			備考	
		北九州市内	市外	合計		
18	その他の製造工業製品	印刷製本費	1,386	247	1,633	
20	電力・ガス・熱供給	光熱水料費	172,465	0	172,465	電気・ガス
21	水道・廃棄物処理	光熱水料費	8,200	0	8,200	
22	商業	消耗品費	0	0	0	
23	金融・保険	保険料	5,281	739	6,021	
25	運輸	旅費交通費	1,546	978	2,525	交通費
		通信運搬費	395	0	395	宅配便
26	通信・放送	雑費・通信運搬費・支払負担金	3,179	2,899	6,078	郵便・電話等
31	対事業所サービス	広告宣伝費	17,005	1,910	18,915	
		委託費(舞台技術)	93,942	43,289	137,230	
		支払負担金(警備)	18,814	0	18,814	
		支払負担金(清掃)	39,757	0	39,757	
		その他	214,440	21,653	236,093	
32	対個人サービス	ケータリング費	100	158	258	
		旅費交通費	0	59	59	宿泊費
33	事務用品	消耗品費他	8,404	481	8,885	
計			584,914	72,413	657,326	

- なお、北九州市外への支出については、北九州市の産業連関表を活用することは不適切であるため、支出額は北九州市内と市外に分けて算出した(以降の項目も同様)。
- 北九州芸術劇場の管理運営に伴う最終需要は約6億5,733万円で、うち89.0%(約5億8,491万円)が市内への支出となっている。

(2) 主催事業における最終需要

- 同様に、北九州芸術劇場の主催事業の実施に伴う支出を費目別に整理したものが、図表-資Ⅲ-4である。
- 主催事業では、スタッフ経費などの対事業所サービス、北九州までの交通費などの運輸、出演料などの対個人サービスへの支出が大きい。対個人サービスでは、北九州市に滞在する出演者や関係者の招聘旅費交通費(市内支出で年間約685万円)が最も大きく、次いで、諸謝金(約592万円)、出演料などにかかる委託費(約264万円)、ケータリング費(約120万円)などとあわせると、約1,717万円が北九州市内で使われた計算となる。
- 主催事業の実施に伴う最終需要額は、約2億5,848万円、うち28.5%(約7,374万円)が市内への支出となっている。

図表-資Ⅲ-4 主催事業の実施に伴う支出額

産業分類項目	財団支出費目	金額(千円)			備考	
		北九州市内	市外	合計		
18	その他の製造工業製品	印刷製本費	5,726	399	6,124	チラシ・ポスター
20	電力・ガス・熱供給	光熱水料費	0	0	0	
21	水道・廃棄物処理	光熱水料費	1	0	1	廃棄物処理
23	金融・保険	保険料	628	197	825	
25	運輸	招聘旅費交通費・旅費 交通費	15,216	5,526	20,742	交通費
		委託費	276	2,542	2,817	運搬
		通信運搬費	454	0	454	宅配便
26	通信・放送	通信運搬費	2,852	4	2,857	郵便・電話等
31	対事業所サービス	委託費(舞台技術スタッフ・ フロントスタッフ)	20,047	2,606	22,653	
		委託費(公演料・出演 料・講師料)	1,521	145,774	147,295	
		委託費(公演負担金)	0	600	600	
		委託費(調律)	315	57	372	ピアノ調律
		委託費(広告宣伝)	760	1,319	2,079	
		委託費(デザイン費)	410	313	723	
		その他	8,237	5,455	13,692	著作権使用料・賃借料等の他
32	対個人サービス	委託費(委託・出演料)	2,639	6,132	8,771	
		諸謝金(講師・スタッフ謝 金)	5,923	4,625	10,548	
		委託費(撮影・映像編 集)	436	1,425	1,861	
		宿泊・招聘旅費交通費・ 旅費交通費	6,851	6,040	12,890	宿泊費
		ケータリング費	1,200	1,621	2,821	食費
		その他	125	111	235	委託費・その他
33	事務用品	消耗品費・消耗什器備 品費	123	0	123	
計		73,739	184,745	258,484		

(3) 主催事業の観客の消費支出

- 次に、主催事業の観客の消費支出の試算を行った(図表-資Ⅲ-5)。
- 15年度の観客アンケートの調査結果を見ると、回答者数全体の1,989人のうち、52.0%の人が公演の前後に飲食もしくはショッピングをしたと回答しており、これを飲食、ショッピングの別に整理すると、飲食金額の回答者数882人から、飲食をした人の割合は44.3%、一人あたりの平均金額は1,679円となっている。また、ショッピング金額の回答者数479人から、ショッピングした人の割合は24.1%、一人あたりの平均金額は4,918円となっている。観劇前後の消費行動としては、飲食をする人の割合の方が高いが、消費単価はショッピングが飲食の約3倍となっている。
- 主催事業のうち、創造事業、公演事業、提携事業、演劇フェスティバルなどの北九州市内(北九州芸術劇場)での公演の入場者(15年度の公演事業の入場者数の計4万4,240人と北九州芸術劇場以外の入場者数706人の差)は4万3,534人であることから、観劇に伴う飲食の支出額は約3,242万円、ショッピングの支出額は約5,156万円、計8,398万円と推計される。なお、15年度は、14年度に比べて飲食とショッピングの平均単価は減少したものの、飲食やショッピングを行う人の割合が増加したことから、北九州市内での観客消費支出は増加している(14年度:約6,617万円)。
- 同様に、北九州市以外での公演についても、北九州芸術劇場プロデュース「彼の地」の東

京公演(706人)が同様の支出をしたと仮定すると、飲食の支出額は約53万円、ショッピングの支出額は約83万円、計136万円と推計される。飲食とショッピングの平均単価は減少したものの、飲食やショッピングを行う人の割合が増加したことから、北九州市以外での観客の消費支出が増加している(14年度:約128万円)。

図表-資Ⅲ-5 観劇前後の消費行動と消費支出

	飲食	ショッピング
アンケートでの金額の回答者数(人)	882	479
消費行動の割合	44.3%	24.1%
一人あたりの平均金額(円)	1,679.4	4,917.8

	観客数 (人)	合計支出額(千円)		
		飲食	ショッピング	合計
北九州市内での公演	43,534	32,421	51,559	83,980
北九州市外での公演	706	526	836	1,362
合計	44,240	32,947	52,395	85,342

注)上記の表中の数値は、実数に基づく計算結果を転載したものである。消費行動の割合と一人あたりの平均金額は小数点第2位以下を四捨五入しているため、表中の数値を再計算したものと、合計支出額が異なる箇所がある(以下、いずれの表にも共通)。

- 交通費については、同じく観客アンケート調査の居住地のデータから、平均的な往復の交通費を設定し、推計を行った。その際の前提条件は昨年度調査と同様、以下のとおりとした。
 - 北九州市内の居住者の交通費については、バス・JRとも片道300円と想定し、九州内の居住者の交通費については、居住地別に最寄り駅から小倉駅までのJR運賃(特急利用、新幹線利用なし)で試算した。
 - その他の地域には、広島、東京・千葉・神奈川、大阪・兵庫・神戸(03年度調査)などの回答があったため、大阪から新幹線利用と想定した。
 - 片道が2時間を超える場合は、宿泊を伴うこととし、一人当たり、宿泊費6,000円、宿泊に伴う飲食費3,000円を支出したものと想定した。
 - 劇場までの交通手段として、相当数の観客が自家用車を利用していると思われる(03年度調査では約33%)が、すべてJR・バス利用と想定した。
- 北九州芸術劇場以外で開催した公演の観客の交通費については、往復1,000円と想定した。
- なお、学芸事業の参加者の消費行動は、観劇客とは異なると思われるため、この分析には含めなかった。
- 以上の結果、主催事業の観客の消費支出額は、図表-資Ⅲ-6のとおり、合計で約2億8,966万円と推計される。

図表-資Ⅲ-6 主催事業の観客の消費支出額

産業分類項目	消費支出費目	金額(千円)			備考
		北九州市内	市外	合計	
20 商業	ショッピング(公演前後)	51,559	836	52,395	
23 運輸	旅費・交通費	18,799	137,253	156,052	
30 対個人サービス	食費(公演前後)	32,421	526	32,947	
	宿泊費	32,174	0	32,174	
	食費(宿泊に伴う)	16,087	0	16,087	
合計		151,041	138,615	289,655	

(4) 貸館事業(市主催・共催含む)に伴う最終需要(参考値)

- 貸館事業の場合も、劇場の主催事業と同様、主催者の様々な支出が経済波及効果を生み出すものと考えられる。貸館事業の事業主催者の支出額については、アンケート調査等で把握する必要があるが、該当する調査を実施していないため、便宜的に、貸館事業の1公演(講演含む)当たりの支出額について、主催公演の20%、30%という二つのケースを想定し、それらがすべて北九州市内での支出だったと仮定して、参考値を試算することとした。
- 15年度の貸館事業の公演等の年間延べ回数339件から、同一主催者・同一内容の利用で複数回の公演等を行ったものを1回として計上すると、242回の利用があった。そこから試算した結果は、下表のとおりであり、貸館事業の1公演当たりの支出額が主催公演の20%のケースで約9,000万円、30%のケースで約1億3,501万円となった。
- この試算は、貸館事業の実際の支出額に基づいていないため、最終需要額はあくまでも参考値である点に留意が必要である。

図表-資Ⅲ-7 貸館事業に伴う最終需要(参考値)

	金額(千円)			備考
	北九州市内	市外	合計	
1公演あたりの支出が主催公演の20%の場合	90,004	0	90,004	
1公演あたりの支出が主催公演の30%の場合	135,007	0	135,007	

(5) 貸館事業(市主催・共催含む)の観客の消費支出

- 貸館事業の観客についてはアンケート調査の対象外だったため、主催事業の観客のデータを援用して、消費支出を試算した。試算の結果、貸館事業における観客の消費支出の金額は、約4億3,305万円であった(図表-資Ⅲ-8)。試算の前提条件は以下のとおりである。
 - 主催事業の観客アンケート調査の結果をみると、北九州市内だけではなく、九州全域や他の地域からも幅広く観客を集めているのに対し、貸館の事業内容をみると、同じように幅広いエリアから集客したり、同じような消費活動を行ったりしているとは考えにくい。そのため、貸館入場者の消費支出については、飲食、ショッピングをした割合、一人当たりの単価とも、主催公演の80%と仮定した。
 - 貸館入場者の交通費については、80%が北九州市内、20%が北九州市周辺に居住しているものと想定した。
 - 15年度の貸館(市主催・共催含む)の総入場者数は、186,880人とした。

図表-資Ⅲ-8 貸館事業の観客の消費支出額(参考値)

産業分類項目	消費支出費目	金額(千円)			備考
		北九州市内	市外	合計	
22 商業	ショッピング(公演前後)	177,063	0	177,063	
25 運輸	旅費・交通費	144,645	0	144,645	
32 対個人サービス	食費(公演前後)	111,339	0	111,339	
合計		433,048	0	433,048	

3. 経済波及効果の計算結果

- 以上の最終需要および消費支出に基づき、北九州市内の支出に伴う経済波及効果は、「平成17年度北九州市産業連関表」を使って、北九州市外への支出に伴う経済波及効果は、「平成17年度全国産業連関表」を使って計算した。
- なお支出額は2015年度の金額であるが、物価変動にともなうデフレート計算は行っていない。

(1) 北九州芸術劇場の管理運営、主催事業に伴う経済波及効果

- まず、管理運営に伴う経済波及効果(図表-資Ⅲ-9)は、北九州市内が約8億97万円、北九州市外が約1億2,409万円、合計が約9億2,507万円で、それぞれ最終需要に対する生産誘発係数は1.37、1.71、1.41である。
- また、主催事業に伴う経済波及効果は、北九州市内が約1億228万円、北九州市外が約3億1,594万円、合計が約4億3,822万円で、それぞれ最終需要に対する生産誘発係数は1.39、1.71、1.62である。
- 劇場の管理運営や主催事業に伴う経済波及効果の合計は約13億4,329万円で、生産誘発係数は1.47である。

図表-資Ⅲ-9 管理運営、主催事業に伴う経済波及効果

	管理運営			主催事業			合計
	北九州市内	北九州市外	計	北九州市内	北九州市外	計	
最終需要(支出額)	584,914	72,413	657,326	73,739	184,745	258,484	915,810
農林水産業	13	91	103	48	967	1,015	1,118
鉱業	958	40	997	7	130	137	1,135
飲食品	31	73	104	400	2,253	2,653	2,757
繊維製品	129	158	287	20	407	427	714
パルプ・紙・木製品	2,255	1,214	3,468	304	2,405	2,709	6,177
化学製品	963	1,073	2,036	245	2,667	2,911	4,948
石油・石炭製品	1,459	664	2,123	184	2,375	2,559	4,682
窯業・土石製品	616	241	858	76	625	700	1,558
鉄鋼	856	1,044	1,900	90	2,516	2,606	4,506
非鉄金属	171	291	461	22	701	723	1,185
金属製品	1,066	409	1,475	135	1,071	1,206	2,681
一般機械	4,091	2,424	6,515	351	5,657	6,008	12,523
電気機械	682	636	1,318	60	1,503	1,563	2,881
情報・通信機器	8	119	127	1	281	282	409
電子部品	1,936	1,035	2,971	163	2,396	2,559	5,531
輸送機械	1,455	3,745	5,199	170	8,972	9,143	14,342
精密機械	54	51	104	7	123	130	234
その他の製造工業製品	9,699	3,181	12,880	6,905	7,177	14,083	26,963
建設	8,095	535	8,630	502	1,481	1,982	10,613
電力・ガス・熱供給	180,363	908	181,271	940	2,749	3,689	184,959
水道・廃棄物処理	10,902	269	11,171	659	1,133	1,792	12,963
商業	16,438	3,642	20,081	2,692	10,006	12,697	32,778
金融・保険	34,721	5,497	40,218	4,043	11,970	16,013	56,231
不動産	5,302	921	6,223	1,064	2,449	3,513	9,736
運輸	20,667	3,559	24,227	20,261	15,455	35,716	59,943
通信・放送	35,090	11,905	46,995	6,247	21,038	27,286	74,281
公務	701	139	840	101	341	442	1,282
教育・研究	4,868	846	5,714	289	1,981	2,270	7,984
医療・保健・社会保障・介護	6	2	8	2	5	7	15
その他の公共サービス	1,366	211	1,577	206	576	782	2,358
対事業所サービス	442,405	77,526	519,931	37,914	182,087	220,001	739,932
対個人サービス	1,106	488	1,593	17,462	20,754	38,215	39,809
事務用品	9,668	663	10,330	302	472	774	11,104
分類不明	2,832	498	3,329	408	1,218	1,626	4,955
合計	800,972	124,094	925,066	102,280	315,939	418,220	1,343,286
生産誘発係数	1.37	1.71	1.41	1.39	1.71	1.62	1.47

注)各データは四捨五入した数字のため、小計、合計の数値が各データの合計と一致しない箇所がある。

(2) 主催事業の観客の消費支出に伴う経済波及効果

- 次に、主催公演の観客の消費支出に伴う経済波及効果の計算結果(図表-資Ⅲ-10)をみると、北九州市内が約2億825万円、北九州市外が約2億5,121万円、合計が約4億5,946万円である。それぞれ最終需要に対する生産誘発係数は1.38、1.81、1.59となっている。

図表-資Ⅲ-10 主催公演の観客の消費支出に伴う経済波及効果

(千円)

	主催公演の観客		
	北九州市内	北九州市外	計
最終需要(支出額)	151,041	138,615	289,655
農林水産業	218	131	349
鉱業	21	562	583
飲食料品	1,870	130	2,000
繊維製品	53	272	325
パルプ・紙・木製品	443	1,897	2,341
化学製品	286	899	1,185
石油・石炭製品	307	14,602	14,910
窯業・土石製品	200	283	483
鉄鋼	141	1,183	1,323
非鉄金属	27	266	293
金属製品	375	712	1,087
一般機械	138	916	1,054
電気機械	31	349	380
情報・通信機器	0	69	69
電子部品	55	419	473
輸送機械	103	4,970	5,072
精密機械	22	31	53
その他の製造工業製品	1,471	2,460	3,931
建設	1,344	2,208	3,551
電力・ガス・熱供給	3,146	3,107	6,253
水道・廃棄物処理	2,436	1,102	3,538
商業	58,160	8,387	66,547
金融・保険	7,014	10,715	17,728
不動産	3,267	3,058	6,324
運輸	27,845	156,477	184,322
通信・放送	5,165	6,116	11,281
公務	199	284	483
教育・研究	454	1,010	1,464
医療・保健・社会保障・介護	5	9	15
その他の公共サービス	484	308	791
対事業所サービス	10,003	26,147	36,150
対個人サービス	81,640	736	82,376
事務用品	526	382	908
分類不明	804	1,016	1,820
合計	208,252	251,210	459,462
生産誘発係数	1.38	1.81	1.59

注)各データは四捨五入した数字のため、小計、合計の数値が各データの合計と一致しない箇所がある。

(3) 貸館事業(市主催・共催含む)に伴う経済波及効果(参考値)

- 次に、貸館主催者の最終需要(事業支出)、ならびに貸館事業の観客の消費支出に伴う経済波及効果の計算結果は図表-資料Ⅲ-11のとおりで、1公演・講演当たりの事業費が主催公演の20%の場合、経済波及効果は約1億2,367万円、30%の場合は約1億8,551万円で、生産誘発係数はともに1.37である。
- また、貸館事業の観客の消費支出に伴う経済波及効果は、約6億645万円、生産誘発係数は1.40である。
- なお、貸館事業の場合は、公演や講演の事業支出、観客の消費支出とも、全額が北九州市内への支出と想定した。

図表-資Ⅲ-11 貸館の公演・講演事業、貸館の観客の消費支出に伴う経済波及効果(参考値)

(千円)

	貸館公演・講演事業		観客の消費支出
	ケース①	ケース②	
最終需要(支出額)	90,004	135,007	433,048
農林水産業	36	55	306
鉱業	6	9	62
飲食料品	303	455	2,594
繊維製品	24	36	146
パルプ・紙・木製品	284	426	1,258
化学製品	206	309	514
石油・石炭製品	123	184	1,561
窯業・土石製品	83	124	434
鉄鋼	122	182	434
非鉄金属	27	40	67
金属製品	146	219	1,059
一般機械	663	995	405
電気機械	114	170	95
情報・通信機器	1	2	1
電子部品	310	464	182
輸送機械	265	397	549
精密機械	10	15	60
その他の製造工業製品	3,468	5,202	3,910
建設	489	733	4,183
電力・ガス・熱供給	862	1,293	8,058
水道・廃棄物処理	557	836	4,852
商業	2,819	4,229	191,935
金融・保険	4,785	7,177	24,114
不動産	1,012	1,518	10,667
運輸	11,873	17,810	179,471
通信・放送	6,235	9,353	14,712
公務	120	180	650
教育・研究	344	516	1,483
医療・保健・社会保障・介護	2	3	17
その他の公共サービス	251	376	1,002
対事業所サービス	74,158	111,237	34,578
対個人サービス	13,231	19,846	112,920
事務用品	261	391	1,545
分類不明	485	728	2,626
合計	123,674	185,512	606,449
生産誘発係数	1.37	1.37	1.40

注) ケース①は事業費が主催公演の20%、ケース②は30%と想定した場合
 注) 各データは四捨五入した数字のため、小計、合計の数値が各データの合計と一致していない。

(4) 雇用効果

- ここまでの計算結果に基づき、福岡県産業連関表の雇用表を用いて、北九州市内の雇用効果を試算した。
- 具体的には、先に計算した北九州芸術劇場の管理運営、主催事業、主催公演の観客の消費支出、貸館の公演・講演事業、貸館の観客の消費支出、それぞれに伴う北九州市内の生産額と、福岡県の雇用表の就業係数、雇用係数を用いて雇用効果を計算した。その結果は、図表-資Ⅲ-12に示したとおりである。
- 貸館の事業費が主催公演の20%と想定した場合(①)、就業者数(労働量)で約157人、雇用量(有給の役員・雇用者、常勤・臨時含む)で139人、同じく30%と想定した場合(②)、就業者数(労働量)で約165人、雇用量(有給の役員・雇用者、常勤・臨時含む)で144人の労働誘発効果、雇用効果があったという結果となった。

- 分野別にみると、対事業所サービス、対個人サービス、商業の分野での雇用効果が大きい。

図表-資Ⅲ-12 北九州芸術劇場の雇用効果(人)

	ケース①		ケース②	
	就業者数	雇用者数	就業者数	雇用者数
その他の製造工業製品	1	1	2	1
建設	1	1	1	1
電力・ガス・熱供給	3	3	3	3
水道・廃棄物処理	1	1	1	1
商業	28	25	28	26
金融・保険	3	3	4	3
運輸	16	16	17	16
情報通信	3	3	3	3
教育・研究	1	1	1	1
対事業所サービス	65	57	69	61
対個人サービス	35	28	36	28
合計	157	139	165	144

注) ケース①は事業費が主催公演の20%、ケース②は30%と想定した場合

(4) まとめ

- ここまでの経済波及効果の分析結果を整理すると、図表-資Ⅲ-13のとおりとなる。
- 北九州芸術劇場の管理運営、主催事業の実施に伴う最終需要は、観客の消費支出によるものも含め、約12億500万円で、そのうち、67.2%にあたる約8億1,000万円が、北九州市内での最終需要となっている。
- 北九州芸術劇場の管理運営、主催事業の実施に伴う経済波及効果は、観客の消費支出によるものも含め、約18億300万円で、そのうち61.7%にあたる約11億1,200万円が北九州市内での経済波及効果となっている。
- 生産誘発係数は、全体で1.50、北九州市内で1.37である。
- また、参考値ではあるが、貸館の事業主催者の支出および貸館の観客の消費支出による経済波及効果(北九州市内のみと想定)は、約5億2,300万円～5億6,800万円で、生産誘発係数は1.40である。
- それらをあわせた経済波及効果の総合計は、約25億3,300万円～25億9,500万円で、北九州市内に限ってみると、約18億4,200万円～19億300万円となっている。これは、14年度に比べて総合計と北九州市内の両方で増加している(14年度は、総合計:約21億4,100万円～21億6,900万円、北九州市内:約16億4,900万円～16億7,700万円)。誘発係数は14年度から増加して1.47となっている(14年度は1.45)。
- また、北九州市内の雇用効果は、就業者ベースで約157～165人、雇用者ベースで約139～144人である。

注) 上記数字は、試算結果の計算値を転載したものである。図表-資Ⅲ-13の各データは百万円未満を四捨五入しているため、表中に掲載している数値を再計算したものと、合計値やパーセンテージが一致しない場合がある。

図表-資Ⅲ-13 北九州芸術劇場の経済波及効果、雇用効果(15年度)

		最終需要	経済波及効果	誘発係数
管理運営・主催事業	①管理運営 事務局経費、委託費、光熱水費、その他	6億5,700万円 (5億8,500万円)	9億2,500万円 (8億100万円)	1.41 (1.37)
	②主催事業 出演料、創作スタッフ費、音楽費、製作費(交通費、宿泊費、食費、制作雑費)、宣伝費、記録費、予備費	2億5,800万円 (7,400万円)	4億1,800万円 (1億200万円)	1.62 (1.39)
	③主催事業観客消費支出 飲食・買物費、交通費、宿泊費	2億9,000万円 (1億5,100万円)	4億5,900万円 (2億800万円)	1.59 (1.38)
	小計	12億500万円 (8億1,000万円)	18億300万円 (11億1,200万円)	1.50 (1.37)
貸館事業(参考値)	④貸館事業(貸館主催者の支出) 出演料、製作費、その他	9,000万円 ~1億3,500万円	1億2,400万円 ~1億8,600万円	1.37
	⑤貸館事業観客消費支出 飲食・買物費、交通費、宿泊費	4億3,300万円	6億600万円	1.40
	小計(参考値)	5億2,300万円 ~5億6,800万円	7億3,000万円 ~7億9,200万円	1.40
	合計(参考値)	17億2,900万円 ~17億7,400万円 (13億3,300万円 ~13億7,800万円)	25億3,300万円 ~25億9,500万円 (18億4,200万円 ~19億300万円)	1.47 (1.38)
		雇用効果 (北九州市内)	157~165人(就業者ベース) 139~144人(雇用者ベース)	

注) 下段の括弧内の数字は、北九州市内の最終需要、経済波及効果。貸館については、最終需要、経済波及効果とも北九州市内のみと想定した試算結果である。
各データは四捨五入した数字のため、小計、合計の数値が各データの合計と合わない箇所がある。

IV

パブリシティー覧

1. 主催／提携・協力事業

記事タイトル・記事情報	紙名／版	朝/夕	文字数
空間が深呼吸する「山海塾」新作を見て 舞踊評論家・石井達朗 2015/04/06 朝日新聞 夕刊 3ページ 絵写表有 1138 文字	朝日東京	夕	1,138
不条理劇の現代的意味とは 別役実フェスティバル 来年まで東京、兵庫などで舞台 2015/04/09 西日本新聞夕刊 3ページ 983 文字	西日本	夕	983
山海塾新作 北九州で世界初演 重厚、洗練された1時間半 2015/04/21 西部読売新聞 夕刊 5ページ写 742 文字	西部読売	夕	742
Interview:天児牛大(「山海塾」主宰) 疑問や設問を大切に 2015/05/02 毎日新聞 朝刊 14ページ 1050 文字	毎日全国	朝	1,050
結成40周年 山海塾が新作「めぐり」 長い時間の変化の象徴 主宰・天児牛大 2015/05/12 東京読売新聞 夕刊 10ページ写 1072 文字	東京読売	夕	1,072
山海塾、新作「めぐり」東京公演 20～24日 2015/05/18 朝日新聞 夕刊 3ページ 434 文字	朝日東京	夕	434
福岡県／「私のエディット」松坂慶子が語るエディット・ピアフの物語／筑後マガジン 2015/05/23 西日本新聞夕刊 22ページ 100 文字 PDF有	西日本	夕	100
戦後70年 北九州から＝原爆劇 高校生も朗読 7月5日、北九州芸術劇場で公演 2015/06/18 西日本新聞朝刊 22ページ 667 文字 PDF有	西日本	朝	667
被爆朗読劇：東筑紫学園生、出演へ 来月5日に北九州芸術劇場で /福岡 2015/06/19 毎日新聞 地方版 21ページ 616 文字	毎日地方版	—	616
女優が読む被爆者朗読劇 小倉北で来月公演 女子高生出演 真剣リハ＝北九州 2015/06/24 西部読売新聞 朝刊 30ページ写 638 文字	西部読売	朝	638
福岡県／隣圏ニュース＝朗読劇「この子たちの夏 1945・ヒロシマ ナガサキ」 2015/07/02 西日本新聞朝刊 26ページ 160 文字 PDF有	西日本	朝	160
全国18団体が上演 別役実フェス＊不条理劇の魅力知って 2015/06/27 北海道新聞夕刊全道(芸能・ラテ) 5ページ写 1289 文字	北海道	夕	1,289
演劇：ラップ屋「ボンコツ大学探検部」 大人のほろ苦さ軽妙に＝評・濱田元子 2015/07/01 毎日新聞 夕刊 6ページ 635 文字	毎日全国	夕	635
朗読劇「この子たちの夏 1945・ヒロシマ ナガサキ」ほか／もっと九州 2015/06/29 西日本新聞夕刊 27ページ 865 文字	西日本	夕	865
ダンスダイブウィーク：9月5日から 築上町役場「しだれ」上演 小倉北 2015/07/04 毎日新聞 地方版 25ページ 726 文字	毎日地方版	—	726
佐々木蔵之介 20役 主演「マクベス」 気負いなく、しなやかに 2015/07/08 西部読売新聞 夕刊 5ページ写 1051 文字	西部読売	夕	1,051
劇評＝さまざまな世代論が交錯 劇団ラップ屋公演 「ボンコツ大学探検部」 2015/07/09 西日本新聞夕刊 3ページ 875 文字	西日本	夕	875
福岡県／隣圏ニュース＝3軒茶屋婦人会6「ス・ワ・ン」／筑後マガジン 2015/07/18 西日本新聞朝刊 30ページ 174 文字 PDF有	西日本	朝	174
感動指定席・あら！カルト＝ロミオとジュリエット ほか 2015/07/22 西日本新聞朝刊 13ページ 279 文字	西日本	朝	279
杉田久女の句モチーフに演劇 ゆかりの北九州で「花、盛ル。」 2015/08/07 西日本新聞朝刊 10ページ 550 文字	西日本	朝	550
現代劇：久女の句モチーフ 29、30日「花、盛ル。」 北九州芸術劇場小劇場 2015/08/23 毎日新聞 西部朝刊 23ページ 625 文字	毎日西部	朝	625
我ら公務員ダンサー 「築上町役場ダンス部」の3人、北九州のイベント出場へ 2015/08/27 朝日新聞 朝刊 29ページ 絵写表有 766 文字	朝日西部	朝	766
福岡県／いろんなダンス楽しんで 北九州芸術劇場 5～20日、小倉北区で催し 2015/09/04 西日本新聞朝刊 24ページ 371 文字 PDF有	西日本	朝	371
ダンスダイブウィーク始まる 北九州 /福岡県 2015/09/06 朝日新聞 朝刊 35ページ 588 文字	朝日西部	朝	588
築上町“踊る公務員” 北九州の祭典でダンス部3人躍動＝北九州 2015/09/13 西部読売新聞 朝刊 33ページ写 1724 文字	西部読売	朝	1,724
福岡県／街中がいきなりダンスの舞台 「フラッシュモブ」に驚き 優雅に力強く 2015/09/16 西日本新聞朝刊 23ページ 647 文字 PDF有	西日本	朝	647
ミュージカル：「十一びきのネコ」 11月7・8日、北九州芸術劇場 2015/09/27 毎日新聞 西部朝刊 21ページ 230 文字	毎日西部	朝	230
パットシエバ舞踊団「DECADANCE デカダンス」五感捉える身体自身の物語 2015/10/08 朝日新聞 夕刊 3ページ 絵写表有 781 文字	朝日東京	夕	781
モノレール“走る劇場”に 来月13～15日、車内で演劇上演＝北九州 2015/10/31 西部読売新聞 朝刊 35ページ写 930 文字	西部読売	朝	930
舞台覆うたいの知れない暗さ 名作絵本を井上ひさしが戯曲化「十一びきのネコ」 2015/11/04 西日本新聞夕刊 3ページ 1201 文字	西日本	夕	1,201

記事タイトル・記事情報	紙名/版	朝/夕	文字数
劇場はモノレール 13日からの公演前に車両基地でリハーサル /福岡県 2015/11/08 朝日新聞 朝刊 35ページ 絵写表有 621 文字	朝日西部	朝	621
(view)杉田久女の句、刺激的な演劇に 北九州芸術劇場「花、盛ル。」/西部・共通 2015/11/10 朝日新聞 朝刊 30ページ 絵写表有 667 文字	朝日西部	朝	667
「走る劇場」発車へ 北九州モノレール、きょうから【西部】 2015/11/13 朝日新聞 朝刊 35ページ 絵写表有 313 文字	朝日西部	朝	313
福岡県/モノレール演劇 きょう「発車」「動く劇場」で非日常体験/北九州・京築 2015/11/13 西日本新聞朝刊 24ページ 486 文字 PDF有	西日本	朝	486
「踊って!!京町」あす開催 フィナーレは飛び入り歓迎=北九州 2015/11/21 西部読売新聞 朝刊 33ページ写 493 文字	西部読売	朝	493
ダンスイベント:踊って!!京町 買い物客巻き込みダンス /福岡 2015/11/23 毎日新聞 地方版 23ページ 358 文字	毎日地方版	—	358
「感動の舞台をもう一度」つかこうへいの代表作「熱海殺人事件」 2015/11/26 西日本新聞夕刊 3ページ 1501 文字	西日本	夕	1,501
劇作家・演出家松本雄吉さん—寺山修司の戯曲「レミング」を新演出 2015/12/09 日本経済新聞 夕刊 11ページ 絵写表有 1784 文字	日経全国	夕	1,784
近況往来=役者人生 新たなスタート 劇団「KAKUTA」俳優 多田香織さん 2015/12/12 西日本新聞朝刊 13ページ 1050 文字	西日本	朝	1,050
福岡県/生命の成り立ち 神秘さ感じて 山海塾 来年2月芸術劇場で公演 2015/12/16 西日本新聞朝刊 23ページ 584 文字 PDF有	西日本	朝	584
壁の消失から始まる夢幻劇 寺山修司の戯曲「レミング」劇団「維新派」の松本雄吉 2015/12/24 西日本新聞夕刊 3ページ 978 文字	西日本	夕	978
Interview:黒木華 作品で生きる女優に 舞台「書く女」で樋口一葉役 2016/01/07 毎日新聞 夕刊 5ページ 1276 文字	毎日全国	夕	1,276
劇評=つかづーム巻き起こした代表作 熱海殺人事件 黄金コンビの圧倒的熱量 2016/01/07 西日本新聞夕刊 3ページ 1509 文字	西日本	夕	1,509
若手劇団「不思議少年」、北九州で新作上演 心の変化、人物の内面追求 2016/01/14 朝日新聞 朝刊 26ページ 絵写表有 563 文字	朝日西部	朝	563
山海塾の「原点」公演 北九州で来月「金柑少年」 2016/01/16 西部読売新聞 朝刊 19ページ写 361 文字	西部読売	朝	361
父の他界 モチーフに「ハイバイ」岩井秀人 抱負 2016/01/16 西部読売新聞 朝刊 19ページ写 331 文字	西部読売	朝	331
近況往来=北九州で創作した「彼の地」再演 劇団「KAKUTA」主宰 桑原裕子さん 2016/01/26 西日本新聞朝刊 9ページ 1026 文字	西日本	朝	1,026
福岡県/隣圏ニュース=山海塾「金柑少年」/筑後マガジン 2016/01/27 西日本新聞夕刊 24ページ 198 文字 PDF有	西日本	夕	198
(待ってました!)舞踏家・天児牛大さん 舞台満たす混沌のエネルギー【西部】 2016/01/30 朝日新聞 夕刊 10ページ 絵写表有 611 文字	朝日西部	夕	611
新感線 本格時代劇に挑む 5月 北九州芸術劇場「日本文化の灯 消せない」 2016/01/30 西部読売新聞 朝刊 19ページ写 795 文字	西部読売	朝	795
山海塾、9年ぶり「金柑少年」若い舞踏手に注目 北九州芸術劇場 2016/01/31 毎日新聞 西部朝刊 23ページ 517 文字	毎日西部	朝	517
演劇:ハイバイ「夫婦」 父の死軸に相克と愛描く=評・濱田元子 2016/02/03 毎日新聞 夕刊 4ページ 610 文字	毎日全国	夕	610
20年前の思春期描く 27、28日 田上パル北九州公演 2016/02/03 西部読売新聞 夕刊 9ページ写 359 文字	西部読売	夕	359
福岡県/小倉北 本物の時代劇 北九州に 劇団☆新感線、5月公演 2016/02/03 西日本新聞朝刊 21ページ 470 文字 PDF有	西日本	朝	470
現実が持つ独特のカーブ 劇団「ハイバイ」舞台「夫婦」 主宰の岩井秀人 2016/02/04 西日本新聞夕刊 3ページ 727 文字	西日本	夕	727
本物の時代劇 楽しんで 劇団☆新感線 5月に北九州で公演/九州ワイド 2016/02/04 西日本新聞朝刊 22ページ 449 文字 PDF有	西日本	朝	449
◎ツクリテ=舞台「夫婦」の岩井秀人 現実が持つ独特のカーブ 2016/02/06 熊本日日新聞夕刊 4ページ 650 文字 PDF有	熊本日日	夕	650
劇団ハイバイ主宰・岩井秀人 父亡くした体験下敷きに 北九州芸術劇場「夫婦」上演 2016/02/07 毎日新聞 西部朝刊 19ページ 530 文字	毎日西部	朝	530
やっば、汗だろ 代表作「合唱曲第58番」を上演 劇団「田上パル」主宰 田上 豊さん 2016/02/09 西日本新聞朝刊 13ページ 752 文字	西日本	朝	752
劇団☆新感線 いのうえ歌舞伎「黒」BLACK「乱鷲」ほか 2016/02/10 西日本新聞朝刊 13ページ 1817 文字	西日本	朝	1,817
劇団・田上パル「合唱曲第58番」少年時代の体験ベースに 27、28日北九州芸術劇場 2016/02/14 毎日新聞 西部朝刊 23ページ 521 文字	毎日西部	朝	521

記事タイトル・記事情報	紙名/版	朝/夕	文字数
福岡県/隣圏ニュース=二兎社「書く女」/筑後マガジン 2016/02/16 西日本新聞夕刊 26ページ 170 文字 PDF有	西日本	夕	170
幻想から現実へ思い切り飛躍 野田秀樹の舞台「逆鱗」/エンタメ 演劇・伝統芸能 2016/02/18 西日本新聞夕刊 3ページ 617 文字	西日本	夕	617
新感線「乱鶯」人情ほろり 初の本格派時代劇 4月、大阪で上演【大阪】 2016/02/25 朝日新聞 夕刊 7ページ 絵写表有 1022 文字	朝日大阪	夕	1,022
福岡県/隣圏ニュース=北九州芸術劇場リーディングセッション/筑後マガジン 2016/03/01 西日本新聞朝刊 28ページ 170 文字 PDF有	西日本	朝	170
福岡県/若手演劇人が速成芝居 北九州芸術劇場 5日から上演/北九州・京築 2016/03/03 西日本新聞朝刊 22ページ 470 文字 PDF有	西日本	朝	470
福岡県/隣圏ニュース=劇トツ×20分/筑後マガジン 2016/03/05 西日本新聞夕刊 26ページ 108 文字 PDF有	西日本	夕	108
福岡県/工場夜景バック 船上で演劇堪能 きょうから/北九州・京築 2016/03/11 西日本新聞朝刊 26ページ 338 文字 PDF有	西日本	朝	338
(評・演劇)北九州芸術劇場リーディング公演 別役実「会議」/西部・共通 2016/03/15 朝日新聞 朝刊 30ページ 絵写表有 856 文字	朝日西部	朝	856
「九州」舞台 温かく、骨太に 演劇3本 相次ぎ上演 2016/03/15 西部読売新聞 朝刊 21ページ写 1535 文字	西部読売	朝	1,535
鑄をテーマにアートブック 製鉄、市の歴史見つめ直す=北九州 2016/03/19 西部読売新聞 朝刊 35ページ写 567 文字	西部読売	朝	567
感動指定席・チケット先行予約=尺には尺を ほか 2016/03/23 西日本新聞朝刊 10ページ 1613 文字	西日本	朝	1,613
計			72

2. 学芸事業

記事タイトル・記事情報	紙名/版	朝/夕	文字数
合唱物語:市民参加企画「わたしの青い鳥」出演者募集 小学3年以上男女 2015/04/16 毎日新聞 地方版 20ページ 528 文字	毎日地方版	—	528
6月に合唱企画 参加しませんか 北九州芸術劇場=北九州 2015/04/19 西部読売新聞 朝刊 30ページ 350 文字	西部読売	朝	350
北斎の生涯 演劇で迫る 老漫画家 主人公に 来月、北九州 2015/04/25 西部読売新聞 朝刊 17ページ写 970 文字	西部読売	朝	970
演劇と美術のコラボ作品 北斎題材、北九州で 2015/05/12 岩手日報朝刊 10ページ 絵写表有 392 文字	岩手日報	朝	392
[文化短信]「画狂老人@北斎」 2015/05/12 西日本新聞朝刊 11ページ 261 文字	西日本	朝	261
北斎題材に北九州で 演劇と美術のコラボ作品/エンタメ 演劇・伝統芸能 2015/05/14 西日本新聞夕刊 3ページ 453 文字	西日本	夕	453
北斎描く舞台 美術館で上演/北九州 2015/05/15 長崎新聞 19ページ 382 文字	長崎	—	382
(view)挑戦的な試み、説得力に課題 「画狂老人@北斎」/西部・共通 2015/05/19 朝日新聞 朝刊 30ページ 絵写表有 646 文字	朝日西部	朝	646
福岡県/隣圏ニュース=北九州芸術劇場 創造工房「演カツ!!」作品上演団体募集 2015/05/28 西日本新聞夕刊 24ページ 428 文字 PDF有	西日本	夕	428
福岡県/「わたしの青い鳥」市民参加の合唱劇 小学生から80代 共演 2015/06/12 西日本新聞朝刊 28ページ 383 文字 PDF有	西日本	朝	383
福岡県/小倉北 プロの歌と生演奏 親子90人が楽しむ/北九州・小倉、門司、戸畑 2015/06/17 西日本新聞朝刊 21ページ 344 文字 PDF有	西日本	朝	344
福岡県/隣圏ニュース=合唱物語「わたしの青い鳥2015」/筑後マガジン 2015/06/20 西日本新聞夕刊 22ページ 147 文字 PDF有	西日本	夕	147
福岡県/創造的なダンスに 戸畑工高生が挑戦/北九州・京築 2015/07/09 西日本新聞朝刊 26ページ 246 文字 PDF有	西日本	朝	246
あんなこんな 築上=アート系大舞台で舞う 9月、北九州芸術劇場イベント出演 2015/07/11 西日本新聞朝刊 28ページ 1058 文字 PDF有	西日本	朝	1,058
夏休み!子供の劇場体験:照明や芝居に挑戦! 北九州芸術劇場で子供たち 2015/07/30 毎日新聞 地方版 27ページ 437 文字	毎日地方版	—	437
グランドオープン20周年 門司港レトロで芸術祭 一帯で音楽や演劇=北九州 2015/08/20 西部読売新聞 朝刊 28ページ写 708 文字	西部読売	朝	708
門司港からアート発信 来月~12月、芸術祭開催 /福岡県 2015/08/28 朝日新聞 朝刊 27ページ 絵写表有 1157 文字	朝日西部	朝	1,157
「門司港を芸術文化の発信地に」北九州、12月まで市内外のアート集結/大分県 2015/09/05 朝日新聞 朝刊 30ページ 絵写表有 403 文字	朝日西部	朝	403

記事タイトル・記事情報	紙名／版	朝/夕	文字数
市民ダンサー舞う 勝山橋に「野角打ち」／福岡県 2015/09/19 朝日新聞 朝刊 29ページ 絵写表有 350 文字	朝日西部	朝	350
福岡県／小倉北 野角打ちでダンス 北九州芸術劇場が企画／北九州・京築 2015/09/20 西日本新聞朝刊 22ページ 290 文字 PDF有	西日本	朝	290
お年寄りの記憶語り継ぐ 19、20日 北九州芸術劇場で朗読劇＝北九州 2015/12/05 西部読売新聞 朝刊 31ページ写 532 文字	西部読売	朝	523
福岡県／八幡大空襲、東京五輪…聞き取って次代へ 高齢者の記憶 演劇に 2015/12/18 西日本新聞朝刊 22ページ 704 文字 PDF有	西日本	朝	704
福岡県／イチ押し＝八幡大空襲、東京五輪… 高齢者の記憶演劇に 2015/12/19 西日本新聞朝刊 26ページ 509 文字 PDF有	西日本	朝	509
福岡県／小倉北 リバーウォークで「北九州ダンス」 20日に100人が披露 2016/03/18 西日本新聞朝刊 26ページ 604 文字 PDF有	西日本	朝	604
伊藤キム、創作ワークショップ 北九州で「言葉と身体」テーマ／西部・共通 2016/03/29 朝日新聞 朝刊 30ページ 絵写表有 714 文字	朝日西部	朝	714
計			25

3. 貸館事業

記事タイトル・記事情報	紙名／版	朝/夕	文字数
福岡県／柳亭燕路さんが落語会 小倉北区出身 6日、芸術劇場で 2015/04/03 西日本新聞朝刊 24ページ 323 文字 PDF有	西日本	朝	323
小倉の風景 ポストカードに デザイン事務所経営・岡崎さん＝北九州 2015/04/10 西部読売新聞 朝刊 29ページ写 843 文字	西部読売	朝	843
北九州市小倉少年少女合唱団:定期演奏会、観客1000人魅了／福岡 2015/04/30 毎日新聞 地方版 25ページ 544 文字	毎日地方版	—	544
歩む:上野香織さん(33)＝小倉南区 地元でジャズピアニスト／福岡 2015/05/04 毎日新聞 地方版 21ページ 809 文字	毎日地方版	—	809
北九州芸術祭:子ども舞台鑑賞 17日に人形劇「11びきのねこ」／福岡 2015/05/08 毎日新聞 地方版 20ページ 314 文字	毎日地方版	—	314
70超の演目披露 200人拍手浴びる 北九州民謡民舞音楽祭＝北九州 2015/05/17 西部読売新聞 朝刊 29ページ写 280 文字	西部読売	朝	280
北九州芸術祭:劇団青春座が「久女の恋」公演／福岡 2015/05/25 毎日新聞 地方版 25ページ 298 文字	毎日地方版	—	298
PAMコンサート:ピアニスト・智内さん迎え 北九州芸術劇場で14日／福岡 2015/06/11 毎日新聞 地方版 24ページ 399 文字	毎日地方版	—	399
コンサート:障害者と健常者一緒に音楽を 北九州芸術劇場で／福岡 2015/07/05 毎日新聞 地方版 25ページ 222 文字	毎日地方版	—	222
ナショナル・ジオグラフィック展:フィールドワーク参加者募集 2015/07/15 毎日新聞 地方版 25ページ 474 文字	毎日地方版	—	474
福岡県／日韓友好ライブ 9月25、26日北九州芸術劇場 4組出演／北九州・京築 2015/08/06 西日本新聞朝刊 26ページ 657 文字 PDF有	西日本	朝	657
日韓友好へ歌い踊る 両国の4組 北九州市で9月ライブ「文化の融合生み出したい」 2015/08/08 西日本新聞朝刊 26ページ 655 文字 PDF有	西日本	朝	655
イチ押し＝日韓結ぶ音楽イベント「草の根交流深めよう」／ちくほうから訪ねる 2015/08/08 西日本新聞朝刊 28ページ 502 文字 PDF有	西日本	朝	502
朗読劇:被爆者の詩や手記 北九州芸術劇場で17日／福岡 2015/08/14 毎日新聞 地方版 23ページ 428 文字	毎日地方版	—	428
10月から県民文化祭 北九州市で開会行事 劇「白象くんがやって来た」上演 2015/08/14 西日本新聞朝刊 24ページ 383 文字 PDF有	西日本	朝	383
2大会で全国進出 安中総合高「ダンス部」と「チームダンス」 2015/08/15 上毛新聞 16ページ 629 文字	上毛	—	629
九響:コバケン「涙の悲愴」福岡で 2015/08/16 毎日新聞 西部朝刊 14ページ 303 文字	毎日西部	朝	303
市職員デュオ 全国大会へ 北九州市の永原さん、梅崎さん 韓国歌謡曲で九州一に 2015/08/20 西日本新聞朝刊 24ページ 717 文字 PDF有	西日本	朝	717
独演会:落語家・立川生志さん、小倉で初 10月3日、北九州芸術劇場／福岡 2015/08/29 毎日新聞 地方版 23ページ 464 文字	毎日地方版	—	464
9月の九響＝コバケン親子共演 5日、北九州 定演には小山実稚恵 2015/08/29 西日本新聞朝刊 11ページ 488 文字	西日本	朝	488
舞台上で日韓つながれ 音・ダンス、翻訳不要 芸術劇場で25、26日／福岡県 2015/09/01 朝日新聞 朝刊 31ページ 絵写表有 960 文字	朝日西部	朝	960
昨年はソウル、今年は北九州 日韓友好、音楽で 25・26日、草の根ライブ／大分県 2015/09/05 朝日新聞 朝刊 30ページ 絵写表有 956 文字	朝日西部	朝	956

記事タイトル・記事情報	紙名/版	朝/夕	文字数
福岡県/日韓交流イベント 市長にPR 北九州芸術劇場で25、26日 2015/09/16 西日本新聞朝刊 23ページ 380 文字 PDF有	西日本	朝	380
日韓交流イベント:音楽と踊り、芸術劇場で共演 25、26日 /福岡 2015/09/23 毎日新聞 地方版 21ページ 652 文字	毎日地方版	—	652
ジャズとダンスで日韓交流 きょうとあす、北九州で公演＝北九州 2015/09/25 西部読売新聞 朝刊 31ページ写 719 文字	西部読売	朝	719
全国高校ダンス 市長に健闘報告 半田高の部員8人 2015/10/10 中日新聞朝刊 地方版(知多総合版) 23ページ 294 文字 PDF有	中日	朝	294
福岡県/大内義昭さん追悼 18日にコンサート 北九州芸術劇場で/北九州・京築 2015/10/16 西日本新聞朝刊 22ページ 514 文字 PDF有	西日本	朝	514
大内さん追悼コンサート あす北九州 手掛けた校歌や曲紹介＝北九州 2015/10/17 西部読売新聞 朝刊 35ページ 604 文字	西部読売	朝	604
イチ押し＝大内義昭さん追悼 あす、コンサート 北九州市/ちくほうから訪ねる 2015/10/17 西日本新聞朝刊 24ページ 528 文字 PDF有	西日本	朝	528
「図書館戦争」原作者らトーク ロケ地振り返り「すばらしい場所」北九州芸術劇場 2015/10/18 毎日新聞 地方版 25ページ 368 文字	毎日地方版	—	368
大内義昭さん死去:追悼コンサート 1000人功績たたえる 小倉北 /福岡 2015/10/19 毎日新聞 地方版 23ページ 480 文字	毎日地方版	—	480
歌で大内義昭さん追悼 北九州でコンサート＝北九州 2015/10/19 西部読売新聞 朝刊 27ページ写 297 文字	西部読売	朝	297
各地の文学館で企画展 北九州・ゆかりの作家35人に焦点 2015/10/28 西日本新聞朝刊 13ページ 860 文字	西日本	朝	860
対談:芥川賞作家がの平野さん、田中さん 27日、北九州で 2015/11/01 毎日新聞 西部朝刊 24ページ 426 文字	毎日西部	朝	426
福岡県/文化の扉＝地元偉人の思い伝える 創立70周年の劇団「青春座」 2015/11/11 西日本新聞朝刊 26ページ 971 文字 PDF有	西日本	朝	971
とんでもなく危険な台本 2人芝居「オレアナ」の田中哲司/エンタメ 演劇・伝統芸能 2015/11/19 西日本新聞夕刊 3ページ 665 文字	西日本	夕	665
杉山貞の生涯、演劇に 明治時代、教育で小倉復興 北九州で21・22日/福岡県 2015/11/20 朝日新聞 朝刊 29ページ 526 文字	朝日西部	朝	526
福岡県/九州齒科大ジャズ楽団「ブルーノーツ」が 60回目定期演奏会 2015/11/23 西日本新聞朝刊 18ページ 363 文字 PDF有	西日本	朝	363
福岡県/北九州モーツァルトの会 12月5日に演奏会 /きたきゅうワイド おでかけ 2015/11/27 西日本新聞朝刊 28ページ 341 文字 PDF有	西日本	朝	341
福岡県/イチ押し＝12月5日「レクイエム演奏会」北九州モーツァルトの会 2015/11/28 西日本新聞朝刊 28ページ 348 文字 PDF有	西日本	朝	348
楽団の垣根越え集う一流 管楽器奏者、公演やレッスン 来年1月、北九州/福岡県 2015/12/02 朝日新聞 朝刊 27ページ 絵写表有 1081 文字	朝日西部	朝	1,081
北九州を「管楽器の聖地」へ 門司港レトロ主会場 来月「音楽祭」＝北九州 2015/12/04 西部読売新聞 朝刊 27ページ写 925 文字	西部読売	朝	925
テロや災害の犠牲者へ鎮魂曲 北九州で演奏・合唱会＝北九州 2015/12/06 西部読売新聞 朝刊 33ページ 304 文字	西部読売	朝	304
1月の九響＝ウィンナ・ワルツ華やかに 2015/12/23 西日本新聞朝刊 8ページ 930 文字	西日本	朝	930
北九州・門司港、管楽器の聖地に NHK交響楽団など奏者18人が参加 来月3日から 2015/12/26 毎日新聞 西部夕刊 1ページ 869 文字	毎日西部	夕	869
芸大教授が楽団員指導 北九州 小中高生50人が参加＝北九州 2015/12/28 西部読売新聞 朝刊 23ページ写 411 文字	西部読売	朝	411
「管楽器の音楽祭」初めて開催 門司港レトロ トップ奏者ら集う＝北九州 2016/01/04 西部読売新聞 朝刊 29ページ写 462 文字	西部読売	朝	462
京築神楽フォトコンテスト:金賞に豊前・椋本さん 14日まで市役所に展示 /福岡 2016/01/10 毎日新聞 地方版 23ページ 692 文字	毎日地方版	—	692
都会の消費至上主義に異議 舞台「屋根」再演 「農村は疲弊して良いのか」 2016/01/14 西日本新聞夕刊 3ページ 993 文字	西日本	夕	993
福岡県/あんなこんな 行橋＝三線の音色 東北に響け/きたきゅうワイド 京築 2016/01/16 西日本新聞朝刊 24ページ 984 文字 PDF有	西日本	朝	984
福岡県/京築神楽公演 2月13日、小倉北区 国文化財答申の舞も/北九州・京築 2016/01/18 西日本新聞朝刊 28ページ 401 文字 PDF有	西日本	朝	401
仲代達矢さんが選ぶ6作 小倉昭和館 出演作上映＝北九州 2016/01/20 西部読売新聞 朝刊 34ページ写 476 文字	西部読売	朝	476
京築神楽フォトコンテスト金賞は豊前・椋本さん「ママー、こわいよー」 2016/01/21 西日本新聞朝刊 23ページ 562 文字 PDF有	西日本	朝	562

記事タイトル・記事情報	紙名／版	朝/夕	文字数
福岡県／出演作上映 トーク 資料展 舞台公演 仲代達矢さんの催し続々 2016/01/23 西日本新聞朝刊 26ページ 462 文字 PDF有	西日本	朝	462
無名塾:舞台「おれたちは天使じゃない」 仲代達矢さん出演 北九州芸術劇場 2016/01/26 毎日新聞 地方版 23ページ 490 文字	毎日地方版	—	490
仲代達矢さん:松永文庫に 戦時中に門司上陸、「人間の条件」小林監督しのぶ 2016/01/28 毎日新聞 地方版 25ページ 1346 文字	毎日地方版	—	1,346
仲代達矢さんトークショー 小倉昭和館 ファン300人聞き入る＝北九州 2016/01/29 西部読売新聞 朝刊 27ページ写 480 文字	西部読売	朝	480
倉本聡さん“最後の演出”「屋根」 23日北九州公演／もつと九州 2016/02/05 西日本新聞朝刊 27ページ 367 文字	西日本	朝	367
京築神楽、北九州公演 7日・北九州空港 13日・芸術劇場 /福岡県 2016/02/06 朝日新聞 朝刊 23ページ 534 文字	朝日西部	朝	534
京築神楽 勇壮な舞 小倉で公演＝北九州 2016/02/14 西部読売新聞 朝刊 33ページ写 387 文字	西部読売	朝	387
倉本聡さんが描く日本の家族「昭和の人間の考え残したい」 富良野GROUP 2016/02/19 西日本新聞朝刊 11ページ 956 文字	西日本	朝	956
再興第100回院展 日本面の今 72点を紹介 北九州市立美術館分館 2016/03/12 西日本新聞夕刊 6ページ 437 文字	西日本	夕	437
北九州市民寄席:200回記念公演、小倉北で来月10日 /福岡 2016/03/17 毎日新聞 地方版 22ページ 571 文字	毎日地方版	—	571
再興第100回院展 2016/03/24 西日本新聞朝刊 15ページ 209 文字	西日本	朝	209
本社の事業＝再興院展100回 力作72点並ぶ 4月8日から北九州市で 2016/03/29 西日本新聞朝刊 25ページ 491 文字	西日本	朝	491
北九州市小倉少年少女合唱団:「ライオンキング」再演 北九州芸術劇場 /福岡 2016/03/31 毎日新聞 地方版 24ページ 386 文字	毎日地方版	—	386
計			66

4. その他(劇場、劇場メンバー等に関する記事、芸術祭など)

記事タイトル・記事情報	紙名／版	朝/夕	文字数
ひと＝津村卓さん 市民の笑顔増やしたい 2015/04/02 信濃毎日新聞朝刊 24ページ 552 文字	信濃毎日	朝	552
高校演劇 プロから刺激 演出家の高評価に涙 滞在指導 個性引き出す 2015/04/11 西部読売新聞 朝刊 21ページ写 1738 文字	西部読売	朝	1,738
(びーふる)上田市交流文化芸術センター・津村卓館長 活発な文化、地域豊かに 2015/04/14 朝日新聞 朝刊 24ページ 絵写表有 424 文字	朝日東京	朝	424
戦後70年 舞台から問う 現代と比較 演劇次々 2015/05/16 西部読売新聞 朝刊 21ページ写 1793 文字	西部読売	朝	1,793
具体名挙げ施設再編案 北九州市、40年で最大25%削減 /福岡県 2015/05/26 朝日新聞 朝刊 29ページ 813 文字	朝日西部	朝	813
福岡県／文化の扉＝小倉北の舞台制作会社「kitaya505」九州の演劇情報を網羅 2015/06/24 西日本新聞朝刊 22ページ 901 文字 PDF有	西日本	朝	901
芸術生かす創造力を ニッセイ基礎研究所、吉本さんが講演 日立 2015/07/29 茨城新聞朝刊A版 18ページ 623 文字	茨城	朝	623
福岡県／舞台ポスター 市民が撮影会 北九州劇場 11月開幕 芸術の秋 2015/09/02 西日本新聞朝刊 21ページ 404 文字 PDF有	西日本	朝	404
橋本じゅんさん一日館長 北九州 映画ロケ地の中央図書館＝北九州 2015/10/18 西部読売新聞 朝刊 31ページ写 553 文字	西部読売	朝	553
回顧2015年 /西部・共通 2015/12/08 朝日新聞 朝刊 30ページ 絵写表有 3340 文字	朝日西部	朝	3,304
(回顧2015)舞踊 越境続ける身体表現 2015/12/17 朝日新聞 夕刊 3ページ 絵写表有 921 文字	朝日東京	夕	921
[回顧2015]文芸 演劇 2015/12/19 西部読売新聞 朝刊 34ページ写 1863 文字	西部読売	朝	1,863
福北「スタンプラリー」 31日まで 両市連携、文化施設巡り＝福岡 2016/01/17 西部読売新聞 朝刊 34ページ 425 文字	西部読売	朝	425
蜷川さん北九州も延期 2016/01/22 西部読売新聞 夕刊 12ページ 189 文字	西部読売	夕	189
「時空の旅」8年目の有終 「三文オペラ」来月公演 九州の演劇 土壌豊かに 2016/01/23 西部読売新聞 朝刊 23ページ写 1439 文字	西部読売	朝	1,439
福岡県／小倉北 北九州芸術劇場手伝いませんか サポーター募集 2016/02/04 西日本新聞夕刊 21ページ 379 文字 PDF有	西日本	夕	379

記事タイトル・記事情報	紙名／版	朝/夕	文字数
コンサート:「銀河鉄道999」題材に 14日、北九州で 2016/02/07 毎日新聞 西部朝刊 19ページ 501文字	毎日西部	朝	501
小劇場へ行こう 2016/02/11 東京新聞朝刊 14ページ 565文字 PDF有	東京	朝	565
「音楽の銀河」思い思いに感じて「999」公演前に小倉でワークショップ /福岡県 2016/02/12 朝日新聞 朝刊 23ページ 絵写表有 417文字	朝日西部	朝	417
走るモノレール 響くサクソ=北九州 2016/02/13 西部読売新聞 朝刊 29ページ写 296文字	西部読売	朝	296
サクソフォン演奏会:夜景と音楽、999気分 北九州モノレールの車内で /福岡 2016/02/14 毎日新聞 地方版 29ページ 409文字	毎日地方版	—	409
夕暮れダンスジャック:“赤いダンサー”出現! 小倉駅構内でサプライズ /福岡 2016/02/21 毎日新聞 地方版 29ページ 391文字	毎日地方版	—	391
福岡県/小倉北 小倉駅前突然ダンス 文化施設職員60人が「研修」 2016/02/24 西日本新聞朝刊 23ページ 351文字 PDF有	西日本	朝	351
大震災5年<2>喪失と再生「本当に大切なことは？」劇作家 泊篤志さん一連載 2016/03/11 西日本新聞朝刊 15ページ 2172文字	西日本	朝	2,172
計			24



ワークショップ参加者を
対象とした調査

1. ワークショップ参加者を対象としたアンケート調査の概要

(1) 調査の手法

① 調査の目的

- 「ワークショップ参加者を対象とした調査」と題し、過去3年間(2013～2015年度)に実施した主なワークショップ型事業や創造事業の参加者を対象としたアンケート調査を実施した。また、2004年度に実施した事業評価調査その2のテーマ調査「学芸事業の参加者から見た評価」のアンケート調査の結果と比較することで、ワークショップ型事業や創造事業の中長期の成果や波及効果を検証し、今後の運営に活用する。

① 調査の対象

- 主に2013年度から2015年度の創造・公演(アウトリーチ&ワークショップ等)及び学芸事業(次頁参照)に参加した401人。

② 配布・回収方法

- 調査票の直接郵送による配布、後日郵送、ファックスにて回収。

③ 実施時期

- 2016年11月17日～12月17日

④ 有効回答数・回答率

- 162件、回収率:40.4%(配布数:401件)

(2) 主な調査項目

- 参加した講座やワークショップ
- 参加年度
- 北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加回数
- 情報入手経路
- 参加動機
- 参加した講座やワークショップの評価
- 参加した講座やワークショップの総合的な意見
- 今後の参加意向
- 北九州芸術劇場以外での参加経験の有無
- 学芸事業の4つの柱への意見
- ワークショップを受けた経験の影響や効果
- 北九州芸術劇場での鑑賞頻度
- 劇場の運営方針への意見
- 公演に出かけるのに何が妨げになっているか
- 今後の北九州芸術劇場のワークショップ型事業への意見 など

(3) 調査票(次頁参照)

※このアンケートは、北九州芸術劇場で2013年度から2015年度にかけて実施した、講座やワークショップにご参加いただいた方の中から抽出してお送りしております

北九州芸術劇場 ワークショップ参加者を対象としたアンケート調査

北九州芸術劇場の講座やワークショップにご参加いただき、ありがとうございます。皆様の声を今後の運営に活かしていきたいと思っておりますので、アンケートにご協力いただきますようよろしくお願いいたします。本アンケートへの個別の回答内容が公表されることはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。なお、内容に関するお問い合わせは、北九州芸術劇場(TEL: 093-562-2655)までお願いいたします。

ご回答いただいた方々の中から、山海塾「降りくるもののがか〜とばり」の招待券を抽選でペア5組10名様に差し上げます。当選者の発表は当選通知の発送にかえさせていただきます。

ご参加いただいた講座やワークショップについておたずねします。

Q1 参加された講座やワークショップは、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1 戯曲講座 | 2 アーティスト育成講座(シアターラボなど) |
| 3 ダンスワークショップ | 4 演劇ワークショップ |
| 5 アーツマネジメント講座(劇場塾など) | 6 創造参加(青い鳥公演など) |

Q2 講座やワークショップに参加された年はいつでしたか。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1 2013年度 | 2 2014年度 | 3 2015年度 | 4 覚えていない |
|----------|----------|----------|----------|

Q3 今までに北九州芸術劇場の講座やワークショップには、何回ぐらい参加されましたか。同一のプログラムに複数回出席している場合は、出席回数ではなくプログラムの数をカウントしてください。(〇はひとつ)

- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1 1~2回 | 2 3~5回 | 3 6~9回 | 4 10回以上 |
|--------|--------|--------|---------|

Q4 講座やワークショップに関する情報は、どのようにして入手されましたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1 雑誌・タウン情報誌 | 2 新聞 |
| 3 テレビ・ラジオ | 4 北九州市 市政だより |
| 5 情報誌Qなど劇場の印刷物 | 6 街中のチラシ・ポスター |
| 7 公演会場で配布されたチラシ | 8 劇場ホームページ |
| 9 友人・知人から聞いた | 10 郵送やEメールなど劇場からのダイレクトメール |
| 11 FacebookやtwitterなどのSNS | 12 その他(具体的に_____) |

Q5 参加された理由は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1 演劇やダンスに興味があるから | 2 劇場などの文化施設に興味があるから |
| 3 表現力・創作力のスキルアップをしたいから | 4 プロになるためのきっかけがほしいから |
| 5 講師や講師の作品が好きだから | 6 友人の幅を広げたいから |
| 7 新しいことを始めたかったから | 8 人に勧められたから |
| 9 その他(具体的に_____) | |

Q6 ご参加頂いた講座やワークショップについて、あなたのご意見をお聞かせください。

(〇は各項目ひとつだけ)

	1 たいへん 満足	2 まあ 満足	3 少し 不満足	4 まったく 不満足
(記入見本)	1	②	3	4
講座・ワークショップの内容	1	2	3	4
講師	1	2	3	4
開催した日にち、時間	1	2	3	4
講座・ワークショップの期間	1	2	3	4
申し込み時、当日の劇場係員の対応	1	2	3	4
料金	1	2	3	4

Q7 ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な意見をお聞かせください。(○はひとつ)

- 1 たいへん満足している 2 まあ満足している 3 あまり満足していない 4 まったく満足していない

Q8 今後も、北九州芸術劇場で行われる講座やワークショップに参加したいと思いますか。(○はひとつ)

- 1 ぜひ参加したい 2 機会があれば参加したい 3 あまり参加したいと思わない

Q9 北九州芸術劇場以外で、演劇やダンスなど舞台芸術に関わる講座やワークショップに参加したことはありますか。(○はひとつ)

- 1 ある 2 ない

Q10 北九州芸術劇場は、学芸事業として次の4つを行っています。あなたのご意見をお聞かせください。

(○は各項目ひとつだけ)

		1 ぜひやっ てほしい	2 まあやっ てほしい	3 あまり やる必要 はない	4 まったく やる必要 がない
人材育成 事業	北九州発信のオリジナル作品の創造を支える舞台芸術の専門家の育成を行います。	1	2	3	4
舞台芸術 普及事業	舞台芸術に対する認識を高め、新たな観客を掘り起こします。	1	2	3	4
社会貢献 事業	舞台芸術の特性を生かし、教育、福祉、医療、地域コミュニティ形成など、地域社会に貢献します。	1	2	3	4
舞台芸術 研究	舞台芸術についての研究分析、文芸面からの情報収集や、北九州芸術劇場や劇場事業の記録を収集し、報告書などを作成します。	1	2	3	4

Q11 講座やワークショップに参加してどのように感じられましたか。(○はいくつでも)

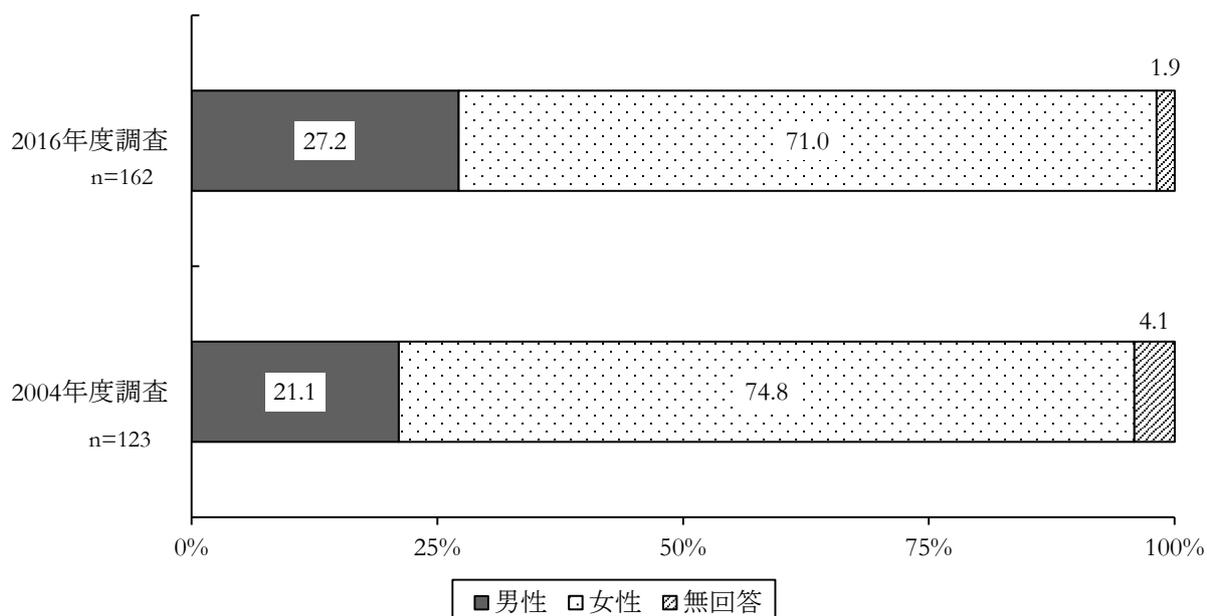
- 1 客席で見るだけではなく別の形で体験することで、演劇やダンスに対する新たな興味がわいた
- 2 演劇やダンスへの興味が高まり、より多くの公演を鑑賞したいと思うようになった
- 3 演劇やダンスだけではなく、舞台づくりや劇場について新たな発見があった
- 4 将来、俳優やダンサー、脚本家などの仕事をしてみたいと思った
- 5 将来、演劇の制作や劇場に関わる仕事をしてみたいと思った
- 6 北九州芸術劇場が以前より身近になり、足を運ぶ回数が増えた
- 7 舞台芸術が以前より身近になり、生活の中で芸術文化に触れる機会が増えた
- 8 普段出会えない人に出会えるなど、人間関係に広がり生まれた
- 9 表現活動を行うことで、気持ちが開放的になり、日常生活に活気が生まれた
- 10 演劇やダンスなどの芸術と深く触れ合ったことで、生き方に対する考え方が変わった
- 11 演劇やダンスは趣味や鑑賞の対象だけではなく、教育や福祉などとも関わりが深いことがわかった
- 12 その他(具体的に_____)

Q12 講座やワークショップに参加したことで、あなたの生活や生き方に何か具体的な変化がありましたら、自由にお書きください。

(1) 性別

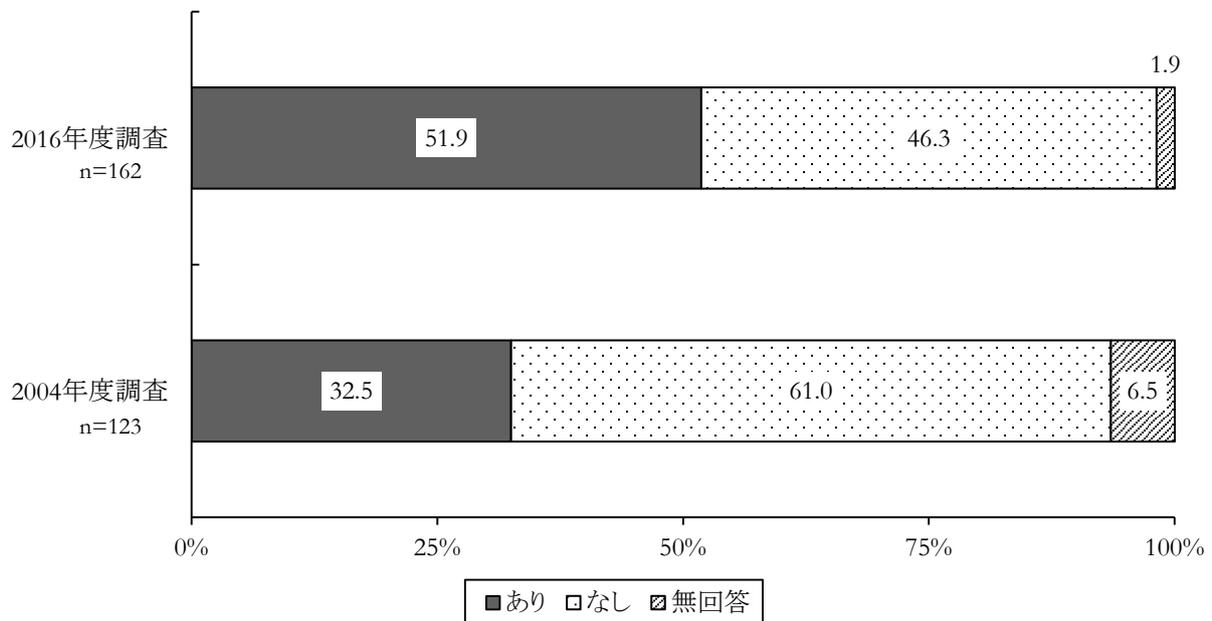
F1

- ・参加者の性別は、女性が71.0%、男性が27.2%と女性の割合が高い。2004年度調査では、女性が74.8%、男性が21.1%となっており、今回の調査では男性の割合が増えている。
- ・今までの講座やワークショップの参加頻度が「10回以上」の回答者は、女性よりも男性の割合が上回っている(50.0%)。また、年齢別に見ると、「70代以上」の回答者は、他の世代に比べて男性の割合が高い(41.7%)。



		合計	F1 ご性別		
			男性	女性	無回答
全体	2016年度調査	162	27.2	71.0	1.9
	2004年度調査	123	21.1	74.8	4.1
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	28.1	70.8	1.1
	3～5回	50	20.0	78.0	2.0
	6～9回	12	33.3	66.7	0.0
	10回以上	6	50.0	33.3	16.7
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	24.0	75.0	1.0
	まあ満足している	49	28.6	67.3	4.1
	あまり満足していない	5	40.0	60.0	0.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	27.5	69.6	2.9
	ない	90	25.6	73.3	1.1
性別	男性	44	100.0	0.0	0.0
	女性	115	0.0	100.0	0.0
年齢	10代	25	16.0	84.0	0.0
	20代	15	40.0	60.0	0.0
	30代	22	27.3	72.7	0.0
	40代	25	20.0	80.0	0.0
	50代	27	33.3	66.7	0.0
	60代	27	29.6	70.4	0.0
	70代以上	12	41.7	58.3	0.0

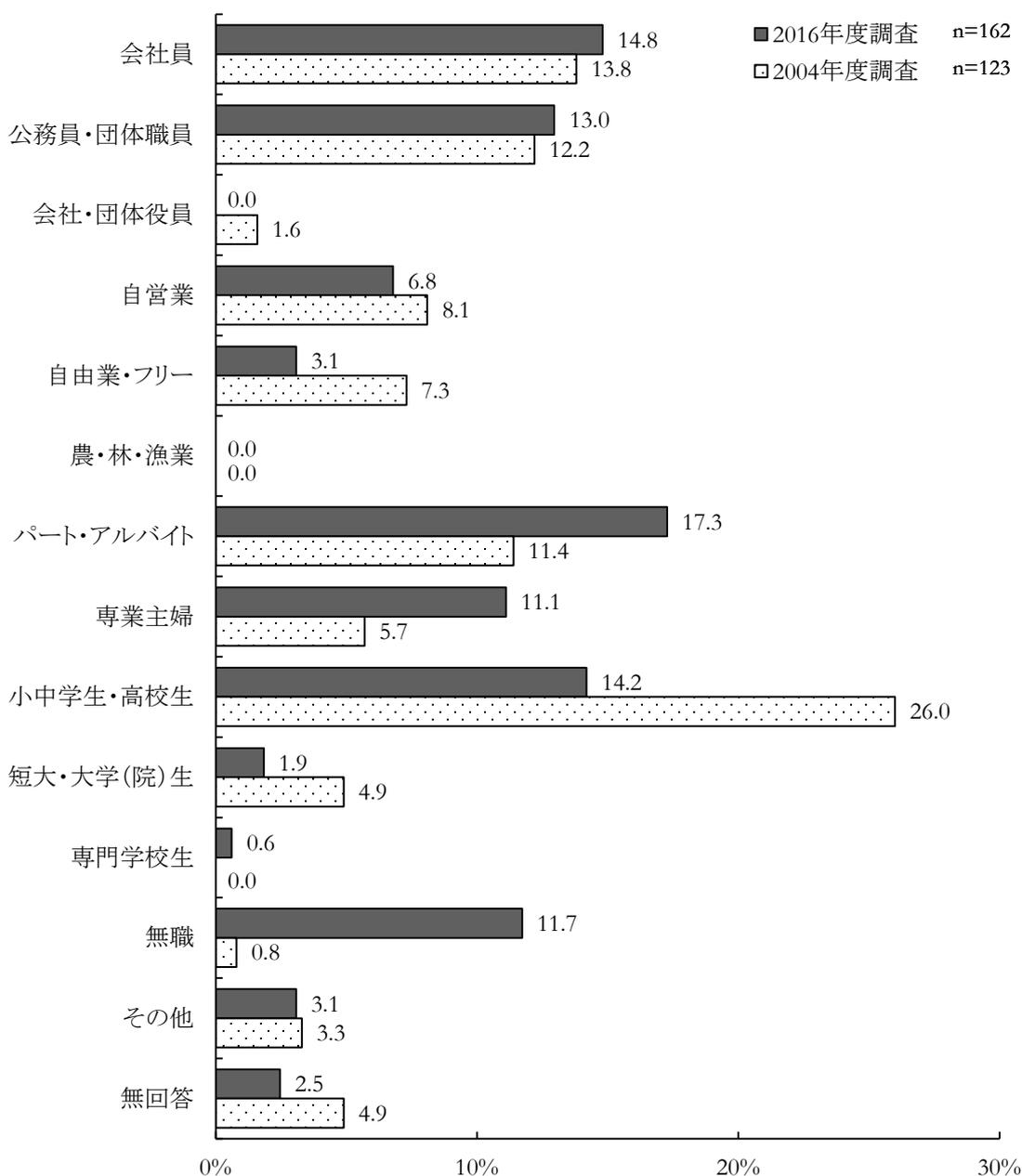
- ・配偶者については、「あり」が51.9%、「なし」が46.3%となっている。2004年度調査では、「なし」が61.0%、「あり」が32.5%で、配偶者がいない参加者が大幅に上回っていたが、調査対象となる事業の傾向が変わったことで、配偶者の有無のバランスも変化している。
- ・年齢別に見ると、「10代」から「50代」までは、年齢が高くなるにつれて配偶者が「あり」の参加者の割合が高くなるものの、「60代」、「70代以上」は配偶者が「なし」の割合が高くなっている点に着目したい。



		合計	F2 配偶者の有無		
			あり	なし	無回答
全体	2016年度調査	162	51.9	46.3	1.9
	2004年度調査	123	32.5	61.0	6.5
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	56.2	42.7	1.1
	3～5回	50	42.0	56.0	2.0
	6～9回	12	66.7	33.3	0.0
	10回以上	6	50.0	33.3	16.7
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	46.2	52.9	1.0
	まあ満足している	49	59.2	36.7	4.1
	あまり満足していない	5	60.0	40.0	0.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	47.8	49.3	2.9
	ない	90	53.3	45.6	1.1
性別	男性	44	63.6	36.4	0.0
	女性	115	48.7	51.3	0.0
年齢	10代	25	0.0	100.0	0.0
	20代	15	6.7	93.3	0.0
	30代	22	50.0	50.0	0.0
	40代	25	80.0	20.0	0.0
	50代	27	81.5	18.5	0.0
	60代	27	77.8	22.2	0.0
	70代以上	12	58.3	41.7	0.0

・職業は、「パート・アルバイト」が17.3%と最も高い割合となっており、次いで「会社員」が14.8%、「小中学生・高校生」が14.2%という順になっている。2004年度調査では、「小中学生・高校生」が26.0%と最も高く、次いで「会社員」「公務員・団体職員」の順となっていたが、調査対象となる事業の傾向が変わったことで、職業の傾向も変化している。

・性別で見ると、「男性」では「会社員」が25.0%と最も多く、「女性」では「パート・アルバイト」が19.1%と最も多い。年齢別に見ると、「60代」、「70代以上」では「無職」の割合が最も高くなっている点に着目したい。



(3) 職業

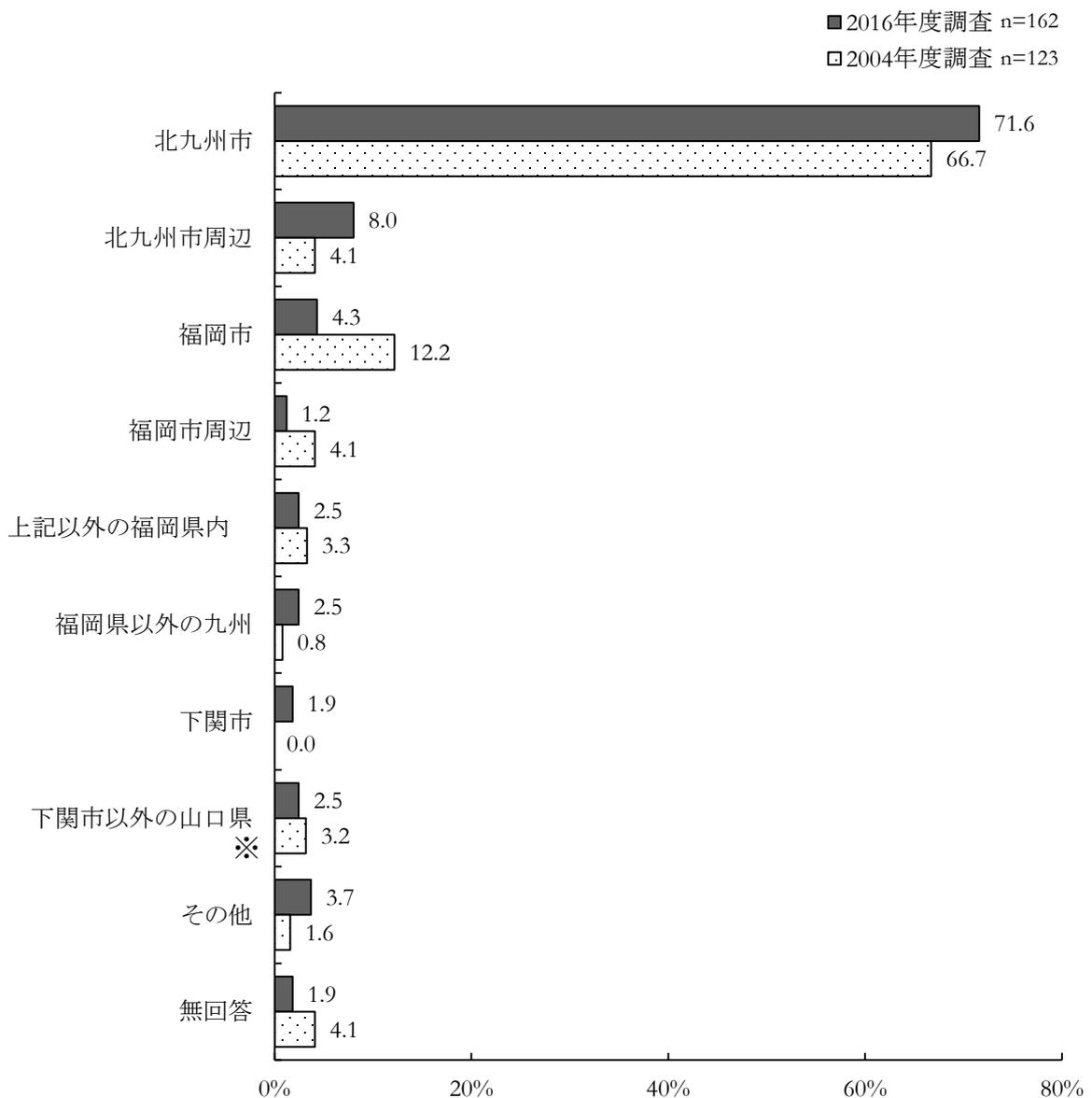
F4

		合計	F4 ご職業						
			会社員	公務員・ 団体職員	会社・団 体役員	自営業	自由業・ フリー	農・林・ 漁業	パート・ アルバイト
全体	2016年度調査	162	14.8	13.0	0.0	6.8	3.1	0.0	17.3
	2004年度調査	123	13.8	12.2	1.6	8.1	7.3	0.0	11.4
今までの北九州芸術劇場の 講座やワークショップの参加 頻度	1～2回	89	13.5	13.5	0.0	6.7	5.6	0.0	19.1
	3～5回	50	20.0	12.0	0.0	8.0	0.0	0.0	14.0
	6～9回	12	8.3	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7
	10回以上	6	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
ご参加いただいた講座や ワークショップに対する総合 的な満足度	たいへん満足している	104	17.3	12.5	0.0	5.8	2.9	0.0	13.5
	まあ満足している	49	8.2	14.3	0.0	8.2	4.1	0.0	24.5
	あまり満足していない	5	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講 座やワークショップの参加経験	ある	69	14.5	10.1	0.0	10.1	2.9	0.0	15.9
	ない	90	14.4	15.6	0.0	4.4	3.3	0.0	18.9
性別	男性	44	25.0	18.2	0.0	13.6	0.0	0.0	13.6
	女性	115	11.3	11.3	0.0	4.3	4.3	0.0	19.1
年齢	10代	25	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	15	40.0	13.3	0.0	6.7	0.0	0.0	26.7
	30代	22	18.2	27.3	0.0	4.5	4.5	0.0	18.2
	40代	25	12.0	28.0	0.0	8.0	12.0	0.0	28.0
	50代	27	25.9	14.8	0.0	18.5	3.7	0.0	14.8
	60代	27	7.4	3.7	0.0	7.4	0.0	0.0	22.2
	70代以上	12	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3

		合計	F4 ご職業						
			専業主 婦	小中 学・高 校生	短大・大 学(院) 生	専門学 校生	無職	その他	無回答
全体	2016年度調査	162	11.1	14.2	1.9	0.6	11.7	3.1	2.5
	2004年度調査	123	5.7	26.0	4.9	0.0	0.8	3.3	4.9
今までの北九州芸術劇場の 講座やワークショップの参加 頻度	1～2回	89	12.4	15.7	1.1	0.0	7.9	2.2	2.2
	3～5回	50	8.0	16.0	2.0	2.0	14.0	2.0	2.0
	6～9回	12	25.0	0.0	8.3	0.0	8.3	8.3	0.0
	10回以上	6	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7
ご参加いただいた講座や ワークショップに対する総合 的な満足度	たいへん満足している	104	9.6	19.2	1.9	1.0	11.5	2.9	1.9
	まあ満足している	49	16.3	6.1	2.0	0.0	10.2	2.0	4.1
	あまり満足していない	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講 座やワークショップの参加経験	ある	69	10.1	11.6	2.9	1.4	14.5	1.4	4.3
	ない	90	12.2	16.7	1.1	0.0	8.9	3.3	1.1
性別	男性	44	0.0	9.1	0.0	0.0	18.2	2.3	0.0
	女性	115	15.7	16.5	2.6	0.9	9.6	3.5	0.9
年齢	10代	25	0.0	84.0	12.0	4.0	0.0	0.0	0.0
	20代	15	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7
	30代	22	18.2	0.0	0.0	0.0	4.5	4.5	0.0
	40代	25	8.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0
	50代	27	11.1	0.0	0.0	0.0	3.7	7.4	0.0
	60代	27	22.2	0.0	0.0	0.0	29.6	7.4	0.0
	70代以上	12	25.0	0.0	0.0	0.0	58.3	0.0	0.0

・参加者の居住エリアは、「北九州市」が71.6%、「北九州市周辺」が8.0%となっている。2004年度調査では、「北九州市」(66.7%)に次いで多かったのが「福岡市」の12.2%だったが、今回の調査では「福岡市」は4.3%と低くなっており、「北九州市周辺」の割合が増えている。

・講座やワークショップの参加頻度別に見ると、「10回以上」の参加者は83.3%が「北九州市」となっている。年齢別に見ると、「20代」は「北九州市」が46.7%と他の世代に比べて低い割合となっており、「北九州市」の割合が高いのは「60代」(88.9%)、「70代以上」(83.3%)となっている。



※2004年度調査では、「山口県(下関市も含む)」としている。

(4) 居住エリア

F5

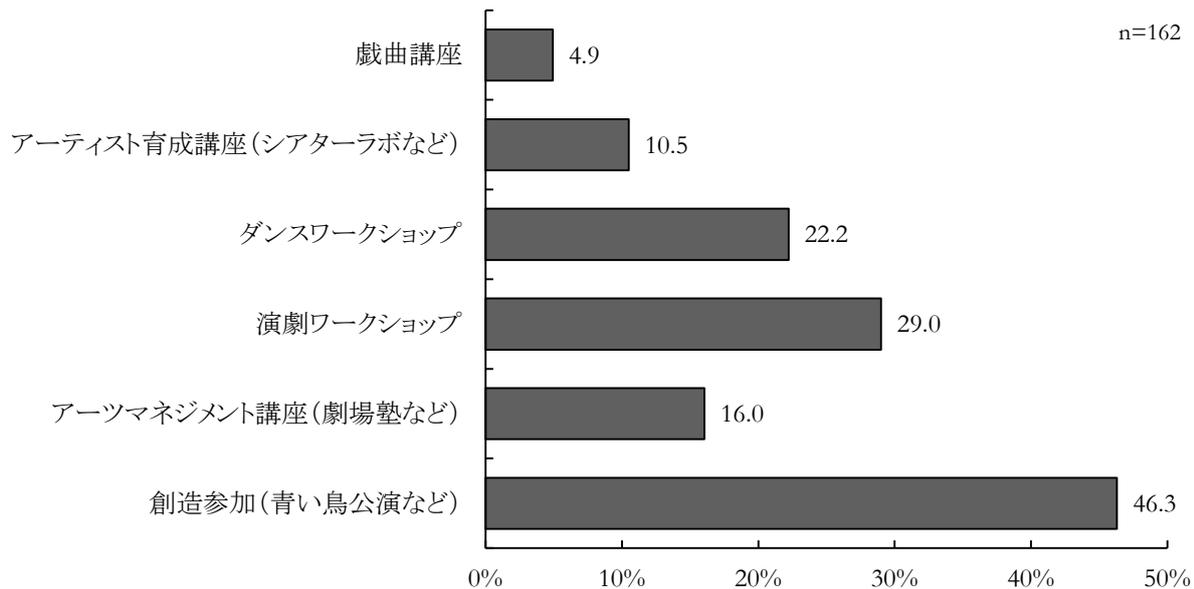
		合計	F5 お住まいのエリア				
			北九州市	北九州市周 辺	福岡市	福岡市周 辺	上記以外の 福岡県内
全体	2016年度調査	162	71.6	8.0	4.3	1.2	2.5
	2004年度調査	123	66.7	4.1	12.2	4.1	3.3
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	70.8	7.9	2.2	1.1	2.2
	3～5回	50	70.0	8.0	6.0	2.0	4.0
	6～9回	12	75.0	16.7	8.3	0.0	0.0
	10回以上	6	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	73.1	8.7	2.9	0.0	3.8
	まあ満足している	49	73.5	6.1	4.1	2.0	0.0
	あまり満足していない	5	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	60.9	10.1	5.8	1.4	4.3
	ない	90	80.0	6.7	3.3	1.1	1.1
性別	男性	44	75.0	9.1	6.8	0.0	0.0
	女性	115	72.2	7.8	3.5	1.7	3.5
年齢	10代	25	76.0	8.0	4.0	0.0	4.0
	20代	15	46.7	6.7	6.7	6.7	6.7
	30代	22	72.7	9.1	4.5	4.5	0.0
	40代	25	72.0	8.0	8.0	0.0	4.0
	50代	27	66.7	14.8	3.7	0.0	0.0
	60代	27	88.9	0.0	3.7	0.0	3.7
	70代以上	12	83.3	8.3	0.0	0.0	0.0

		合計	F5 お住まいのエリア				
			福岡県以外 の九州	下関市	下関市以外 の山口県	その他	無回答
全体	2016年度調査	162	2.5	1.9	2.5	3.7	1.9
	2004年度調査	123	0.8		3.2	1.6	4.1
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	2.2	1.1	4.5	6.7	1.1
	3～5回	50	4.0	4.0	0.0	0.0	2.0
	6～9回	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10回以上	6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	2.9	1.9	2.9	2.9	1.0
	まあ満足している	49	2.0	0.0	2.0	6.1	4.1
	あまり満足していない	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	2.9	1.4	4.3	5.8	2.9
	ない	90	2.2	1.1	1.1	2.2	1.1
性別	男性	44	0.0	2.3	2.3	4.5	0.0
	女性	115	3.5	1.7	2.6	3.5	0.0
年齢	10代	25	0.0	0.0	4.0	4.0	0.0
	20代	15	0.0	6.7	6.7	13.3	0.0
	30代	22	4.5	0.0	4.5	0.0	0.0
	40代	25	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0
	50代	27	11.1	0.0	0.0	3.7	0.0
	60代	27	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0
	70代以上	12	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0

(5) 参加した講座やワークショップ

Q1

- ・参加した講座やワークショップで最も多かったのは、「創造参加(青い鳥公演など)」で46.3%、次いで「演劇ワークショップ」(29.0%)、「ダンスワークショップ」(22.2%)となっている。
- ・講座やワークショップの参加頻度別に見ると、「10回以上」の参加者は「演劇ワークショップ」が83.3%で最も多い。性別で見ると、「男性」では31.8%が「ダンスワークショップ」に参加している。年齢別に見ると、「70代以上」では「創造参加(青い鳥公演など)」が91.7%と非常に高い割合を占めている。

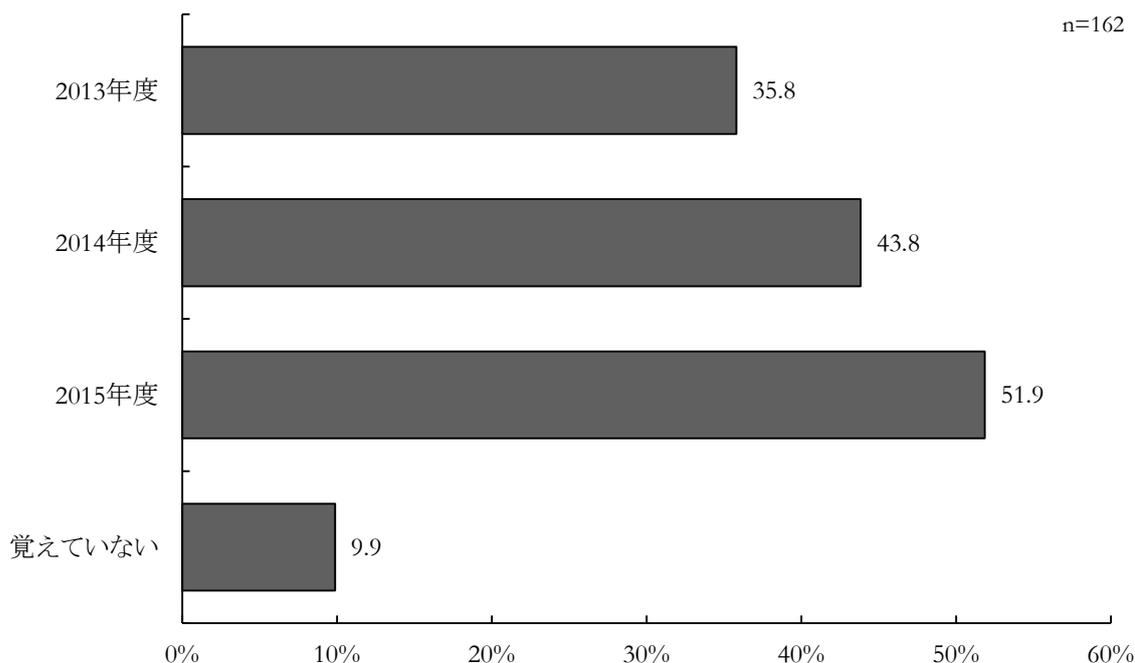


		合計	Q1 参加された講座やワークショップは、次のうちどれですか。						
			戯曲講座	アーティスト育成講座(シアターラボなど)	ダンスワークショップ	演劇ワークショップ	アーツマネジメント講座(劇場塾など)	創造参加(青い鳥公演など)	無回答
全体	2016年度調査	162	4.9	10.5	22.2	29.0	16.0	46.3	2.5
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1~2回	89	3.4	6.7	15.7	25.8	12.4	39.3	1.1
	3~5回	50	2.0	8.0	24.0	28.0	24.0	58.0	0.0
	6~9回	12	16.7	33.3	50.0	33.3	8.3	50.0	0.0
	10回以上	6	33.3	50.0	66.7	83.3	33.3	50.0	0.0
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	4.8	10.6	26.0	30.8	15.4	43.3	1.0
	まあ満足している	49	6.1	10.2	16.3	30.6	16.3	53.1	2.0
	あまり満足していない	5	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	40.0	20.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	8.7	15.9	33.3	36.2	20.3	30.4	1.4
	ない	90	2.2	6.7	13.3	24.4	13.3	58.9	2.2
性別	男性	44	4.5	20.5	31.8	27.3	15.9	29.5	6.8
	女性	115	5.2	7.0	19.1	28.7	15.7	52.2	0.9
年齢	10代	25	8.0	16.0	4.0	64.0	4.0	36.0	0.0
	20代	15	13.3	33.3	0.0	33.3	46.7	20.0	0.0
	30代	22	4.5	13.6	31.8	36.4	18.2	27.3	0.0
	40代	25	4.0	8.0	20.0	24.0	28.0	36.0	0.0
	50代	27	3.7	7.4	44.4	18.5	14.8	37.0	3.7
	60代	27	3.7	3.7	33.3	11.1	3.7	74.1	3.7
	70代以上	12	0.0	0.0	0.0	16.7	8.3	91.7	8.3

(6) 講座やワークショップに参加した年

Q2

- ・講座やワークショップに参加した年は、「2015年度」が51.9%、「2014年度」が43.8%、「2013年度」が35.8%となっている。
- ・年齢別に見ると、「70代以上」は66.7%が「2013年度」の講座やワークショップに参加している。

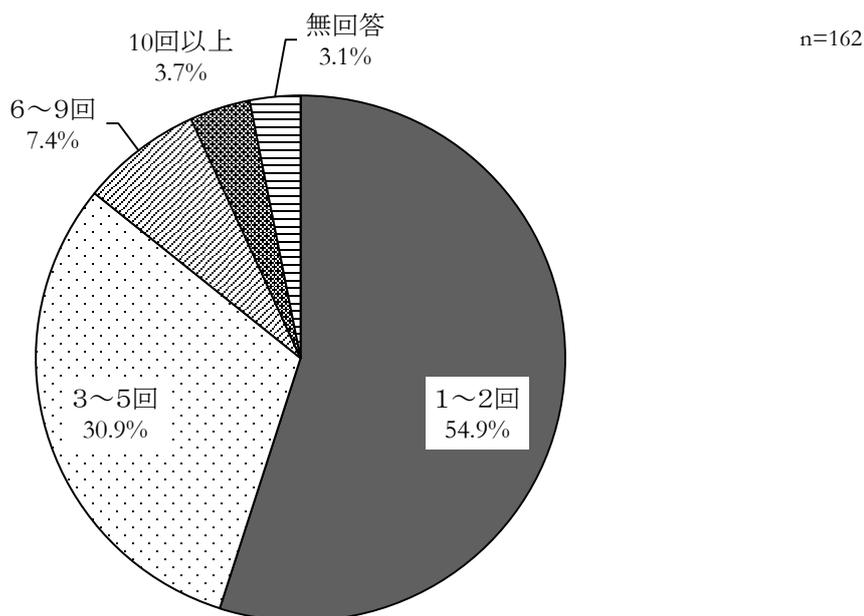


		合計	Q2 講座やワークショップに参加された年はいつでしたか。				
			2013年度	2014年度	2015年度	覚えていない	無回答
全体	2016年度調査	162	35.8	43.8	51.9	9.9	6.8
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	25.8	39.3	42.7	11.2	6.7
	3～5回	50	46.0	56.0	66.0	8.0	2.0
	6～9回	12	41.7	25.0	58.3	16.7	8.3
	10回以上	6	100.0	66.7	66.7	0.0	0.0
	ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	32.7	46.2	58.7	7.7
	まあ満足している	49	42.9	42.9	38.8	14.3	4.1
	あまり満足していない	5	0.0	0.0	60.0	20.0	20.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	34.8	44.9	52.2	10.1	7.2
	ない	90	35.6	43.3	52.2	10.0	5.6
性別	男性	44	36.4	36.4	50.0	18.2	11.4
	女性	115	34.8	46.1	52.2	7.0	5.2
年齢	10代	25	20.0	36.0	72.0	0.0	4.0
	20代	15	13.3	33.3	53.3	13.3	13.3
	30代	22	31.8	31.8	31.8	13.6	13.6
	40代	25	40.0	48.0	40.0	24.0	0.0
	50代	27	48.1	48.1	59.3	3.7	3.7
	60代	27	37.0	55.6	51.9	11.1	7.4
	70代以上	12	66.7	41.7	50.0	8.3	8.3

(7) 北九州芸術劇場での講座やワークショップの参加回数

Q3

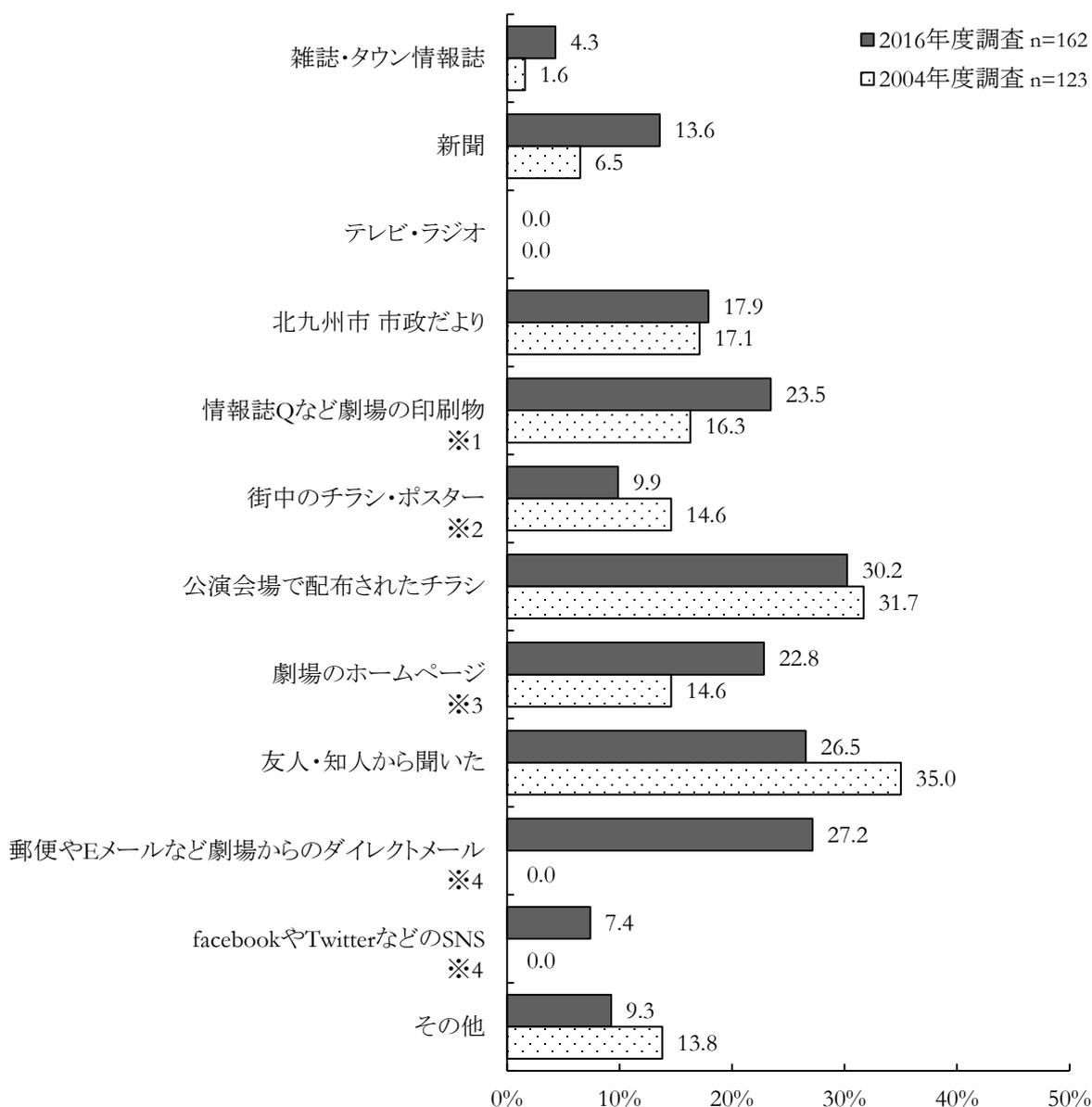
- ・北九州芸術劇場での講座やワークショップに参加した回数は「1～2回」が54.9%と過半数となっており、「3～5回」が30.9%、「6～9回」が7.4%、「10回以上」が3.7%となっている。
- ・北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験が「ある」場合は、「6～9回」が11.6%、「10回以上」が7.2%となっており、北九州芸術劇場以外の参加経験が「ない」場合に比べて、参加回数が多くなっている。



		合計	Q3 今までに北九州芸術劇場の講座やワークショップには、何回ぐらい参加されましたか。				
			1～2回	3～5回	6～9回	10回以上	無回答
全体	2016年度調査	162	54.9	30.9	7.4	3.7	3.1
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3～5回	50	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	6～9回	12	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	10回以上	6	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	55.8	31.7	6.7	3.8	1.9
	まあ満足している	49	57.1	26.5	10.2	4.1	2.0
	あまり満足していない	5	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	47.8	30.4	11.6	7.2	2.9
	ない	90	61.1	31.1	4.4	1.1	2.2
性別	男性	44	56.8	22.7	9.1	6.8	4.5
	女性	115	54.8	33.9	7.0	1.7	2.6
年齢	10代	25	60.0	32.0	4.0	4.0	0.0
	20代	15	60.0	26.7	6.7	0.0	6.7
	30代	22	63.6	27.3	9.1	0.0	0.0
	40代	25	64.0	28.0	4.0	4.0	0.0
	50代	27	48.1	29.6	7.4	11.1	3.7
	60代	27	55.6	33.3	11.1	0.0	0.0
	70代以上	12	41.7	25.0	16.7	0.0	16.7

・情報入手経路は、「公演会場で配布されたチラシ」が30.2%で最も高く、次いで「郵便やEメールなど劇場からのダイレクトメール」が27.2%、「友人・知人から聞いた」が26.5%となっている。「その他」(9.3%)の自由記述では「小学校で配られたチラシ」が多い。2004年度調査では「友人・知人から聞いた」が35.0%で最も高く、次いで「公演会場で配布されたチラシ」が31.7%、「北九州市 市政だより」が17.1%という順になっており、情報入手経路は大きく変化したことが明らかとなっている。

・性別で見ると、「男性」は「公演会場で配布されたチラシ」が、「女性」は「郵便やEメールなど劇場からのダイレクトメール」が最も高い。年齢別に見ると、「30代」では「情報誌Qなど劇場の印刷物」、「60代」では「新聞」、「10代」と「70代以上」では「友人・知人から聞いた」が、それぞれ最も高い情報入手経路となっており、世代によって異なっている。



※1...2004年度調査は「ステージ通信Qなど」と表記

※2...2004年度は「チラシ・ポスター」と表記

※3...2004年度調査は「インターネット・ホームページ」と表記

※4...2004年度調査は選択肢を設けていない

(8) 講座やワークショップに関する情報入手経路

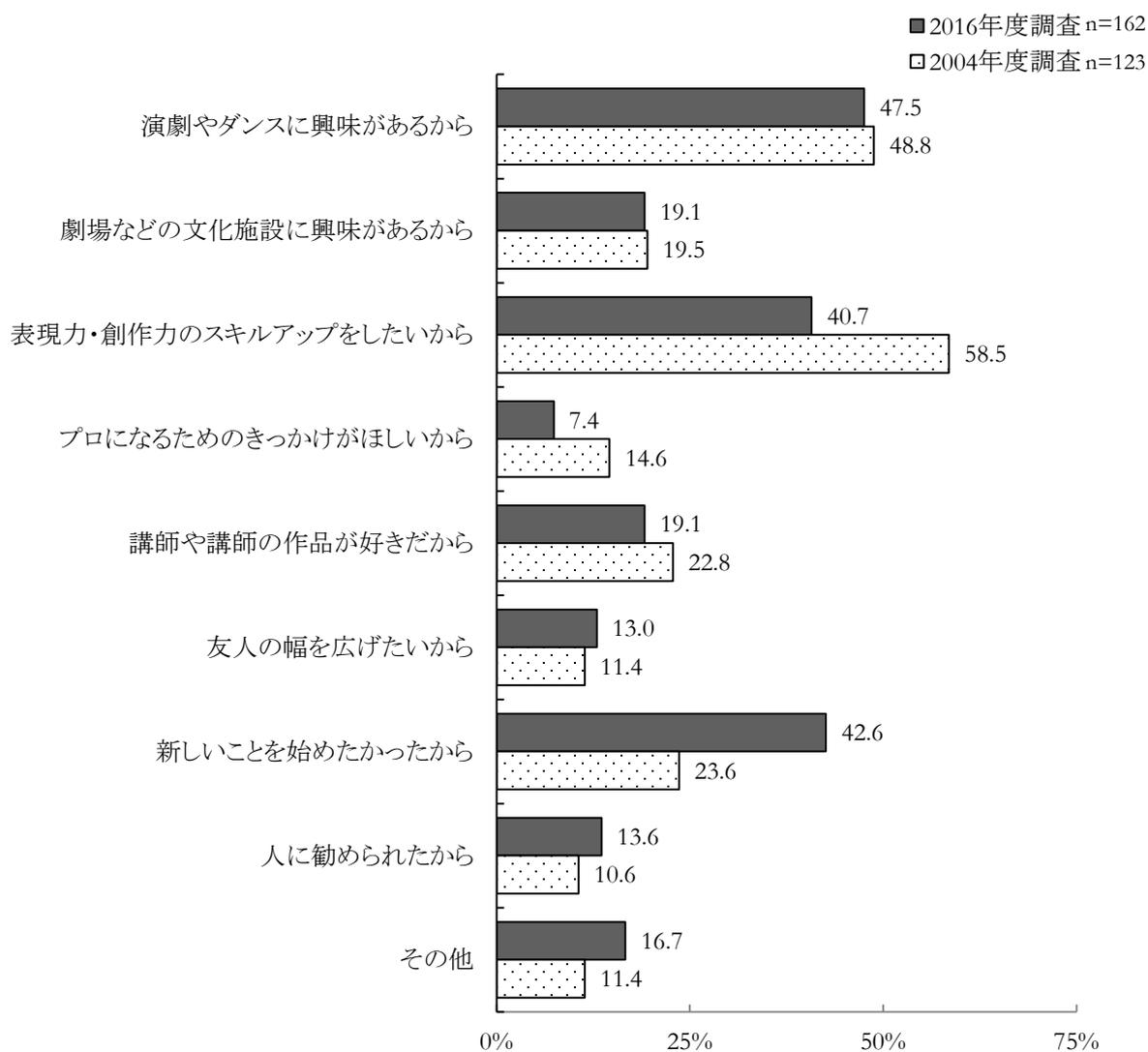
Q4

		合計	Q4 講座やワークショップに関する情報は、どのようにして入手されましたか。						
			雑誌・タウン情報誌	新聞	テレビ・ラジオ	北九州市市政だより	情報誌Qなど劇場の印刷物	街中のチラシ・ポスター	公演会場で配布されたチラシ
全体	2016年度調査	162	4.3	13.6	0.0	17.9	23.5	9.9	30.2
	2004年度調査	123	1.6	6.5	0.0	17.1	16.3	14.6	31.7
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	4.5	14.6	0.0	16.9	12.4	9.0	19.1
	3～5回	50	6.0	12.0	0.0	14.0	36.0	12.0	38.0
	6～9回	12	0.0	16.7	0.0	25.0	41.7	8.3	66.7
	10回以上	6	0.0	16.7	0.0	33.3	66.7	16.7	83.3
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	4.8	10.6	0.0	14.4	22.1	10.6	34.6
	まあ満足している	49	4.1	20.4	0.0	26.5	26.5	10.2	20.4
	あまり満足していない	5	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	60.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	4.3	10.1	0.0	18.8	24.6	5.8	36.2
	ない	90	4.4	15.6	0.0	17.8	22.2	13.3	26.7
性別	男性	44	0.0	11.4	0.0	13.6	20.5	11.4	38.6
	女性	115	6.1	13.9	0.0	18.3	25.2	9.6	27.0
年齢	10代	25	8.0	0.0	0.0	0.0	20.0	16.0	32.0
	20代	15	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	20.0	40.0
	30代	22	0.0	0.0	0.0	22.7	40.9	13.6	27.3
	40代	25	8.0	8.0	0.0	4.0	20.0	4.0	24.0
	50代	27	0.0	14.8	0.0	11.1	18.5	11.1	40.7
	60代	27	7.4	48.1	0.0	37.0	25.9	7.4	22.2
	70代以上	12	8.3	16.7	0.0	41.7	25.0	0.0	25.0

		合計	Q4 講座やワークショップに関する情報は、どのようにして入手されましたか。					
			劇場のホームページ	友人・知人から聞いた	郵便やEメールなど劇場からのダイレクトメール	facebookやTwitterなどのSNS	その他	無回答
全体	2016年度調査	162	22.8	26.5	27.2	7.4	9.3	1.9
	2004年度調査	123	14.6	35.0			13.8	
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	12.4	29.2	16.9	6.7	9.0	0.0
	3～5回	50	30.0	26.0	40.0	4.0	14.0	0.0
	6～9回	12	66.7	33.3	41.7	16.7	0.0	0.0
	10回以上	6	50.0	0.0	50.0	33.3	0.0	0.0
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	24.0	29.8	28.8	8.7	12.5	1.0
	まあ満足している	49	24.5	20.4	24.5	6.1	2.0	0.0
	あまり満足していない	5	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	20.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	31.9	29.0	26.1	14.5	4.3	1.4
	ない	90	16.7	24.4	28.9	2.2	13.3	1.1
性別	男性	44	29.5	25.0	25.0	13.6	2.3	4.5
	女性	115	20.0	27.0	27.8	5.2	12.2	0.9
年齢	10代	25	32.0	44.0	28.0	12.0	20.0	0.0
	20代	15	26.7	26.7	26.7	0.0	6.7	0.0
	30代	22	31.8	27.3	13.6	9.1	9.1	0.0
	40代	25	16.0	24.0	36.0	12.0	20.0	0.0
	50代	27	33.3	29.6	33.3	14.8	0.0	3.7
	60代	27	11.1	7.4	29.6	0.0	3.7	0.0
	70代以上	12	0.0	33.3	25.0	0.0	0.0	8.3

・参加した理由は、「演劇やダンスに興味があるから」が47.5%で最も高く、次いで「新しいことを始めたかったから」が42.6%、「表現力・創作力のスキルアップをしたいから」が40.7%という順になっている。2004年度調査では、「表現力・創作力のスキルアップをしたいから」(58.5%)、「演劇やダンスに興味があるから」(48.8%)、「新しいことを始めたかったから」(23.6%)となっており、「新しいことを始めたかったから」という参加の動機が大幅に増えている。

・北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの経験が「ある」場合は「演劇やダンスに興味があるから」、「ない」場合は「新しいことを始めたかったから」という理由が最も高く、同様の傾向が、男性と女性の違いにも表れている。また、年齢別に見ると、「10代」では「表現力・創作力のスキルアップをしたいから」が最も高いなど、世代によって異なっている。



※2004年度調査では、参加した理由について以下の選択肢も含めて尋ねている。

・コミュニケーション能力を身につけたい(18.7%)

(9) 参加した理由

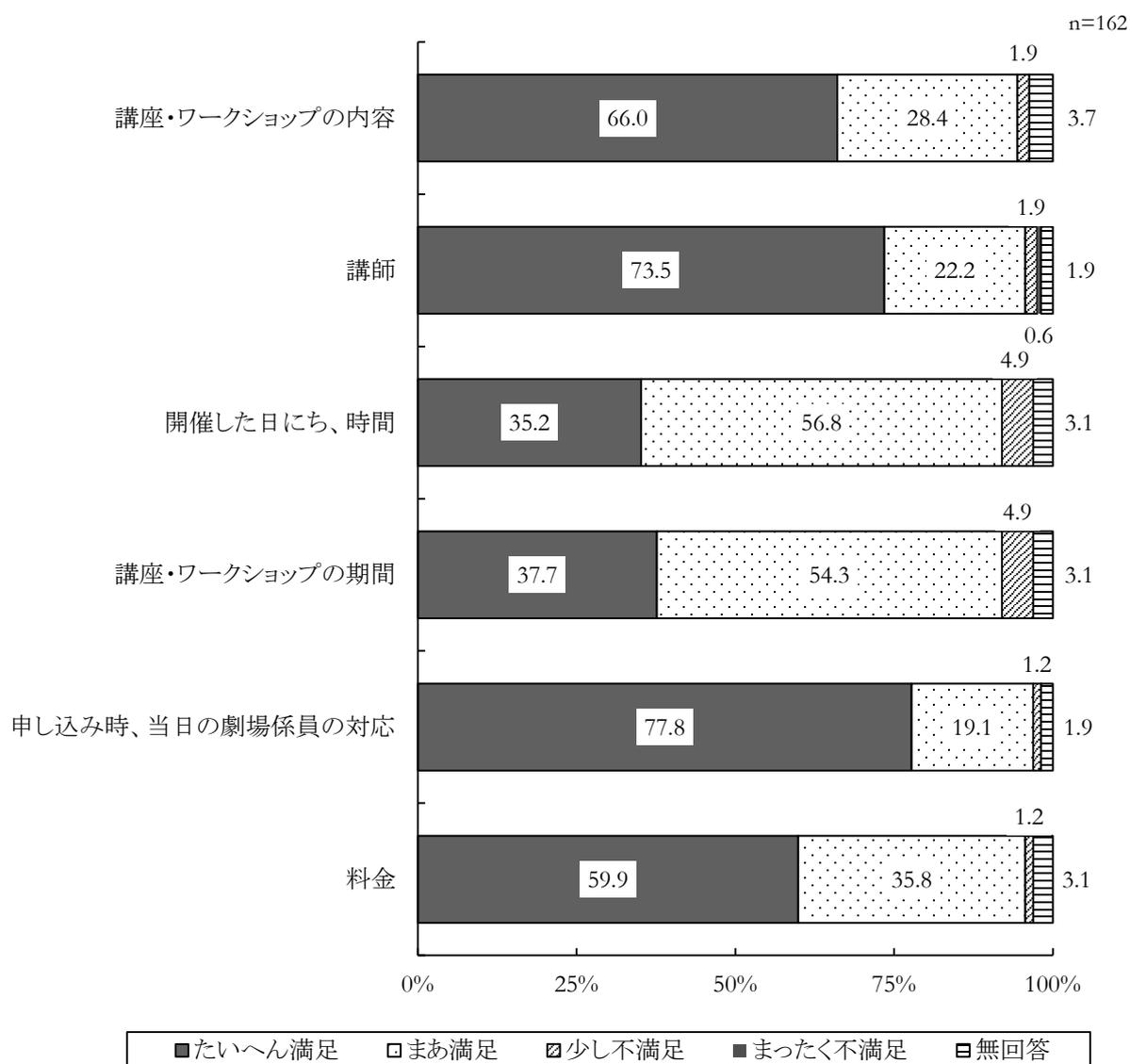
Q5

		合計	Q5 参加された理由は次のうちどれですか。				
			演劇やダンスに興味があるから	劇場などの文化施設に興味があるから	表現力・創作力のスキルアップをしたいから	プロになるためのきっかけがほしいから	講師や講師の作品が好きだから
全体	2016年度調査	162	47.5	19.1	40.7	7.4	19.1
	2004年度調査	123	48.8	19.5	58.5	14.6	22.8
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	40.4	15.7	31.5	5.6	16.9
	3～5回	50	56.0	22.0	48.0	8.0	20.0
	6～9回	12	66.7	25.0	75.0	25.0	25.0
	10回以上	6	66.7	50.0	83.3	0.0	33.3
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	48.1	16.3	44.2	8.7	22.1
	まあ満足している	49	49.0	26.5	38.8	6.1	16.3
	あまり満足していない	5	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	68.1	21.7	56.5	10.1	26.1
	ない	90	32.2	17.8	28.9	5.6	14.4
性別	男性	44	54.5	18.2	45.5	9.1	15.9
	女性	115	45.2	19.1	38.3	7.0	20.0
年齢	10代	25	56.0	16.0	64.0	16.0	32.0
	20代	15	66.7	26.7	40.0	20.0	20.0
	30代	22	68.2	40.9	40.9	13.6	13.6
	40代	25	32.0	24.0	32.0	4.0	20.0
	50代	27	51.9	11.1	44.4	0.0	22.2
	60代	27	33.3	7.4	33.3	3.7	7.4
	70代以上	12	33.3	16.7	16.7	0.0	25.0

		合計	Q5 参加された理由は次のうちどれですか。				
			友人の幅を広げたいから	新しいことを始めたから	人に勧められたから	その他	無回答
全体	2016年度調査	162	13.0	42.6	13.6	16.7	1.9
	2004年度調査	123	11.4	23.6	10.6	11.4	0.0
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	12.4	40.4	11.2	18.0	0.0
	3～5回	50	10.0	46.0	18.0	18.0	0.0
	6～9回	12	25.0	66.7	25.0	8.3	0.0
	10回以上	6	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	9.6	42.3	15.4	18.3	1.0
	まあ満足している	49	22.4	46.9	10.2	12.2	0.0
	あまり満足していない	5	0.0	20.0	0.0	40.0	20.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	11.6	31.9	8.7	7.2	1.4
	ない	90	14.4	51.1	17.8	24.4	1.1
性別	男性	44	6.8	27.3	9.1	9.1	4.5
	女性	115	14.8	48.7	15.7	20.0	0.9
年齢	10代	25	8.0	16.0	28.0	4.0	0.0
	20代	15	26.7	33.3	6.7	20.0	0.0
	30代	22	18.2	40.9	22.7	9.1	0.0
	40代	25	12.0	48.0	12.0	28.0	0.0
	50代	27	11.1	44.4	14.8	33.3	3.7
	60代	27	11.1	70.4	0.0	3.7	0.0
	70代以上	12	0.0	41.7	8.3	25.0	8.3

・参加した講座やワークショップの満足度を、6項目について聞いたところ、「たいへん満足」という積極的な評価の割合が高いのは「申し込み時、当日の劇場係員の対応」が77.8%、「講師」が73.5%、「講座・ワークショップの内容」が66.0%となっている。2004年度調査と比較すると、6項目すべてで「たいへん満足」の割合は向上しており、とくに「申し込み時、当日の劇場係員の対応」は63.4%から14.4ポイントも向上している。

・一方、「少し不満」という評価は「開催した日にち、時間」と「講座・ワークショップの期間」でともに4.9%となっている。



(10) 参加した講座やワークショップの満足度

Q6

		合計	Q6-1 講座・ワークショップの内容				
			たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答
全体	2016年度調査	162	66.0	28.4	1.9	0.0	3.7
	2004年度調査	123	62.6	32.5	2.4	0.0	2.4
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	71.9	22.5	2.2	0.0	3.4
	3～5回	50	56.0	40.0	2.0	0.0	2.0
	6～9回	12	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	10回以上	6	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	88.5	9.6	0.0	0.0	1.9
	まあ満足している	49	30.6	65.3	2.0	0.0	2.0
	あまり満足していない	5	0.0	40.0	40.0	0.0	20.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	60.9	33.3	1.4	0.0	4.3
	ない	90	72.2	24.4	2.2	0.0	1.1
性別	男性	44	59.1	34.1	0.0	0.0	6.8
	女性	115	68.7	26.1	2.6	0.0	2.6
年齢	10代	25	68.0	24.0	4.0	0.0	4.0
	20代	15	66.7	26.7	6.7	0.0	0.0
	30代	22	59.1	36.4	0.0	0.0	4.5
	40代	25	76.0	20.0	4.0	0.0	0.0
	50代	27	63.0	29.6	0.0	0.0	7.4
	60代	27	70.4	25.9	0.0	0.0	3.7
	70代以上	12	58.3	41.7	0.0	0.0	0.0

		合計	Q6-2 講師				
			たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答
全体	2016年度調査	162	73.5	22.2	1.9	0.6	1.9
	2004年度調査	123	72.4	21.1	2.4	0.8	3.3
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	80.9	14.6	2.2	1.1	1.1
	3～5回	50	64.0	34.0	2.0	0.0	0.0
	6～9回	12	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	10回以上	6	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	92.3	5.8	1.0	0.0	1.0
	まあ満足している	49	42.9	57.1	0.0	0.0	0.0
	あまり満足していない	5	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	72.5	24.6	1.4	1.4	0.0
	ない	90	75.6	20.0	2.2	0.0	2.2
性別	男性	44	63.6	25.0	2.3	2.3	6.8
	女性	115	78.3	20.0	1.7	0.0	0.0
年齢	10代	25	88.0	12.0	0.0	0.0	0.0
	20代	15	80.0	13.3	6.7	0.0	0.0
	30代	22	72.7	22.7	0.0	4.5	0.0
	40代	25	80.0	16.0	4.0	0.0	0.0
	50代	27	70.4	22.2	0.0	0.0	7.4
	60代	27	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	70代以上	12	66.7	25.0	8.3	0.0	0.0

(10) 参加した講座やワークショップの満足度

Q6

		合計	Q6-3 開催した日にち、時間				
			たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答
全体	2016年度調査	162	35.2	56.8	4.9	0.0	3.1
	2004年度調査	123	29.3	56.9	11.4	0.0	2.4
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	39.3	55.1	3.4	0.0	2.2
	3～5回	50	32.0	62.0	6.0	0.0	0.0
	6～9回	12	16.7	66.7	8.3	0.0	8.3
	10回以上	6	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	43.3	50.0	4.8	0.0	1.9
	まあ満足している	49	24.5	67.3	6.1	0.0	2.0
	あまり満足していない	5	0.0	80.0	0.0	0.0	20.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	36.2	59.4	2.9	0.0	1.4
	ない	90	35.6	54.4	6.7	0.0	3.3
性別	男性	44	22.7	70.5	0.0	0.0	6.8
	女性	115	40.0	51.3	7.0	0.0	1.7
年齢	10代	25	36.0	56.0	8.0	0.0	0.0
	20代	15	26.7	60.0	13.3	0.0	0.0
	30代	22	31.8	68.2	0.0	0.0	0.0
	40代	25	44.0	56.0	0.0	0.0	0.0
	50代	27	22.2	63.0	7.4	0.0	7.4
	60代	27	48.1	44.4	3.7	0.0	3.7
	70代以上	12	41.7	41.7	8.3	0.0	8.3

		合計	Q6-4 講座・ワークショップの期間				
			たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答
全体	2016年度調査	162	37.7	54.3	4.9	0.0	3.1
	2004年度調査	123	26.0	55.3	14.6	0.8	3.3
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	39.3	53.9	4.5	0.0	2.2
	3～5回	50	42.0	54.0	4.0	0.0	0.0
	6～9回	12	16.7	66.7	8.3	0.0	8.3
	10回以上	6	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	50.0	45.2	1.9	0.0	2.9
	まあ満足している	49	16.3	71.4	12.2	0.0	0.0
	あまり満足していない	5	0.0	80.0	0.0	0.0	20.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	31.9	62.3	4.3	0.0	1.4
	ない	90	42.2	48.9	5.6	0.0	3.3
性別	男性	44	20.5	68.2	2.3	0.0	9.1
	女性	115	45.2	48.7	5.2	0.0	0.9
年齢	10代	25	52.0	40.0	8.0	0.0	0.0
	20代	15	33.3	60.0	6.7	0.0	0.0
	30代	22	40.9	54.5	4.5	0.0	0.0
	40代	25	36.0	64.0	0.0	0.0	0.0
	50代	27	25.9	63.0	3.7	0.0	7.4
	60代	27	44.4	44.4	7.4	0.0	3.7
	70代以上	12	41.7	50.0	0.0	0.0	8.3

(10) 参加した講座やワークショップの満足度

Q6

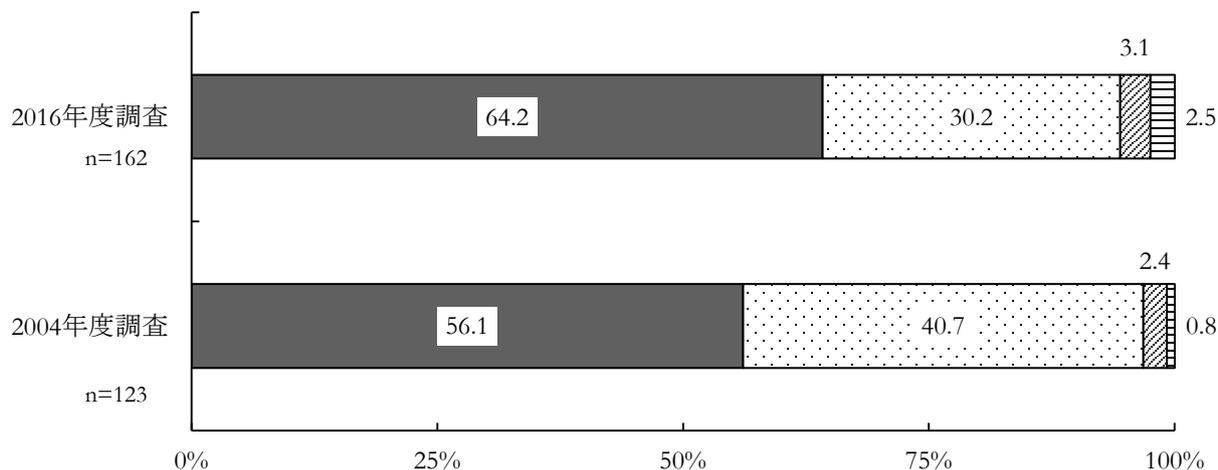
		合計	Q6-5 申し込み時、当日の劇場係員の対応				
			たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答
全体	2016年度調査	162	77.8	19.1	1.2	0.0	1.9
	2004年度調査	123	63.4	32.5	0.0	0.8	3.3
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	79.8	16.9	2.2	0.0	1.1
	3～5回	50	78.0	22.0	0.0	0.0	0.0
	6～9回	12	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	10回以上	6	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	88.5	10.6	0.0	0.0	1.0
	まあ満足している	49	61.2	36.7	2.0	0.0	0.0
	あまり満足していない	5	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	75.4	23.2	1.4	0.0	0.0
	ない	90	80.0	16.7	1.1	0.0	2.2
性別	男性	44	72.7	18.2	2.3	0.0	6.8
	女性	115	80.0	19.1	0.9	0.0	0.0
年齢	10代	25	84.0	16.0	0.0	0.0	0.0
	20代	15	73.3	26.7	0.0	0.0	0.0
	30代	22	77.3	18.2	4.5	0.0	0.0
	40代	25	84.0	16.0	0.0	0.0	0.0
	50代	27	81.5	11.1	0.0	0.0	7.4
	60代	27	74.1	25.9	0.0	0.0	0.0
	70代以上	12	75.0	16.7	8.3	0.0	0.0

		合計	Q6-6 料金				
			たいへん満足	まあ満足	少し不満足	まったく不満足	無回答
全体	2016年度調査	162	59.9	35.8	1.2	0.0	3.1
	2004年度調査	123	51.2	37.4	7.3	0.0	4.1
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	65.2	32.6	0.0	0.0	2.2
	3～5回	50	50.0	46.0	4.0	0.0	0.0
	6～9回	12	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	10回以上	6	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	73.1	23.1	1.0	0.0	2.9
	まあ満足している	49	34.7	63.3	2.0	0.0	0.0
	あまり満足していない	5	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	68.1	30.4	0.0	0.0	1.4
	ない	90	53.3	41.1	2.2	0.0	3.3
性別	男性	44	61.4	31.8	0.0	0.0	6.8
	女性	115	59.1	37.4	1.7	0.0	1.7
年齢	10代	25	56.0	32.0	8.0	0.0	4.0
	20代	15	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	30代	22	63.6	36.4	0.0	0.0	0.0
	40代	25	68.0	32.0	0.0	0.0	0.0
	50代	27	59.3	33.3	0.0	0.0	7.4
	60代	27	59.3	40.7	0.0	0.0	0.0
	70代以上	12	50.0	41.7	0.0	0.0	8.3

(11) 参加した講座やワークショップについての総合的な意見(満足度)

Q7

- ・参加した講座やワークショップの総合的な満足度は、「たいへん満足」という積極的な評価が64.2%、「まあ満足」が30.2%で、肯定的な評価は94.4%となっている。2004年度調査では、「たいへん満足」が56.1%で「まあ満足」が40.7%となっている。
- ・年齢別に見たところ、「10代」で「たいへん満足」が84.0%と高い割合を占めている。



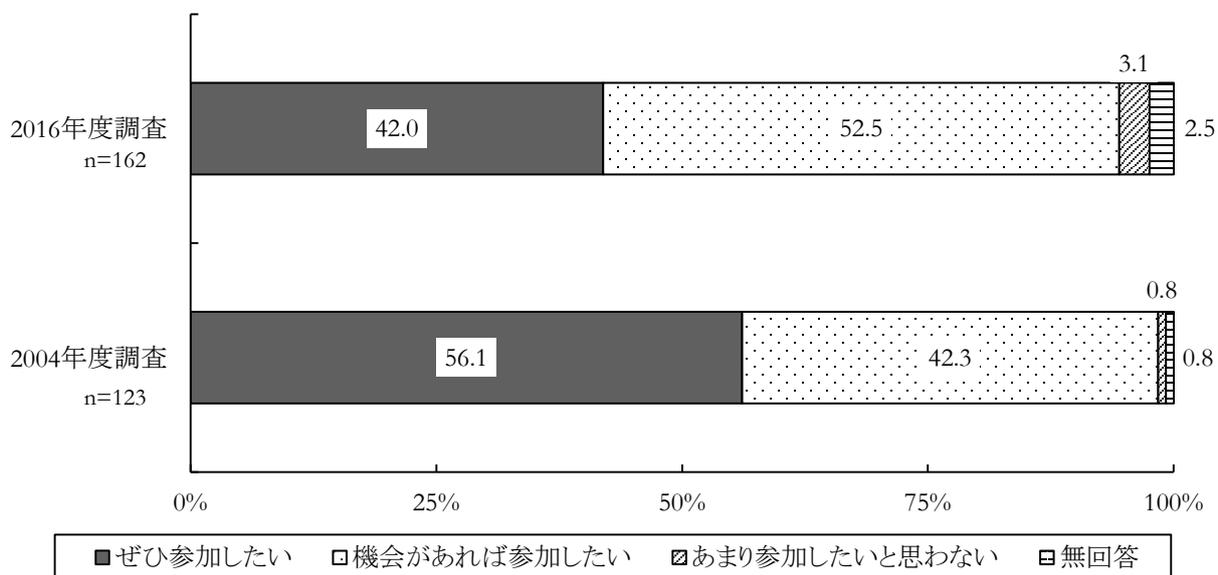
■たいへん満足している □まあ満足している ▨あまり満足していない ■まったく満足していない □無回答

		合計	Q7 ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な意見をお聞かせください。				
			たいへん満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	無回答
全体	2016年度調査	162	64.2	30.2	3.1	0.0	2.5
	2004年度調査	123	56.1	40.7	2.4	0.0	0.8
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	65.2	31.5	2.2	0.0	1.1
	3～5回	50	66.0	26.0	4.0	0.0	4.0
	6～9回	12	58.3	41.7	0.0	0.0	0.0
	10回以上	6	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まあ満足している	49	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	あまり満足していない	5	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	65.2	30.4	2.9	0.0	1.4
	ない	90	65.6	31.1	3.3	0.0	0.0
性別	男性	44	56.8	31.8	4.5	0.0	6.8
	女性	115	67.8	28.7	2.6	0.0	0.9
年齢	10代	25	84.0	16.0	0.0	0.0	0.0
	20代	15	66.7	26.7	6.7	0.0	0.0
	30代	22	54.5	40.9	4.5	0.0	0.0
	40代	25	68.0	28.0	4.0	0.0	0.0
	50代	27	66.7	25.9	3.7	0.0	3.7
	60代	27	55.6	40.7	0.0	0.0	3.7
	70代以上	12	58.3	33.3	0.0	0.0	8.3

(12) 今後の参加の意向

Q8

・今後の参加の意向について、「ぜひ参加したい」という積極的な意向は42.0%、「機会があれば参加したい」は52.5%で、前向きな意向は94.4%となっている。2004年度調査では、「ぜひ参加したい」が56.1%で「機会があれば参加したい」が42.3%となっている。
 ・年齢別に見ると、「10代」と「20代」は「ぜひ参加したい」が他の年代に比べて高くなっている。

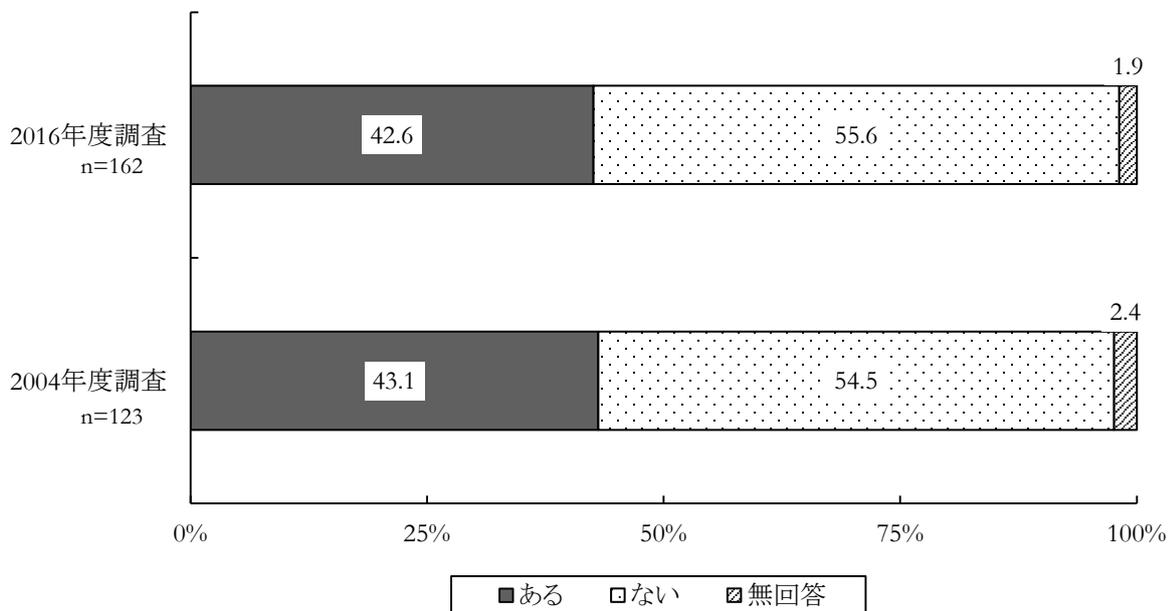


		合計	Q8 今後も、北九州芸術劇場で行われる講座やワークショップに参加したいと思いますか。			
			ぜひ参加したい	機会があれば参加したい	あまり参加したいと思わない	無回答
全体	2016年度調査	162	42.0	52.5	3.1	2.5
	2004年度調査	123	56.1	42.3	0.8	0.8
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	36.0	58.4	4.5	1.1
	3～5回	50	48.0	50.0	0.0	2.0
	6～9回	12	50.0	41.7	0.0	8.3
	10回以上	6	83.3	16.7	0.0	0.0
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	51.0	49.0	0.0	0.0
	まあ満足している	49	30.6	63.3	4.1	2.0
	あまり満足していない	5	0.0	40.0	60.0	0.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	49.3	46.4	2.9	1.4
	ない	90	37.8	58.9	3.3	0.0
性別	男性	44	43.2	47.7	4.5	4.5
	女性	115	42.6	53.0	2.6	1.7
年齢	10代	25	56.0	40.0	4.0	0.0
	20代	15	60.0	33.3	6.7	0.0
	30代	22	45.5	50.0	4.5	0.0
	40代	25	28.0	72.0	0.0	0.0
	50代	27	44.4	44.4	7.4	3.7
	60代	27	44.4	48.1	0.0	7.4
	70代以上	12	16.7	83.3	0.0	0.0

(13) 北九州芸術劇場以外での講座やワークショップ参加経験

Q9

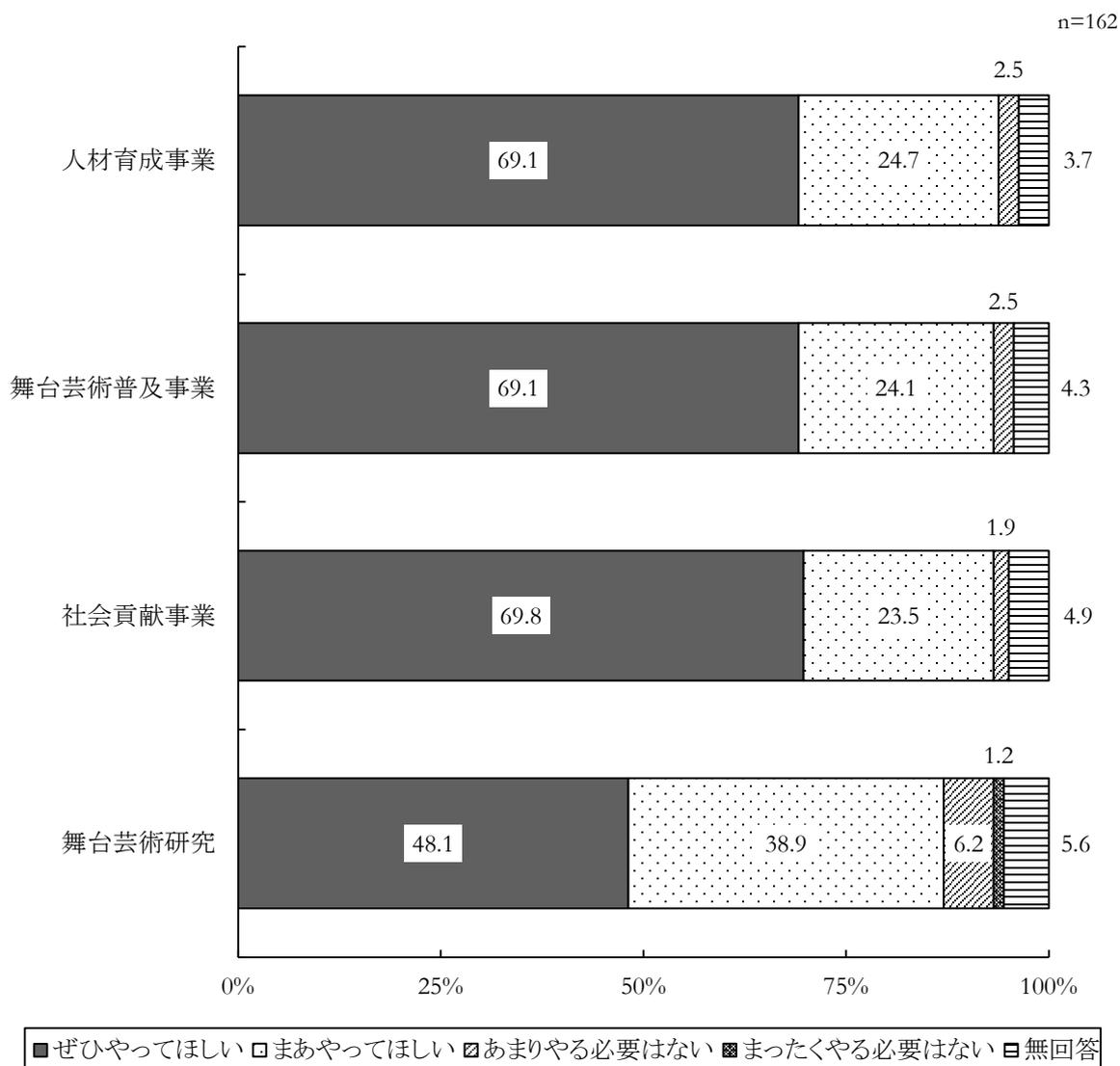
・北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験が「ある」のは42.6%、「ない」のは55.6%となっており、2004年度調査の「ある」(43.1%)、「ない」(54.5%)と、大きな変化はない。
 ・北九州芸術劇場での講座やワークショップの参加頻度が高いほど、北九州芸術劇場以外の講座やワークショップに参加した経験が「ある」割合は高くなっている。年齢別に見ると、「20代」と「70代以上」で北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験が「ある」割合が、他の世代に比べて高い。



		Q9 北九州芸術劇場以外で、演劇やダンスなど舞台芸術に関わる講座やワークショップに参加したことはありますか。			
		合計	ある	ない	無回答
全体	2016年度調査	162	42.6	55.6	1.9
	2004年度調査	123	43.1	54.5	2.4
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	37.1	61.8	1.1
	3～5回	50	42.0	56.0	2.0
	6～9回	12	66.7	33.3	0.0
	10回以上	6	83.3	16.7	0.0
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	43.3	56.7	0.0
	まあ満足している	49	42.9	57.1	0.0
	あまり満足していない	5	40.0	60.0	0.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	100.0	0.0	0.0
	ない	90	0.0	100.0	0.0
性別	男性	44	43.2	52.3	4.5
	女性	115	41.7	57.4	0.9
年齢	10代	25	40.0	60.0	0.0
	20代	15	53.3	46.7	0.0
	30代	22	45.5	54.5	0.0
	40代	25	44.0	56.0	0.0
	50代	27	40.7	55.6	3.7
	60代	27	29.6	66.7	3.7
	70代以上	12	58.3	41.7	0.0

・北九州芸術劇場が学芸事業として柱としている4つの事業について、「ぜひやってほしい」という積極的な意見が高いのが「社会貢献事業」(69.8%)、次いで「人材育成事業」、「舞台芸術普及事業」(ともに69.1%)、「舞台芸術研究」(48.1%)となっている。2004年度調査と比較すると「ぜひやってほしい」という意見が増えているのは「社会貢献事業」(+3.1ポイント)、「人材育成事業」(+2.4ポイント)、「舞台芸術研究」(+0.1ポイント)となっている。

・年齢別に見ると、「舞台芸術研究」では「50代」、「60代」で、「ぜひやってほしい」という積極的な意見よりも「まあやってほしい」という消極的な意見が上回っている。



(14) 学芸事業への意見

Q10

		合計	Q10-1 人材育成事業				
			ぜひやってほしい	まあやってほしい	あまりやる必要はない	まったくやる必要はない	無回答
全体	2016年度調査	162	69.1	24.7	2.5	0.0	3.7
	2004年度調査	123	66.7	27.6	0.8	0.8	4.1
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	68.5	27.0	3.4	0.0	1.1
	3～5回	50	72.0	20.0	2.0	0.0	6.0
	6～9回	12	75.0	16.7	0.0	0.0	8.3
	10回以上	6	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	76.9	21.2	1.0	0.0	1.0
	まあ満足している	49	59.2	34.7	6.1	0.0	0.0
	あまり満足していない	5	60.0	20.0	0.0	0.0	20.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	79.7	15.9	1.4	0.0	2.9
	ない	90	63.3	32.2	3.3	0.0	1.1
性別	男性	44	72.7	20.5	0.0	0.0	6.8
	女性	115	68.7	25.2	3.5	0.0	2.6
年齢	10代	25	64.0	32.0	4.0	0.0	0.0
	20代	15	86.7	13.3	0.0	0.0	0.0
	30代	22	77.3	22.7	0.0	0.0	0.0
	40代	25	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	50代	27	70.4	25.9	0.0	0.0	3.7
	60代	27	59.3	33.3	0.0	0.0	7.4
	70代以上	12	58.3	16.7	16.7	0.0	8.3

		合計	Q10-2 舞台芸術普及事業				
			ぜひやってほしい	まあやってほしい	あまりやる必要はない	まったくやる必要はない	無回答
全体	2016年度調査	162	69.1	24.1	2.5	0.0	4.3
	2004年度調査	123	72.4	22.8	0.8	0.0	4.1
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	69.7	25.8	3.4	0.0	1.1
	3～5回	50	70.0	24.0	0.0	0.0	6.0
	6～9回	12	66.7	16.7	8.3	0.0	8.3
	10回以上	6	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	77.9	20.2	0.0	0.0	1.9
	まあ満足している	49	59.2	34.7	6.1	0.0	0.0
	あまり満足していない	5	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	75.4	18.8	1.4	0.0	4.3
	ない	90	66.7	28.9	3.3	0.0	1.1
性別	男性	44	72.7	15.9	4.5	0.0	6.8
	女性	115	68.7	26.1	1.7	0.0	3.5
年齢	10代	25	64.0	36.0	0.0	0.0	0.0
	20代	15	86.7	6.7	6.7	0.0	0.0
	30代	22	77.3	22.7	0.0	0.0	0.0
	40代	25	68.0	32.0	0.0	0.0	0.0
	50代	27	70.4	25.9	0.0	0.0	3.7
	60代	27	70.4	18.5	3.7	0.0	7.4
	70代以上	12	50.0	16.7	16.7	0.0	16.7

(14) 学芸事業への意見

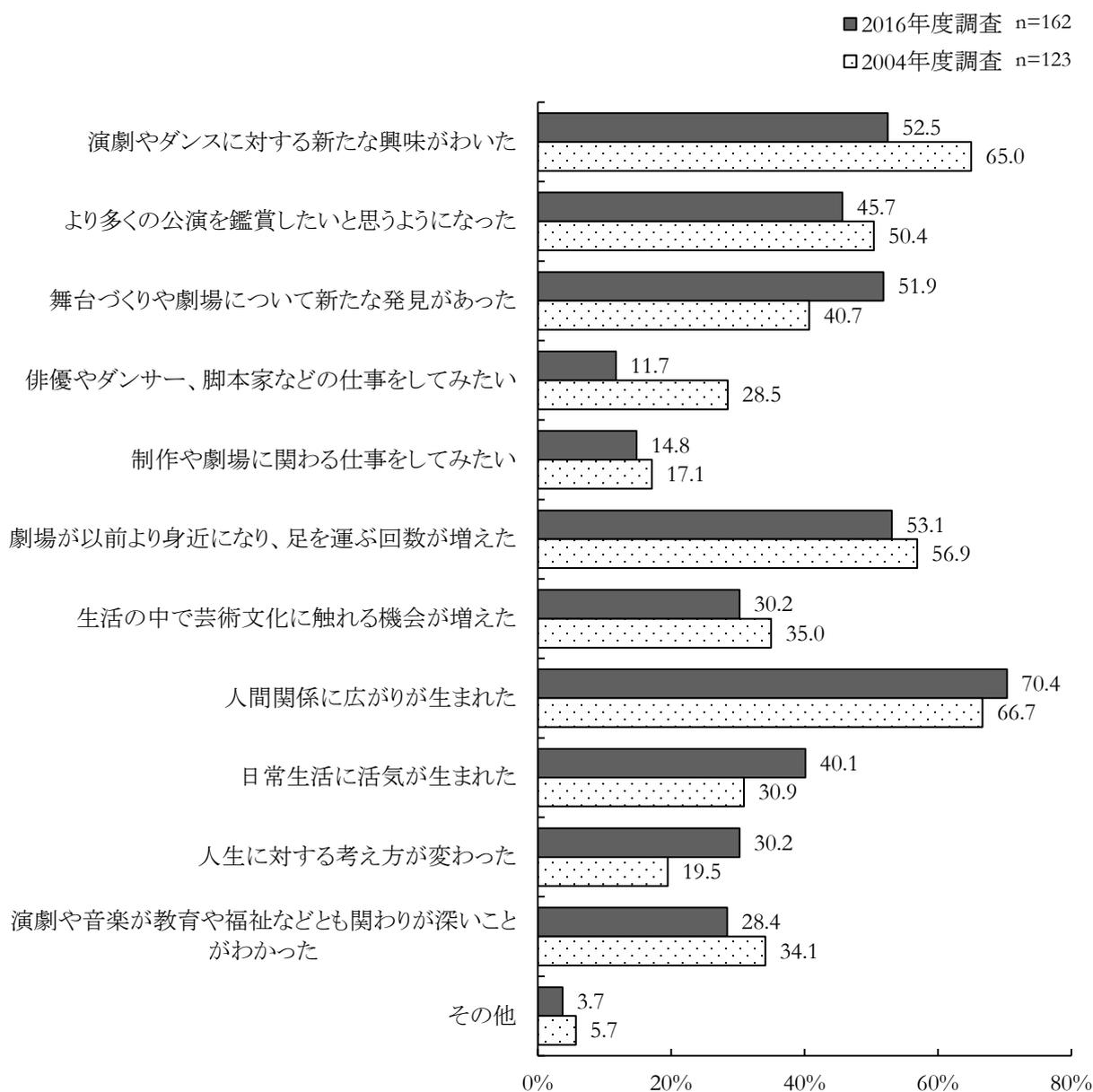
Q10

		合計	Q10-3 社会貢献事業				
			ぜひやってほしい	まあやってほしい	あまりやる必要はない	まったくやる必要はない	無回答
全体	2016年度調査	162	69.8	23.5	1.9	0.0	4.9
	2004年度調査	123	66.7	28.5	1.6	0.0	3.3
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	69.7	24.7	3.4	0.0	2.2
	3～5回	50	68.0	26.0	0.0	0.0	6.0
	6～9回	12	83.3	8.3	0.0	0.0	8.3
	10回以上	6	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	79.8	18.3	0.0	0.0	1.9
	まあ満足している	49	57.1	36.7	4.1	0.0	2.0
	あまり満足していない	5	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	66.7	24.6	2.9	0.0	5.8
	ない	90	74.4	23.3	1.1	0.0	1.1
性別	男性	44	70.5	18.2	4.5	0.0	6.8
	女性	115	70.4	24.3	0.9	0.0	4.3
年齢	10代	25	64.0	36.0	0.0	0.0	0.0
	20代	15	73.3	26.7	0.0	0.0	0.0
	30代	22	68.2	22.7	4.5	0.0	4.5
	40代	25	84.0	16.0	0.0	0.0	0.0
	50代	27	77.8	18.5	0.0	0.0	3.7
	60代	27	70.4	22.2	0.0	0.0	7.4
	70代以上	12	41.7	25.0	16.7	0.0	16.7

		合計	Q10-4 舞台芸術研究				
			ぜひやってほしい	まあやってほしい	あまりやる必要はない	まったくやる必要はない	無回答
全体	2016年度調査	162	48.1	38.9	6.2	1.2	5.6
	2004年度調査	123	48.0	39.0	8.1	0.0	4.9
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	47.2	41.6	6.7	2.2	2.2
	3～5回	50	50.0	36.0	6.0	0.0	8.0
	6～9回	12	41.7	41.7	8.3	0.0	8.3
	10回以上	6	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	57.7	37.5	1.9	0.0	2.9
	まあ満足している	49	34.7	46.9	14.3	2.0	2.0
	あまり満足していない	5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	53.6	33.3	4.3	1.4	7.2
	ない	90	45.6	44.4	7.8	1.1	1.1
性別	男性	44	52.3	29.5	9.1	0.0	9.1
	女性	115	47.0	41.7	5.2	1.7	4.3
年齢	10代	25	48.0	48.0	4.0	0.0	0.0
	20代	15	53.3	33.3	6.7	6.7	0.0
	30代	22	68.2	18.2	9.1	0.0	4.5
	40代	25	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	50代	27	40.7	48.1	7.4	0.0	3.7
	60代	27	37.0	51.9	3.7	0.0	7.4
	70代以上	12	33.3	16.7	16.7	8.3	25.0

・講座やワークショップに参加した影響や効果については、「人間関係に広がり生まれた」が70.4%、「劇場が以前より身近になり、足を運ぶ回数が増えた」が53.1%、「演劇やダンスに対する新たな興味がわいた」が52.5%という順になっている。2004年度調査では、「人間関係に広がり生まれた」(66.7%)、「演劇やダンスに対する新たな興味がわいた」(65.0%)、「劇場が以前より身近になり、足を運ぶ回数が増えた」(56.9%)となっており、「演劇やダンスに対する新たな興味がわいた」の割合が12.5ポイント減少している。

・北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度が多いほど「演劇やダンスに対する新たな興味がわいた」の割合が高くなっている。年齢別に見ると、「70代以上」では、「劇場が以前より身近になり、足を運ぶ回数が増えた」がともに83.3%と最も多い割合となっている。



※2004年度調査では、講座やワークショップの影響や効果について、以下の選択肢も尋ねている。

- ・仕事や活動の幅、可能性が広がった(43.1%)
- ・演劇や音楽がコミュニケーションに役立つことを実感した(37.4%)

(15) 講座やワークショップの影響や効果

Q11

		合計	Q11 講座やワークショップに参加してどのように感じられましたか。						
			演劇やダンスに対する新たな興味がわいた	より多くの公演を鑑賞したいと思うようになった	舞台づくりや劇場について新たな発見があった	俳優やダンサー、脚本家などの仕事をしてみたい	制作や劇場に関わる仕事をしてみたい	劇場が以前より身近になり、足を運ぶ回数が増えた	生活の中で芸術文化に触れる機会が増えた
全体	2016年度調査	162	52.5	45.7	51.9	11.7	14.8	53.1	30.2
	2004年度調査	123	65.0	50.4	40.7	28.5	17.1	56.9	35.0
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	50.6	40.4	50.6	10.1	12.4	42.7	28.1
	3～5回	50	52.0	50.0	56.0	12.0	18.0	66.0	30.0
	6～9回	12	58.3	58.3	66.7	25.0	25.0	75.0	50.0
	10回以上	6	83.3	50.0	50.0	16.7	16.7	50.0	50.0
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	60.6	55.8	54.8	14.4	14.4	55.8	30.8
	まあ満足している	49	44.9	28.6	53.1	8.2	18.4	55.1	34.7
	あまり満足していない	5	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	53.6	46.4	47.8	18.8	20.3	55.1	27.5
	ない	90	53.3	46.7	56.7	6.7	11.1	53.3	33.3
性別	男性	44	52.3	43.2	40.9	9.1	15.9	52.3	36.4
	女性	115	52.2	47.8	56.5	12.2	14.8	52.2	27.8
年齢	10代	25	44.0	52.0	56.0	24.0	28.0	40.0	20.0
	20代	15	53.3	40.0	46.7	26.7	33.3	46.7	26.7
	30代	22	59.1	68.2	68.2	22.7	45.5	45.5	59.1
	40代	25	48.0	48.0	52.0	8.0	4.0	72.0	16.0
	50代	27	63.0	48.1	63.0	3.7	0.0	55.6	51.9
	60代	27	51.9	29.6	48.1	0.0	0.0	44.4	18.5
	70代以上	12	33.3	41.7	25.0	0.0	8.3	83.3	16.7

		合計	Q11 講座やワークショップに参加してどのように感じられましたか。					
			人間関係に広がり生まれた	日常生活に活気が生まれた	人生に対する考え方が変わった	演劇や音楽が教育や福祉などとも関わりが深いことがわかった	その他	無回答
全体	2016年度調査	162	70.4	40.1	30.2	28.4	3.7	4.3
	2004年度調査	123	66.7	30.9	19.5	34.1	5.7	0.8
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	71.9	34.8	24.7	24.7	4.5	2.2
	3～5回	50	66.0	44.0	34.0	28.0	2.0	6.0
	6～9回	12	75.0	66.7	66.7	50.0	0.0	8.3
	10回以上	6	66.7	50.0	33.3	66.7	16.7	0.0
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	77.9	44.2	31.7	30.8	1.9	1.0
	まあ満足している	49	65.3	38.8	32.7	26.5	6.1	2.0
	あまり満足していない	5	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	68.1	43.5	30.4	31.9	4.3	2.9
	ない	90	74.4	38.9	31.1	26.7	3.3	2.2
性別	男性	44	72.7	34.1	27.3	20.5	2.3	9.1
	女性	115	70.4	42.6	30.4	31.3	3.5	2.6
年齢	10代	25	68.0	16.0	12.0	4.0	0.0	0.0
	20代	15	66.7	20.0	26.7	20.0	13.3	0.0
	30代	22	81.8	54.5	40.9	27.3	4.5	0.0
	40代	25	72.0	40.0	40.0	48.0	4.0	0.0
	50代	27	81.5	63.0	51.9	48.1	3.7	3.7
	60代	27	77.8	48.1	22.2	29.6	0.0	7.4
	70代以上	12	41.7	33.3	8.3	16.7	0.0	16.7

・講座やワークショップに参加したことによる生活や生き方の変化を自由記述で聞いたところ、多数の意見が寄せられた。以下に主な意見を抽出、整理している。

・日常生活に活気が生まれ、人生感が変化したといった内面の変化だけでなく、他者との交流、親子関係の深まりといった人間関係の広がりや変化に関する意見もある。また、演劇やダンスに対する新たな興味がわいたり、劇場を身近に感じて足を運ぶ回数が増えるといった、舞台芸術や劇場に対する興味・関心が高まったという意見や、演劇などを通じて福祉、教育、地域などに活用することへの気づきについての意見も見られた。

◎日常生活に活気が生まれた

- ・日常生活、地域活動等で前向きになった。
- ・行動が積極的になり、人の話を聞けるようになりました。
- ・日頃、経験できない新しいことを経験でき楽しかった。日常生活に活気が生まれた。

◎人生に対する考え方が変わった

- ・自分のことを客観的にみることができたので感情のコントロールに役立った。
- ・参加されている方に会うことで自分ももっと向上したいと思えるようになっていくこと。
- ・残りの人生楽しく前向きにがんばろうと思うようになりました。

◎人間関係に広がり生まれた

- ・普段の生活では限られる人間関係とは別に幅広い年代と交流をもったことで、理解が高まった。
- ・同じ趣味を持つ事で連帯感が生まれ、たくさんの優しい気持ちに出会う事ができ心が癒やされます。
- ・親と子という垣根を超え同等の立場で過ごした時間はとても貴重なものとなり、その後の関係がより親密に仲良くなれたと思います。

◎演劇やダンスに対する新たな興味がわいた

- ・普段の生活から演劇のことを考えるようになった。
- ・演劇がなくてはならないものになった。
- ・参加したWSや講座で知り合った人と企画や公演で関わることができた。

◎劇場が以前より身近になり、足を運ぶ回数が増えた

- ・劇場がとても身近な存在になった。
- ・何より劇場がとても身近に感じられ、足を運ぶ回数が随分と増えました。
- ・劇場は知っていたが、長年、劇場の機能を一部しか知らなかったことに気づき、とてももったいないと思った。

◎演劇や音楽が教育や福祉などとも関わりが深いことがわかった

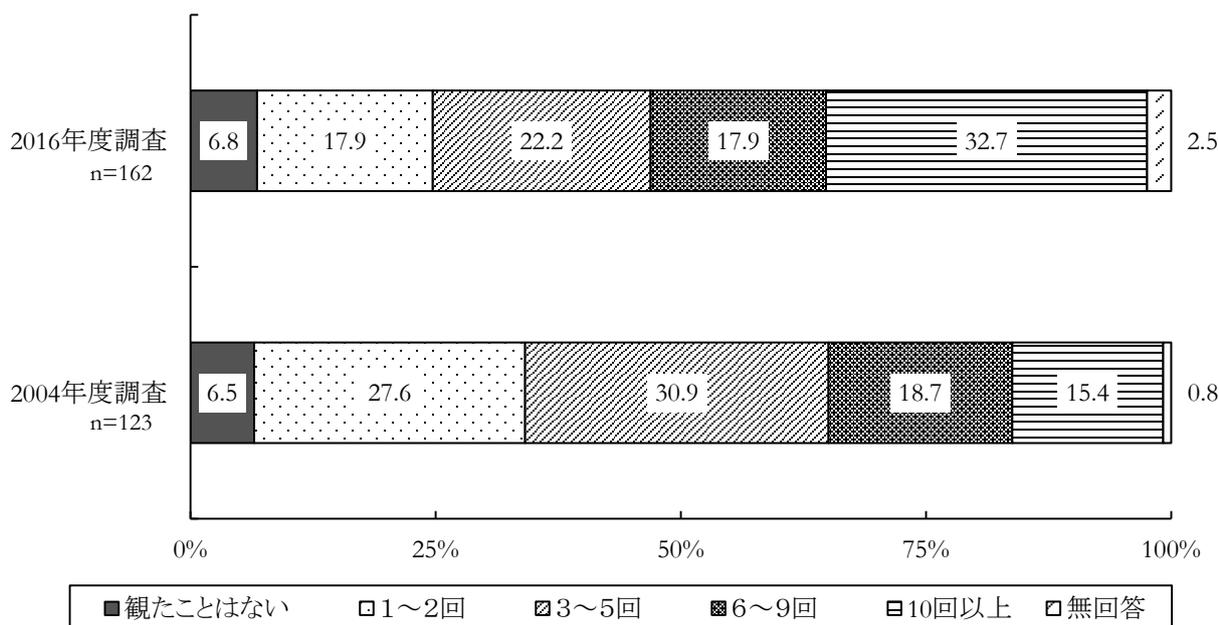
- ・私の中で福祉と芸術に関する考え方が変わったと思います。
- ・大学で社会福祉を専攻していました。演劇・ダンス・音楽などの芸術と福祉の関わりを深く実感します。
- ・学校で生徒達が楽しそうにダンスに取り組んでいる姿を拝見し、ダンスをとても身近に感じました。
- ・アートを使ったワークショップを福祉が地域のつながりのために活用できるということを学びました。

◎その他

- ・地域の人たちと積極的にコミュニケーションをとることから始まると思えました。
- ・普段の生活では関わる事のない北九州という土地で新しい人とのつながりが生まれたことで、そのワークショップの後、出会った人と一緒にお芝居をつくることができました。
- ・税金がこのような事業に使われていることを知り税金を納めることに納得している。

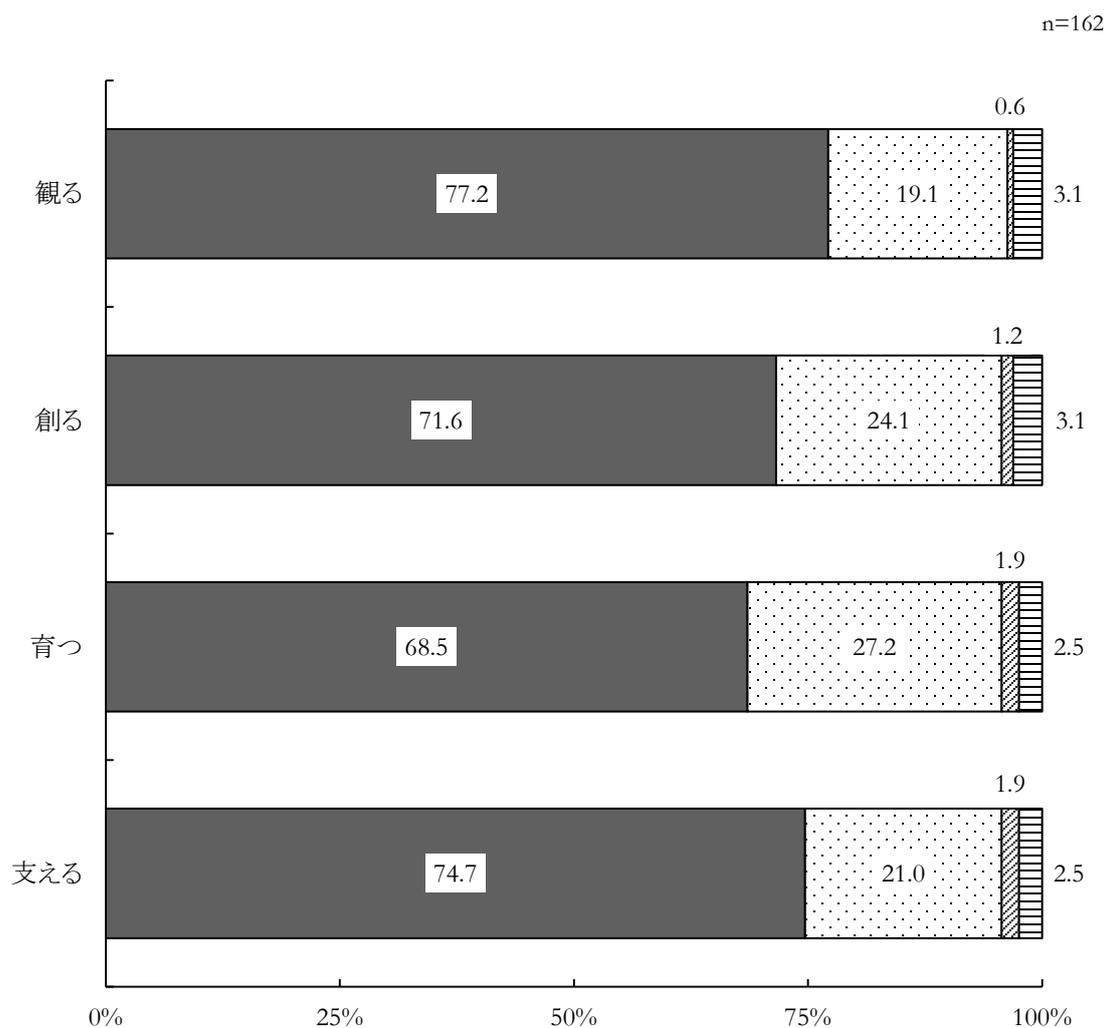
・北九州芸術劇場での鑑賞回数は、「10回以上」が32.7%で最も高く、「3～5回」が22.2%、「1～2回」と「6～9回」がそれぞれ17.9%となっている。6回以上が50.6%と過半数となっている。2004年度調査では、「3～5回」が30.9%で最も高く、6回以上（「6～9回」+「10回以上」）が34.1%となっており、ワークショップや講座の参加者による鑑賞回数は増えている。

・北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度が高くなればなるほど、鑑賞回数も増える傾向がある。また、年齢別に見ると、「10代」では「3～5回」、「20代」では「1～2回」、「30代」では「6～9回」が最も高い。



		合計	Q13 今までに北九州芸術劇場で何回ぐらい公演をご覧になりましたか。					
			観たことはない	1～2回	3～5回	6～9回	10回以上	無回答
全体	2016年度調査	162	6.8	17.9	22.2	17.9	32.7	2.5
	2004年度調査	123	6.5	27.6	30.9	18.7	15.4	0.8
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	9.0	23.6	27.0	16.9	21.3	2.2
	3～5回	50	6.0	12.0	22.0	20.0	36.0	4.0
	6～9回	12	0.0	0.0	8.3	16.7	75.0	0.0
	10回以上	6	0.0	0.0	0.0	16.7	83.3	0.0
	ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	7.7	18.3	22.1	16.3	31.7
まあ満足している	49	4.1	16.3	26.5	20.4	32.7	0.0	
あまり満足していない	5	20.0	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	
まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	10.1	8.7	18.8	21.7	39.1	1.4
	ない	90	4.4	24.4	25.6	15.6	26.7	3.3
性別	男性	44	2.3	18.2	25.0	18.2	34.1	2.3
	女性	115	8.7	18.3	20.9	18.3	31.3	2.6
年齢	10代	25	8.0	24.0	28.0	16.0	24.0	0.0
	20代	15	6.7	33.3	13.3	20.0	20.0	6.7
	30代	22	4.5	4.5	27.3	31.8	27.3	4.5
	40代	25	16.0	20.0	8.0	20.0	32.0	4.0
	50代	27	11.1	14.8	18.5	14.8	40.7	0.0
	60代	27	0.0	22.2	33.3	3.7	37.0	3.7
	70代以上	12	0.0	16.7	16.7	25.0	41.7	0.0

・北九州芸術劇場の運営方針については、「ぜひやってほしい」との積極的な意見が「観る」が77.2%、「支える」が74.7%、「創る」が71.6%、「育つ」が68.5%となっている。「ぜひやってほしい」と「まあやってほしい」を合わせた肯定的な意見は4つすべてで95%を超えている。2004年度調査では「支える」が項目にはなく、「育つ」が75.6%となっていた。



■ぜひやってほしい □まあやってほしい ▨あまりやる必要はない ▩まったくやる必要はない □無回答

(18) 北九州芸術劇場の運営方針への意見

Q14

		合計	Q14-1 観る				
			ぜひやってほしい	まあやってほしい	あまりやる必要はない	まったくやる必要はない	無回答
全体	2016年度調査	162	77.2	19.1	0.6	0.0	3.1
	2004年度調査	123	76.4	20.3	0.8	0.0	2.4
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	77.5	18.0	1.1	0.0	3.4
	3～5回	50	76.0	22.0	0.0	0.0	2.0
	6～9回	12	75.0	16.7	0.0	0.0	8.3
	10回以上	6	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	80.8	13.5	1.0	0.0	4.8
	まあ満足している	49	73.5	26.5	0.0	0.0	0.0
	あまり満足していない	5	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	79.7	15.9	1.4	0.0	2.9
	ない	90	76.7	20.0	0.0	0.0	3.3
性別	男性	44	72.7	22.7	0.0	0.0	4.5
	女性	115	78.3	18.3	0.9	0.0	2.6
年齢	10代	25	88.0	12.0	0.0	0.0	0.0
	20代	15	73.3	20.0	0.0	0.0	6.7
	30代	22	81.8	13.6	0.0	0.0	4.5
	40代	25	72.0	24.0	0.0	0.0	4.0
	50代	27	74.1	25.9	0.0	0.0	0.0
	60代	27	74.1	18.5	3.7	0.0	3.7
	70代以上	12	58.3	33.3	0.0	0.0	8.3

		合計	Q14-2 創る				
			ぜひやってほしい	まあやってほしい	あまりやる必要はない	まったくやる必要はない	無回答
全体	2016年度調査	162	71.6	24.1	1.2	0.0	3.1
	2004年度調査	123	69.1	24.4	1.6	0.0	4.9
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	69.7	27.0	1.1	0.0	2.2
	3～5回	50	72.0	22.0	2.0	0.0	4.0
	6～9回	12	66.7	25.0	0.0	0.0	8.3
	10回以上	6	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	80.8	14.4	1.0	0.0	3.8
	まあ満足している	49	55.1	42.9	2.0	0.0	0.0
	あまり満足していない	5	60.0	20.0	0.0	0.0	20.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	78.3	17.4	1.4	0.0	2.9
	ない	90	66.7	28.9	1.1	0.0	3.3
性別	男性	44	77.3	20.5	0.0	0.0	2.3
	女性	115	69.6	25.2	1.7	0.0	3.5
年齢	10代	25	84.0	16.0	0.0	0.0	0.0
	20代	15	66.7	26.7	0.0	0.0	6.7
	30代	22	63.6	31.8	0.0	0.0	4.5
	40代	25	68.0	28.0	0.0	0.0	4.0
	50代	27	81.5	18.5	0.0	0.0	0.0
	60代	27	70.4	25.9	0.0	0.0	3.7
	70代以上	12	58.3	33.3	8.3	0.0	0.0

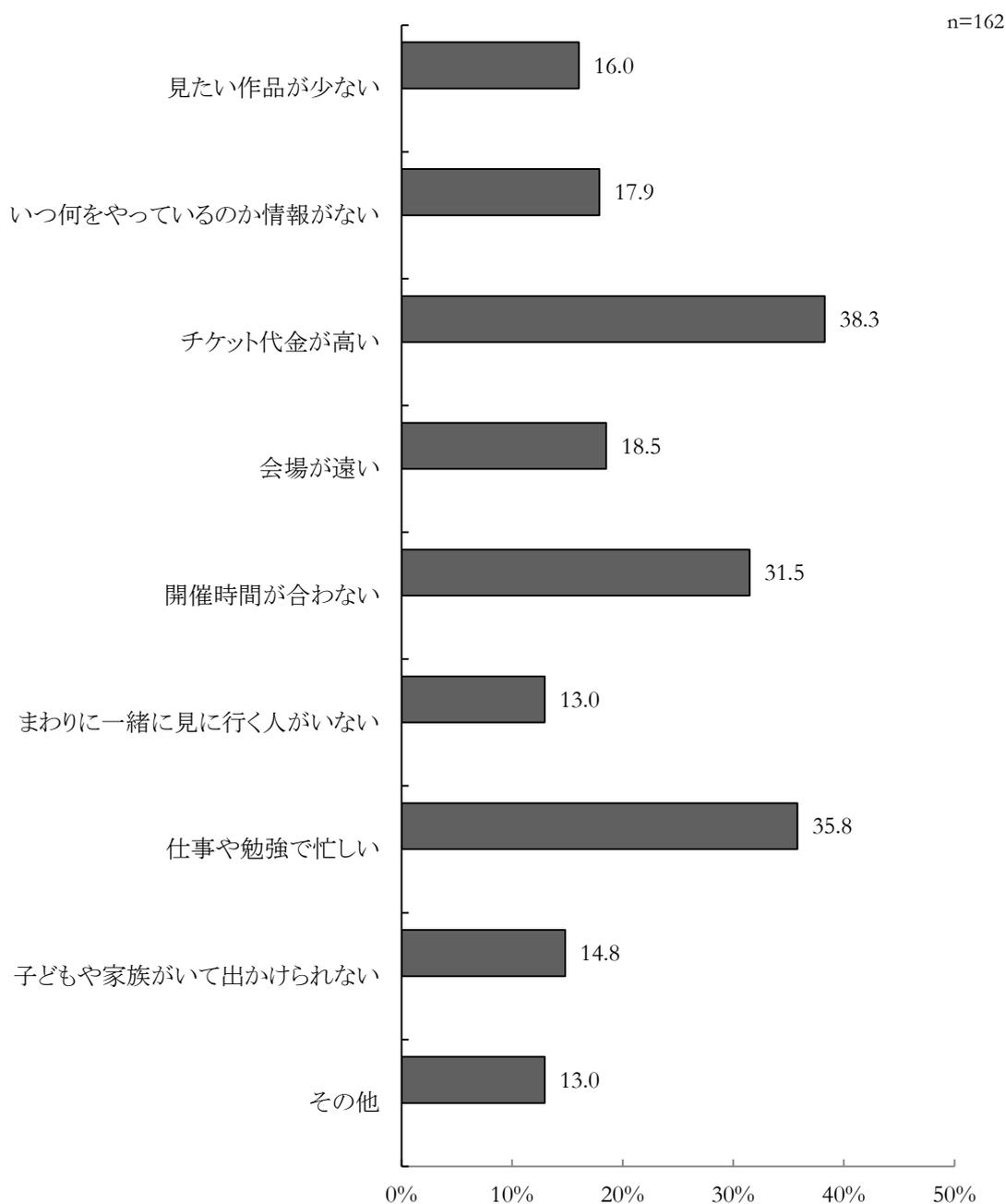
(18) 北九州芸術劇場の運営方針への意見

Q14

		合計	Q14-3 育つ				
			ぜひやってほしい	まあやってほしい	あまりやる必要はない	まったくやる必要はない	無回答
全体	2016年度調査	162	68.5	27.2	1.9	0.0	2.5
	2004年度調査	123	75.6	18.7	1.6	0.8	3.3
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	65.2	29.2	3.4	0.0	2.2
	3～5回	50	70.0	28.0	0.0	0.0	2.0
	6～9回	12	66.7	25.0	0.0	0.0	8.3
	10回以上	6	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	76.9	18.3	1.0	0.0	3.8
	まあ満足している	49	57.1	38.8	4.1	0.0	0.0
	あまり満足していない	5	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	73.9	23.2	0.0	0.0	2.9
	ない	90	65.6	28.9	3.3	0.0	2.2
性別	男性	44	75.0	18.2	4.5	0.0	2.3
	女性	115	66.1	30.4	0.9	0.0	2.6
年齢	10代	25	64.0	36.0	0.0	0.0	0.0
	20代	15	60.0	26.7	6.7	0.0	6.7
	30代	22	68.2	27.3	0.0	0.0	4.5
	40代	25	72.0	24.0	0.0	0.0	4.0
	50代	27	74.1	25.9	0.0	0.0	0.0
	60代	27	70.4	25.9	0.0	0.0	3.7
	70代以上	12	58.3	25.0	16.7	0.0	0.0

		合計	Q14-4 支える				
			ぜひやってほしい	まあやってほしい	あまりやる必要はない	まったくやる必要はない	無回答
全体	2016年度調査	162	74.7	21.0	1.9	0.0	2.5
	2004年度調査	123					
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	74.2	21.3	2.2	0.0	2.2
	3～5回	50	74.0	24.0	0.0	0.0	2.0
	6～9回	12	66.7	16.7	8.3	0.0	8.3
	10回以上	6	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	83.7	12.5	0.0	0.0	3.8
	まあ満足している	49	53.1	40.8	6.1	0.0	0.0
	あまり満足していない	5	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	71.0	24.6	1.4	0.0	2.9
	ない	90	77.8	17.8	2.2	0.0	2.2
性別	男性	44	75.0	20.5	2.3	0.0	2.3
	女性	115	74.8	20.9	1.7	0.0	2.6
年齢	10代	25	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	20代	15	80.0	13.3	0.0	0.0	6.7
	30代	22	72.7	22.7	0.0	0.0	4.5
	40代	25	76.0	20.0	0.0	0.0	4.0
	50代	27	81.5	18.5	0.0	0.0	0.0
	60代	27	70.4	22.2	3.7	0.0	3.7
	70代以上	12	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0

・コンサートや演劇などの公演の妨げになる要因は、「チケット代金が高い」が38.3%と最も高く、次いで「仕事や勉強で忙しい」が35.8%、「開催時間が合わない」が31.5%となっている。「その他」(13.0%)の自由記述を見ると、「駐車場代が高い」「駐車場の不便なこと」といった駐車場に対する意見が複数ある。性別で見ると、「男性」は「開催時間が合わない」、「女性」は「チケット代金が高い」が最も高い。年齢別では、「10代」と「40代」が「仕事や勉強で忙しい」、「50代」が「開催時間が合わない」が最も高い。



(19) コンサートや演劇などの公演の妨げになる要因

Q15

		合計	Q15 コンサートや演劇などの公演の妨げになる要因				
			見たい作品が少ない	いつ何をやっているのか情報がない	チケット代金が高い	会場が遠い	開催時間が合わない
全体	2016年度調査	162	16.0	17.9	38.3	18.5	31.5
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	18.0	28.1	36.0	21.3	25.8
	3～5回	50	14.0	8.0	44.0	20.0	34.0
	6～9回	12	8.3	0.0	33.3	0.0	66.7
	10回以上	6	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	12.5	14.4	38.5	17.3	29.8
	まあ満足している	49	22.4	24.5	42.9	14.3	40.8
	あまり満足していない	5	40.0	20.0	0.0	80.0	0.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	13.0	13.0	34.8	24.6	33.3
	ない	90	18.9	21.1	41.1	13.3	31.1
性別	男性	44	15.9	20.5	25.0	13.6	29.5
	女性	115	15.7	16.5	43.5	20.9	33.0
年齢	10代	25	12.0	12.0	24.0	16.0	20.0
	20代	15	6.7	13.3	46.7	40.0	33.3
	30代	22	27.3	13.6	50.0	22.7	40.9
	40代	25	4.0	24.0	44.0	16.0	28.0
	50代	27	14.8	11.1	37.0	22.2	44.4
	60代	27	22.2	29.6	37.0	11.1	25.9
	70代以上	12	25.0	16.7	33.3	8.3	16.7

		合計	Q15 コンサートや演劇などの公演の妨げになる要因				
			まわりに一緒に見に行く人がいない	仕事や勉強で忙しい	子どもや家族がいて出かけられない	その他	無回答
全体	2016年度調査	162	13.0	35.8	14.8	13.0	5.6
今までの北九州芸術劇場の講座やワークショップの参加頻度	1～2回	89	12.4	33.7	19.1	9.0	5.6
	3～5回	50	16.0	38.0	8.0	22.0	6.0
	6～9回	12	0.0	41.7	25.0	8.3	8.3
	10回以上	6	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
ご参加いただいた講座やワークショップに対する総合的な満足度	たいへん満足している	104	13.5	41.3	11.5	15.4	6.7
	まあ満足している	49	12.2	26.5	22.4	4.1	4.1
	あまり満足していない	5	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0
	まったく満足していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北九州芸術劇場以外での講座やワークショップの参加経験	ある	69	11.6	36.2	18.8	13.0	2.9
	ない	90	14.4	35.6	12.2	12.2	7.8
性別	男性	44	4.5	27.3	11.4	15.9	11.4
	女性	115	16.5	39.1	16.5	12.2	3.5
年齢	10代	25	16.0	68.0	8.0	12.0	4.0
	20代	15	26.7	33.3	6.7	20.0	13.3
	30代	22	22.7	22.7	31.8	0.0	4.5
	40代	25	4.0	48.0	44.0	16.0	4.0
	50代	27	3.7	40.7	7.4	14.8	3.7
	60代	27	18.5	25.9	0.0	3.7	7.4
	70代以上	12	8.3	0.0	8.3	33.3	8.3

・参加した講座やワークショップの内容に関する意見を自由記述で聞いたところ、多数の意見が寄せられた。以下に主な意見を抽出、整理している。

・多様な人々が参加できる講座・ワークショップであったことや、講師やスタッフへの感謝の気持ちなどが数多く寄せられている。また、今後の講座・ワークショップについて、子ども、親子、高齢者などに参加の対象を広げてほしいという要望や、回数、期間、時間、料金などの設定についても要望が見られた。講座・ワークショップの内容については、参加したプログラムの目的が共有されていることが伺え、好感を持つ意見が多かった。

◎多様な人々が参加できる講座・ワークショップ

- ・老若男女、世代もばらばらな人たちが一つのものを作り上げるワークショップを望む。
- ・年代、性別、職業、環境の違いが混ざり合っ一つになれるのが楽しい。
- ・老若男女を問わず、また障害をこえた様々な個性の参加者でステージを創る。やりがいがあった。

◎講師やスタッフへの感謝

- ・優しく指導してくれる先生方やスタッフの方々にとっても感謝しています。
- ・講師のレベルの高さを感じる。これだけで感動する。上達したという意識が高まる。
- ・来られる方が皆様豪華でおもしろいワークショップばかりでした!!
- ・指導者、会場の方々の対応が心のこもった内容であった。
- ・今、活躍されているプロとの距離がとて近く、とて強い、良い刺激を与えられた。

◎子ども対象、親子対象、高齢者対象の講座・ワークショップ

- ・もっと小さいお子さんも表現するワークショップがあれば良いと思う。
- ・参加したいワークショップはあっても小さな子どもがいるとなかなか難しいので、託児付きや、子連れOKのものが増えると嬉しいです。
- ・子供と一緒に参加できるもの、参加しなくても見学できるものがもう少しあればいいです。
- ・高齢者を対象とした講座・ワークショップを昼間帯に実施して欲しい。

◎回数、期間、時間、料金設定への意見

- ・県外から参加するのでできれば回数が少ないととて参加しやすくなると思いました。
- ・私が参加したワークショップは2日で作品をつくり上げるものだったが少し時間が足りなかった。
- ・もっと長い期間したかったです。
- ・2週間の短い時間にここまでできることは、私自身よい経験とやる気につながりました。
- ・時間が合わないこともありましたが、講座の時間が遅めにしてあったので頑張っ行って良かったです。
- ・ワークショップの参加費が高い。

◎講座・ワークショップの内容への意見

- ・演劇の基礎コースの様な講座があれば受けてみたい。
- ・参加して学ぶだけでなく、披露する場があるのは良いですね。目的意識がはっきりして励みになりました。
- ・同じ環境で課題に向き合っている人たちとの出会いで悩みの共有ができ、打開策を検討するアイデアが広がった。
- ・一方的な座学だけでなく、町に出たり、体を使ったりした所が劇場ならではの講座という感じで良かった。
- ・その時、その場だけの出逢いが楽しくて、また参加してみたいと思えるワークショップでした。
- ・芸術劇場がなければ演劇をやっていませんでした。ありがとうございます。

・北九州芸術劇場の鑑賞事業や劇場全般について意見を自由記述で聞いたところ、多数の意見が寄せられた。以下に主な意見を抽出、整理している。

・北九州市の地域ブランドやシビックプライドへの貢献に関する意見や、鑑賞事業の質の高さ、地元の人材育成への評価などの意見が寄せられている。また、バラエティに富んだ事業やスタッフの意識の高さを評価する意見も見られる。その他の劇場に対する意見や要望としては、障害を持つ人たちの鑑賞や参加、手頃な料金設定、理解しやすい内容を望む声などが見られる。

◎北九州市の地域ブランドやシビックプライド

- ・北九州市に誇れる劇場だと思います。
- ・北九州市は芸術やいろいろな分野に対して文化度が進んでいると思います。
- ・今後も演劇の街、北九州の劇場として、芸術・情報の発信を続けていただければ嬉しいです。
- ・北九州の宝だと思います。私もそうでしたが、知らないひとたくさんいると思います。
- ・20年、30年前を知る身には隔世の感といった感慨があります。地方における文化発信の形として成功しているのかなと思います。
- ・演劇＝北九州芸術劇場というものを定着させていて素晴らしいと思います。

◎鑑賞事業の質の高さ

- ・東京や大阪などの大都市でしか上演されないような作品を観劇できることがとてもうれしいです。
- ・魅力的な舞台を呼んでいて、福岡に行かなくても北九州で観られることがとてもうれしいです。
- ・素敵な場所だと思うし、クオリティもすごいと思います。もう少し市民が気軽に通える場所だといいです。
- ・福岡や他の都市から来たという人と話すこともあり、吸引力(?)ってすごいなあと思っています。

◎地元の人材育成

- ・地元の劇団の活動を応援したり、オーディションをして人材を発掘したり地元密着型の劇場ですばらしいと思います。
- ・継続して地元劇団の育成などに力を入れていってほしいです。

◎バラエティに富んだ事業

- ・子供も楽しめるものや学ぶものも多く芸術に触れる機会を持てよい場と思う。
- ・これからも地域に密着した活動をよろしくお願いします。
- ・他の都市に比べ、街を取り込んでのワークショップ、鑑賞等を非常に多く取り組まれていると感じます。
- ・身近な作品から芸術性の高い作品までいろんな多くの作品をとりあげていただきありがとうございます。

◎スタッフの意識の高さ

- ・劇場のスタッフの皆様は最高だとワークショップに参加して思いました。
- ・スタッフの方がとても親切で安心して劇場で楽しい時間が過ごせました。
- ・スタッフの方も参加者と一緒になって作り上げようという意識が伝わってきます。

◎その他、劇場に対する意見や要望

- ・障害を有する人が、鑑賞したり参加したりすることが増えるといい。(音声ガイド、字幕etcの取り組み)
- ・お手頃価格で観れるものがあればいろいろなモノを観てみたい。少し敷居が高い感じがする。
- ・専門的にむずかしすぎる内容が多く感じられる。一般人にももう少し理解出来る内容を！
- ・行きたいと思った分はチケットが取れず(年とると並んでの購入は辛い)最近福岡市の方に行くことが多いです。

4. ワークショップ参加者を対象としたグループインタビュー調査の概要

(1) グループインタビューの実施概要

① 調査の対象

- アンケート調査の回答者からグループインタビューに「協力できる」と回答した方の中から、北九州芸術劇場と協議のうえ候補者を抽出し、日程の調整が可能だった以下の11名を調査対象とした。

	年齢	性別	居住エリア	参加講座
【グループ①:「おやじカフェ」「赤シャツ」「シアターカフェ」「シアターラボ」参加者】 5名				
A	58歳	男性	福岡県北九州市	おやじカフェ2009
B	51歳	女性	福岡県北九州市	赤シャツ2015
C	67歳	女性	福岡県北九州市	シアターカフェ2014
D	24歳	男性	福岡県福岡市	シアターラボ2015
E	36歳	女性	福岡県福岡市	シアターラボ2015
【グループ②:「青い鳥」「劇場塾」参加者】 6名				
A	51歳	女性	福岡県北九州市	青い鳥
B	40歳	男性	福岡県北九州市	青い鳥2013
C	49歳	女性	福岡県北九州市	青い鳥2015
D	79歳	女性	福岡県北九州市	青い鳥2015
E	66歳	男性	福岡県福岡市	劇場塾2014
F	48歳	女性	福岡県京都郡	劇場塾2015

② 実施時期

- 2016年2月25日16:00～18:00(グループ①)、26日13:00～15:00(グループ②)

(2) 主な調査項目

- 参加の動機や目的
- 事業の内容、進め方、記憶に残っていること
- 参加して得られたこと、中長期での変化、今後やりたいこと
- ワークショップ型事業に関する要望
- 北九州芸術劇場全般などについて など

(3) ヒアリング調査の意見概要 グループ①(前半)

	「シアターカフェ」、「シアターラボ」参加者	「おやじカフェ」、「赤シャツ」参加者
参加の動機や目的	<ul style="list-style-type: none"> 朗読ボランティアで本を読むことがあるが、きちんと発音するなど基本的な技術を学ぶ機会が欲しかった。たまたま基本的なことが勉強できそうな講座(北九州ドラマ創作工房)があったため、そこに参加した。 オーディション募集のチラシを、福岡市内の稽古場や、他にも舞台を見に行き行って同じチラシで手にして、内容を見て、北九州だけではなく広く募集し、しかも2週間という短期間で芝居を作るといので、面白いと思い応募した。 私は観劇が大好きで結構頻繁に来ており、ダイレクトメールに「誰にでも書ける、あなたにしか書けない戯曲講座」と書いてあった。「誰にでも」なら今しかないのではないかと思い応募した。 	<ul style="list-style-type: none"> 若いころから主人と一緒に芝居をよく見ていた。北九州芸術劇場ができて、子供を募集して、指導して下さる方が超一流の人で、これに参加しないですとどうすると思ひ、子供たちを何回もこのワークショップに参加させたが、自分もそういうところに入ってやりたいと思った。家庭と仕事だけのため発散するところがなかったのだが、全く知らない人たちの中に入り、自分が大好きなことを一緒にできて、すごく発散できた。 2009年あたりはリーマンショックの年に、しばらく仕事がないため、落ち着くまで自宅待機の期間があったときに「北九州市政だより」におやじカフェ募集があり、家内が見て、「やってみたら？」と言われた。歌は好きで、高校時代に演劇部だったが、ダンスは全くしたことがない。でも「経験がなくてもいいと書いてある」と思っ応募したら採用された。
事業の内容、進め方	<ul style="list-style-type: none"> 中学、高校ぐらいの演劇は声を出して、もらったせりふをどう言うかぐらいで来たのが、北九州ドラマ創作工房で、その役になり切るのはすごいなと思った。イギリスでドラマを使って子供たちの自己表現やコミュニケーション能力を高めるというのから来ていて、すごくいいことだなというのが最初だった。 記憶に残っていることは一体感だ。2週間でここまで本番のクオリティというか、想像がつかなかった。企画も面白いが、それに沿って、みんなが一つの方向に向かって行動を起こせば、一体になって物ができるのだなという驚きとうれしさが記憶の中で最も強い。 最も印象に残って楽しかったのはオーディションだ。みんなの熱意で目頭を熱くし、みんな本気だと感じた。ただし、結果的に自分が望む役割を与えられなかったために、所在なかった。 応募に際して「期間中、きっちり出られる方」となっているため、その間は絶対抜けたら駄目と書いてあると、地域活動などをしていてどうしても抜けられない日が1日ぐらいあり、ここは少し難しいというのがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 「赤シャツダンサーズ」は、始まると音楽が鳴りだして、講師の北村成美さんが何も言わずに踊りだし、見ていて一緒に踊るのだなと思ひながら、それが30分ぐらいぶっ通しで何も言葉を発していないのだが、全て伝わってくる感じた。自分を表現していくのがすごく楽しいという思ひで参加していた。 北村さんから「どうする、公演する？」というぐらいまで厳しい指導があったときに、みんなで話し合っ、「きちんと気持ちをついにしてやります」などと言っ、やっと公演にたどり着いた。あのときはみんな泣いて、一つになったのだが、あのときもスタッフが見守ってくれていた。 「おやじカフェ」でお客さんを楽しませるには、まず自分を開放しなさいと言われた。初めは恥ずかしくてできないことをが、声を出し、握手し、ハグすることに少しずつ慣れていった。普段の仕事で上から目線で接していた関係が、その経験から、フレンドリーに話すようになり、人生の考え方が変わった。

	「青い鳥」参加者	「劇場塾」参加者
参加の動機や目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 合唱団に入っている娘が出演者募集のチラシを持って帰ってきた。その時は「本当の自分はこんなじゃないんじゃないか」と落ち込んでいた時期で、そのチラシを見て、「これだ」と思ったのがきっかけである。 ● 職場(公民館)の同僚が「やってみないか」と声を掛けてきた。断るつもりで電話を掛けたのだが、断れなくていつの間にかほぼ無理やりに参加させられたような感じだ。 ● 病気になって体が少し不自由になったけれども、声だけなら何とかかなると思っていたところ、「青い鳥」に東京の先生方が来て教えてくださると書いてあり、外に出てみようと思って参加した。 ● 息子が小学校からチラシを持ち帰ってきて「いいな」と思った。歌や舞台が大好きでよくここにも来ていたが、向こう側に行ってみたいと思っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● もともと照明や舞台美術などスタッフから演劇に関わったので、「演劇作品が出来るまで～舞台美術を通して」というワークショップのうたい文句に親しみを感じて、興味を持ったのが動機だ。いまだに芝居がどういふものかよく分からない。新しい刺激がないと駄目だと感じながらやってきたので「とにかくワークショップに行っちゃおう」と思った。 ● 苅田町のボランティアガイドの会に所属しているが、「劇場塾」の地域文化コーディネーター養成講座を知ったことがきっかけで、何か勉強になることがあればと思って参加した。もともと私自身が演劇やアートを見るのが好きだったので、個人的に北九州芸術劇場に足を運ぶことが割とあった。何かアートっぽいことを取り入れることで、よくある町づくりとは少し違ったものができたらよいなという漠然とした感じだ。
事業の内容、進め方	<ul style="list-style-type: none"> ● スタッフの方は本当に優しく説明の仕方も良く、参加者が小学生からご高齢の方まで男女問わず分かるように説明するというやり方を本当によく分かっていらっしやると思う。最初から本当にそうだったかと言えば、ここ何年かでそれが分かりやすいものになってきたので、そこがすごいと思う。 ● 毎回同じ曲なのに毎回違う曲に感じるのが面白くて来ているようなところがある。いろいろな人が集まっていて合唱も全然したことのないような人たちもいる中で普通の合唱団と同じようなことを求めて結構レベルの高いことを言われることがある。 ● スタッフの方々はよくしてくださるが厳しいこともあって、絶対に守るべきルールを外れるとやはりきちんと叱ってくださるのが素晴らしいと思う。「休まないで来てね」と常に言われると「ちょっと」と思うが。 ● お金を取るので、甘えていては駄目なので、指揮の先生も歌の先生も舞台の皆さんも本気で作っていらっしやる。本物を作りたいという空気を皆さんが持っているから厳しいこともおっしやる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「舞台美術を通して」のワークショップでは、劇場にある折りたたみ椅子20脚だけで、あるだけのセットの舞台美術からここまでやれるのかというのが面白かった。演劇というのは総合芸術だということがよく分かった。 ● 印象に残ったのは、自分達が思ったこととは全然関係なく、人の視線が変わるとこれだけ変わるのかということだった。こういうワークショップも面白いと思った。 ● 「地域コーディネーターとは何か」というダイレクトな感じではなく、「アート・芸術はどのように日常の中に役立てていけるか」というところから入っていったことが良かった。 ● 遊びではあるが集団で普段しないような体験をすることがとても新鮮で、貴重な体験をさせてもらったと思っている。それを地域コーディネーターに生かせることができればもちろん一番良いが、そうでない部分でもきっと生かせるのではないかなと思った。

(続き) ヒアリング調査の意見概要 グループ①(後半)

	「シアターカフェ」、「シアターラボ」参加者	「おやじカフェ」、「赤シャツ」参加者
参加して得られたこと、中長期での変化、今後やりたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会全体が高齢化しているが、高齢者が参加したい、表現したいというものが多く多い。高齢者の劇団をしたいと思っている。高齢者が趣味で子供も巻き込んで、そんな劇団をしたいと思っている。 ● 同じ福岡県だが勝手に遠いというイメージがあった。しかし、これに参加して移動も苦にならないことが分かり、参加すれば面白いので、アンテナを広げるようにした。こちらで行われているオーディションにも積極的に応募しようという感じになり、活動のテリトリーが広がった。 ● 私の場合は仕事にプラスの影響が出た。仕事で出会った人と、ワークショップの講師が共通の知人で、人脈という意味でも公私にわたって少し広がり、話がしやすくなったというプラスがあったが、これは予想外だった。 ● せっかく戯曲の書き方のコツを教えてもらったし、習っている間でも「こうすればよかった」とぎりぎりになって気付いて間に合わないことがあったため、それを発揮できる場に応募したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 少し体を痛めて手術をした後に参加したときに、体の動かなくなったことを思っ、年齢によって体力が落ちてくることを経験した。ダンスなら楽しくずっと踊れるため、健康な体を維持することができていることが得られたことだ。 ● 障害者のためのとか、障害者についてのものは大嫌いで、なぜ区別するのかという思いがある。私が習っている先生が「レインボードロップス」の指導をされていて、この前、参加させてもらい、すごく感動した。障害は、見る側の意識が壁を作っているのだなとすごく感じた。 ● 人との関わり方が変わったことが本当に大きいことだと思う。ここに来る前は、人生の価値観というのは会社で昇進し、いい給料をもらい、裕福な仕事をするのが男性の価値だと思っていたのが、自分が楽しみ、相手も楽しんでということが、人生で最もいい価値観なのではないかと気付かせていただいた。 ● 今が楽しい、では、あしたになって今が楽しいなら、ずっと死ぬまで楽しいのではないかと感じており、できるだけ長く踊れるように体調管理していこうと思う。
ワークショップ型事業に関する要望、北九州芸術劇場全般などについて	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者が多いので、演劇の間口を少し広げていただき、プロから指導していただく機会が増えれば、見方も変わるし、全体の質が上がっていくと思う。 ● 鬱やノイローゼになる管理職の先生がすごく多い。先生にも、コミュニケーション能力を高めるワークショップなどができるといい。本当に深刻な問題だ。 ● 公演を目的にしたワークショップで、稽古期間や準備期間をもう少し長いスパンにするとどうなるのか、そういうことをしてみたいと思う。 ● 世田谷パブリックシアターでは、演劇を見る側がどういう点に着目して見ればより面白くなるかなどという講座もされており、非常に楽しいな、そういうのがあれば聞きたいなと思っている。 ● 東京芸術劇場で、子供たちが集まり、いろいろなアイデアを自由に出して、それをプロの大人たちがかき集めて、本当に本にしてしまっ、上演するプロジェクトがあり、そんな形のものがあるのもいいと思う。 ● 九州は農業が発達しているため、地域の秋祭りに向けて発表する演劇を例えば3カ月かけて練習するとか、農業の閑散期にそれをしてみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの教育はすごく必要だと思う。子どもが、プロの人たちと関われる機会はあまりないと思う。芸術劇場のようなところがそういうところに介入していき、もう少し子どもの教育を見てくれると、本当にいいだろうと期待する。 ● 子どもと一緒にできる企画があれば一緒に参加できて自分もできるし、他の人が見てくれたり、自分だけで自分のことができたというのもあるので、そういう親子一緒にの企画もしてほしい。 ● 地域に数多くの市民センターがあるが、お祭りや催し物、イベントを「こんなにしているんだ」と思う。この町はこういうことをしているという発信地に芸術劇場さんがなればすごくいいのではないかなと思う。 ● 中高年のおやじさんたち、今、仕事を頑張っているおやじさんたちへ向けてのワークショップで会社に行くなど、そういうことをしていただけないかなと思う。

	「青い鳥」参加者	「劇場塾」参加者
参加して得られたこと、中長期での変化、今後やりたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ● 仕事上でワークショップを開催する側になることが時々あるけれども、参加者になっているおかげで、ワークショップのシナリオを考えられるようになったと思っている。なので、仕事上の引き出しになっていると思う。 ● 「青い鳥」がきっかけで人生の伴侶を得た。参加者の1人が亡くなって皆で悲しんだり、ご高齢になったので大分の息子さんの所に行かれる方との別れを惜しんだり、そういうことでも家族が増えた感じだ。うちの子たちの成長も見守っていて、生活の一部になっている。 ● 北九州に新しい合唱団を作ろうという人とたまたま出会って、一応団長を仰せつかり、こういった立場は自分では絶対にあり得ないことだったので、これが一番変わったことだ。もっと団員が増えて楽しい歌を歌えるようになればよいと考えている。 ● 「青い鳥」のテーマ自体が「幸せとは何か」なので、ちょっとしたことが幸せなのだと思うことで、家族に対する態度や思いにも変化があったのではないかと。理解があって協力が得られる家族でよかったなと感謝している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ワorkshopに参加することで自分が変わりたい、変わるきっかけを作りたいと思っている。(高校で非常勤で演技を教えているため)もっと新しい何かを教えたいということがある。それにはやはり自分が体験してそれを出していかないと駄目だと思っている。 ● 町の何かのイベントや催し物をやる時に参加している人たちの一体感やアイスブレイクにとっても役立つと思った。具体的にはまだないが、そういったことを生かしていけたらいいと思っている。 ● 住民に、自分の住む町の魅力を知ってもらうきっかけとなるようにワークショップをやって、ツアーと組んでガイド的なことをやっていけると面白いと思っている。
ワークショップ型事業に関する要望、北九州芸術劇場全般などについて	<ul style="list-style-type: none"> ● 幼児と参加できるワークショップがあればよいと思う。短期間のものでいいので一緒に出られたらいいと思う。 ● 短期でもよいので企画や運営方法などを学べるようなワークショップがあるとよい。ワークショップのワークショップだ。 ● 部活に入っている中高生でも来られるようなものがあるといいと思う。部活にもよと思うが、運動部は土日の夜しか空いていないので厳しい。 ● いまだにここの劇場に来るのに、何遍入っても「あれ？ こっちに行ったらいいのかな？ こっちに行ったらいいのかな？」と迷うのが困る。どこのエスカレーターに行ったらいいのか分からない。建物全体として分かりにくい所だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 短く2日間ぐらいで、例えば照明からのアプローチ、音響からのアプローチをやっていただくとありがたい。

北九州芸術劇場事業評価調査(その13) 報告書

調査・発行 | 公益財団法人北九州市芸術文化振興財団 北九州芸術劇場
〒803-0812 北九州市小倉北区室町1丁目1-1-11
tel. 093-562-2655 fax. 093-562-2588

調査委託 | 株式会社ニッセイ基礎研究所 芸術文化プロジェクト室
〒100-0073 千代田区九段北4-1-7
tel. 03-3512-1883 fax. 03-5211-1084

発行日 | 2017年3月

©(公財)北九州市芸術文化振興財団 北九州芸術劇場
(株)ニッセイ基礎研究所
無断転載・複写を禁じます。